

茨木市の保健福祉に関するアンケート調査
〔障害者・児〕
報 告 書

令和5年（2023年）3月



茨 木 市

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査項目	1
3 調査設計及び回収結果	7
4 報告書の見方	8
第2章 身体・知的・精神障害者調査の結果	9
1 対象者の属性	11
（1）年齢	11
（2）性別	12
（3）居住地	13
（4）身体障害者手帳の有無、また、総合等級	14
（5）身体障害の種類	15
（6）療育手帳の有無、また、判定	16
（7）精神障害者保健福祉手帳の有無、また、等級	17
（8）精神疾患の内容	18
（9）発達障害の有無	19
（10）診断されている発達障害の疾病	20
（11）難病認定の有無	21
（12）障害支援区分の認定状況	22
（13）障害年金の受給状況	23
2 地域での暮らし方やふだんの生活	24
（1）同居家族	24
（2）現在の生活場所	26
（3）自宅やグループホーム等で生活するために必要なものなど	27
（4）将来（10年後）の生活場所	29
（5）平日の日中の過ごし方	30
3 外出や社会参加の状況	31
（1）外出の頻度	31
（2）外出の目的	32
（3）外出の際の同伴者	34
（4）外出先で配慮や援助してほしいところ	35
4 情報入手やコミュニケーションの状況	36
（1）インターネット等の利用状況	36
（2）インターネット等を利用していない理由	38

(3)	インターネット等を利用するために希望する支援	40
(4)	必要な情報の入手先	41
(5)	市が提供する情報の入手先	42
(6)	市が提供する情報の提供状況	44
(7)	市が提供する情報に対する希望	45
(8)	市が提供する情報の手段	46
(9)	コミュニケーションについて困っていることの有無	48
(10)	コミュニケーションについて困っていること	49
5	相談などについて	51
(1)	不安に感じていることや悩んでいること	51
(2)	悩みごとや心配ごとの相談相手の有無	53
(3)	悩みごとや心配ごとの相談相手	55
(4)	悩みごとや心配ごとの解決方法	57
(5)	市が整備している相談機関	58
(6)	障害者相談支援事業所の利用・認知状況	59
(7)	障害者相談支援事業所を知った場所など	60
(8)	障害者相談支援事業所を利用したことがない理由	61
(9)	利用しやすい相談機関	63
(10)	障害福祉センターハートフルの認知状況	65
6	就労などについて	66
(1)	就労形態	66
(2)	1か月あたりの勤務日数	67
(3)	1日あたりの勤務時間	68
(4)	今の職場での勤務年数	69
(5)	月収について	70
(6)	働けなかに困っていること	72
(7)	現在、働いていない理由	76
(8)	就労意向	79
(9)	働くことに対して望むこと	80
7	障害福祉サービスの利用状況	84
(1)	介護給付の訪問系サービスの利用状況	84
(2)	介護給付の訪問系サービスを利用していない理由	85
(3)	介護給付の日中活動系のサービスの利用状況	86
(4)	介護給付の日中活動系サービスを利用していない理由	87
(5)	訓練等の日中活動系サービスの利用状況	88
(6)	訓練等の日中活動系サービスを利用していない理由	89

(7) 居住系サービスの利用状況	90
(8) 居住系サービスを利用していない理由	91
(9) 障害児サービスの利用状況	92
(10) 障害児サービスを利用していない理由	93
(11) その他のサービスの利用状況	94
(12) その他のサービスを利用していない理由	95
8 障害者に対する市民の理解、権利擁護	96
(1) 差別や偏見・疎外感を感じる時	96
(2) 差別などいやな思いをした経験	97
(3) 差別や偏見を感じた時の相談の有無	99
(4) 虐待防止センターや通報ダイヤルの認知状況	100
(5) 障害者への理解を深めるために力を入れるべきこと	101
(6) 今後の障害者施策に望むこと	102
(7) 成年後見制度の認知状況	105
9 災害時の避難等	106
(1) 災害時の避難行動先	106
(2) 自力避難	108
(3) 近くに助けてくれる人の有無	110
(4) 災害時の支援希望	112
(5) 避難所で過ごす際に不安なこと	114
10 介助者（介護者）の状況	116
(1) 主な介助者（介護者）	116
(2) 主な介助者（介護者）の年齢	117
(3) 1日あたりの介助（介護）時間	118
(4) 介助（介護）を行ううえで困っていること	119
(5) 家族以外に手助けなどしてもらえたら助かること	120
11 共生社会の実現に向けたまちづくり	121
(1) 日常の暮らしの中での経験	121
(2) その他に経験したこと	127
12 自由意見	128
第3章 精神障害者（入院患者）調査の結果	129
1 対象者の属性	129
(1) 居住地	129
(2) 年齢	130
(3) 性別	131
(4) 精神障害者保健福祉手帳の有無、また、等級	131

(5) 精神疾患の内容	132
(6) 身体障害者手帳の有無、また、総合等級	132
(7) 身体障害の種類	133
(8) 療育手帳の有無、また、判定	133
2 入院前の生活状況	134
(1) 入院直前の住まい	134
(2) 入院直前の同居家族	134
(3) 入院期間	135
3 退院後の生活	135
(1) 退院意向	135
(2) 退院する際に希望する支援や環境	136
(3) 地域移行支援の認知状況	137
(4) 将来（3年後）の生活場所	137
(5) 退院後に利用したいサービス	138
(6) 退院後に日々の暮らしの中でやってみたいこと	139
(7) 退院後の生活で不安や心配に感じること	139
4 相談などについて	140
(1) 悩みごとや心配ごとの相談相手の有無	140
(2) 悩みごとや心配ごとの相談相手	140
(3) 悩みごとや心配ごとの解決方法	141
(4) 悩みごとの相談意向	141
(5) 茨木市障害者基幹相談支援センターや精神障害者相談支援センターの利用・認知状況 ...	142
(6) 茨木市障害者基幹相談支援センターや精神障害者相談支援センターを利用したことがない理由 ...	142
(7) 障害者相談支援事業所の利用・認知状況	143
(8) 障害者相談支援事業所を利用したことがない理由	143
(9) 利用しやすい相談機関	144
5 障害者に対する市民の理解、権利擁護	144
(1) 差別や偏見・疎外感を感じる時	144
(2) 差別などいやな行為を受けた経験	145
(3) 障害者への理解を深めるために力を入れるべきこと	145
(4) 今後の障害者施策に望むこと	146
6 自由意見	147
第4章 就労支援事業所利用者調査の結果	149
1 対象者の属性	151
(1) 年齢	151
(2) 性別	152

(3) 居住地	152
(4) 身体障害者手帳の有無、また、総合等級	153
(5) 身体障害の種類	154
(6) 療育手帳の有無、また、判定	155
(7) 精神障害者保健福祉手帳の有無、また、等級	155
(8) 障害支援区分の認定状況	156
2 就労について	156
(1) 利用している障害福祉サービス	156
(2) 就労意向	157
(3) 希望する就労時間	157
(4) 障害者が就労する上で必要な環境	158
(5) 就労支援機関の登録状況	160
(6) 庁内職場実習の参加状況	161
(7) 庁内職場実習に参加しない理由	162
(8) 就職したくない理由	163
第5章 障害児通所支援等利用者調査の結果	165
1 対象者の属性	165
(1) 居住小学校区	165
(2) アンケートの記入者	166
(3) 子どもの年齢	166
(4) 子どもの人数と末子の年齢	167
(5) 子どもの所属先	168
(6) 同居の状況	168
(7) 子育てや教育を主に行っている人	169
(8) 子どものことで手助けしてもらえる人	169
2 相談	170
(1) 子育てや教育について気軽に相談できる相手や場所の有無	170
(2) 気軽に相談できる相手や場所	171
(3) 気軽に相談できる相手がない・場所がない理由	173
3 就労状況	174
(1) 母親の就労状況	174
(2) 父親の就労状況	175
(3) 現在働いていない母親・父親の就労意向	176
4 通所サービス等の利用	177
(1) 現在利用しているサービス	177
(2) 今後利用したいサービス	178

(3) 利用している通所サービス等の利用のきっかけ	179
(4) 通所サービス等の利用開始までの期間	181
(5) 通所サービス等の利用日・利用時間	182
(6) 通所サービス等の利用期間	183
(7) 療育の種類	184
(8) 児童発達支援・医療型児童発達支援・放課後等デイサービスの満足度	185
(9) 保育所等訪問支援・居宅訪問型児童発達支援の満足度	186
(10) 障害児相談支援の満足度	186
(11) 通所サービス等の今後の利用意向	187
(12) 通所サービス等を利用する際に重視すること	188
(13) 通所サービス等以外で現在利用しているサービス	189
(14) 地域子育て支援センター・つどいの広場・子育てサークル等の利用状況	190
(15) 地域子育て支援センター・つどいの広場・子育てサークル等を現在利用していない理由 ..	191
5 障害者手帳	192
(1) 障害者手帳の所有状況	192
(2) 所有している障害者手帳の種類	193
(3) 障害者手帳を持っていない理由	195
6 医療機関での診断	196
(1) 医療機関の診断状況	196
(2) 診断を受けたときの年齢	197
7 子育て支援や障害福祉サービス等	198
(1) 子育て支援や障害福祉サービス等の認知度・利用意向	198
(2) いばらきっ子ファイルの活用状況	201
(3) いばらきっ子ファイルを活用していない理由	202
(4) いばらきっ子ファイルの改善点	203
(5) 話し合いや情報の共有等の状況	204
(6) 今までに参加した学習会や研修会等	207
(7) 子どもに関する悩みごとの内容	208
8 自由意見	209
資料（調査票）	211
1 身体・知的・精神障害者調査	211
2 精神障害者（入院患者）調査	226
3 就労支援事業所利用者調査	232
4 障害児通所支援等利用者調査	235

第1章 調査の概要

1 調査目的

本調査は、茨木市障害者施策に関する第5次長期計画・茨木市障害福祉計画（第7期）・茨木市障害児福祉計画（第3期）の策定にあたり、今後の本市の障害者地域移行や一般就労の促進などに向け、障害者のニーズを把握するとともに、障害福祉サービスなどの計画的な基盤整備を進めるための基礎資料を得ることを目的として実施した。

2 調査項目

●身体・知的・精神障害者

区分	質問項目	設問番号
アンケートの記入者		—
1 対象者の属性	年齢	問1
	性別	問2
	居住地	問3
	身体障害者手帳の有無、また、総合等級	問4
	身体障害の種類	問4-1
	療育手帳の有無、また、判定	問5
	精神障害者保健福祉手帳の有無、また、等級	問6
	精神疾患の内容	問6-1
	発達障害の有無	問7
	診断されている発達障害の疾病	問7-1
	難病認定の有無	問8
	障害支援区分の認定状況	問9
障害年金の受給状況	問10	
2 地域での暮らし方や ふだんの生活	同居家族	問11
	現在の生活場所	問12
	自宅やグループホーム等で生活するために必要なものなど	問12-1
	将来（10年後）の生活場所	問13
	平日の日中の過ごし方	問14
3 外出や社会参加の 状況	外出の頻度	問15
	外出の目的	問15-1
	外出の際の同伴者	問16
	外出先で配慮や援助してほしいところ	問17

第1章 調査の概要

区分	質問項目	設問番号
4 情報入手やコミュニケーションの状況	インターネット等の利用状況	問18
	インターネット等を利用していない理由	問18-1
	インターネット等を利用するために希望する支援	問18-2
	必要な情報の入手先	問19
	市が提供する情報の入手先	問20
	市が提供する情報の提供状況	問21
	市が提供する情報に対する希望	問21-1
	市が提供する情報の手段	問22
	コミュニケーションについて困っていることの有無	問23
	コミュニケーションについて困っている内容	問23-1
5 相談などについて	不安に感じていることや悩んでいること	問24
	悩みごとや心配ごとの相談相手の有無	問25
	悩みごとや心配ごとの相談相手	問25-1
	悩みごとや心配ごとの解決方法	問25-2
	市が整備している相談機関	問26
	障害者相談支援事業所の利用・認知状況	問27
	障害者相談支援事業所を知った場所など	問27-1
	障害者相談支援事業所を利用したことがない理由	問27-2
	利用しやすい相談機関	問28
	障害福祉センターハートフルの認知状況	問29
6 就労などについて	就労形態	問30
	1か月あたりの勤務日数	問30-1
	1日あたりの勤務時間	問30-2
	今の職場での勤務年数	問30-3
	月収について	問30-4
	働くなかで困っていること	問30-5
	現在、働いていない理由	問31
	就労意向	問32
	働くことに対して望むこと	問33

区分	質問項目	設問番号
7 障害福祉サービスの利用状況	介護給付の訪問系サービスの利用状況	問 34
	介護給付の訪問系サービスを利用していない理由	問 34-1
	介護給付の日中活動系のサービスの利用状況	問 35
	介護給付の日中活動系サービスを利用していない理由	問 35-1
	訓練等の日中活動系サービスの利用状況	問 36
	訓練等の日中活動系サービスを利用していない理由	問 36-1
	居住系サービスの利用状況	問 37
	居住系サービスを利用していない理由	問 37-1
	障害児サービスの利用状況	問 38
	障害児サービスを利用していない理由	問 38-1
	その他のサービスの利用状況	問 39
	その他のサービスを利用していない理由	問 39-1
8 障害者に対する市民の理解、権利擁護	差別や偏見・疎外感を感じる時	問 40
	差別などいやな思いをした経験	問 41
	差別や偏見を感じた時の相談の有無	問 42
	虐待防止センターや通報ダイヤルの認知状況	問 43
	障害者への理解を深めるために力を入れるべきこと	問 44
	今後の障害者施策に望むこと	問 45
	成年後見制度の認知状況	問 46
9 災害時の避難等	災害時の避難行動先	問 47
	自力避難	問 48
	近くに助けてくれる人の有無	問 49
	災害時の支援希望	問 49-1
	避難所で過ごす際に不安なこと	問 50
10 介助者（介護者）の状況	主な介助者（介護者）	問 51
	主な介助者（介護者）の年齢	問 51-1
	1日あたりの介助（介護）時間	問 51-2
	介助（介護）を行ううえで困っていること	問 51-3
	家族以外に手助けなどしてもらえたら助かること	問 51-4
11 共生社会の実現に向けたまちづくり	日常の暮らしの中での経験	問 52
	その他経験したこと	問 52-1
12 自由意見		問 53

●精神障害者（入院患者）

区分	質問項目	設問番号
アンケートの記入者		—
1 対象者の属性	居住地	問1
	年齢	問2
	性別	問3
	精神障害者保健福祉手帳の有無、また、等級	問4
	精神疾患の内容	問4-1
	身体障害者手帳の有無、また、総合等級	問5
	身体障害の種類	問5-1
	療育手帳の有無、また、判定	問6
2 入院前の生活状況	入院直前の住まい	問7
	入院直前の同居家族	問7-1
	入院期間	問8
3 退院後の生活	退院意向	問9
	退院する際に希望する支援や環境	問10
	地域移行支援の認知状況	問11
	将来（3年後）の生活場所	問12
	退院後に利用したいサービス	問12-1
	退院後に日々の暮らしの中でやってみたいこと	問13
	退院後の生活で不安や心配に感じる事	問14
4 相談などについて	悩みごとや心配ごとの相談相手の有無	問15
	悩みごとや心配ごとの相談相手	問15-1
	悩みごとや心配ごとの解決方法	問15-2
	悩みごとの相談意向	問16
	茨木市障害者基幹相談支援センターや精神障害者相談支援センターの利用・認知状況	問17
	茨木市障害者基幹相談支援センターや精神障害者相談支援センターを利用したことがない理由	問17-1
	障害者相談支援事業所の利用・認知状況	問18
	障害者相談支援事業所を利用したことがない理由	問18-1
	利用しやすい相談機関	問19
	5 障害者に対する市民の理解、権利擁護	差別や偏見・疎外感を感じる時
差別などいやな行為を受けた経験	問21	
障害者への理解を深めるために力を入れるべきこと	問22	
今後の障害者施策に望むこと	問23	
6 自由意見		問24

●就労支援事業所利用者

区分	質問項目	設問番号
アンケートの記入者		—
1 対象者の属性	年齢	問1
	性別	問2
	居住地	問3
	身体障害者手帳の有無、また、総合等級	問4
	身体障害の種類	問4-1
	療育手帳の有無、また、判定	問5
	精神障害者保健福祉手帳の有無、また、等級	問6
	障害支援区分の認定状況	問7
2 就労について	利用している障害福祉サービス	問8
	就労意向	問9
	希望する就労時間	問10
	障害者が就労する上で必要な環境	問11
	就労支援機関の登録状況	問12
	庁内職場実習の参加状況	問13
	庁内職場実習に参加しない理由	問13-1
	就職したくない理由	問14

●障害児通所支援等利用者

区分	質問項目	設問番号
1 対象者の属性	居住小学校区	問1
	アンケートの記入者	問2
	子どもの年齢	問3
	子どもの人数と末子の年齢	問4
	子どもの所属先	問5
	同居の状況	問6
	子育てや教育を主に行っている人	問7
	子どものことで手助けしてもらえる人	問8
2 相談	子育てや教育について気軽に相談できる相手や場所の有無	問9
	気軽に相談できる相手や場所	問9-1
	気軽に相談できる相手がない・場所がない理由	問9-2
3 就労状況	母親の就労状況	問10
	父親の就労状況	問11
	現在働いていない母親・父親の就労意向	問12

第1章 調査の概要

区分	質問項目	設問番号
4 通所サービス等の利用	現在利用しているサービス	問 13
	今後利用したいサービス	問 13-1
	利用している通所サービス等の利用のきっかけ	問 14
	通所サービス等の利用開始までの期間	問 15
	通所サービス等の利用日・利用時間	問 16
	通所サービス等の利用期間	問 17
	療育の種類	問 18
	児童発達支援・医療型児童発達支援・放課後等デイサービスの満足度	問 19
	保育所等訪問支援・居宅訪問型児童発達支援の満足度	問 20
	障害児相談支援の満足度	問 21
	通所サービス等の今後の利用意向	問 22
	通所サービス等を利用する際に重視すること	問 23
	通所サービス等以外で現在利用しているサービス	問 24
	地域子育て支援センター・つどいの広場・子育てサークル等の利用状況	問 25
地域子育て支援センター・つどいの広場・子育てサークル等を現在利用していない理由	問 25-1	
6 障害者手帳	障害者手帳の所有状況	問 26
	所有している障害者手帳の種類	問 26-1
	障害者手帳を持っていない理由	問 26-2
7 医療機関での診断	医療機関の診断状況	問 27
	診断を受けたときの年齢	問 27-1
8 子育て支援や障害福祉サービス等	子育て支援や障害福祉サービス等の認知度・利用意向	問 28
	いばらきっ子ファイルの活用状況	問 29
	いばらきっ子ファイルを活用していない理由	問 29-1
	いばらきっ子ファイルの改善点	問 30
	話し合いや情報の共有等の状況	問 31
	今までに参加した学習会や研修会等	問 32
	子どもに関する悩みごとの内容	問 33
9 自由意見		問 34

3 調査設計及び回収結果

●身体・知的・精神障害者

調査対象	身体障害者手帳もしくは療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方
調査方法	郵送配布、郵送及びWeb回収
調査期間	令和4年（2022年）10月31日～11月22日
配布数	1,800人
有効回答数	1,074人（郵送：868人、Web：206人）
有効回答率	59.7%

●精神障害者（入院患者）

調査対象	精神科病院に入院されている方
調査方法	直接配布、直接回収
調査期間	令和4年（2022年）10月31日～11月22日
配布数	300人
有効回答数	52人
有効回答率	17.3%

●就労支援事業所利用者

調査対象	市内の就労支援事業所に通われている方
調査方法	郵送配布、郵送及びWeb回収
調査期間	令和4年（2022年）10月31日～11月22日
配布数	400人
有効回答数	271人（郵送：242人、Web：29人）
有効回答率	67.8%

●障害児通所支援等利用者

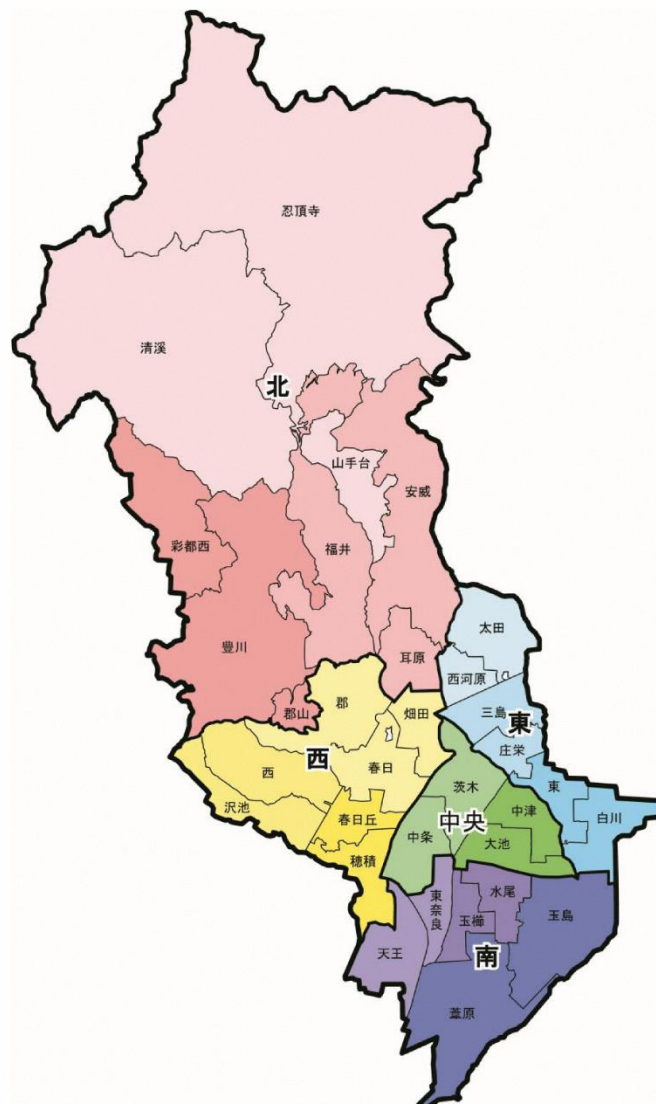
調査対象	障害児通所支援等を利用している方
調査方法	郵送配布、郵送及びWeb回収
調査期間	令和4年（2022年）10月31日～11月22日
配布数	500人
有効回答数	328人（郵送：193人、Web：135人）
有効回答率	65.6%

4

報告書の見方

- 図中の n (Number of case) は、設問に対する回答者数のことである。
- 回答比率 (%) は回答者数 (n) を 100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して表示した。
四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがある。また、一人の対象者に複数の回答を求める設問では、回答比率 (%) の計は 100.0%を超える。
- 図表中の「MA%」(Multiple Answer の略) という表示は、複数回答形式の設問 (回答選択肢の中から「〇はいくつでも」選択する形式の設問) である。
- 回答者数 (n) が 30 人未満の場合、母数が少ないことから一概に適正な比率とは言えないため注意が必要である。
- 「第3章 精神障害者 (入院患者) 調査の結果」については、回答率が低いことから、対象全体の傾向を反映しているとは評価できないため、参考資料として取り扱います。
- 日常生活圏域とは、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続しながら、多様なサービスが受けられるよう、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、介護サービスを提供するための施設の整備状況等を総合的に勘案して定める区域のことです。茨木市では、32の小学校区を5つの日常生活圏域に設定しています。

エリア	圏域	
清溪 忍頂寺 山手台	北	
安威 耳原 福井		
豊川 郡山 彩都西		
太田 西河原		東
三島 庄栄		
東 白川		
郡 畑田 春日		西
沢池 西		
穂積 春日丘		
茨木 中条	中央	
大池 中津		
天王 東奈良		南
水尾 玉櫛		
玉島		
葦原		



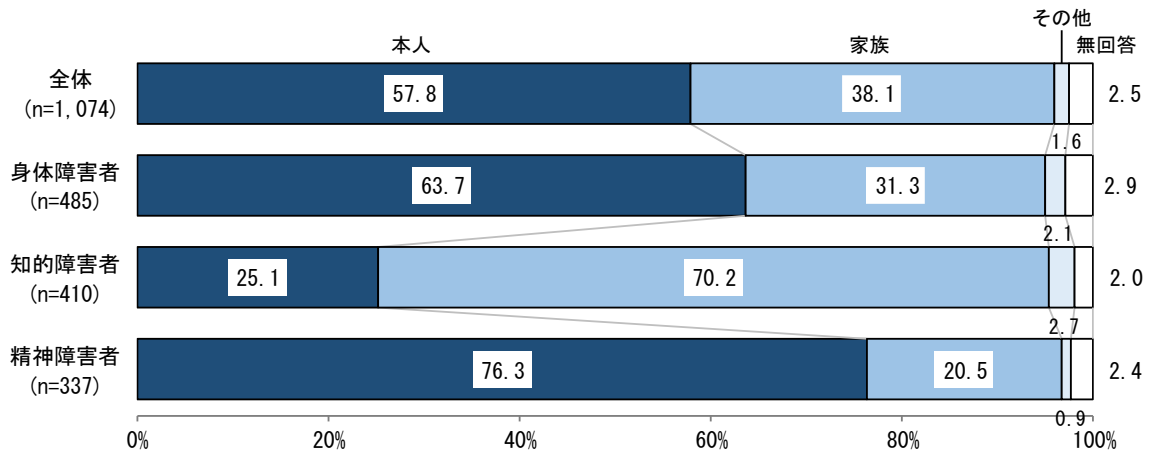
第2章 身体・知的・精神障害者調査の結果

このアンケートをご記入いただく方についてお答えください。

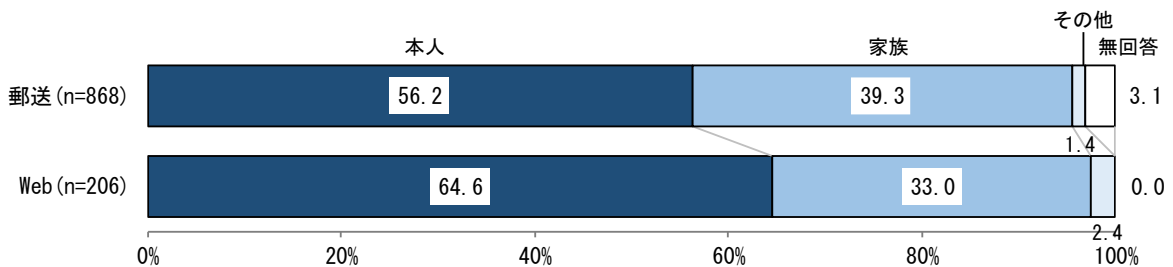
○は1つだけ

アンケートの記入者について、「本人」が57.8%で最も多く、次いで「家族」が38.1%、「その他」が1.6%となっており、「その他」の内容として「施設職員」「生活支援員」「入所施設相談員」がありました。

障害種別でみると、「身体障害者」では「本人」が63.7%で最も多く、「知的障害者」では「家族」が70.2%で最も多く、「精神障害者」では「本人」が76.3%で最も多くなっています。

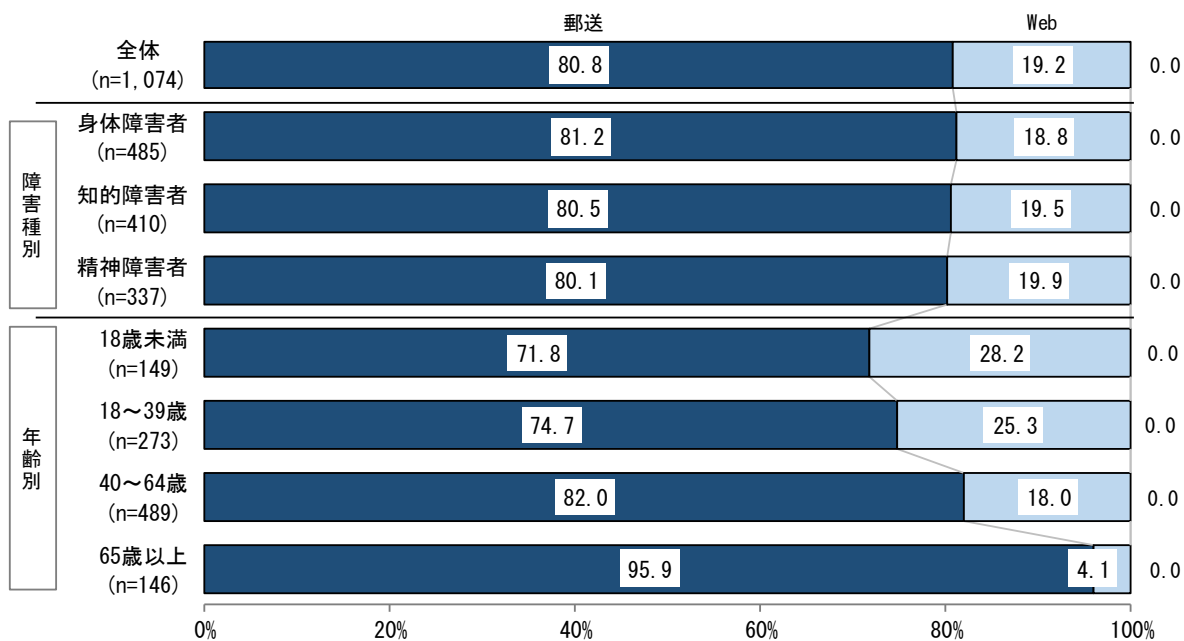


調査方法別でみると、「郵送」では「本人」が56.2%で最も多く、次いで「家族」が39.3%、「その他」が1.4%、「Web」では「本人」が64.6%で最も多く、次いで「家族」が33.0%、「その他」が2.4%となっています。



第2章 身体・知的・精神障害者調査の結果

なお、調査方法については、「郵送」が60.8%、「Web」が19.2%となっています。障害種別でみると、「Web」では「精神障害者」が19.9%で最も多く、年齢別でみると、年齢が低いほど「Web」の割合が高くなっています。





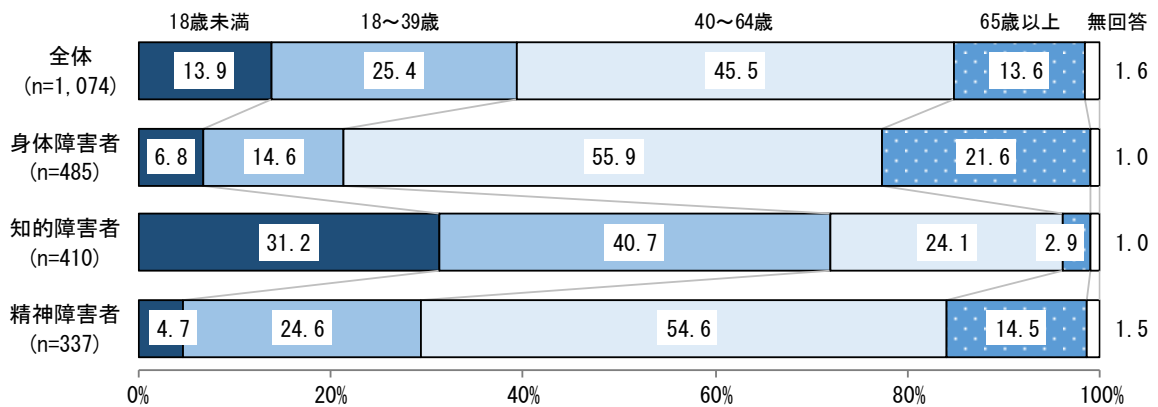
対象者の属性

(1) 年齢

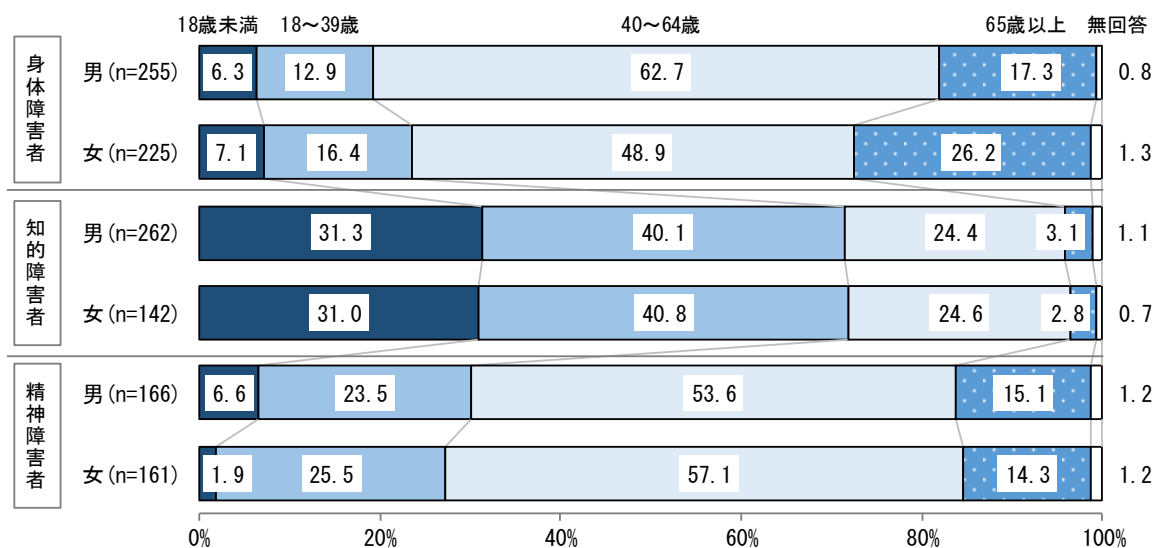
問1	あなたの年齢は。	数値記入
----	----------	------

年齢について、「40～64歳」が45.5%で最も多く、次いで「18～39歳」が25.4%、「18歳未満」が13.9%となっています。

障害種別でみると、「身体障害者」では「40～64歳」が55.9%で最も多く、「知的障害者」では「18～39歳」が40.7%で最も多く、「精神障害者」では「40～64歳」が54.6%で最も多くなっています。



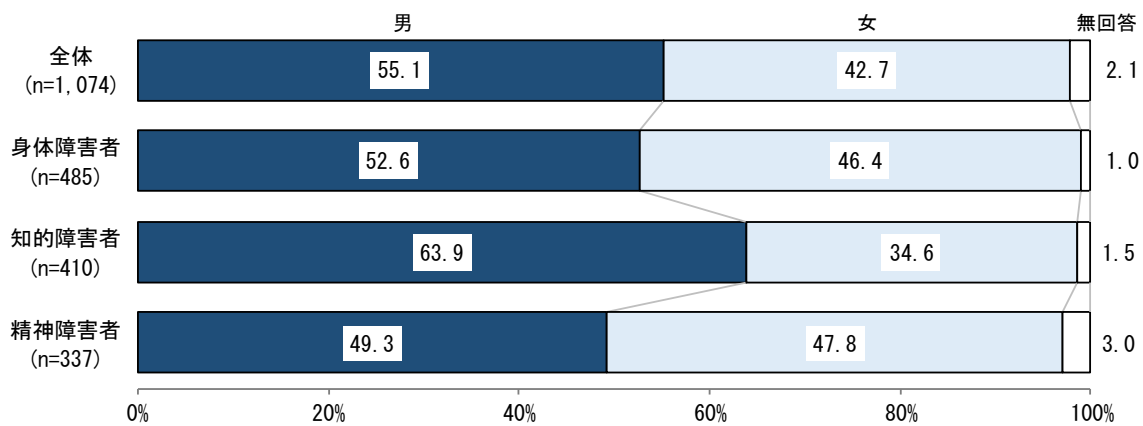
障害種別及び性別でみると、「身体障害者」の「男」では「40～64歳」が62.7%で最も多く、「身体障害者」の「女」では「40～64歳」が48.9%で最も多く、「知的障害者」の「男」では「18～39歳」が40.1%で最も多く、「知的障害者」の「女」では「18～39歳」が40.8%で最も多く、「精神障害者」の「男」では「40～64歳」が53.6%で最も多く、「精神障害者」の「女」では「40～64歳」が57.1%で最も多くなっています。



(2) 性別

問2	あなたの身体上の性別は。	○は任意
-----------	--------------	------

身体上の性別について、「男」が55.1%、「女」が42.7%となっています。

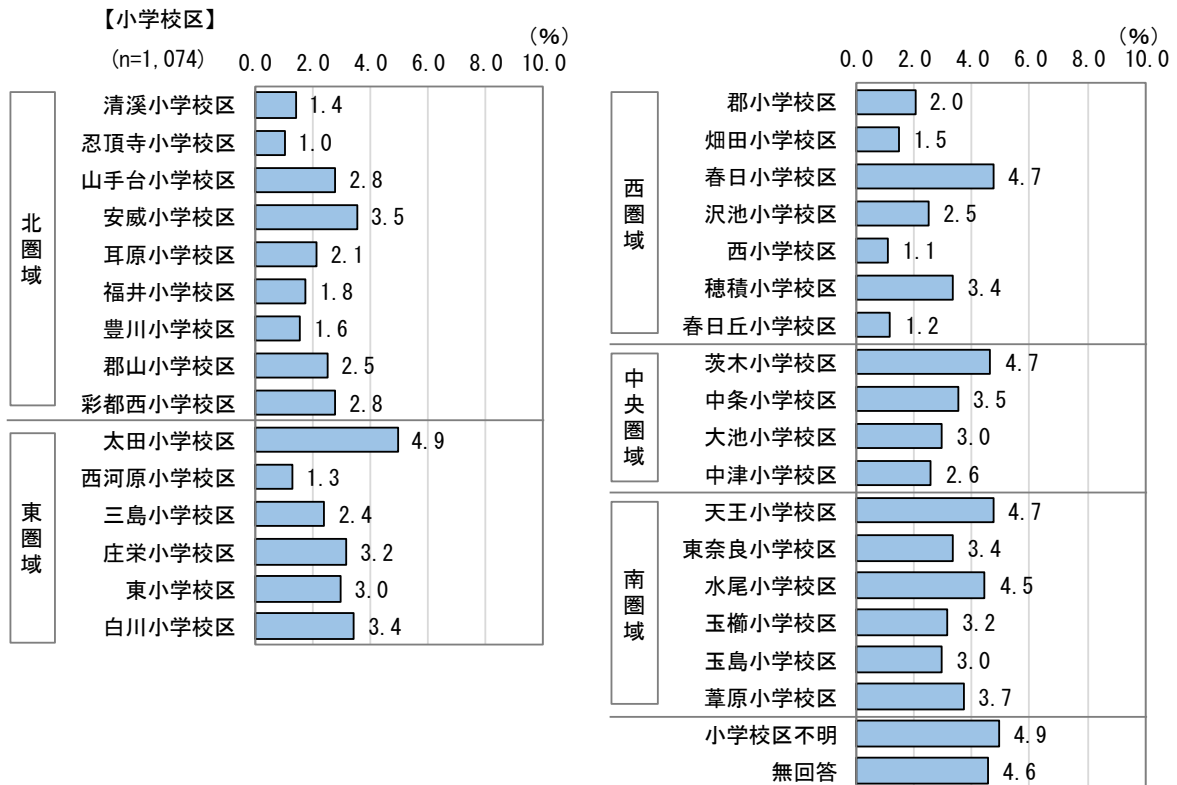
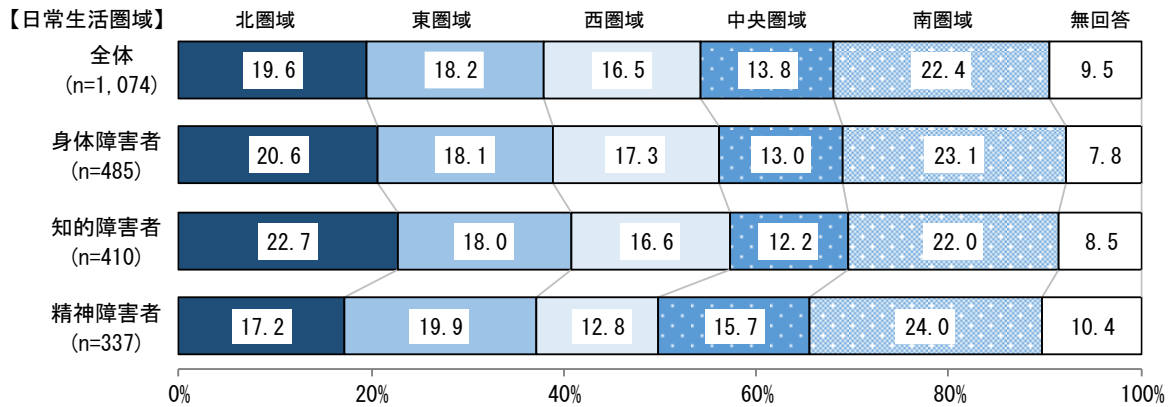


(3) 居住地

問3	あなたのお住まいの町名をご記入ください。	記述
-----------	----------------------	----

居住地について、日常生活圏域別（以下「圏域別」という。8ページ参照）でみると、「南圏域」が22.4%で最も多く、次いで「北圏域」が19.6%、「東圏域」が18.2%となっています。

日常生活圏域を障害種別でみると、「身体障害者」では「南圏域」が23.1%で最も多く、「知的障害者」では「北圏域」が22.7%で最も多く、「精神障害者」では「南圏域」が24.0%で最も多くなっています。

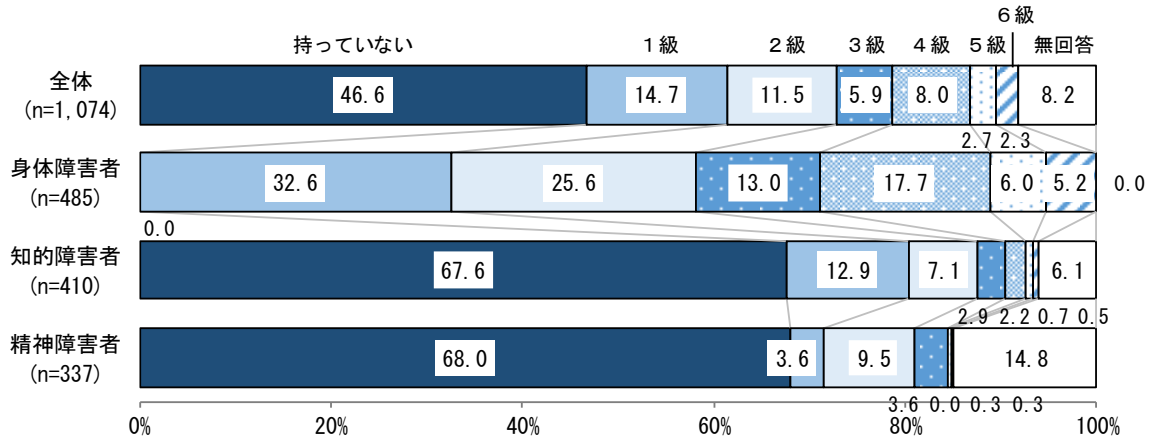


(4) 身体障害者手帳の有無、また、総合等級

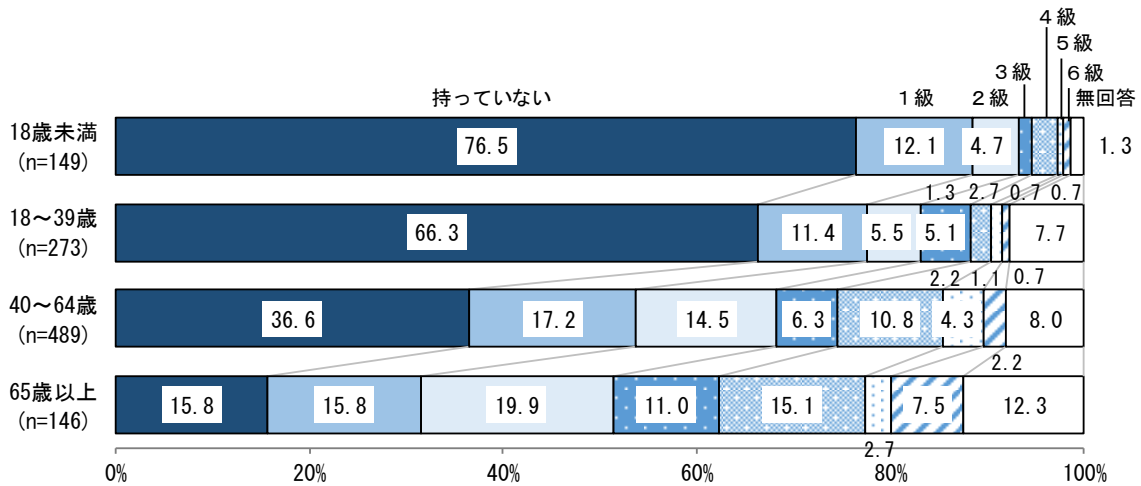
問4 身体障害者手帳をお持ちですか。お持ちの場合、総合等級は何級ですか。 ○は1つだけ

身体障害者手帳の有無及び総合等級について、「持っていない」が46.6%で最も多く、次いで「1級」が14.7%、「2級」が11.5%となっています。

障害種別でみると、「身体障害者」では「1級」が32.6%で最も多く、「知的障害者」では「持っていない」が67.6%で最も多く、「精神障害者」では「持っていない」が68.0%で最も多くなっています。



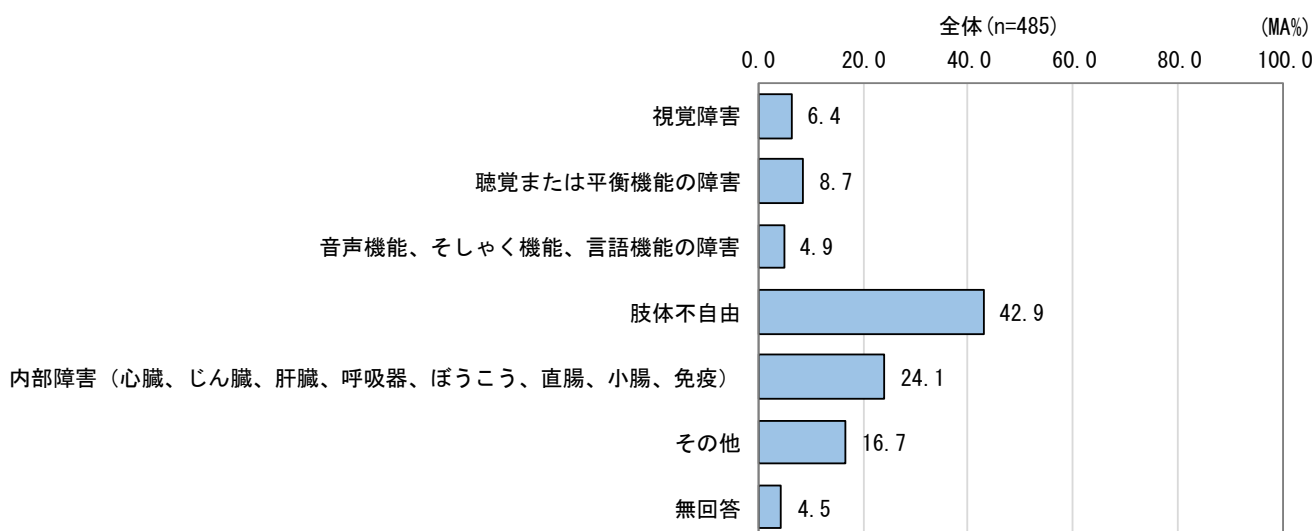
年齢別でみると、『持っている』（「1級」「2級」「3級」「4級」「5級」「6級」の合計）では「65歳以上」が72.0%で最も多く、次いで「40～64歳」が55.3%、「18～39歳」が26.0%となっています。



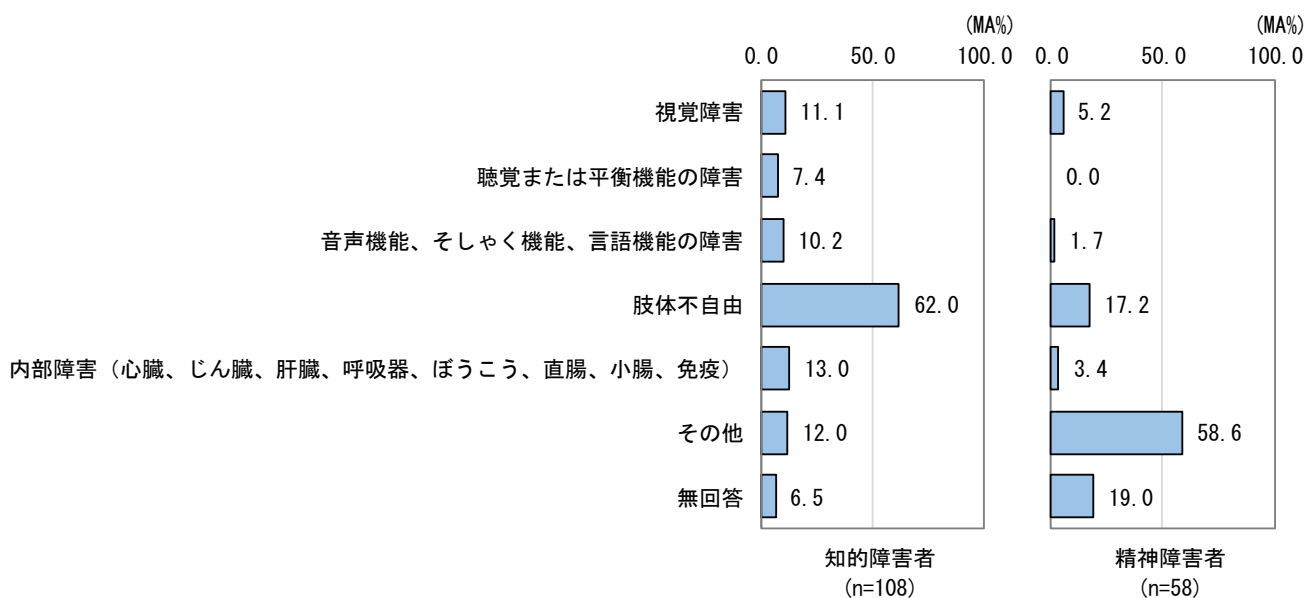
(5) 身体障害の種類

問4-1	身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。身体障害者手帳に記載されている障害名をお答えください。	○はいくつでも
------	---	---------

身体障害者手帳を持っている人に、身体障害者手帳に記載されている障害名についてたずねたところ、「肢体不自由」が42.9%で最も多く、次いで「内部障害（心臓、じん臓、肝臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、免疫）」が24.1%、「その他」が16.7%となっており、「その他」の内容として「関節機能の障害」「体幹機能の障害」などがありました。



障害種別でみると、「知的障害者」では「肢体不自由」が62.0%で最も多く、「精神障害者」では「その他」が58.6%で最も多くなっています。



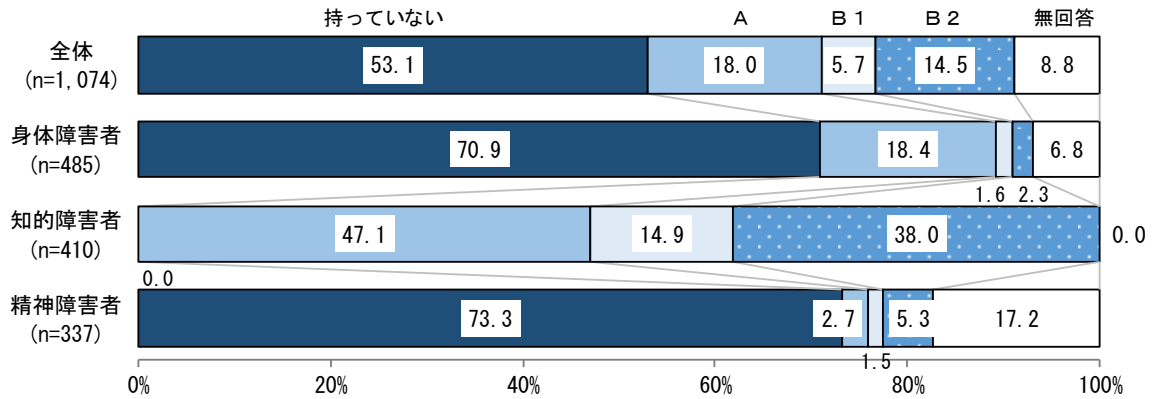
(6) 療育手帳の有無、また、判定

問5 療育手帳をお持ちですか。お持ちの場合、療育手帳の判定は何ですか。

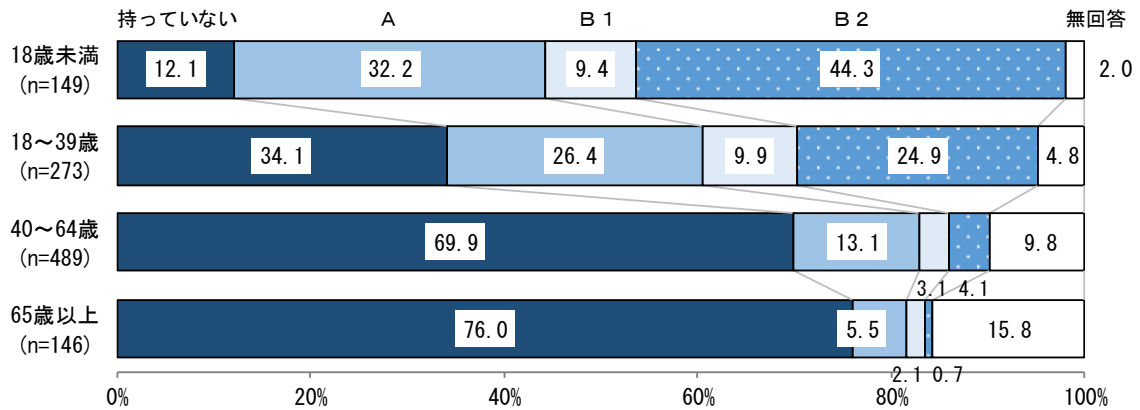
○は1つだけ

療育手帳の有無及び判定について、「持っていない」が53.1%で最も多く、次いで「A」が18.0%、「B2」が14.5%となっています。

障害種別でみると、「身体障害者」では「持っていない」が70.9%で最も多く、「知的障害者」では「A」が47.1%で最も多く、「精神障害者」では「持っていない」が73.3%で最も多くなっています。



年齢別でみると、『持っている』（「A」「B1」「B2」の合計）では「18歳未満」が85.9%で最も多く、次いで「18～39歳」が61.2%、「40～64歳」が20.3%となっています。

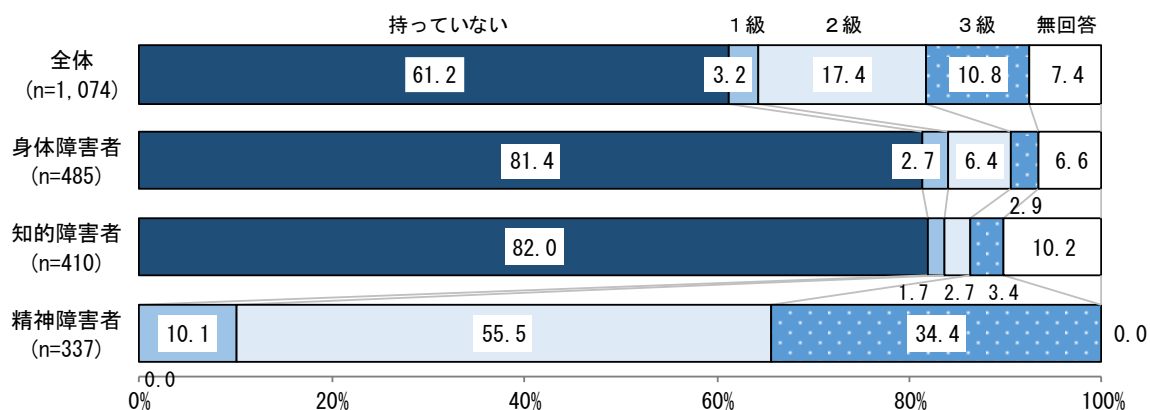


(7) 精神障害者保健福祉手帳の有無、また、等級

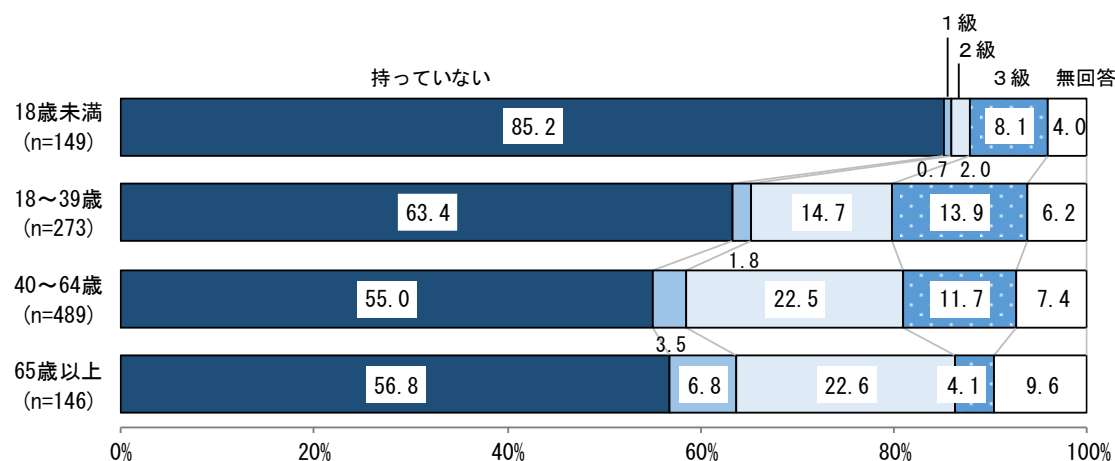
問6 精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。お持ちの場合、等級は何級ですか。 ○は1つだけ

精神障害者保健福祉手帳の有無及び等級について、「持っていない」が61.2%で最も多く、次いで「2級」が17.4%、「3級」が10.8%となっています。

障害種別でみると、「身体障害者」では「持っていない」が81.4%で最も多く、「知的障害者」では「持っていない」が82.0%で最も多く、「精神障害者」では「2級」が55.5%で最も多くなっています。



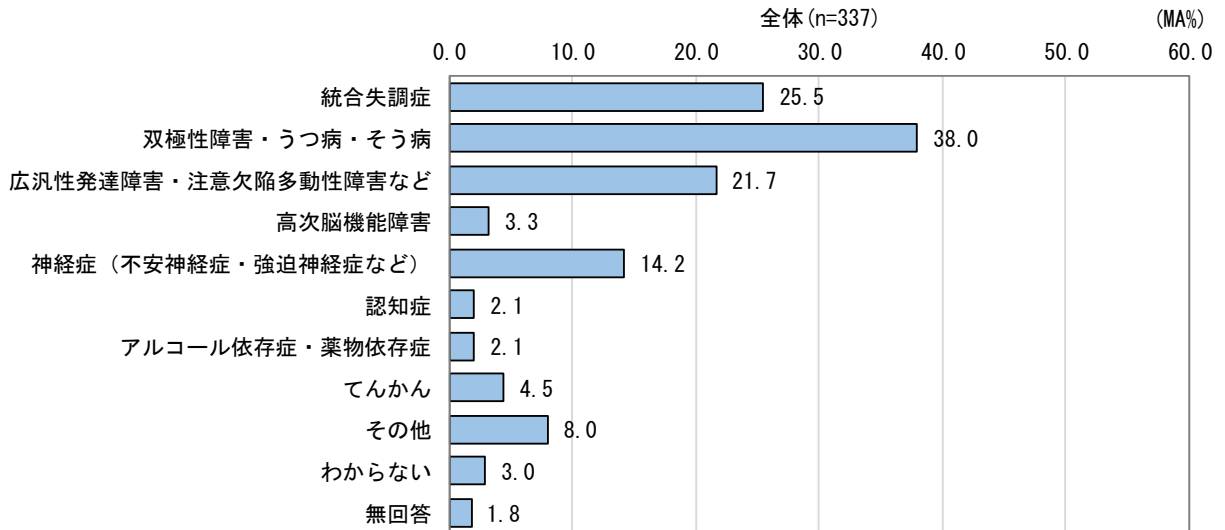
年齢別でみると、『持っている』（「1級」「2級」「3級」の合計）では「40～64歳」が37.7%で最も多く、次いで「65歳以上」が33.5%、「18～39歳」が30.4%となっています。



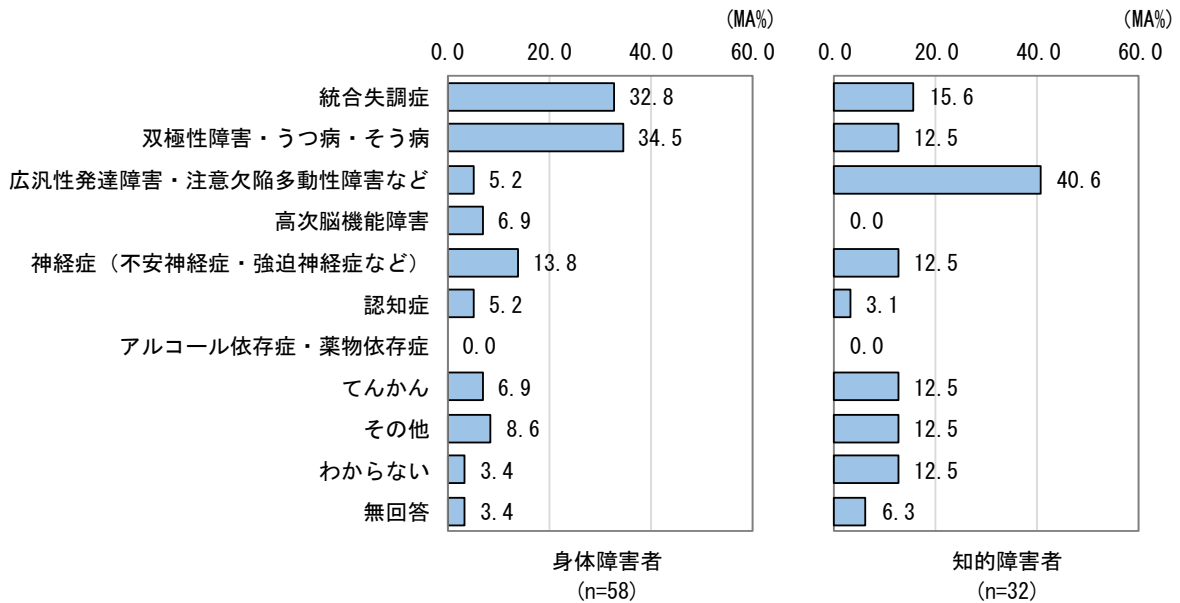
(8) 精神疾患の内容

問6-1 精神疾患のある方におたずねします。主治医に診断されている内容についてあてはまるものに○をつけてください。 ○はいくつでも

精神障害者保健福祉手帳を持っている人に、主治医に診断されている内容についてたずねたところ、「双極性障害・うつ病・そう病」が38.0%で最も多く、次いで「統合失調症」が25.5%、「広汎性発達障害・注意欠陥多動性障害など」が21.7%となっており、「その他」の内容として「解離性障害」「発達障害」「摂食障害」などがありました。



障害種別でみると、「身体障害者」では「双極性障害・うつ病・そう病」が34.5%で最も多く、「知的障害者」では「広汎性発達障害・注意欠陥多動性障害など」が40.6%で最も多くなっています。



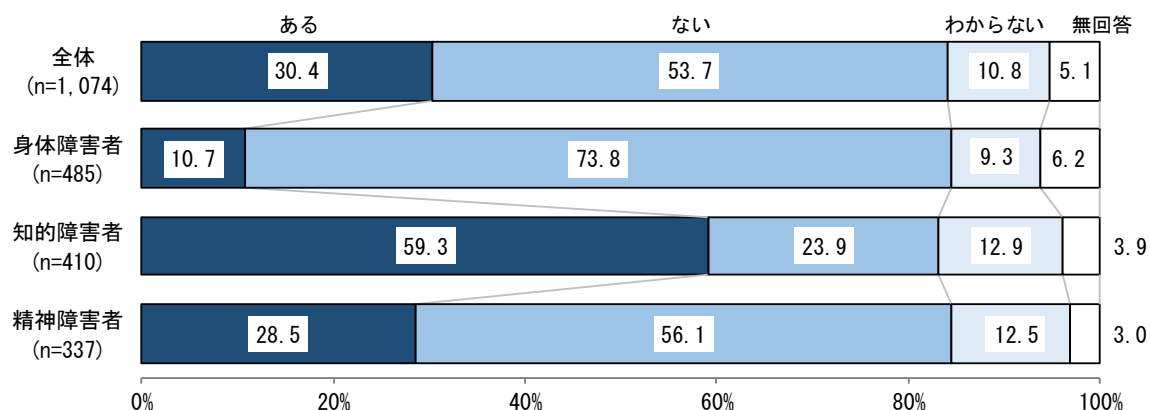
(9) 発達障害の有無

問7 あなたは、発達障害と診断されたことがありますか。

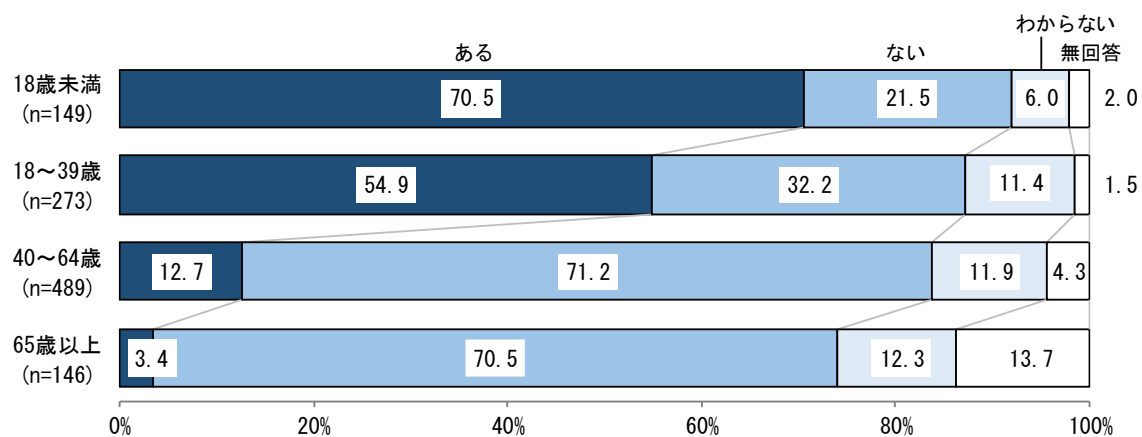
○は1つだけ

発達障害と診断されたことがあるかについて、「ない」が53.7%で最も多く、次いで「ある」が30.4%、「わからない」が10.8%となっています。

障害種別でみると、「身体障害者」では「ない」が73.8%で最も多く、「知的障害者」では「ある」が59.3%で最も多く、「精神障害者」では「ない」が56.1%で最も多くなっています。



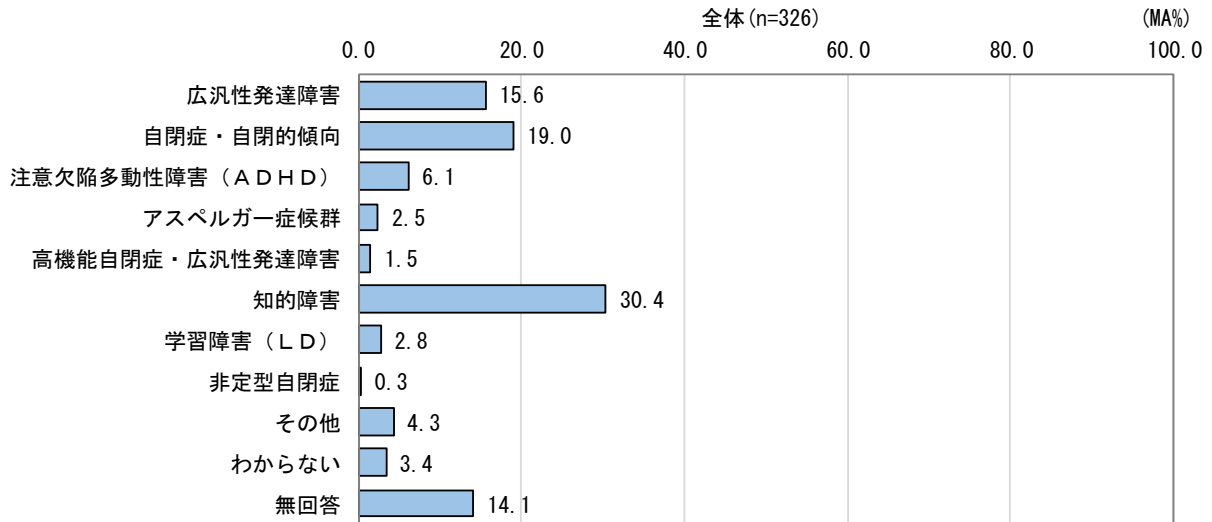
年齢別でみると、「ある」では「18歳未満」が70.5%で最も多く、次いで「18～39歳」が54.9%、「40～64歳」が12.7%となっています。



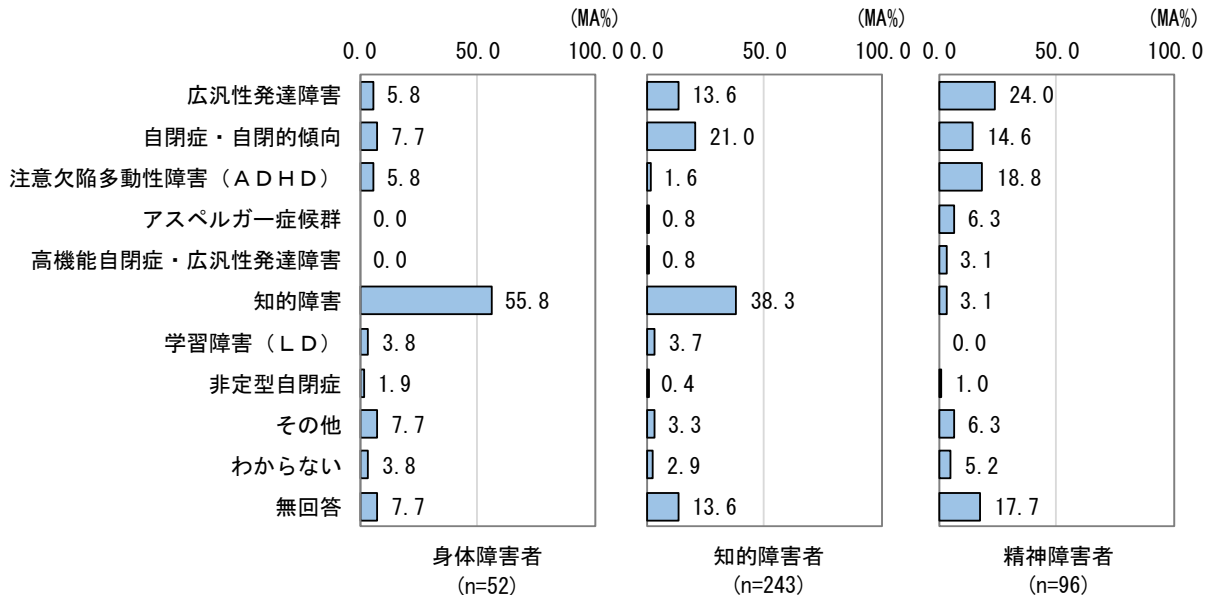
(10) 診断されている発達障害の疾病

問7-1 問7で「ある」と回答した方におたずねします。主治医の先生に診断されている主な疾病名に○をつけてください。 ○は1つだけ

発達障害と診断されたことがある人に、主治医の先生に診断されている主な疾病名についてたずねたところ、「知的障害」が30.4%で最も多く、次いで「自閉症・自閉的傾向」が19.0%、「広汎性発達障害」が15.6%となっており、「その他」の内容として「自閉症スペクトラム障害」などがありました。



障害種別でみると、「身体障害者」では「知的障害」が55.8%で最も多く、「知的障害者」では「知的障害」が38.3%で最も多く、「精神障害者」では「広汎性発達障害」が24.0%で最も多くなっています。



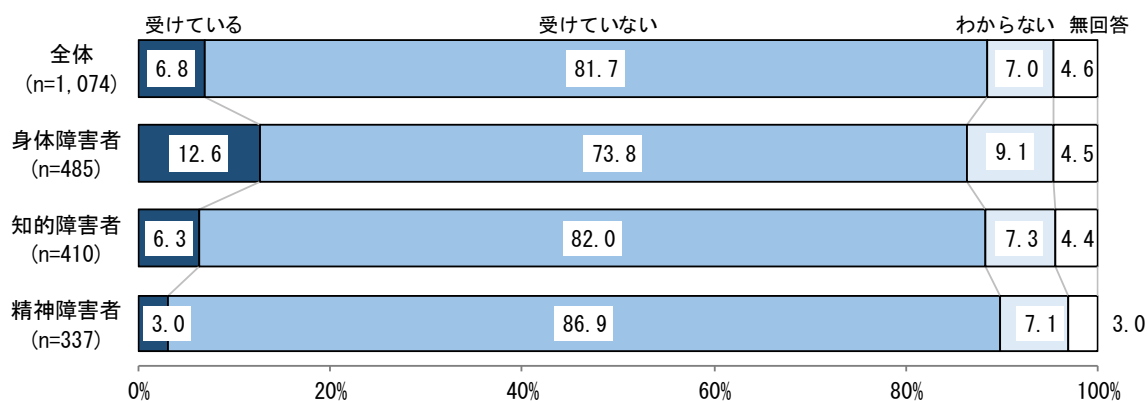
(11) 難病認定の有無

問8 あなたは、難病の認定を受けていますか。

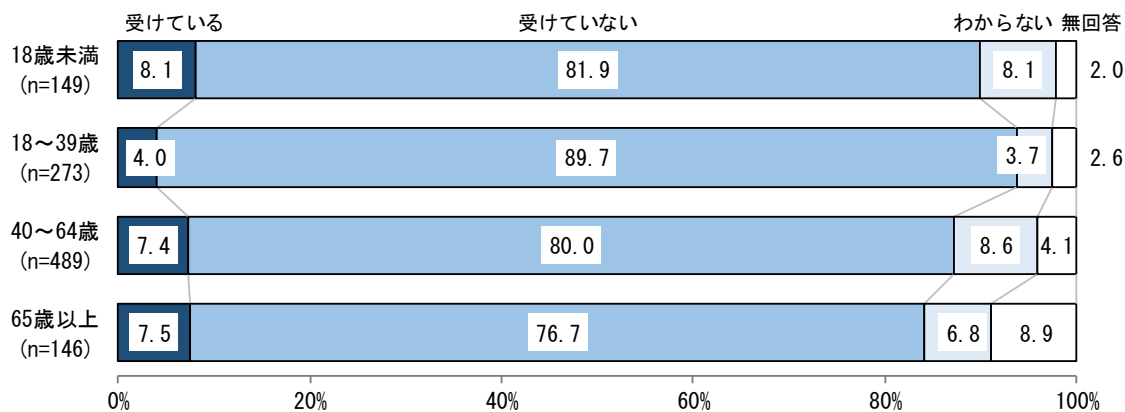
○は1つだけ

難病の認定を受けているかについて、「受けていない」が81.7%で最も多く、次いで「わからない」が7.0%、「受けている」が6.8%となっています。

障害種別でみると、「受けている」では、「身体障害者」が12.6%、「知的障害者」が6.3%、「精神障害者」が3.0%となっています。



年齢別でみると、「受けている」では「18歳未満」が8.1%で最も多く、次いで「65歳以上」が7.5%、「40～64歳」が7.4%となっています。

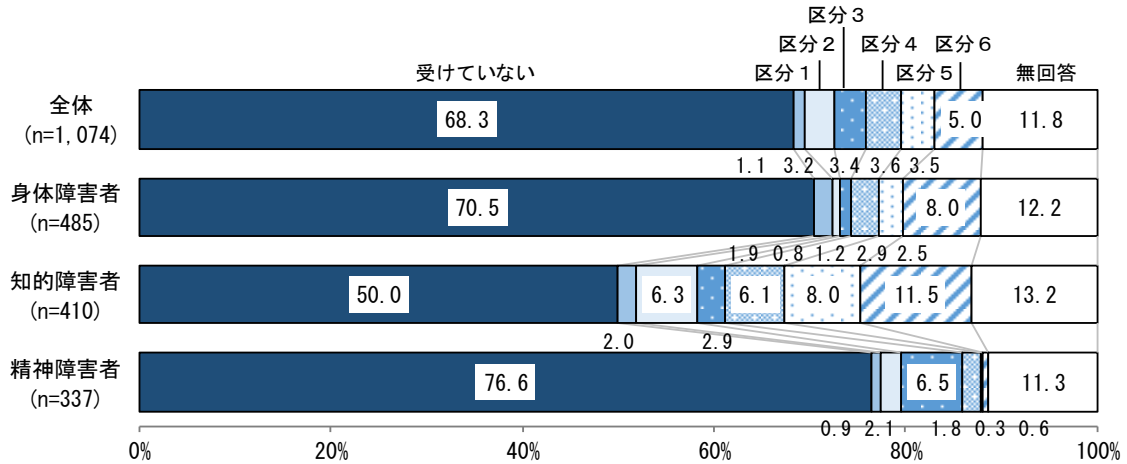


(12) 障害支援区分の認定状況

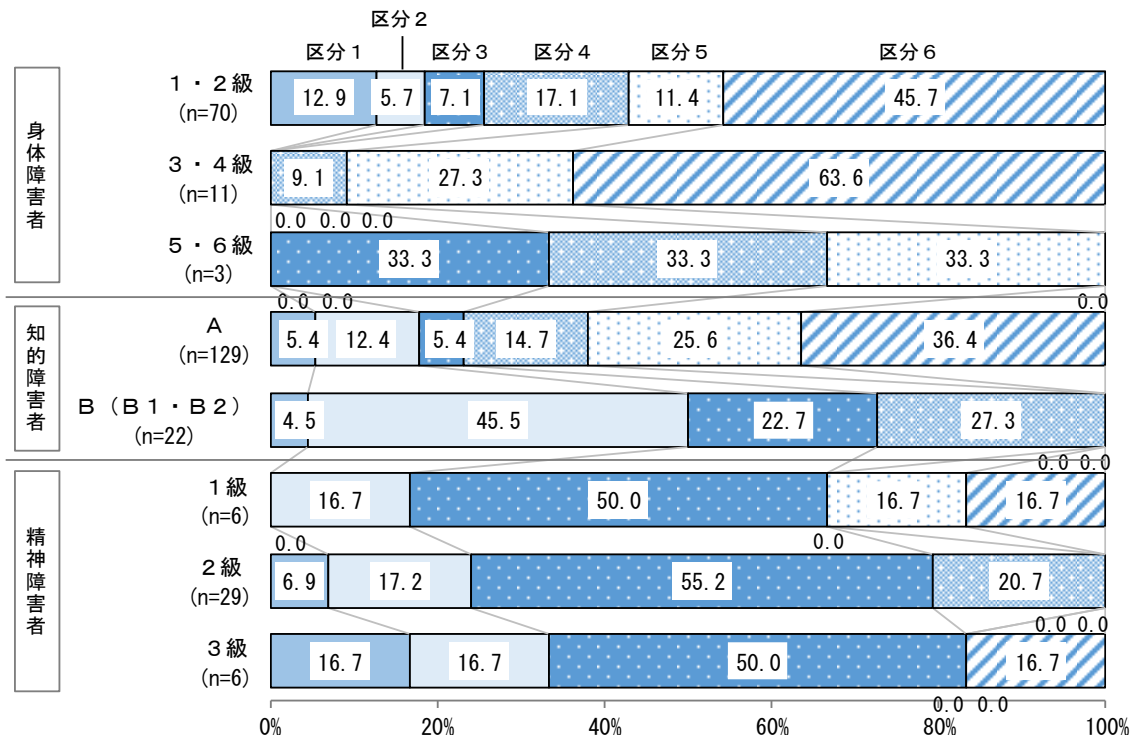
問9 障害支援区分認定についておたずねします。あなたは、障害支援区分認定を受けていますか。 ○は1つだけ

障害支援区分の認定状況について、「受けていない」が68.3%で最も多く、次いで「区分6」が5.0%、「区分4」が3.6%となっています。

障害種別でみると、『受けている』（「区分1」「区分2」「区分3」「区分4」「区分5」「区分6」の合計）では、「身体障害者」が17.3%、「知的障害者」が36.8%、「精神障害者」が12.2%となっています。



障害支援区分認定を受けている人を障害者手帳の等級・判定別でみると、「身体障害者」では「1・2級」で「区分6」が45.7%で最も多く、「3・4級」で「区分6」が63.6%で最も多く、「知的障害者」では「A」で「区分6」が36.4%で最も多く、「B（B1・B2）」で「区分2」が45.5%で最も多く、「精神障害者」では「1級」で「区分3」が50.0%で最も多く、「2級」で「区分3」が55.2%で最も多く、「3級」で「区分3」が50.0%で最も多くなっています。



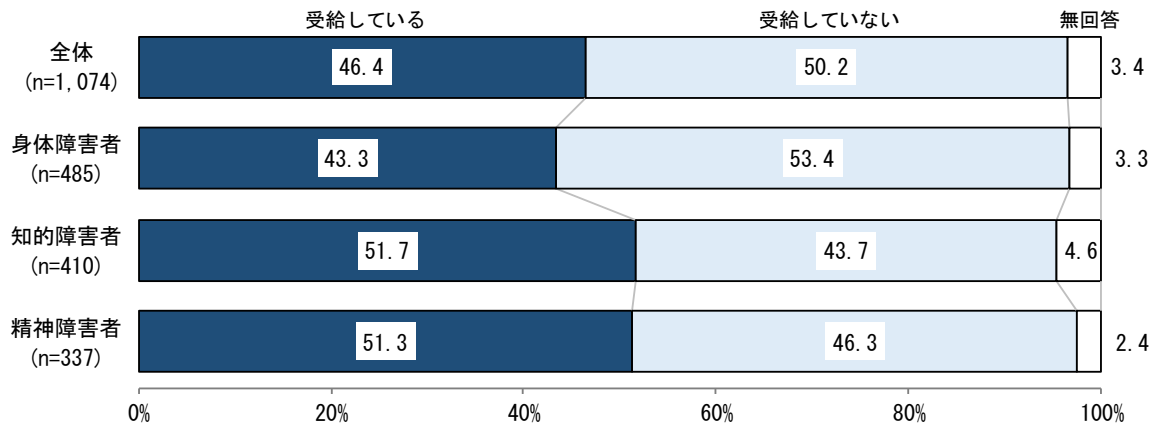
(13) 障害年金の受給状況

問 10 障害年金を受給していますか。

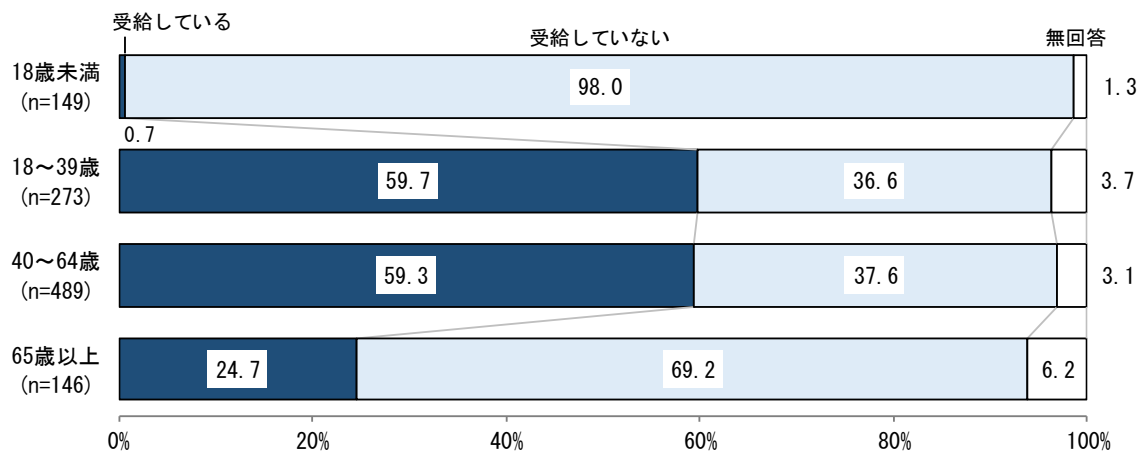
○は1つだけ

障害年金の受給状況について、「受給している」が46.4%、「受給していない」が50.2%となっています。

障害種別でみると、「受給している」では、「身体障害者」が43.3%、「知的障害者」が51.7%、「精神障害者」が51.3%となっています。



年齢別でみると、「受給している」では「18～39歳」が59.7%で最も多く、次いで「40～64歳」が59.3%、「65歳以上」が24.7%となっています。

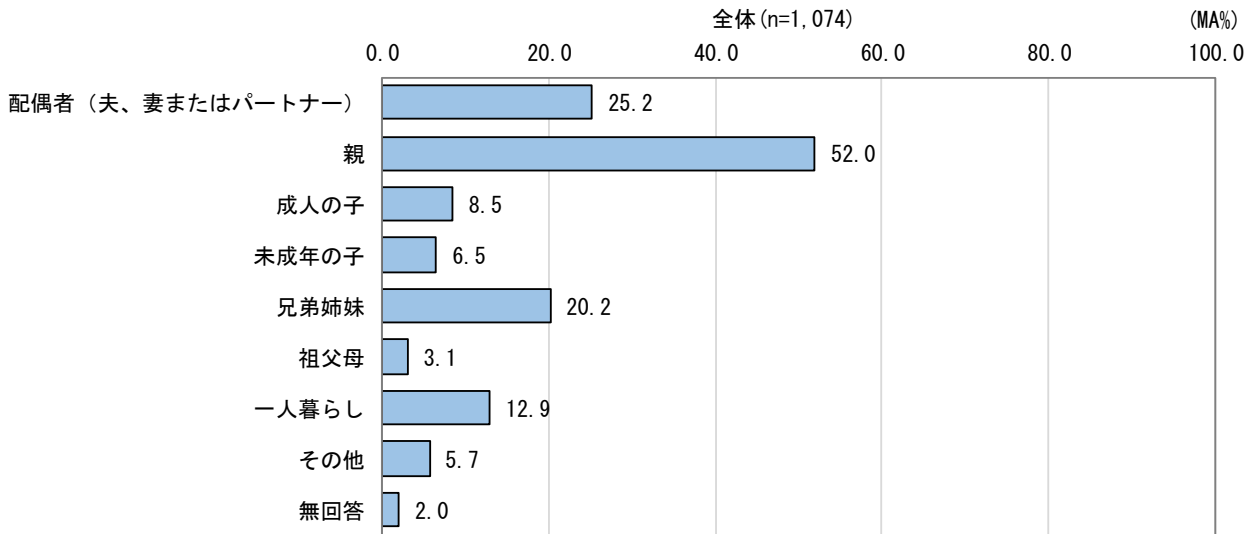


2 地域での暮らし方やふだんの生活

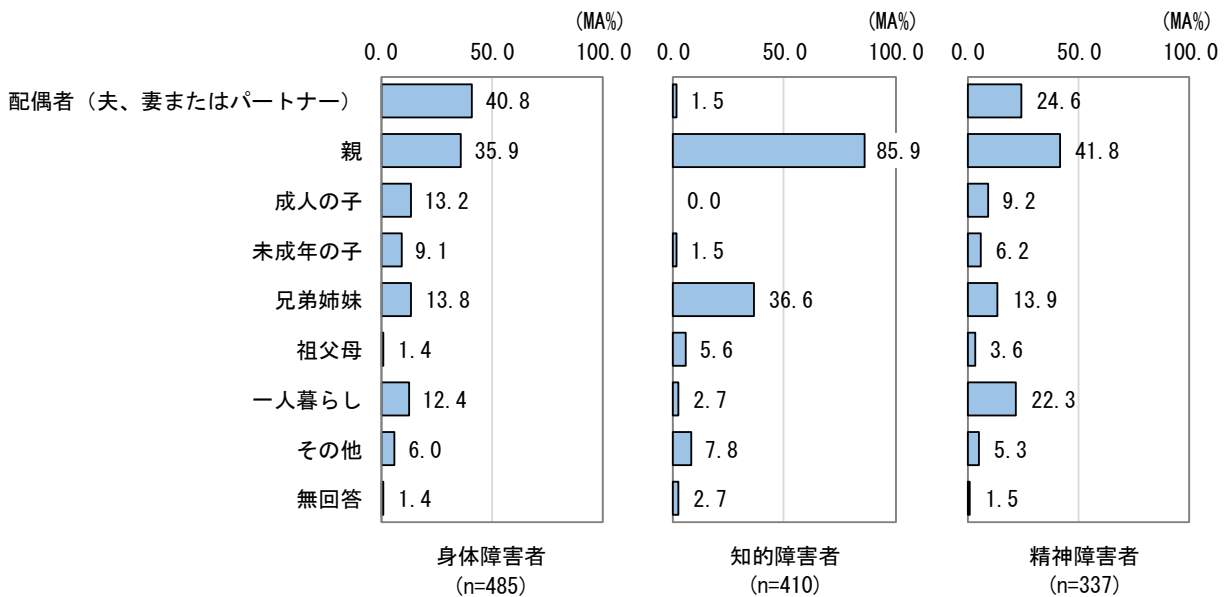
(1) 同居家族

問 11 あなたは、どなたと暮らしていますか。あなたからみた関係でお答えください。 ○はいくつでも

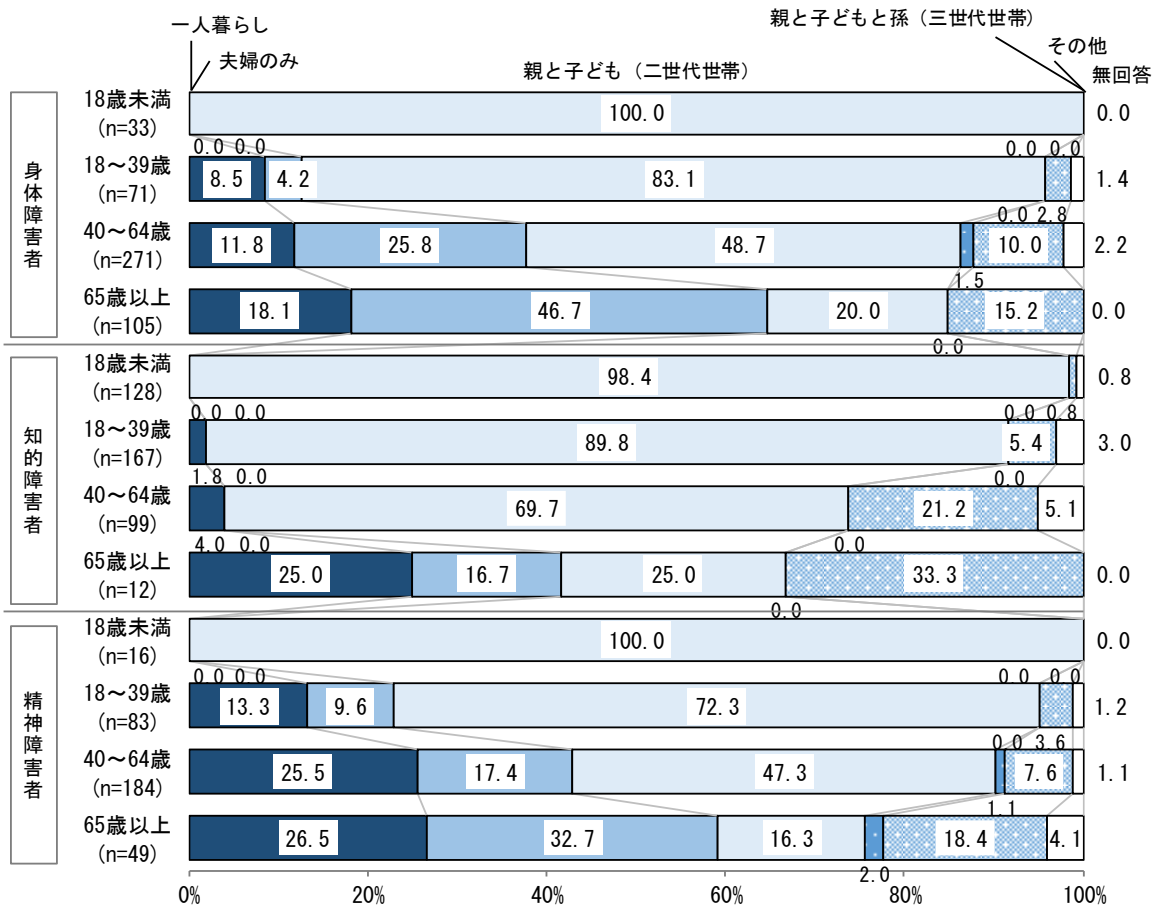
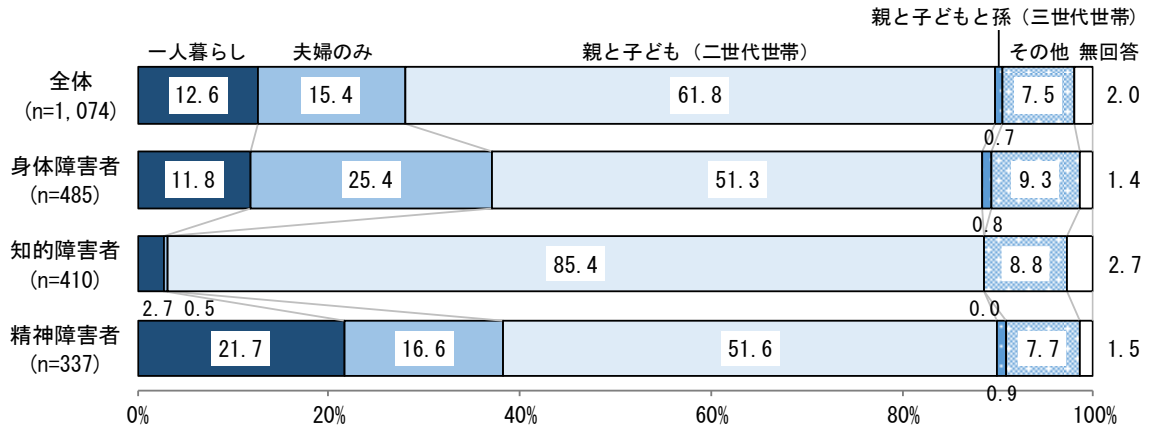
同居家族について、「親」が52.0%で最も多く、次いで「配偶者(夫、妻またはパートナー)」が25.2%、「兄弟姉妹」が20.2%となっており、「その他」の内容として「施設」「グループホーム」「病院」などがありました。



障害種別でみると、「身体障害者」では「配偶者(夫、妻またはパートナー)」が40.8%で最も多く、「知的障害者」では「親」が85.9%で最も多く、「精神障害者」では「親」が41.8%で最も多くなっています。



同居家族から家族構成をみると、「親と子ども（二世世代世帯）」が61.8%で最も多く、次いで「夫婦のみ」が15.4%、「一人暮らし」が12.6%となっており、障害種別でみると、いずれも「親と子ども（二世世代世帯）」が最も多く、「身体障害者」が51.3%、「知的障害者」が85.4%、「精神障害者」が51.6%となっています。

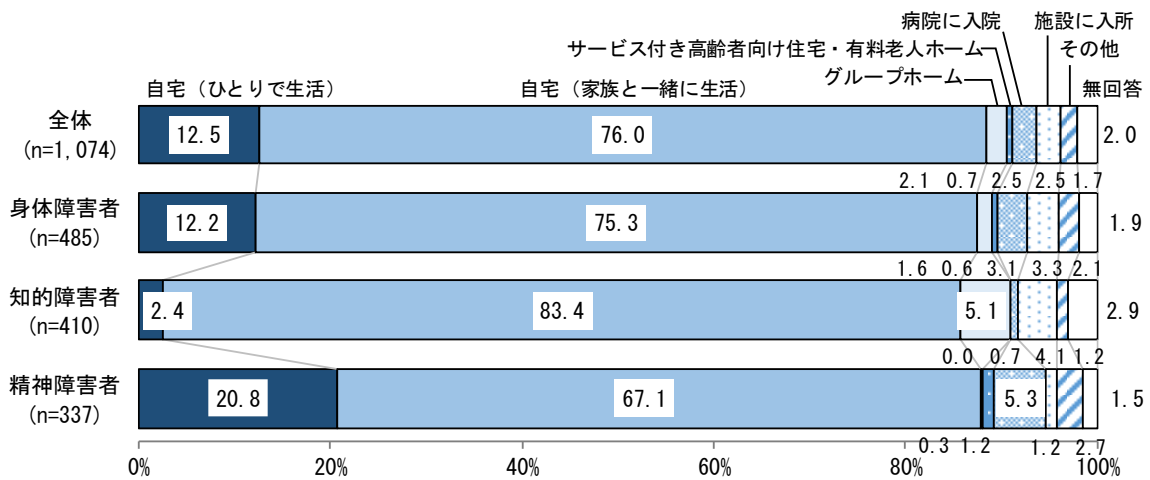


(2) 現在の生活場所

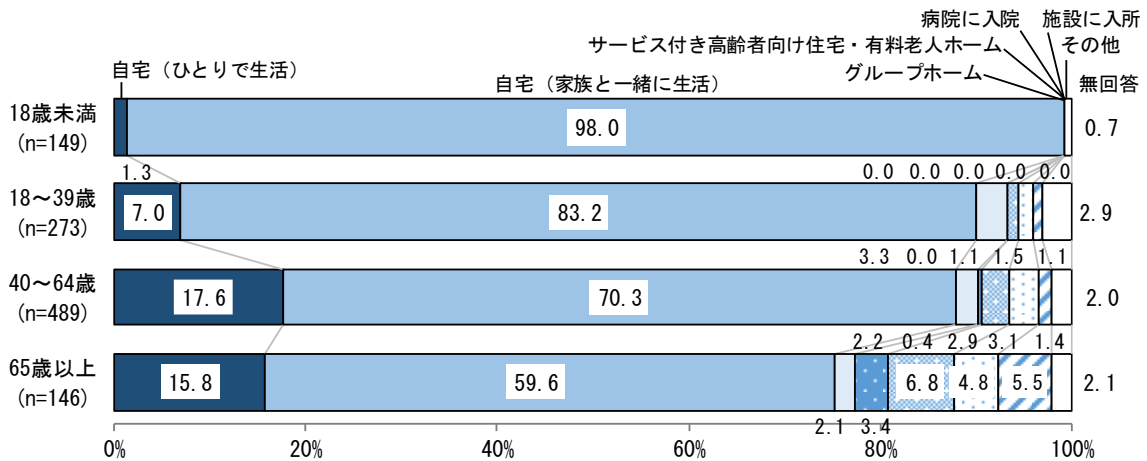
問 12 現在、生活している場所をお答えください。 ○は1つだけ

現在の生活場所について、「自宅（家族と一緒に生活）」が76.0%で最も多く、次いで「自宅（ひとりで生活）」が12.5%、「病院に入院」「施設に入所」が2.5%となっており、「その他」の内容として「マンション」「団地」「アパート」などがありました。

障害種別でみると、いずれも「自宅（家族と一緒に生活）」が最も多く、「身体障害者」が75.3%、「知的障害者」が83.4%、「精神障害者」が67.1%となっています。



年齢別でみると、いずれも「自宅（家族と一緒に生活）」が最も多く、「18歳未満」が98.0%、「18～39歳」が83.2%、「40～64歳」が70.3%、「65歳以上」が59.6%となっています。

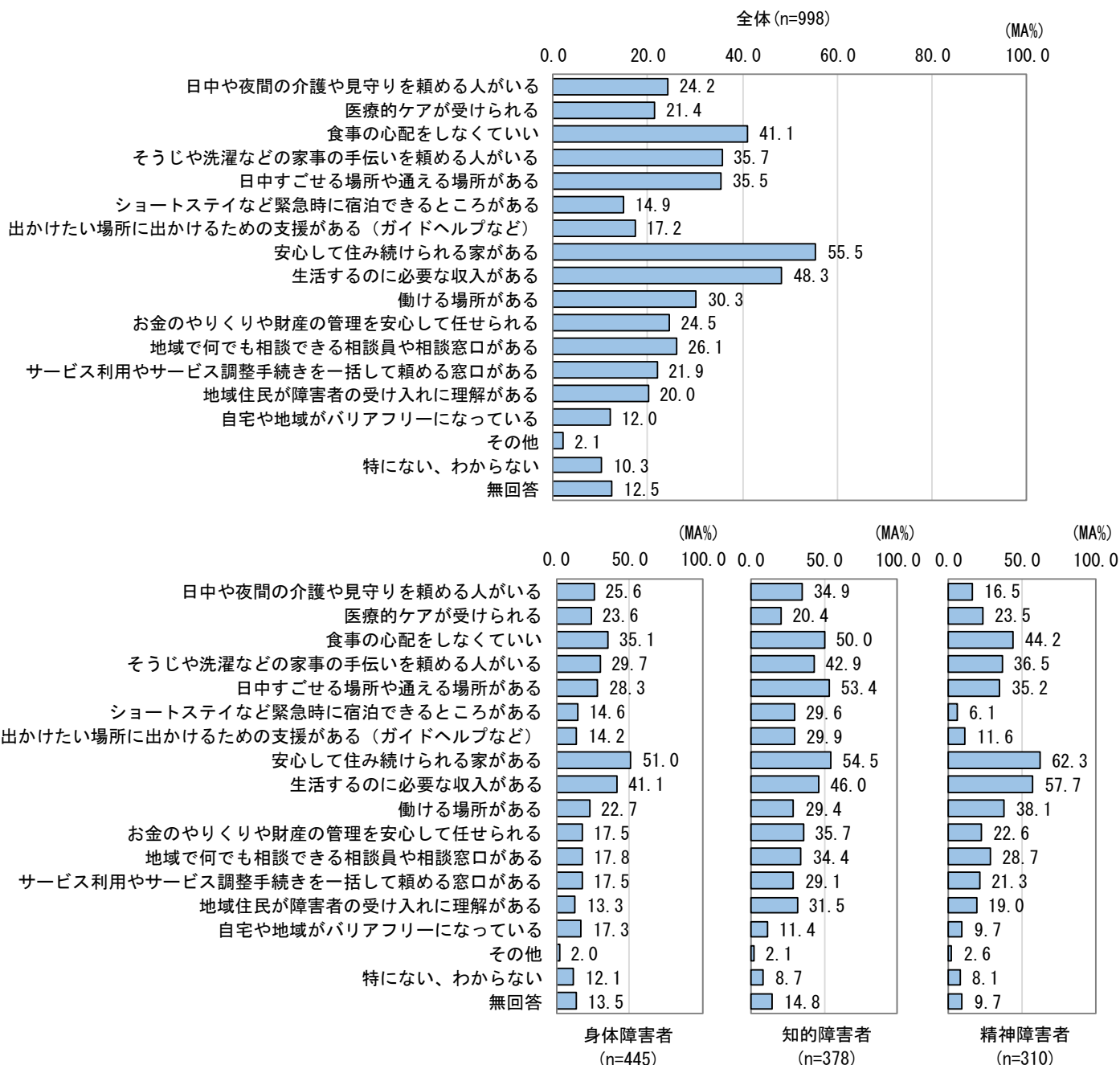


(3) 自宅やグループホーム等で生活するために必要なものなど

問12-1	問12で「自宅（ひとりで生活）」「自宅（家族と一緒に生活）」「グループホーム」「サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム」、または「その他」を回答した方は、「現在の生活をするために必要なもの」について、「病院に入院」「施設に入所」を回答した方は、「どのような条件がととのえば自宅やグループホーム等で生活できると思うか。」について教えてください。	○はいくつでも
-------	---	---------

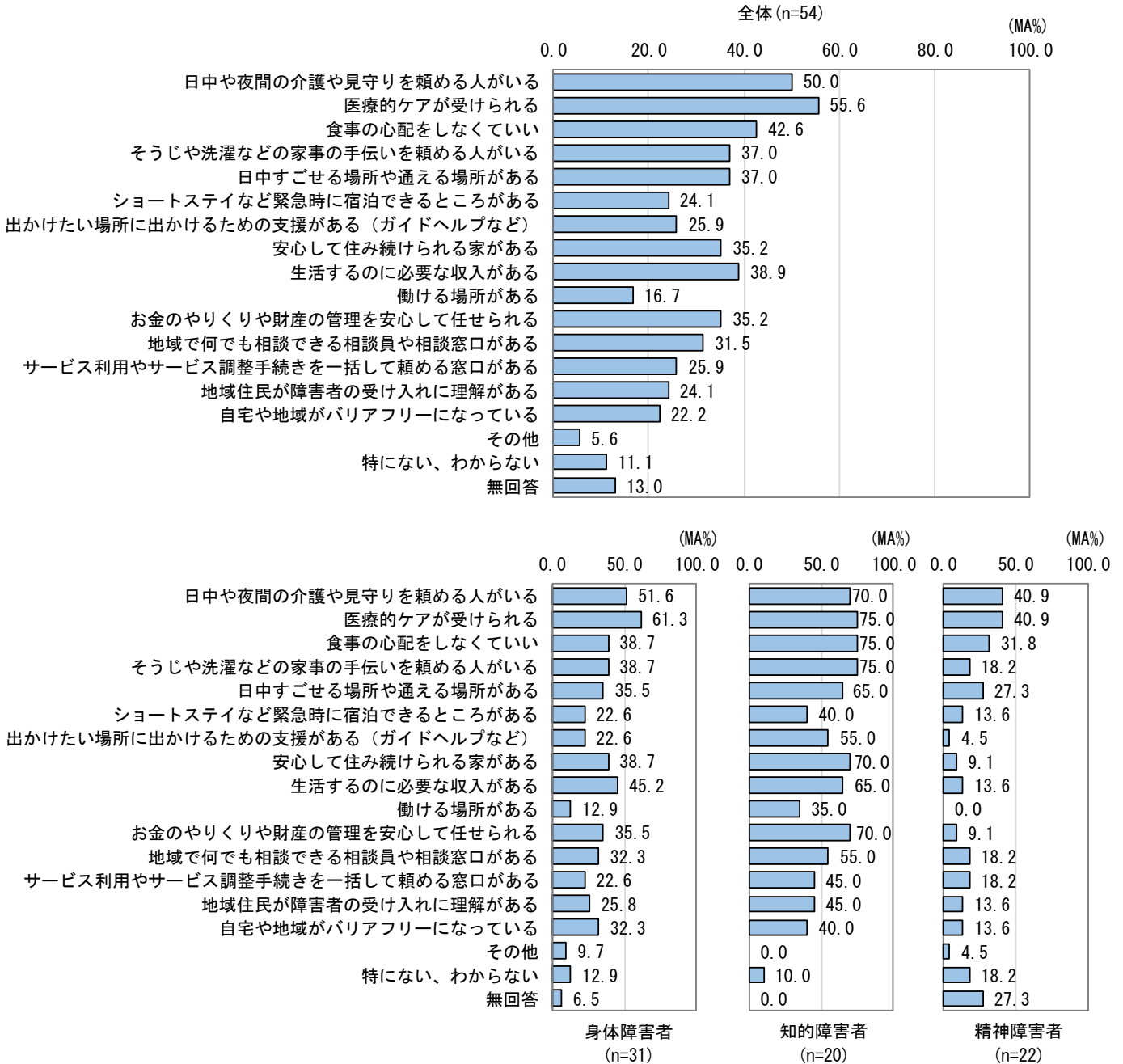
①現在の生活をするために必要なもの

自宅、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホームで生活している人に、現在の生活をするために必要なものについてたずねたところ、「安心して住み続けられる家がある」が55.5%で最も多く、次いで「生活するのに必要な収入がある」が48.3%、「食事の心配をしなくていい」が41.1%となっています。



②どのような条件が整えば自宅やグループホーム等で生活できると思うか

病院に入院、または施設に入所している人に、どのような条件が整えば自宅やグループホーム等で生活できると思うかについてたずねたところ、「医療的ケアが受けられる」が55.6%で最も多く、次いで「日中や夜間の介護や見守りを頼める人がいる」が50.0%、「食事の心配をしなくていい」が42.6%となっています。

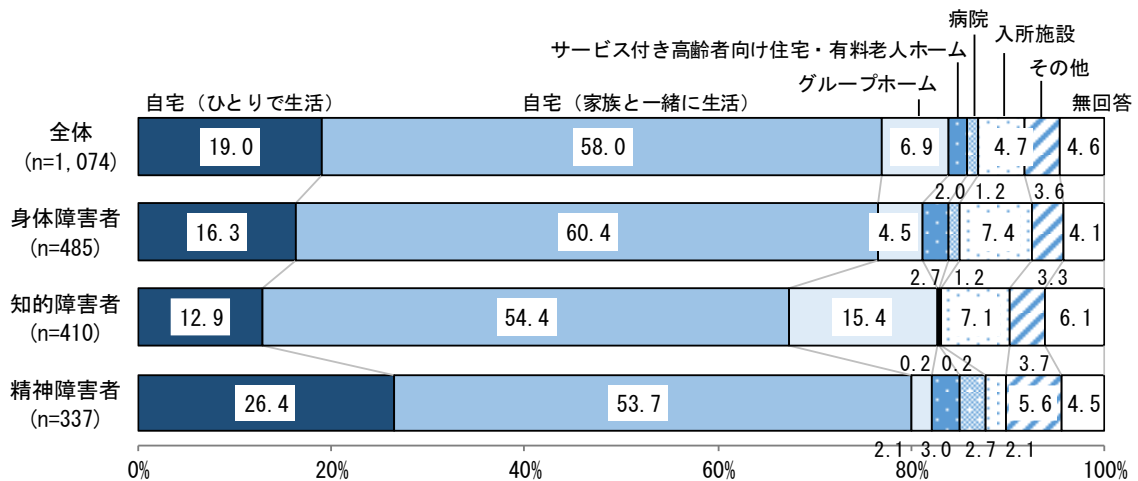


(4) 将来（10年後）の生活場所

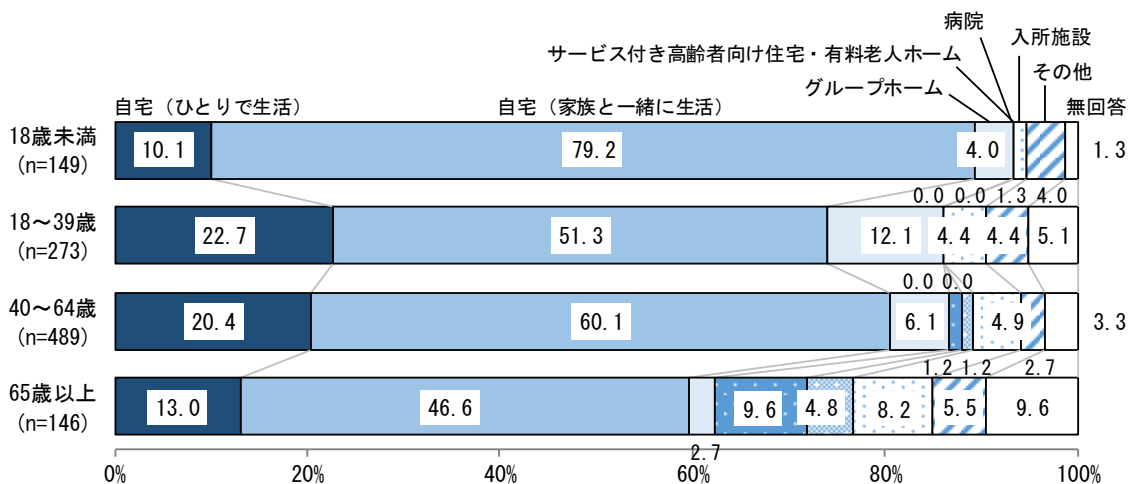
問 13 あなたは、10年後の生活をどこで送りたいとお考えですか。 ○は1つだけ

将来（10年後）の生活場所について、「自宅（家族と一緒に生活）」が58.0%で最も多く、次いで「自宅（ひとりで生活）」が19.0%、「グループホーム」が6.9%となっており、「その他」の内容として「わからない」「賃貸（借家）でひとり暮らし」「今までどおり」などがありました。

障害種別でみると、いずれも「自宅（家族と一緒に生活）」が最も多く、「身体障害者」が60.4%、「知的障害者」が54.4%、「精神障害者」が53.7%となっています。



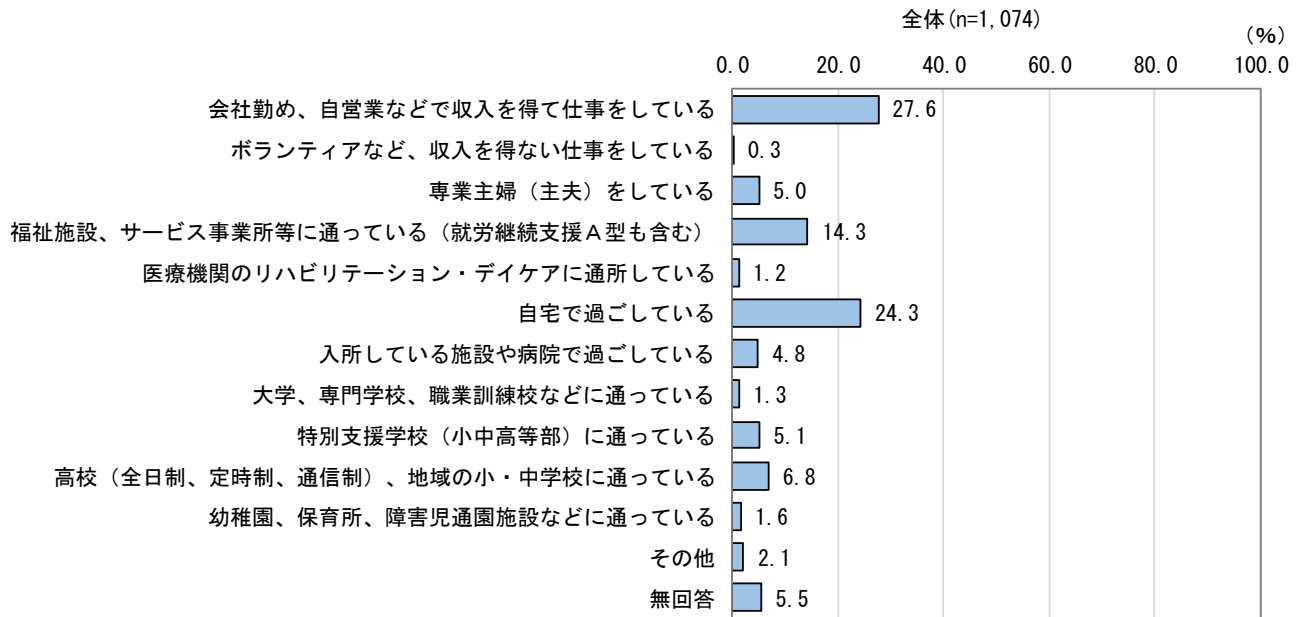
年齢別でみると、いずれも「自宅（家族と一緒に生活）」が最も多く、「18歳未満」が79.2%、「18～39歳」が51.3%、「40～64歳」が60.1%、「65歳以上」が46.6%となっています。



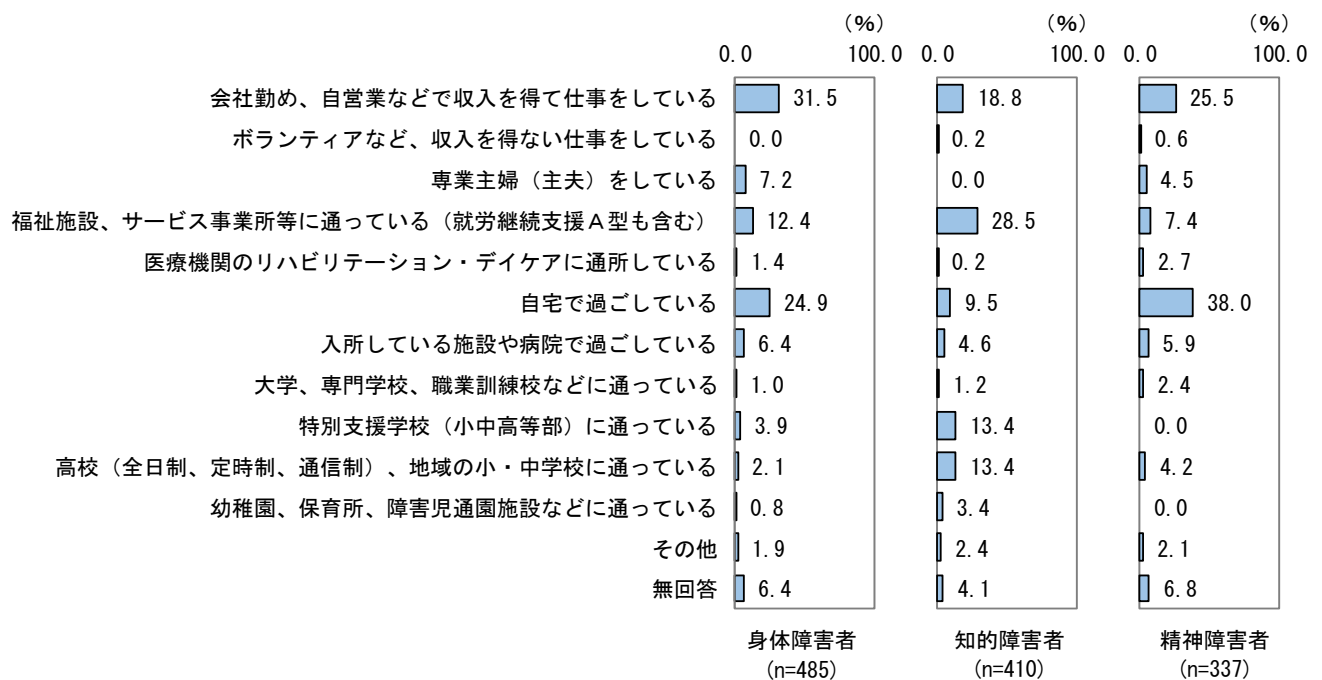
(5) 平日の日中の過ごし方

問 14 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。 ○は1つだけ

平日の日中の過ごし方について、「会社勤め、自営業などで収入を得て仕事をしている」が 27.6%で最も多く、次いで「自宅で過ごしている」が 24.3%、「福祉施設、サービス事業所等に通っている（就労継続支援A型も含む）」が 14.3%となっており、「その他」の内容として「在宅勤務」「農業」などがありました。



障害種別でみると、「身体障害者」では「会社勤め、自営業などで収入を得て仕事をしている」が 31.5%で最も多く、「知的障害者」では「福祉施設、サービス事業所等に通っている（就労継続支援A型も含む）」が 28.5%で最も多く、「精神障害者」では「自宅で過ごしている」が 38.0%で最も多くなっています。



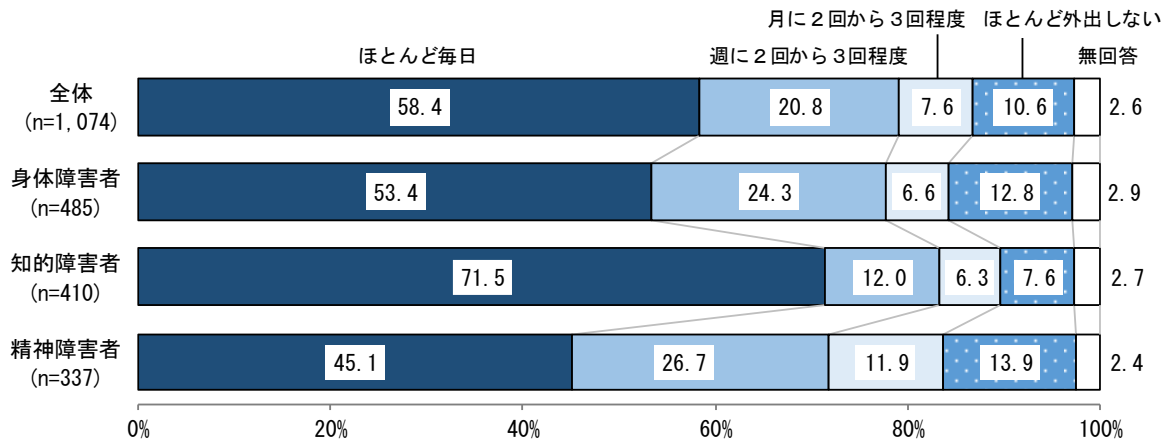
3 外出や社会参加の状況

(1) 外出の頻度

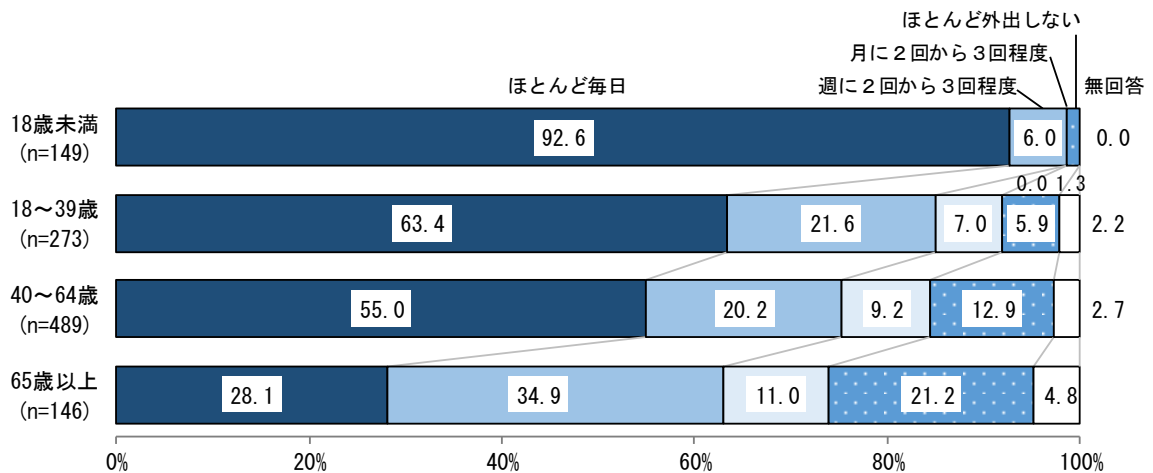
問 15 あなたは、ふだんどれくらい外出をされますか。 ○は1つだけ

外出の頻度について、「ほとんど毎日」が58.4%で最も多く、次いで「週に2回から3回程度」が20.8%、「ほとんど外出しない」が10.6%となっています。

障害種別でみると、いずれも「ほとんど毎日」が最も多く、「身体障害者」が53.4%、「知的障害者」が71.5%、「精神障害者」が45.1%となっています。



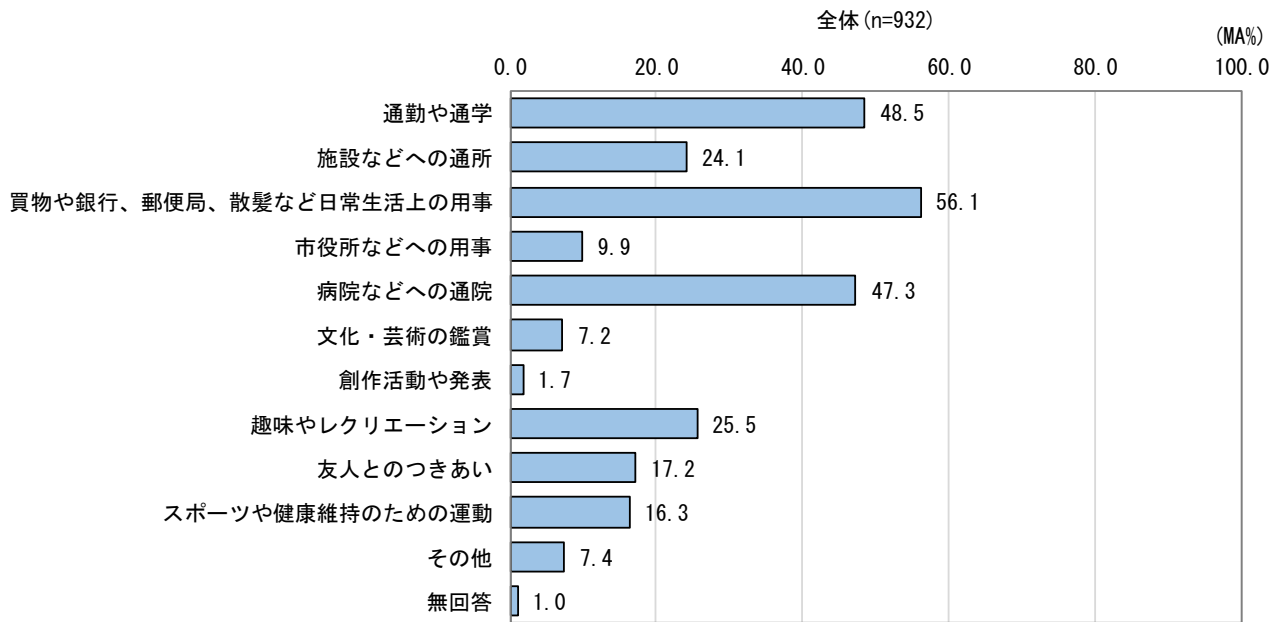
年齢別でみると、「18歳未満」では「ほとんど毎日」が92.6%で最も多く、「18～39歳」では「ほとんど毎日」が63.4%で最も多く、「40～64歳」では「ほとんど毎日」が55.0%で最も多く「65歳以上」では「週2回から3回程度」が34.9%で最も多くなっています。



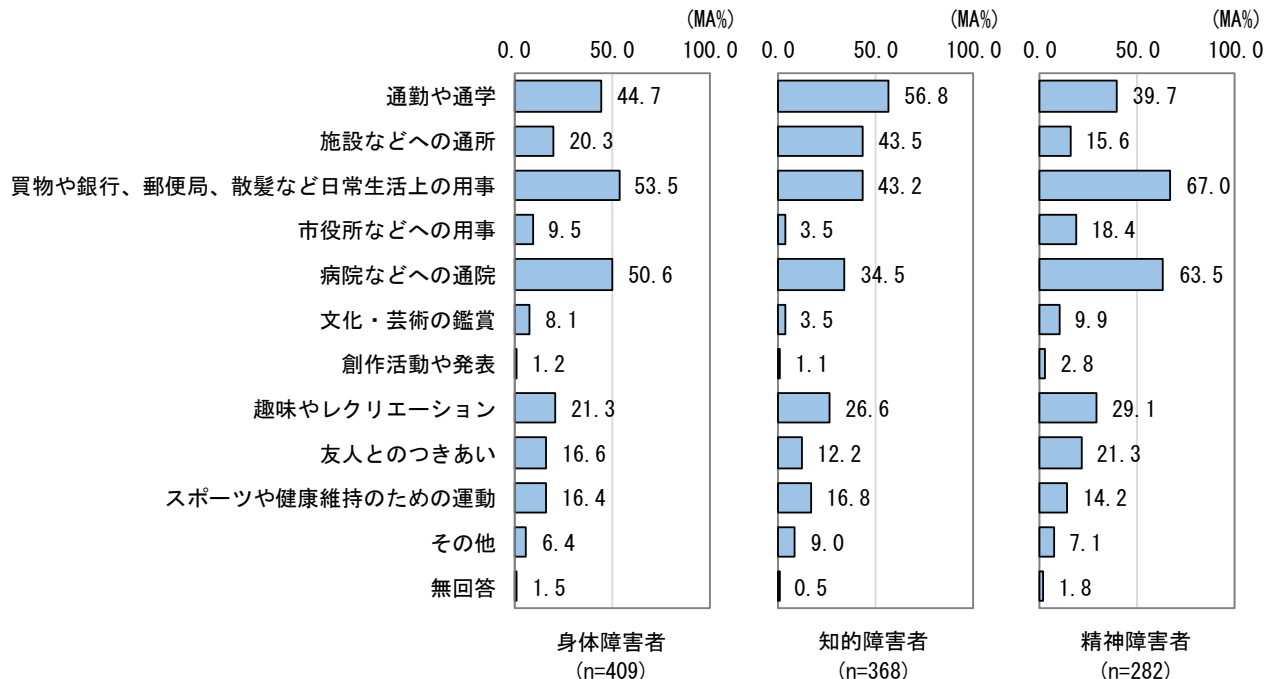
(2) 外出の目的

問 15-1	問 15 で「ほとんど毎日」「週に2回から3回程度」「月に2回から3回程度」のいずれかを回答した方におたずねします。どのような目的で外出されることが多いですか。	○はいくつでも
--------	--	---------

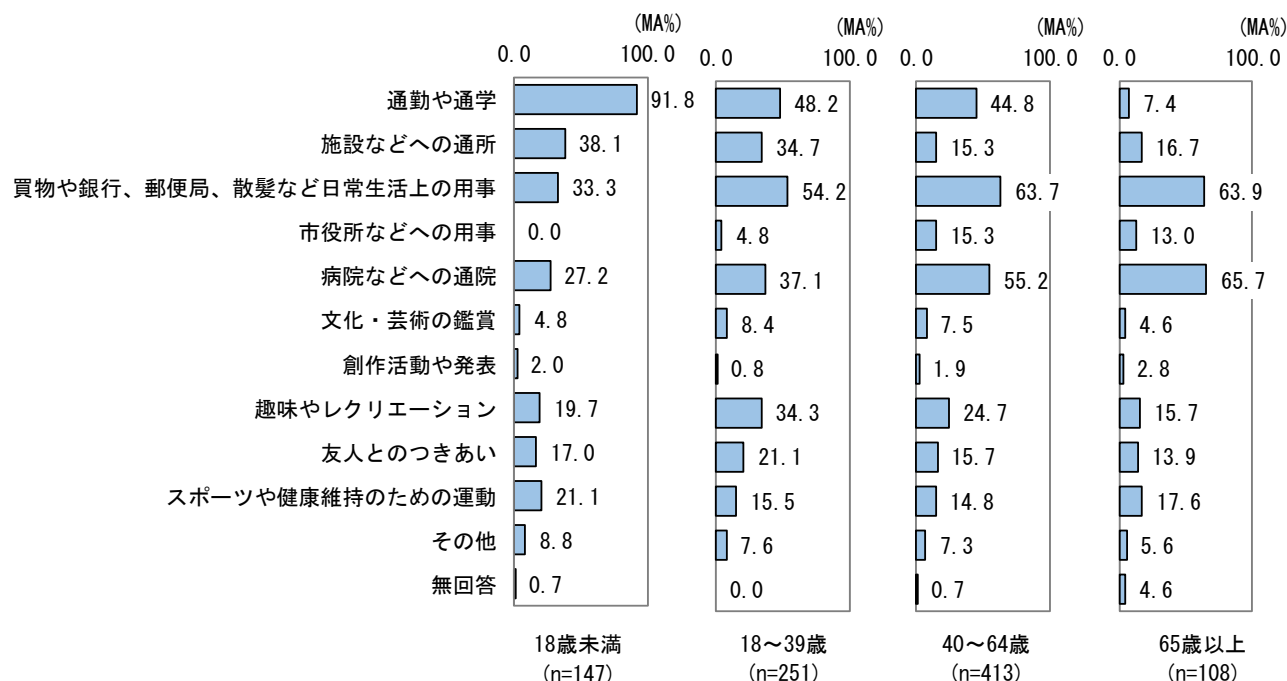
ふだん外出をしている人に、外出の目的についてたずねたところ、「買物や銀行、郵便局、散髪など日常生活上の用事」が56.1%で最も多く、次いで「通勤や通学」が48.5%、「病院などへの通院」が47.3%となっているほか、「スポーツや健康維持のための運動」が16.3%、「文化・芸術の鑑賞」が7.2%、「創作活動や発表」が1.7%となっており、「その他」の内容として「散歩」「外食」「公園・図書館」などがありました。



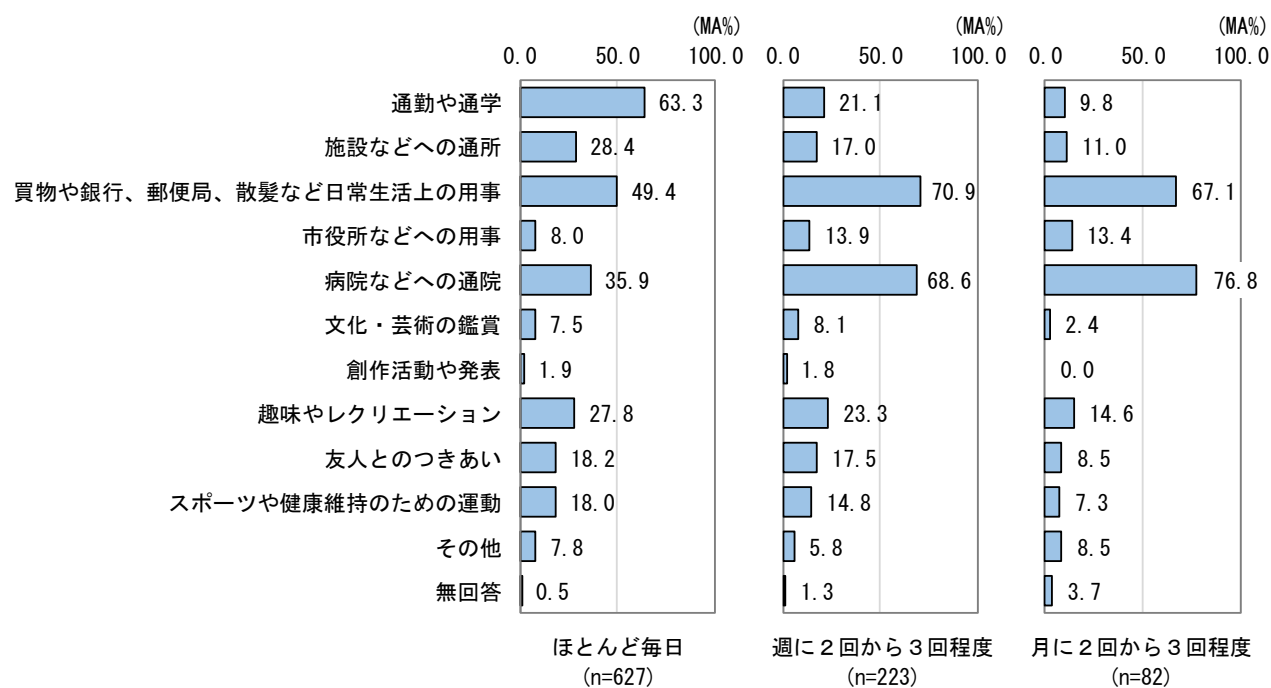
障害種別でみると、「身体障害者」では「買物や銀行、郵便局、散髪など日常生活上の用事」が53.5%で最も多く、「知的障害者」では「通勤や通学」が56.8%で最も多く、「精神障害者」では「買物や銀行、郵便局、散髪など日常生活上の用事」が67.0%で最も多くなっています。



年齢別で見ると、「18歳未満」では「通勤や通学」が91.8%で最も多く、「18～39歳」では「買物や銀行、郵便局、散髪など日常生活上の用事」が54.2%で最も多く、「40～64歳」では「買物や銀行、郵便局、散髪など日常生活上の用事」が63.7%で最も多く、「65歳以上」では「病院などへの通院」が65.7%で最も多くなっています。



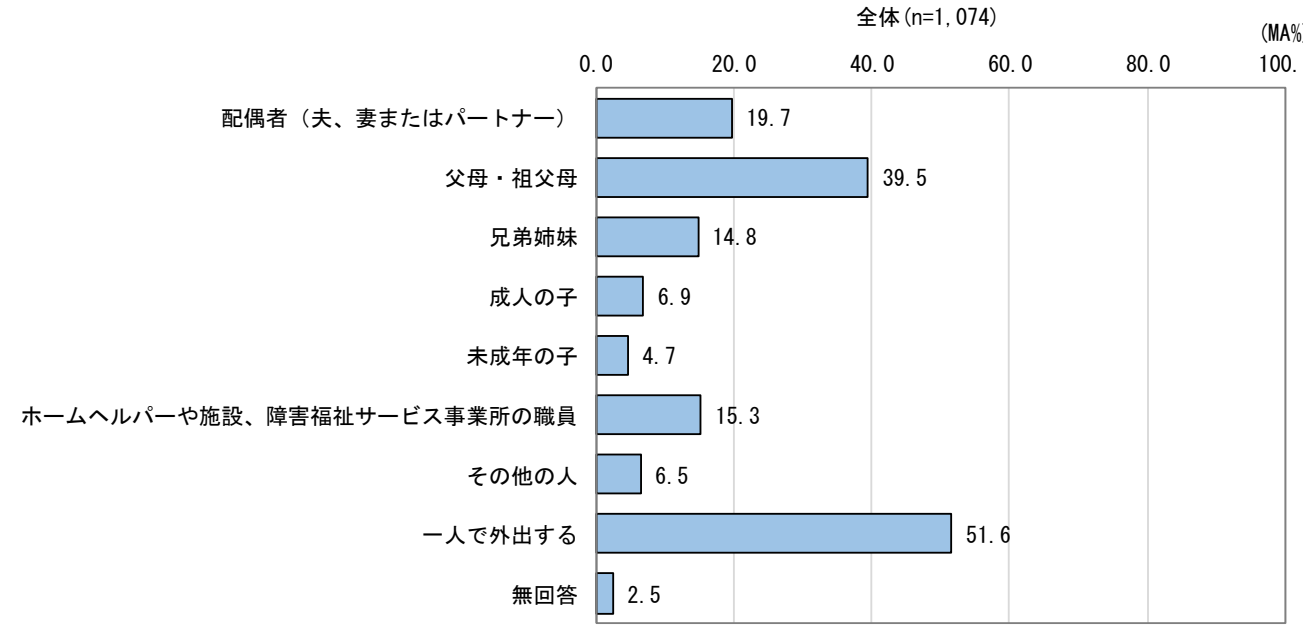
外出頻度別で見ると、「ほとんど毎日」では「通勤や通学」が63.3%で最も多く、「週に2回から3回程度」では「買物や銀行、郵便局、散髪など日常生活上の用事」が70.9%で最も多く、「月に2回から3回程度」では「病院などへの通院」が76.8%で最も多くなっています。



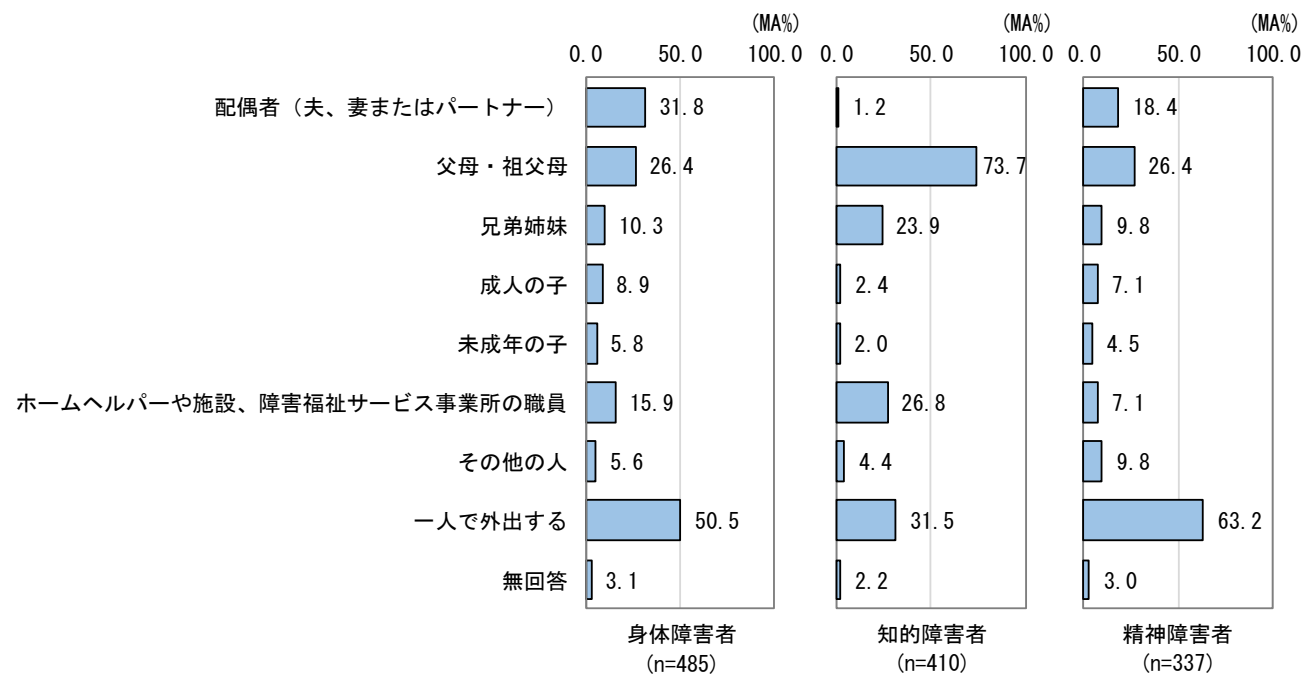
(3) 外出の際の同伴者

問 16 あなたは、外出する際に誰と外出しますか。 ○はいくつでも

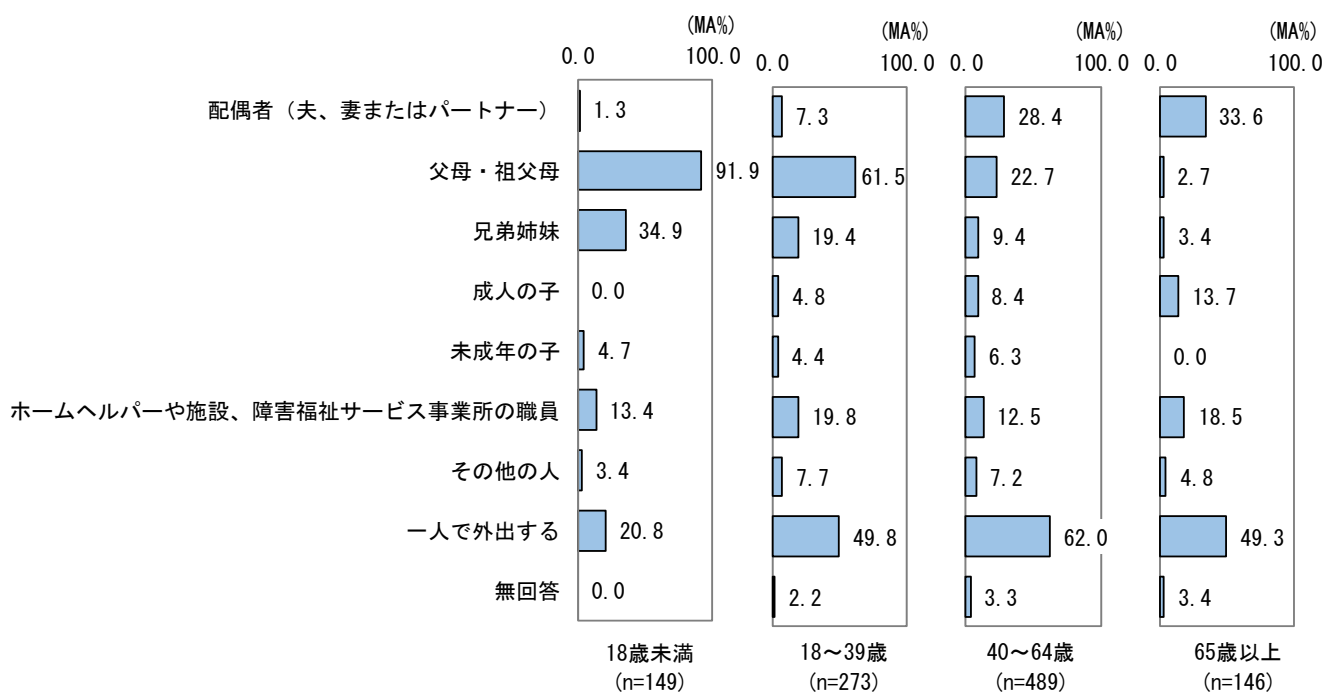
外出の際の同伴者について、「一人で外出する」が51.6%で最も多く、次いで「父母・祖父母」が39.5%、「配偶者（夫、妻またはパートナー）」が19.7%となっているほか、「未成年の子」が4.7%となっており、「その他の人」の内容として「友だち」「ガイドヘルパー」「恋人」などがありました。



障害種別でみると、「身体障害者」では「一人で外出する」が50.5%で最も多く、「知的障害者」では「父母・祖父母」が73.7%で最も多く、「精神障害者」では「一人で外出する」が63.2%で最も多くなっています。



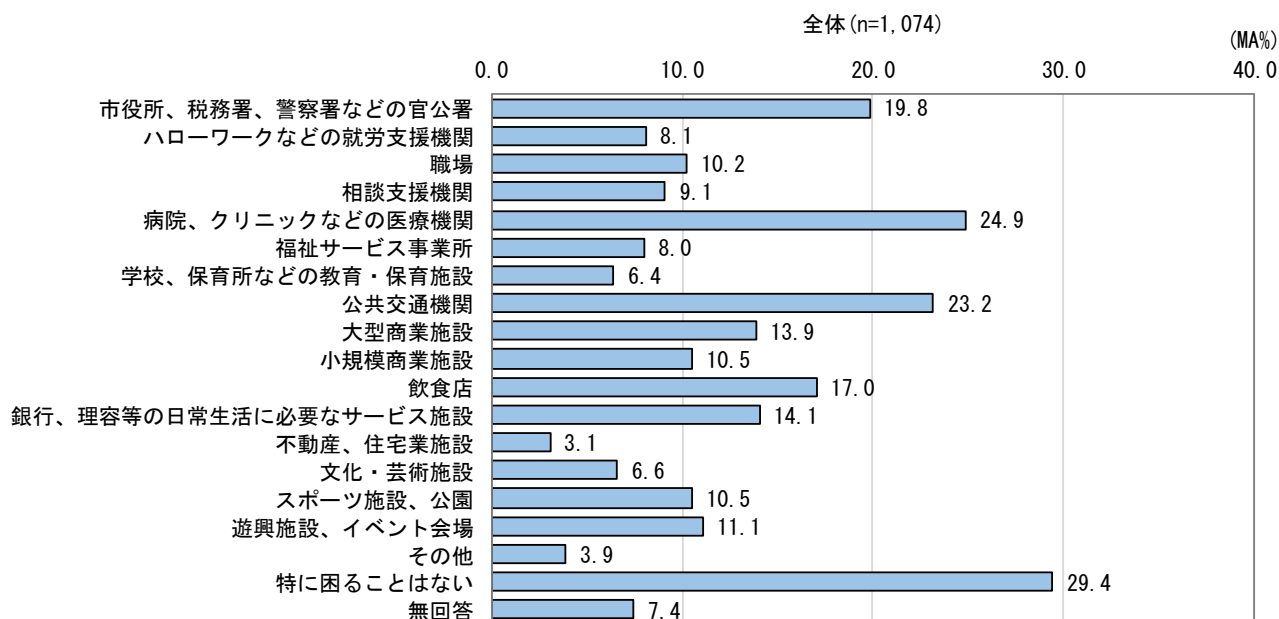
年齢別で見ると、「18歳未満」では「父母・祖父母」が91.9%で最も多く、「18～39歳」では「父母・祖父母」が61.5%で最も多く、「40～64歳」では「一人で外出する」が62.0%で最も多く、「65歳以上」では「一人で外出する」が49.3%で最も多くなっています。



（4）外出先で配慮や援助してほしいところ

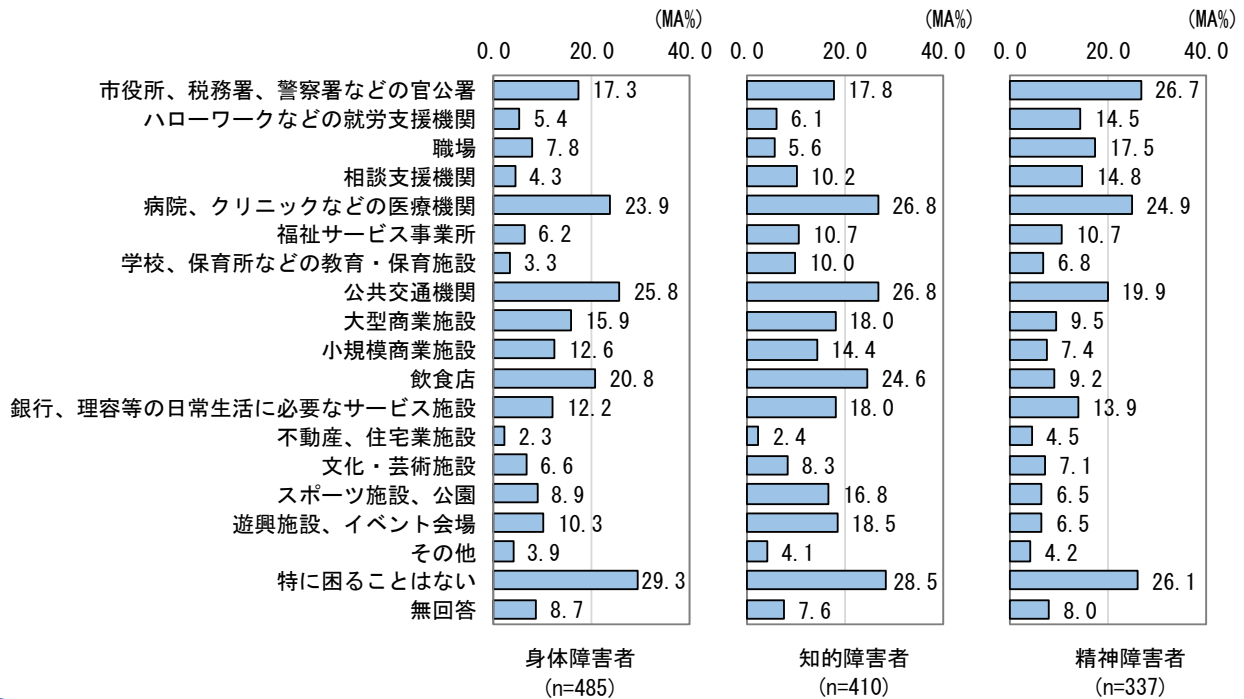
問 17 外出先での障害による不便さや困りごとに対して、もっと配慮や援助があれば利用しやすいと思うところはどこですか。 ○はいくつでも

外出先で配慮や援助してほしいところについて、「特に困ることはない」が29.4%で最も多く、次いで「病院、クリニックなどの医療機関」が24.9%、「公共交通機関」が23.2%となっており、「その他」の内容として「トイレ」「道路・歩道・駐車場」「図書館」などがありました。



第2章 身体・知的・精神障害者調査の結果

障害種別で見ると、「身体障害者」では「特に困ることはない」が29.3%で最も多く、「知的障害者」では「特に困ることはない」が28.5%で最も多く、「精神障害者」では「市役所、税務署、警察署などの官公署」が26.7%で最も多くなっています。



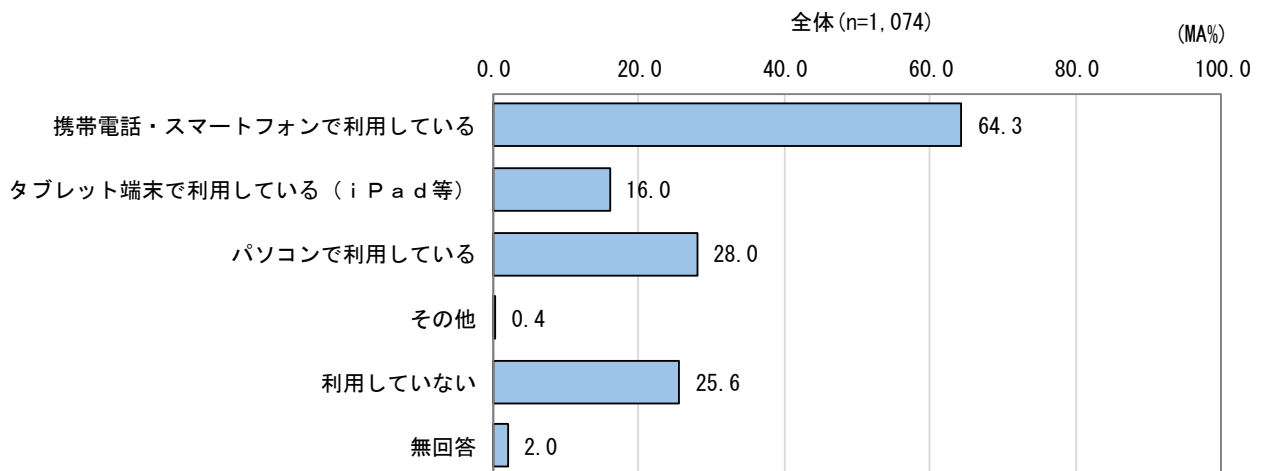
4 情報入手やコミュニケーションの状況

(1) インターネット等の利用状況

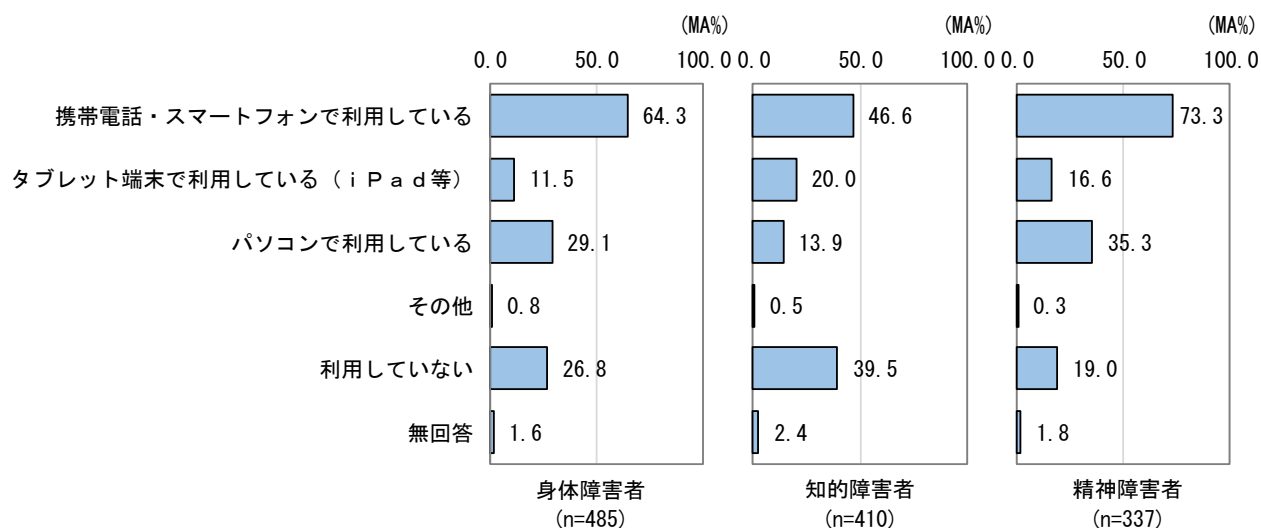
問18 あなたは、インターネットや情報通信機器を利用していますか。

○はいくつでも

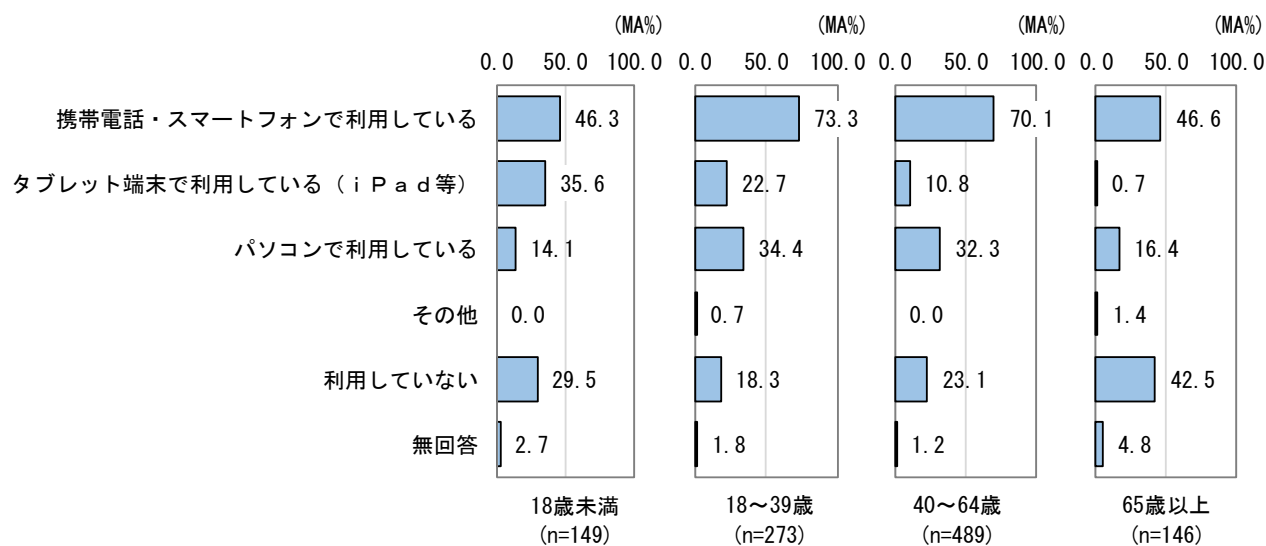
インターネット等の利用状況について、「携帯電話・スマートフォンで利用している」が64.3%で最も多く、次いで「パソコンで利用している」が28.0%、「利用していない」が25.6%となっており、「その他」の内容として「FAX」などがありました。



障害種別で見ると、いずれも「携帯電話・スマートフォンで利用している」が最も多く、「身体障害者」が64.3%、「知的障害者」が46.6%、「精神障害者」が73.3%となっています。



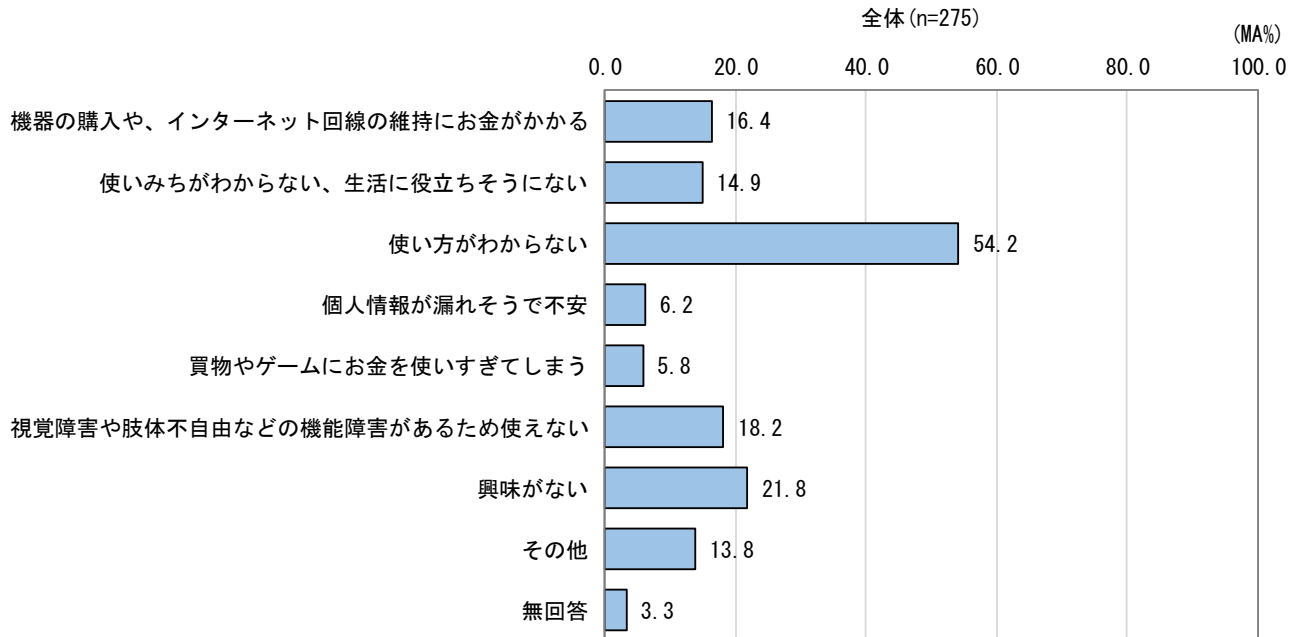
年齢別で見ると、いずれも「携帯電話・スマートフォンで利用している」が最も多く、「18歳未満」が46.3%、「18～39歳」が73.3%、「40～64歳」が70.1%、「65歳以上」が46.6%となっています。



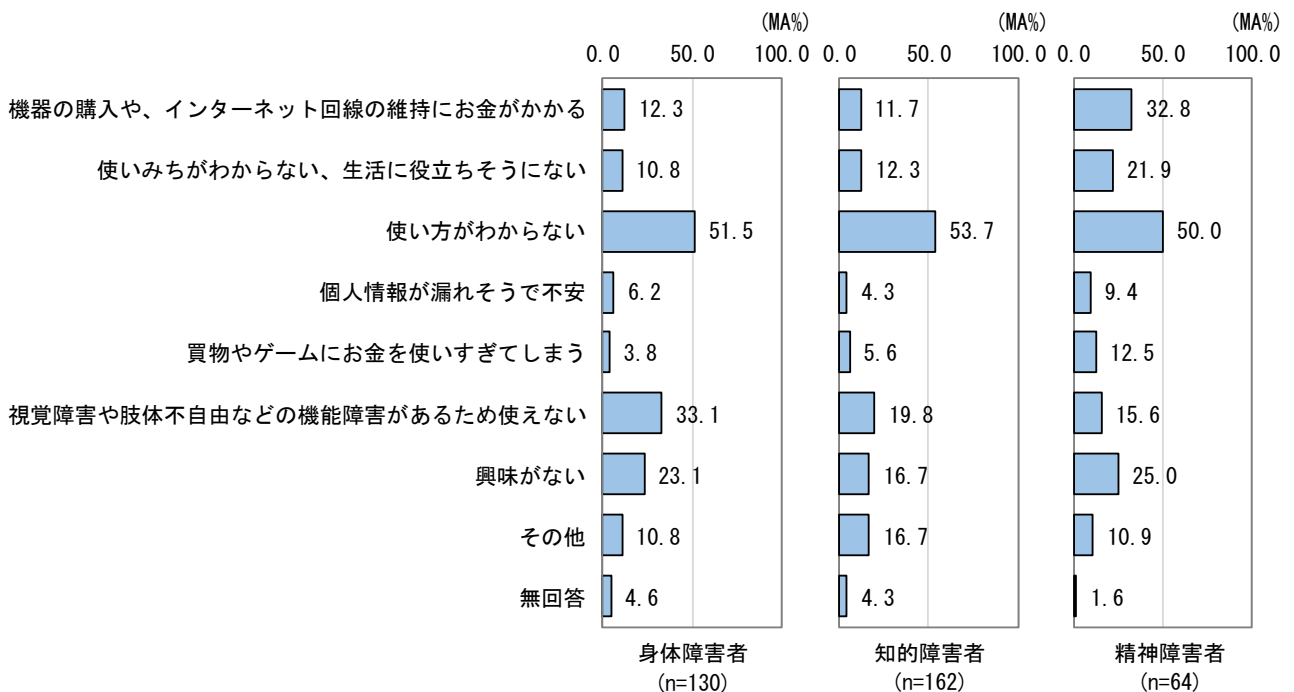
(2) インターネット等を利用していない理由

問18-1 問18で「利用していない」を回答した方におたずねします。インターネットや情報通信機器を利用していない理由は何ですか。 ○はいくつでも

インターネット等を利用していない人に、その理由についてたずねたところ、「使い方がわからない」が54.2%で最も多く、次いで「興味がない」が21.8%、「視覚障害や肢体不自由などの機能障害があるため使えない」が18.2%となっており、「その他」の内容として「子どもなので使えない・使わせない」「使えない」「入院中のため使用できない」などがありました。

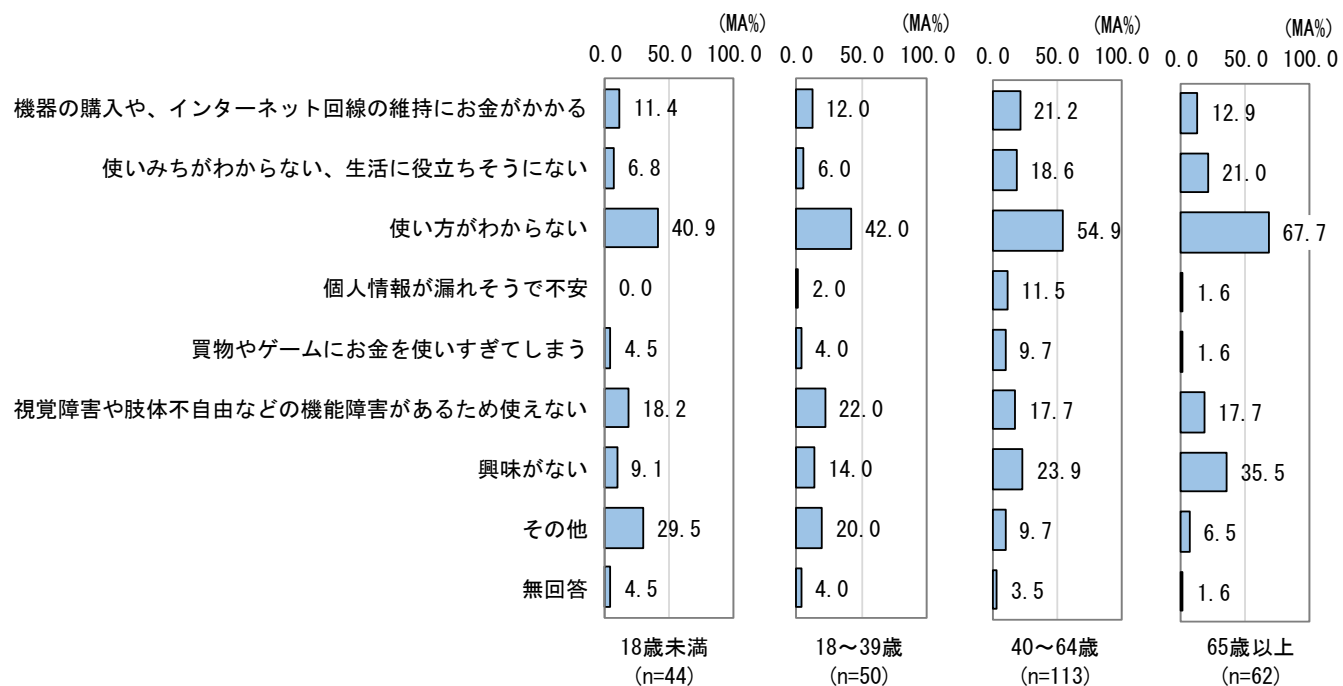


障害種別でみると、いずれも「使い方がわからない」が最も多く、「身体障害者」が51.5%、「知的障害者」が53.7%、「精神障害者」が50.0%となっています。



第2章 身体・知的・精神障害者調査の結果

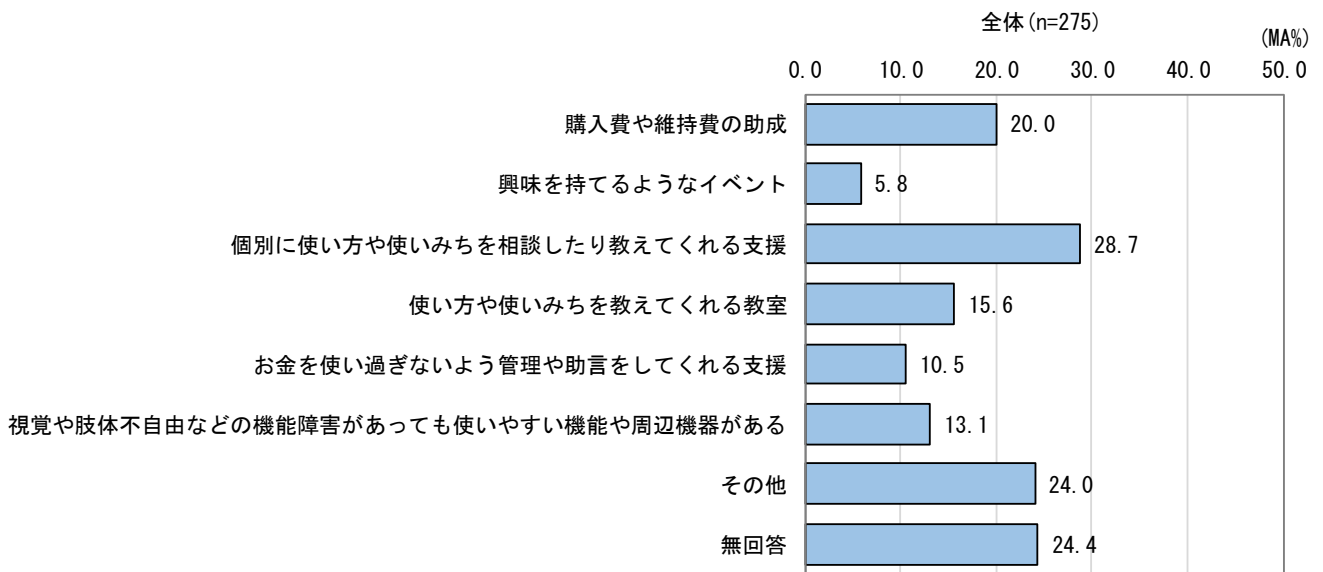
年齢別で見ると、いずれも「使い方がわからない」が最も多く、「18歳未満」が40.9%、「18～39歳」が42.0%、「40～64歳」が54.9%、「65歳以上」が67.7%となっています。



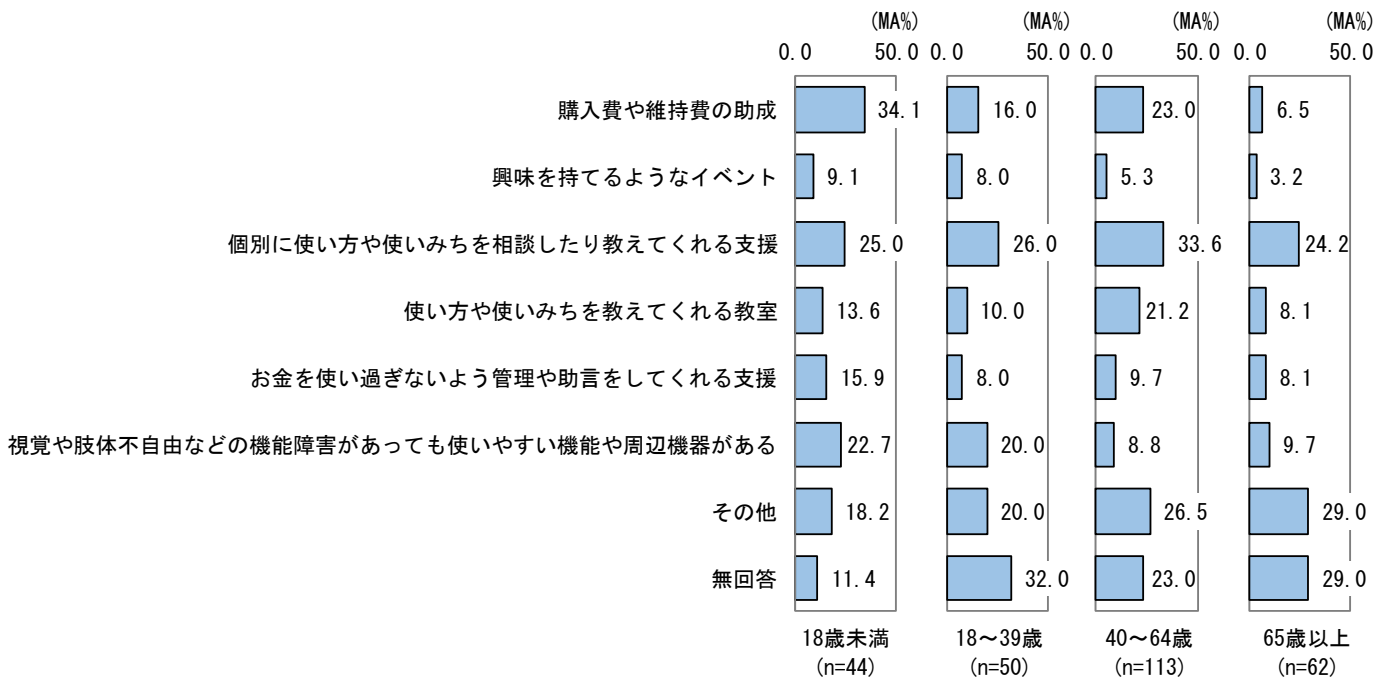
(3) インターネット等を利用するために希望する支援

問 18-2 問 18 で「利用していない」を回答した方におたずねします。どんな支援があればインターネットや情報通信機器を利用したいですか。 ○はいくつでも

インターネット等を利用していない人に、どんな支援があればインターネット等を利用したいと思うかについてたずねたところ、「個別に使い方や使いみちを相談したり教えてくれる支援」が 28.7%で最も多く、次いで「その他」が 24.0%、「購入費や維持費の助成」が 20.0%となっており、「その他」の内容として「利用しない(わからない・いらない・興味がない等)」「理解できないため使えない(知的障害・認知症等)」「子どもなので成長してから考えたい」などがありました。



年齢別でみると、「18歳未満」では「購入費や維持費の助成」が 34.1%で最も多く、「18～39歳」では「個別に使い方や使いみちを相談したり教えてくれる支援」が 26.0%で最も多く、「40～64歳」では「個別に使い方や使いみちを相談したり教えてくれる支援」が 33.6%で最も多く、「65歳以上」では「その他」が 29.0%で最も多くなっています。

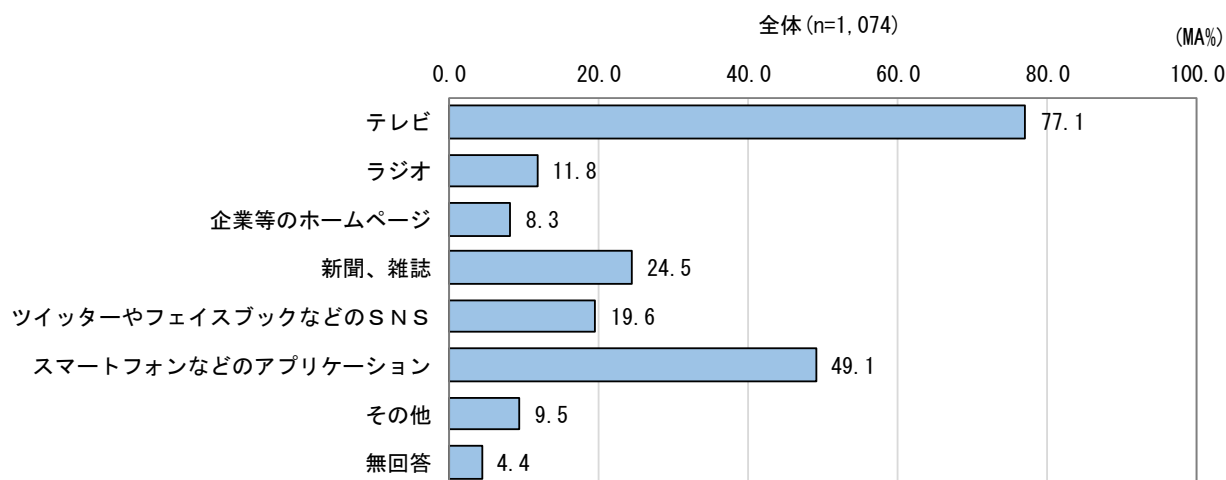


(4) 必要な情報の入手先

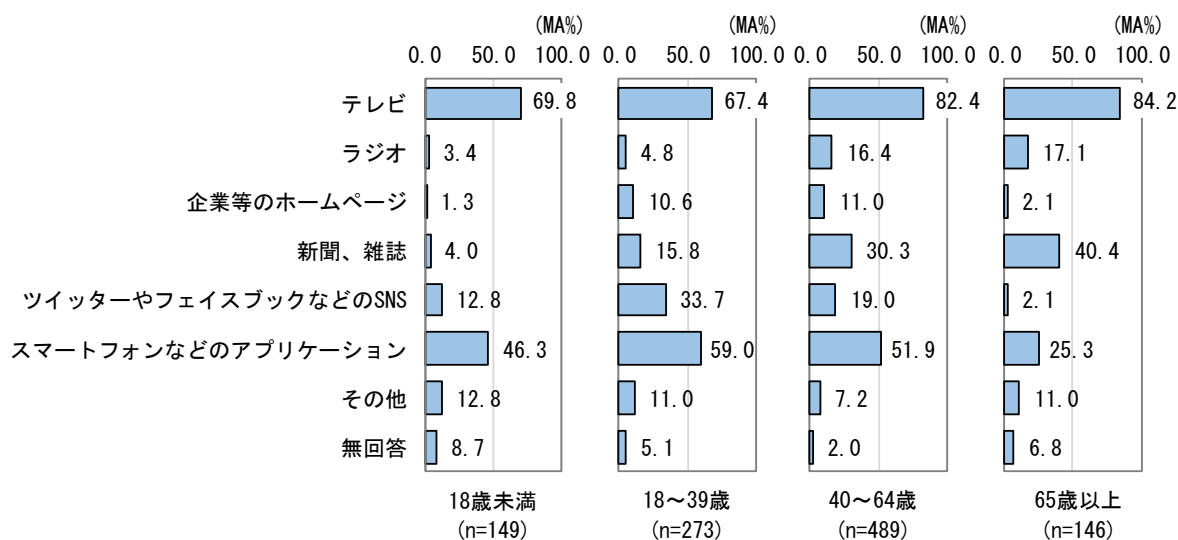
問19 あなたは、日々の生活に必要な情報を何から得ていますか。

○はいくつでも

必要な情報の入手先について、「テレビ」が77.1%で最も多く、次いで「スマートフォンなどのアプリケーション」が49.1%、「新聞、雑誌」が24.5%となっており、「その他」の内容として「親・家族・友人」「PC・インターネット・動画サイト (YouTube)」「施設・施設職員・ヘルパー等」などがありました。



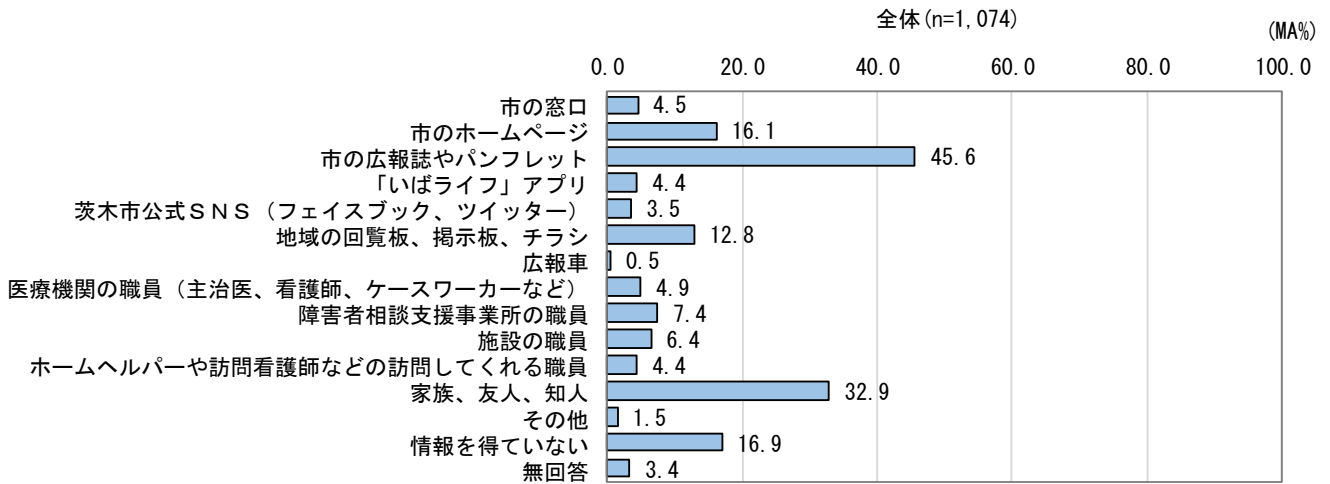
年齢別でみると、いずれも「テレビ」が最も多く、「18歳未満」が69.8%、「18～39歳」が67.4%、「40～64歳」が82.4%、「65歳以上」が84.2%となっています。



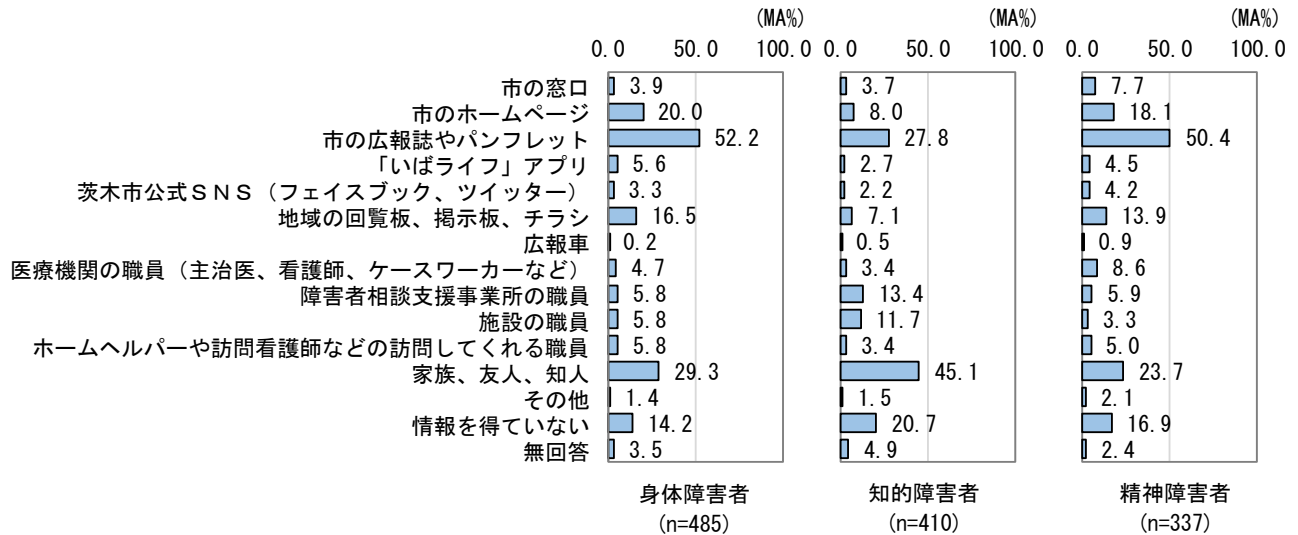
(5) 市が提供する情報の入手先

問 20 あなたは、市が提供する情報を何から得ていますか。 ○はいくつでも

市が提供する情報の入手先について、「市の広報誌やパンフレット」が45.6%で最も多く、次いで「家族、友人、知人」が32.9%、「情報を得ていない」が16.9%となっており、「その他」の内容として「学校」「駅」などがありました。

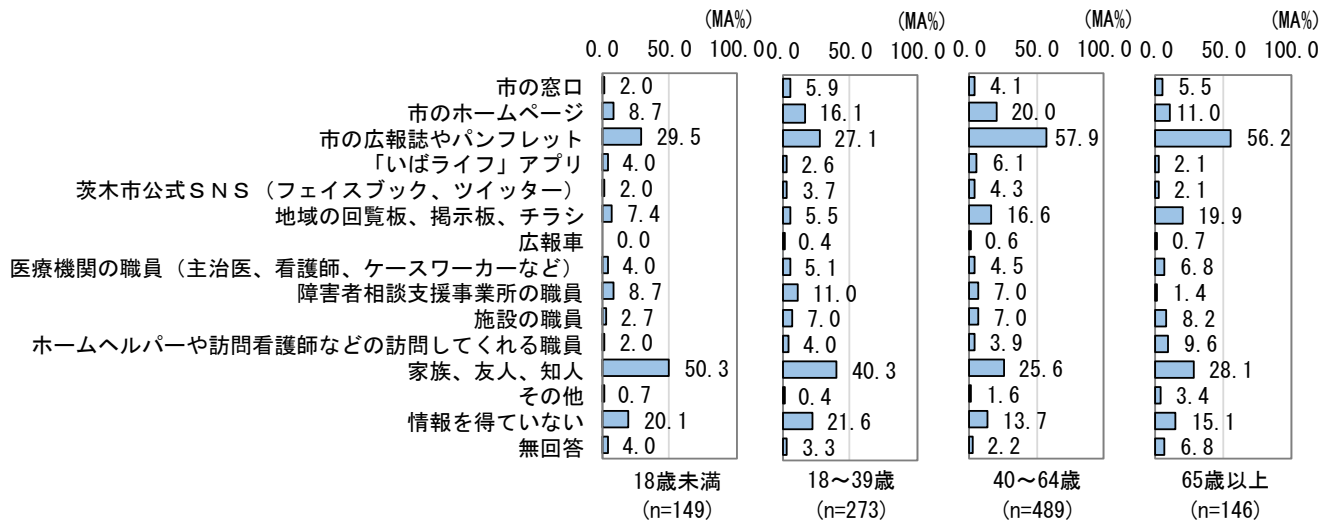


障害種別でみると、「身体障害者」では「市の広報誌やパンフレット」が52.2%で最も多く、「知的障害者」では「家族、友人、知人」が45.1%で最も多く、「精神障害者」では「市の広報誌やパンフレット」が50.4%で最も多くなっています。



第2章 身体・知的・精神障害者調査の結果

年齢別で見ると、「18～39歳」では「家族、友人、知人」が50.3%で最も多く、「18～39歳」では「家族、友人、知人」が40.3%で最も多く、「40～64歳」では「市の広報誌やパンフレット」が57.9%で最も多く、「65歳以上」では「市の広報誌やパンフレット」が56.2%で最も多くなっています。

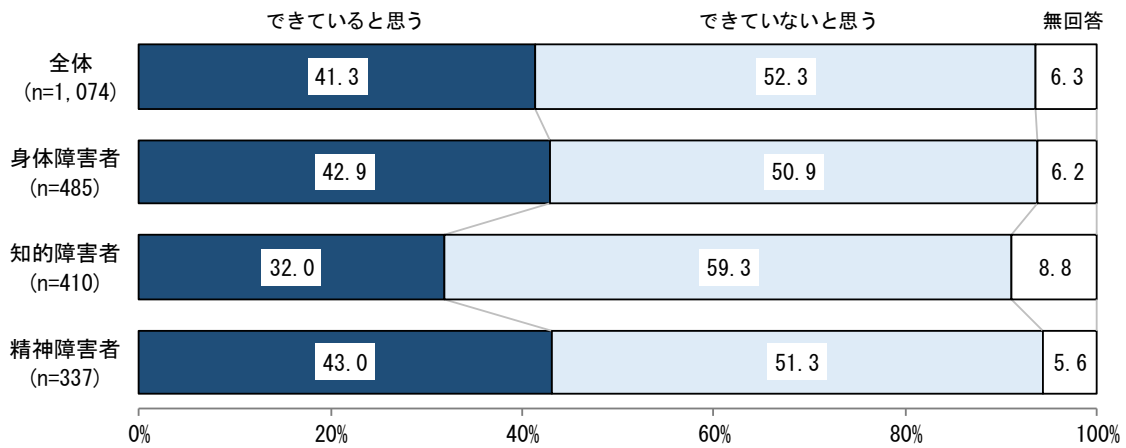


(6) 市が提供する情報の提供状況

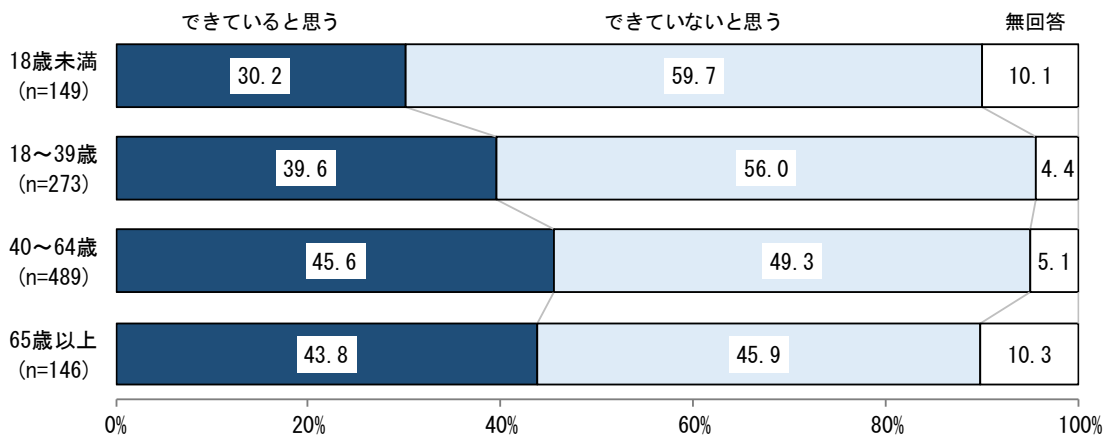
問 21 市が提供する情報について、十分な情報提供ができていますか。 ○は1つだけ

市が提供する情報の提供状況について、「できていると思う」が 41.3%、「できていないと思う」が 52.3%となっています。

障害種別でみると、「できていないと思う」では「身体障害者」が 50.9%、「知的障害者」が 59.3%、「精神障害者」が 51.3%となっています。



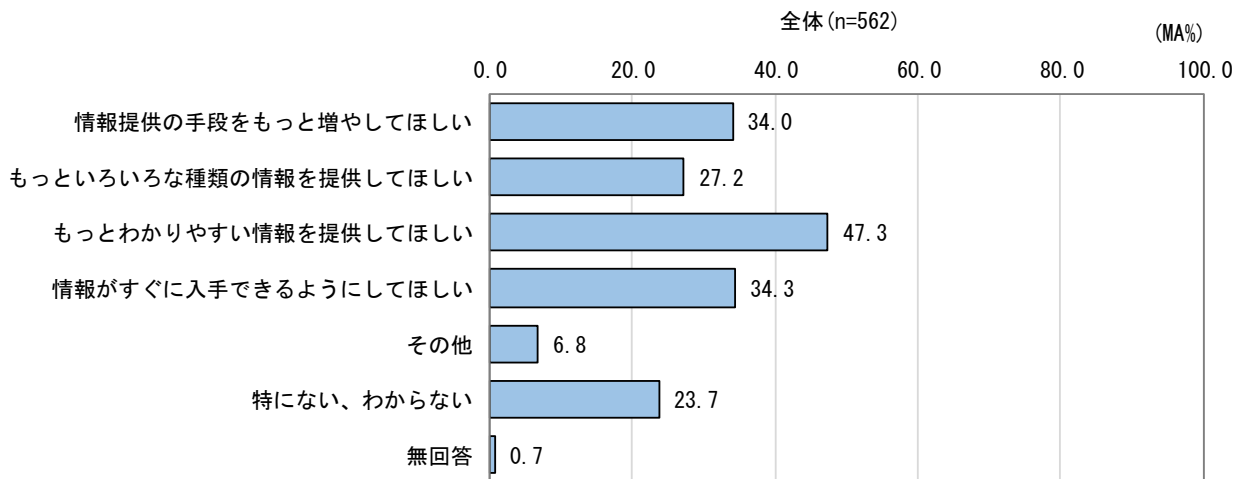
年齢別でみると、「できていないと思う」では「18歳未満」が 59.7%で最も多く、次いで「18～39歳」が 56.0%、「40～64歳」が 49.3%となっています。



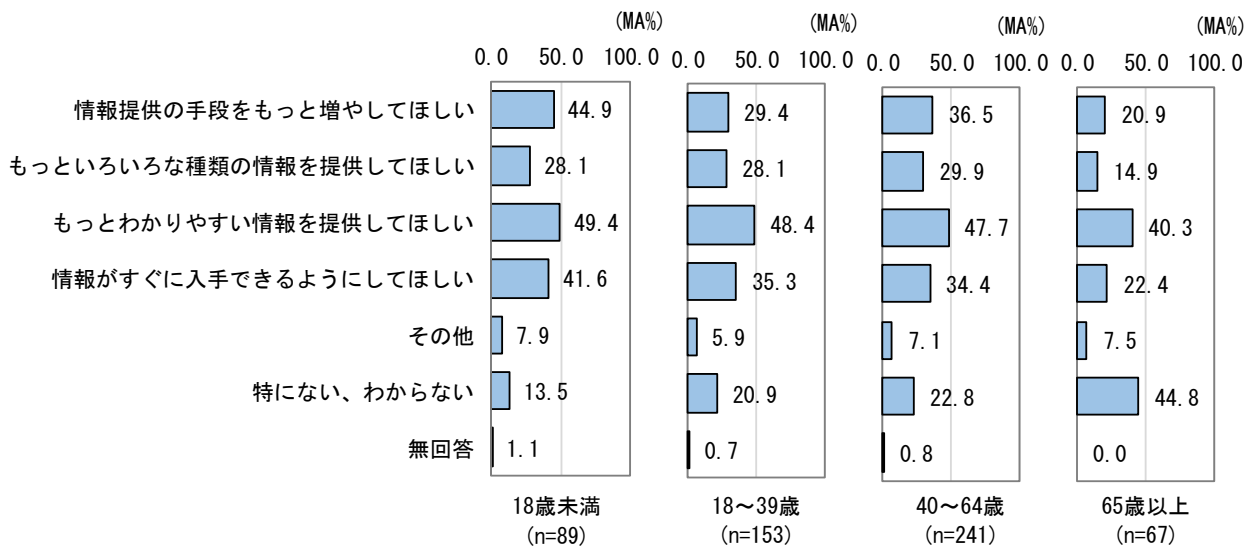
(7) 市が提供する情報に対する希望

問 21-1 問 21 で「できていないと思う」と回答した方におたずねします。どのよう
に提供してもらいたいですか。 ○はいくつでも

市は十分な情報提供ができていないと思う人に、どのように提供してもらいたいかについてたずねたところ、「もっとわかりやすい情報を提供してほしい」が47.3%で最も多く、次いで「情報がすぐに入手できるようにしてほしい」が34.3%、「情報提供の手段をもっと増やしてほしい」が34.0%となっており、「その他」の内容として「相談窓口を設置してほしい」「その人に合った情報を提供してほしい」「情報を配信してほしい（メール・アプリ・郵送等）」などがありました。



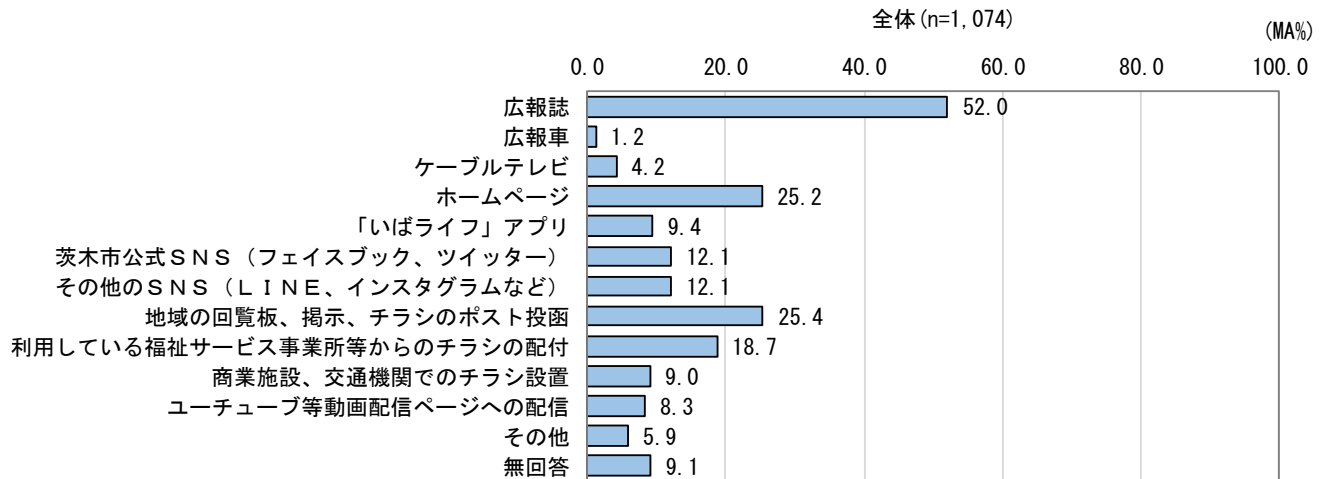
年齢別でみると、「18歳未満」では「もっとわかりやすい情報を提供してほしい」が49.4%で最も多く、「18～39歳」では「もっとわかりやすい情報を提供してほしい」が48.4%で最も多く、「40～64歳」では「もっとわかりやすい情報を提供してほしい」が47.7%で最も多く、「65歳以上」では「特にない、わからない」が44.8%で最も多くなっています。



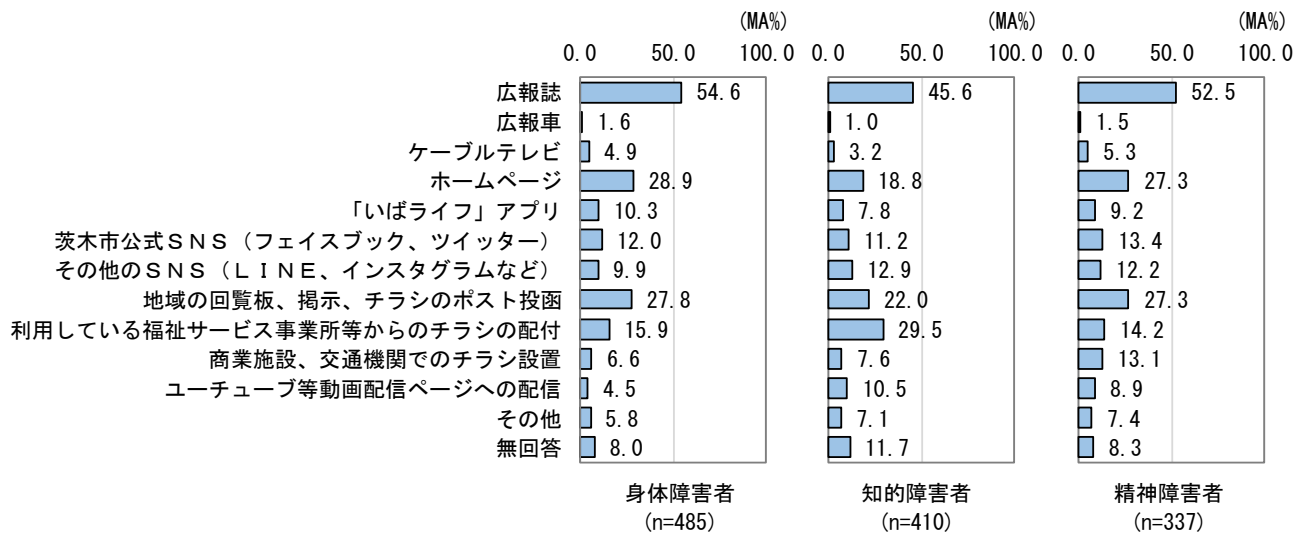
(8) 市が提供する情報の手段

問 22 あなたは、市が提供する情報をどういう手段で提供してもらいたいですか。 ○はいくつでも

市が提供する情報をどういう手段で提供してもらいたいかについて、「広報誌」が52.0%で最も多く、次いで「地域の回覧板、掲示、チラシのポスト投函」が25.4%、「ホームページ」が25.2%となっており、「その他」の内容として「個人宛てに郵送」「家族を介しての提供」「メール」などがありました。

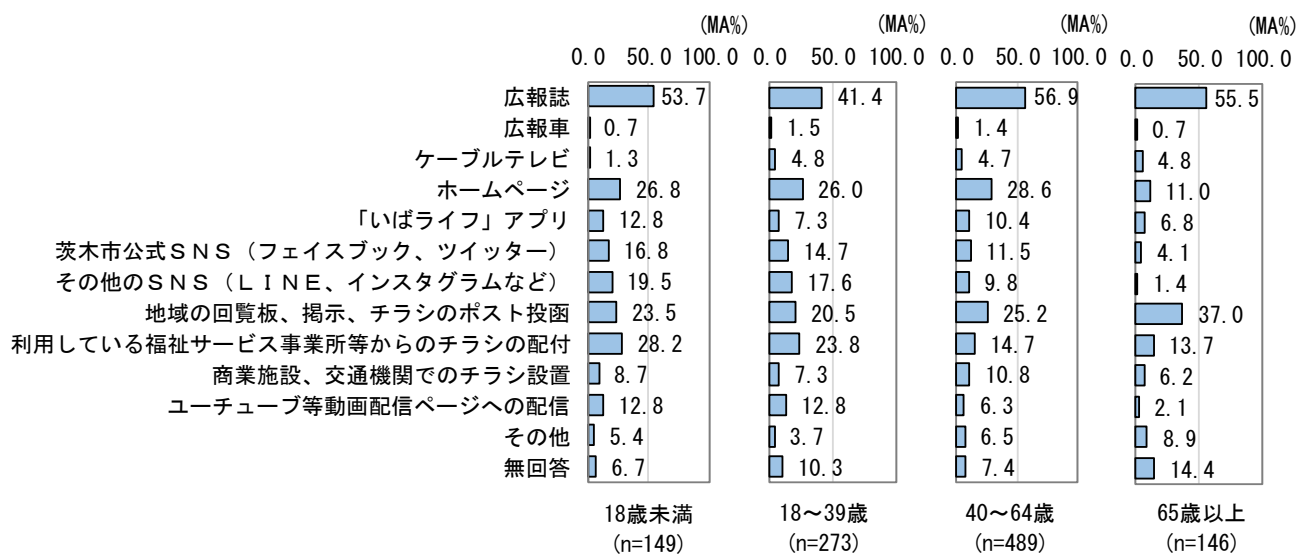


障害種別でみると、いずれも「広報誌」が最も多く、「身体障害者」が54.6%、「知的障害者」が45.6%、「精神障害者」が52.5%となっています。



第2章 身体・知的・精神障害者調査の結果

年齢別で見ると、いずれも「広報誌」が最も多く、「18歳未満」が53.7%、「18～39歳」が41.4%、「40～64歳」が56.9%、「65歳以上」が55.5%となっています。

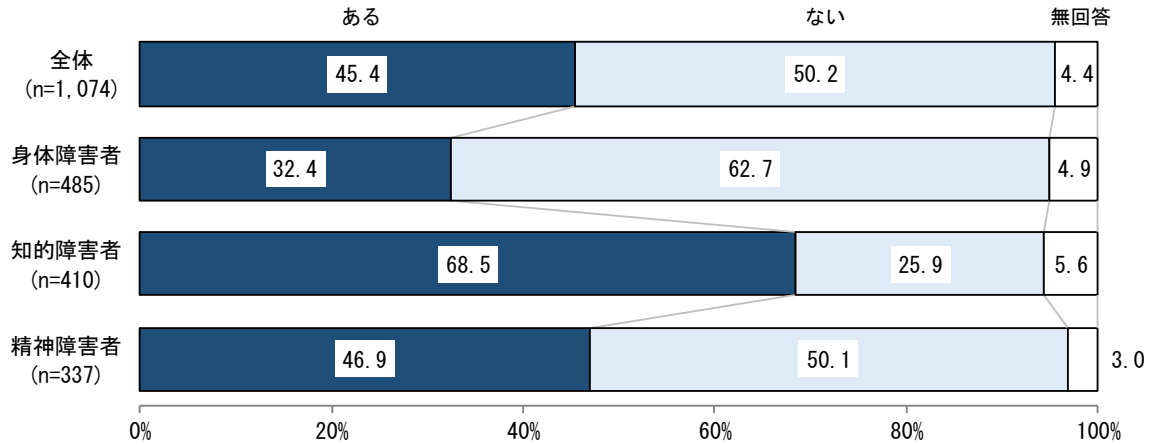


(9) コミュニケーションについて困っていることの有無

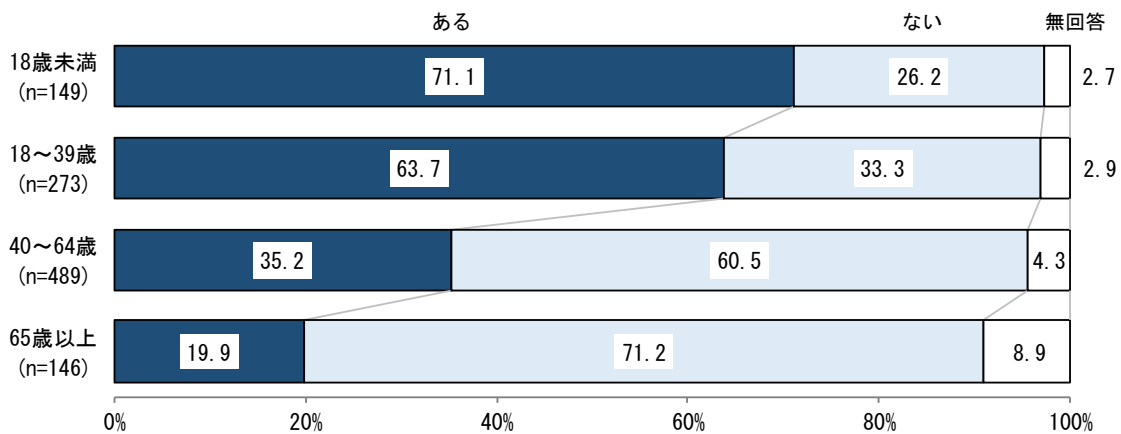
問 23 コミュニケーションで困っていることはありますか。 ○は1つだけ

コミュニケーションで困っていることはあるかについて、「ある」が45.4%、「ない」が50.2%となっています。

障害種別で見ると、「ある」では「身体障害者」が32.4%、「知的障害者」が68.5%、「精神障害者」が46.9%となっています。



年齢別で見ると、「ある」では「18歳未満」が71.1%で最も多く、次いで「18～39歳」が63.7%、「40～64歳」が35.2%となっています。



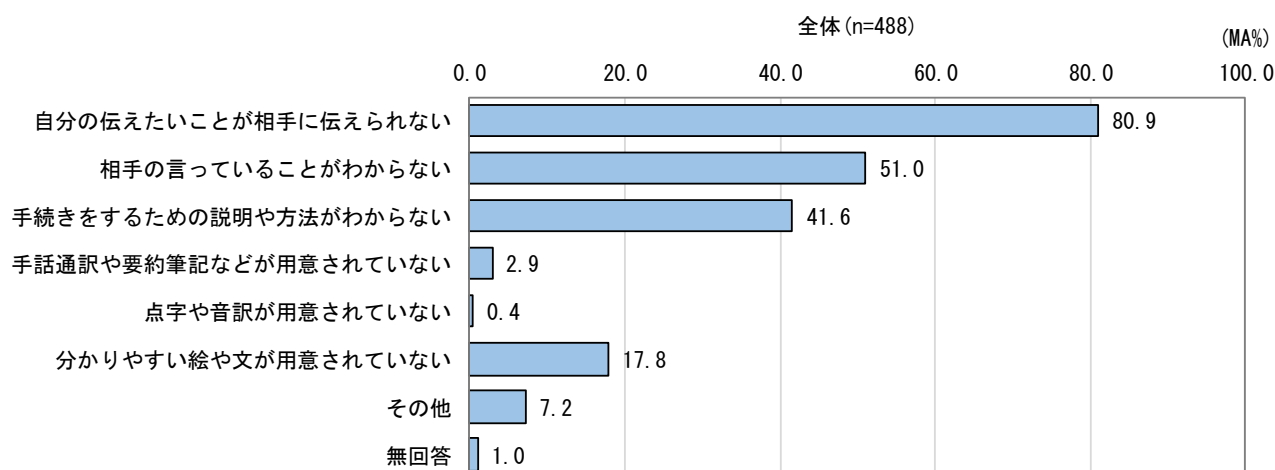
(10) コミュニケーションについて困っていること

問 23-1

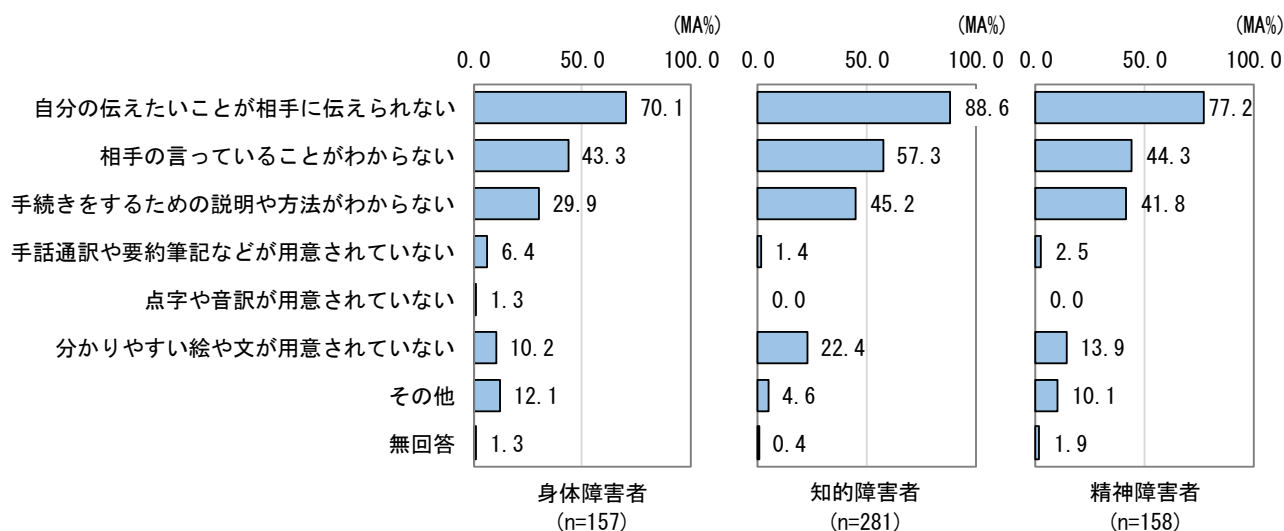
問 23 で「ある」を回答した方におたずねします。あなたがコミュニケーションについて困っているのはどのようなことですか。

○はいくつでも

コミュニケーションで困っていることがある人に、困っている内容についてたずねたところ、「自分の伝えたいことが相手に伝えられない」が80.9%で最も多く、次いで「相手の言っていることがわからない」が51.0%、「手続きをするための説明や方法がわからない」が41.6%となっており、「その他」の内容として「コミュニケーションをとることに対して不安・苦手」「家族以外の人とコミュニケーションがとれない」「相手の声が聞き取りにくいいため理解できない時がある」などがありました。

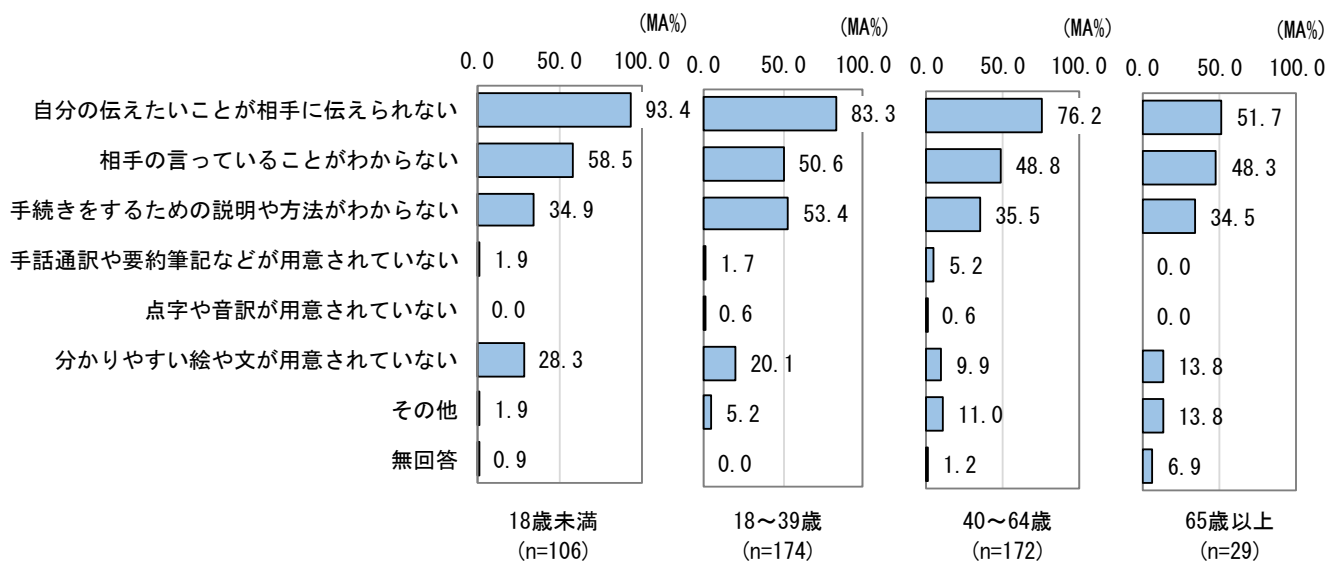


障害種別でみると、いずれも「自分の伝えたいことが相手に伝えられない」が最も多く、「身体障害者」が70.1%、「知的障害者」が88.6%、「精神障害者」が77.2%となっています。



第2章 身体・知的・精神障害者調査の結果

年齢別で見ると、いずれも「自分の伝えたいことが相手に伝えられない」が最も多く、「18歳未満」が93.4%、「18～39歳」が83.3%、「40～64歳」が76.2%、「65歳以上」が51.7%となっています。

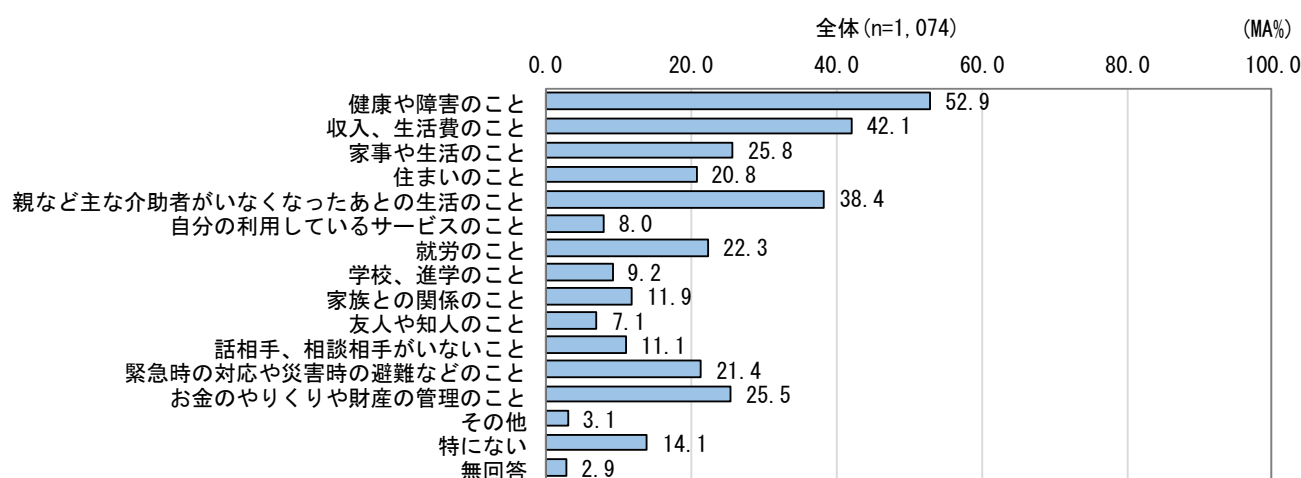


5 相談などについて

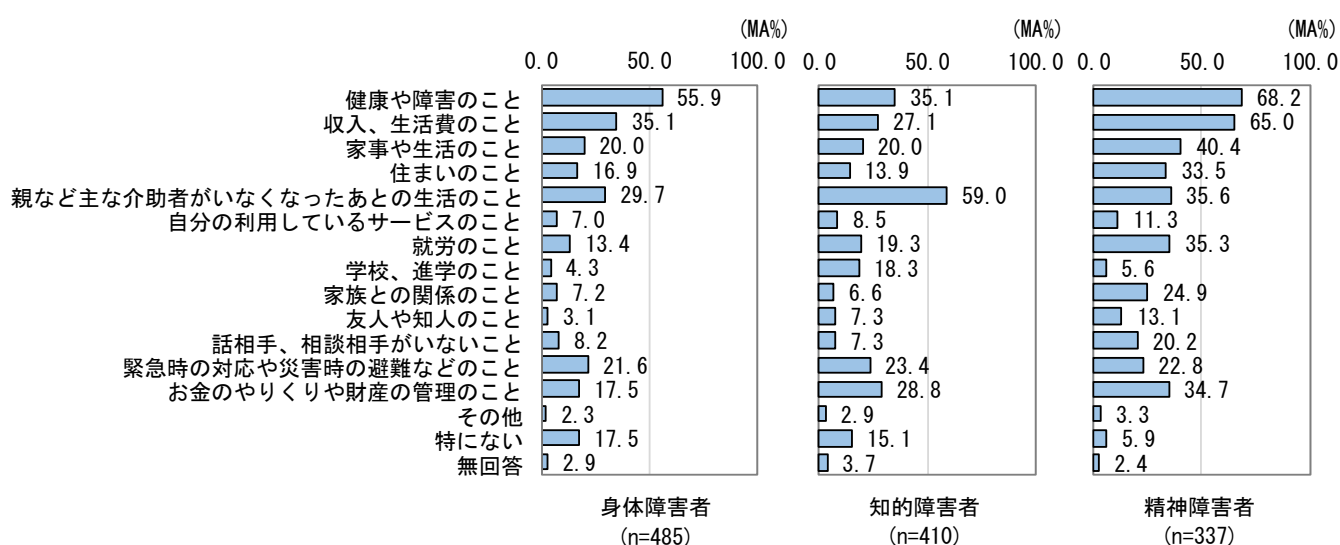
(1) 不安に感じていることや悩んでいること

問 24 あなたは現在、不安に感じていることや悩んでいることがありますか。 ○はいくつでも

現在、不安に感じていることや悩んでいることについて、「健康や障害のこと」が52.9%で最も多く、次いで「収入、生活費のこと」が42.1%、「親など主な介助者がいなくなったあとの生活のこと」が38.4%となっており、「その他」の内容として「将来に対する漠然とした不安」「老後のこと」「育児・子育てのこと」などがありました。

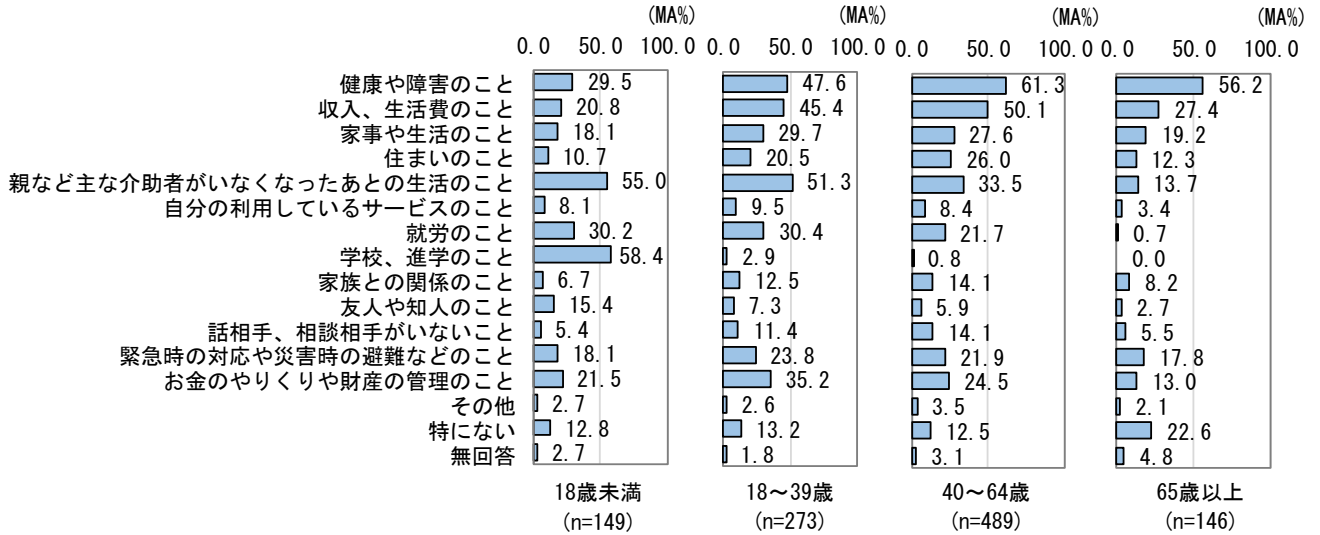


障害種別でみると、「身体障害者」では「健康や障害のこと」が55.9%で最も多く、「知的障害者」では「親など主な介助者がいなくなったあとの生活のこと」が59.0%で最も多く、「精神障害者」では「健康や障害のこと」が68.2%で最も多くなっています。



第2章 身体・知的・精神障害者調査の結果

年齢別で見ると、「18歳未満」では「学校、進学のこと」が58.4%で最も多く、「18～39歳」では「親など主な介助者がいなくなったあとの生活のこと」が51.3%で最も多く、「40～64歳」では「健康や障害のこと」が61.3%で最も多く、「65歳以上」では「健康や障害のこと」が56.2%で最も多くなっています。

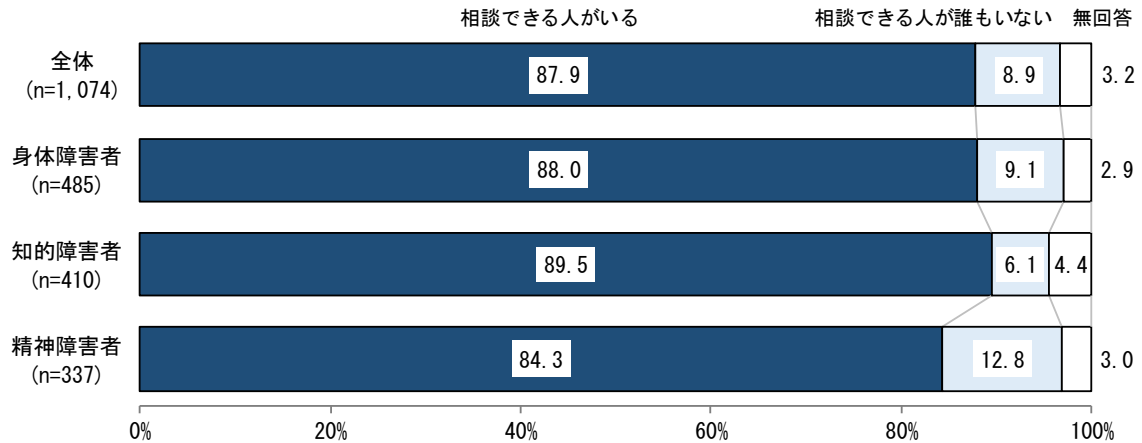


(2) 悩みごとや心配ごとの相談相手の有無

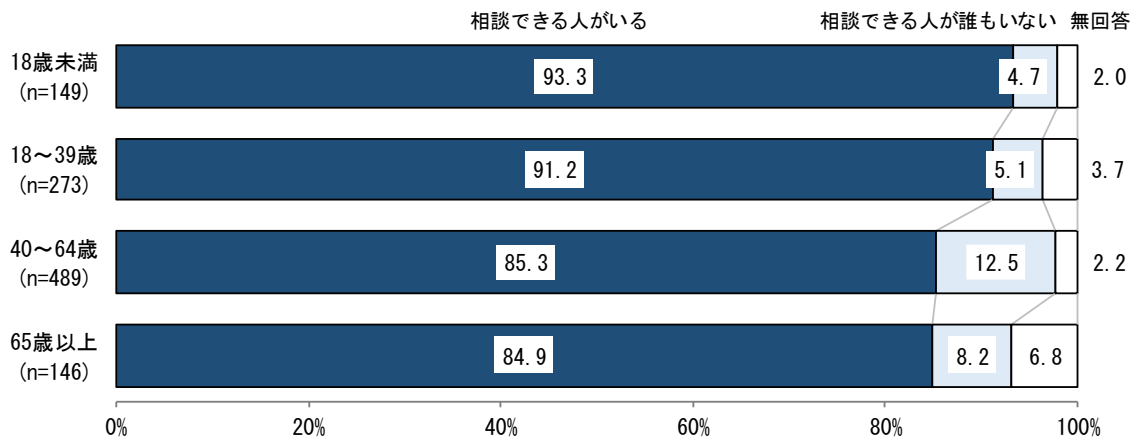
問 25 あなたには、悩みごとや心配ごとを相談できる人がいますか。 ○は1つだけ

悩みごとや心配ごとを相談できる人がいるかについて、「相談できる人がいる」が87.9%、「相談できる人が誰もいない」が8.9%となっています。

障害種別でみると、「相談できる人がいる」では「身体障害者」が88.0%、「知的障害者」が89.5%、「精神障害者」が84.3%となっています。

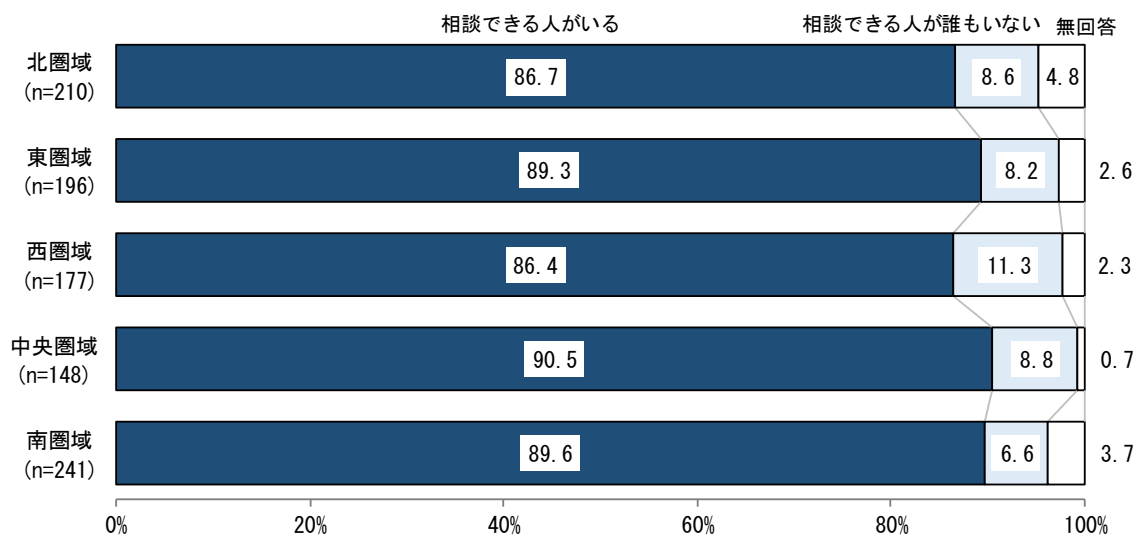


年齢別でみると、「相談できる人がいる」では「18歳未満」が93.3%で最も多く、次いで「18～39歳」が91.2%、「40～64歳」が85.3%となっています。



第2章 身体・知的・精神障害者調査の結果

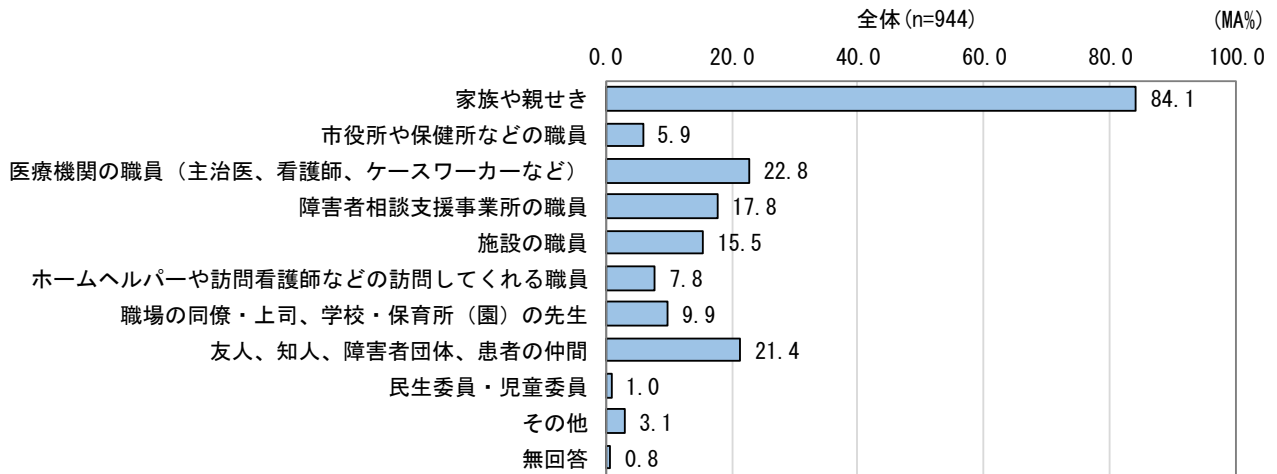
圏域別でみると、「相談できる人がいる」では「中央圏域」が90.5%で最も多く、次いで「南圏域」が89.6%、「東圏域」が89.3%となっています。



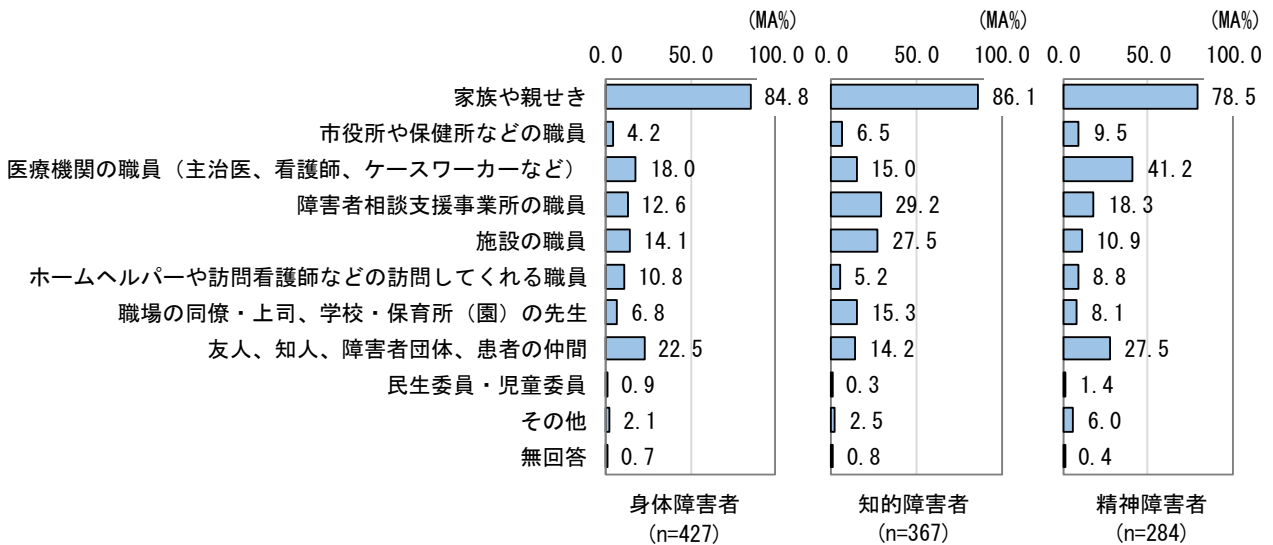
(3) 悩みごとや心配ごとの相談相手

問 25-1 問 25 で「相談できる人がいる」を回答した方におたずねします。相談相手について教えてください。 ○はいくつでも

悩みごとや心配ごとを相談できる人がいる人に、相談相手についてたずねたところ、「家族や親せき」が 84.1%で最も多く、次いで「医療機関の職員（主治医、看護師、ケースワーカーなど）」が 22.8%、「友人、知人、障害者団体、患者の仲間」が 21.4%となっており、「その他」の内容として「パートナー（家族以外）」「精神科の医師、心理カウンセラー」「就労移行支援事業所の職員」などがありました。

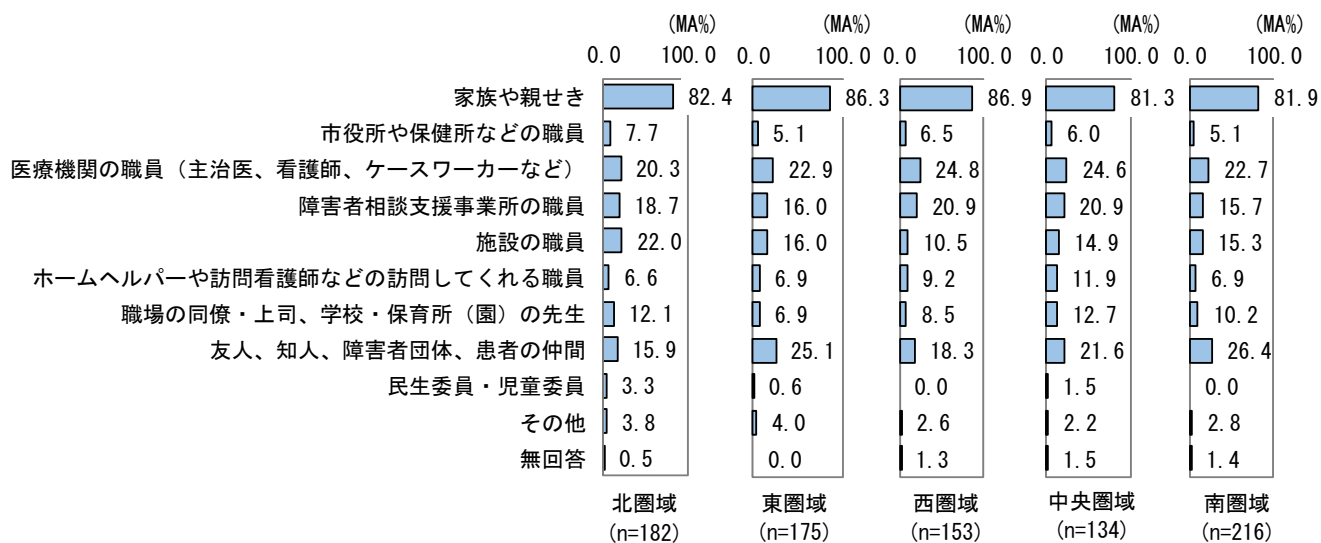


障害種別でみると、いずれも「家族や親せき」が最も多く、「身体障害者」が 84.8%、「知的障害者」が 86.1%、「精神障害者」が 78.5%となっています。



第2章 身体・知的・精神障害者調査の結果

圏域別で見ると、いずれも「家族や親せき」が最も多く、「北圏域」が82.4%、「東圏域」が86.3%、「西圏域」が86.9%、「中央圏域」が81.3%、「南圏域」が81.9%となっています。



(4) 悩みごとや心配ごとの解決方法

問 25-2	問 25 で「相談できる人が誰もいない」を回答した方におたずねします。あなたは、抱えている悩みや心配ごとをどのように解決しますか。具体的に記入してください。	自由記述
--------	--	------

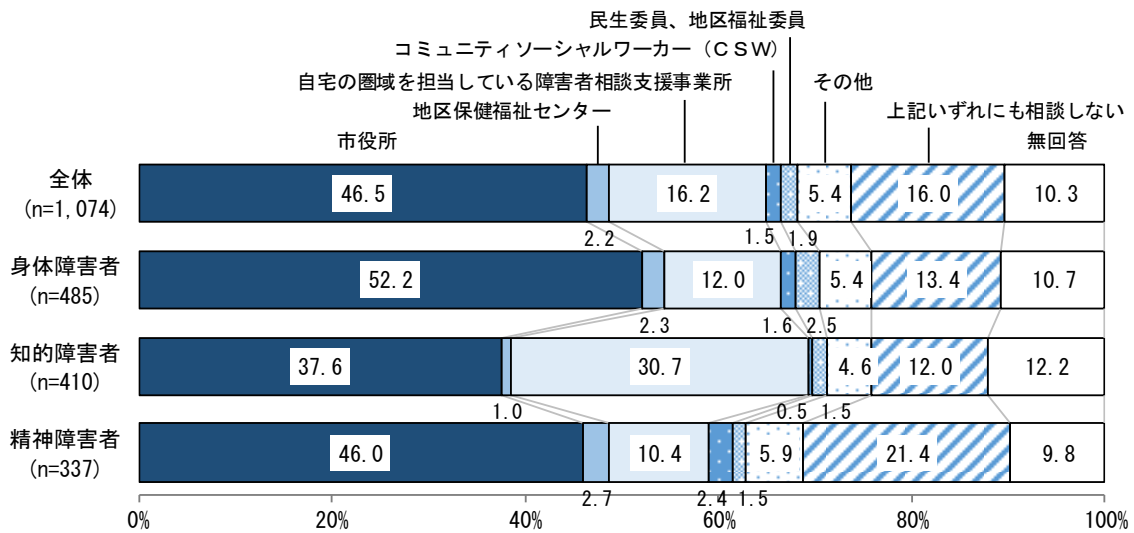
悩みごとや心配ごとを相談できる人が誰もいない人に、悩みごとや心配ごとの解決方法についてたずねたところ、以下のとおりとなりました。

意見	件数
解決したいがどうしていいかわからない	22
自分自身で解決するよう努力する	18
解決はできないと思っている	12
病院（精神科、心療内科、カウンセリング等）に行く	7
家族以外の人（友人・知人・仕事仲間等）に相談する	4
市役所、ケースワーカーに相談する	4
インターネット・SNS上で知り合った人に相談する	2
相談できる人がいない	2
解決に向けて何もしない	2
好きなことや熱中することをして気分を切り替える	1
家族に相談する	1
学校の先生に相談する	1
その他	9
延べ件数	85

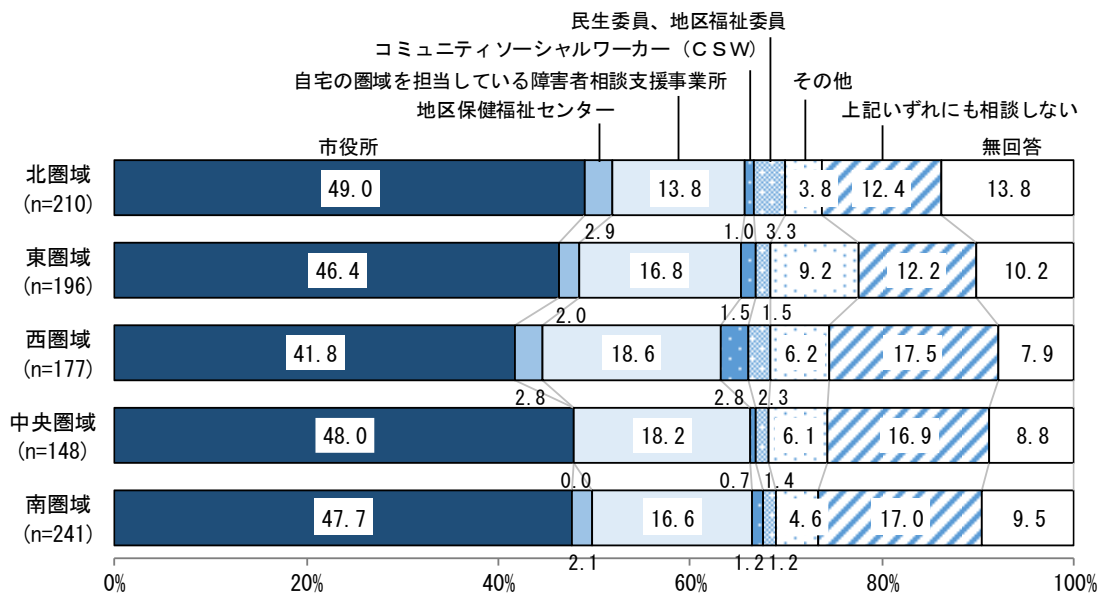
(5) 市が整備している相談機関

問 26 生活上の困ったことや、将来の不安、制度の利用などについて相談したいと思った際に、市が整備している機関のうち、まずどの機関に相談しますか。 ○は1つだけ

生活上の困ったことや、将来の不安、制度の利用などについて相談したいと思った際に、市が整備している機関のうち、まずどの機関に相談するかについて、「市役所」が46.5%で最も多く、次いで「自宅の圏域を担当している障害者相談支援事業所」が16.2%、「上記いずれにも相談しない」が16.0%となっており、「その他」の内容として「わからない・どこに相談してよいかわからない」などがありました。障害種別でみると、いずれも「市役所」が最も多く、「身体障害者」が52.2%、「知的障害者」が37.6%、「精神障害者」が46.0%となっています。



圏域別でみると、いずれも「市役所」が最も多く、「北圏域」が49.0%、「東圏域」が46.4%、「西圏域」が41.8%、「中央圏域」が48.0%、「南圏域」が47.7%となっています。

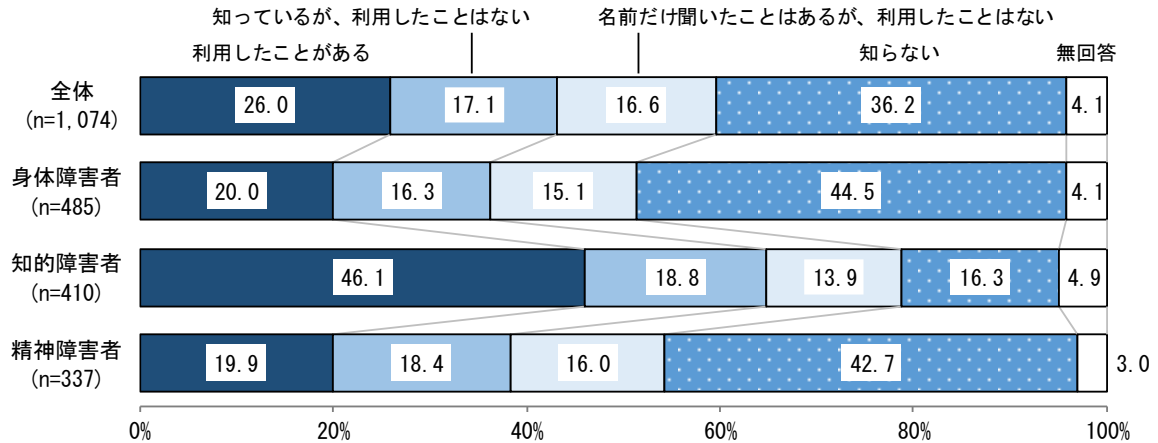


(6) 障害者相談支援事業所の利用・認知状況

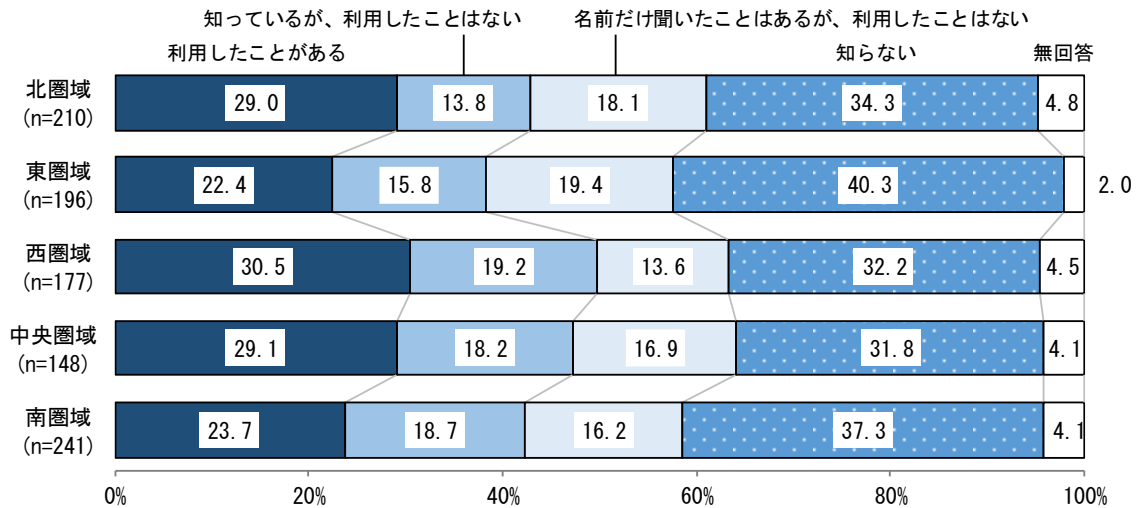
問 27	あなたは、「ゆうあい」、「あい・あい」、「あゆむ」、「藍野療育園」、「ひまわり」、「りあん」、「慶徳会」、「ぼぼんがぼん」、「リーベ」、「とんぼ」などの障害者相談支援事業所を知っていますか。	○は1つだけ
-------------	---	--------

障害者相談支援事業所の利用・認知状況について、「知らない」が36.2%で最も多く、次いで「利用したことがある」が26.0%、「知っているが、利用したことはない」が17.1%となっています。

障害種別でみると、「利用したことがある」では「身体障害者」が20.0%、「知的障害者」が46.1%、「精神障害者」が19.9%となっています。



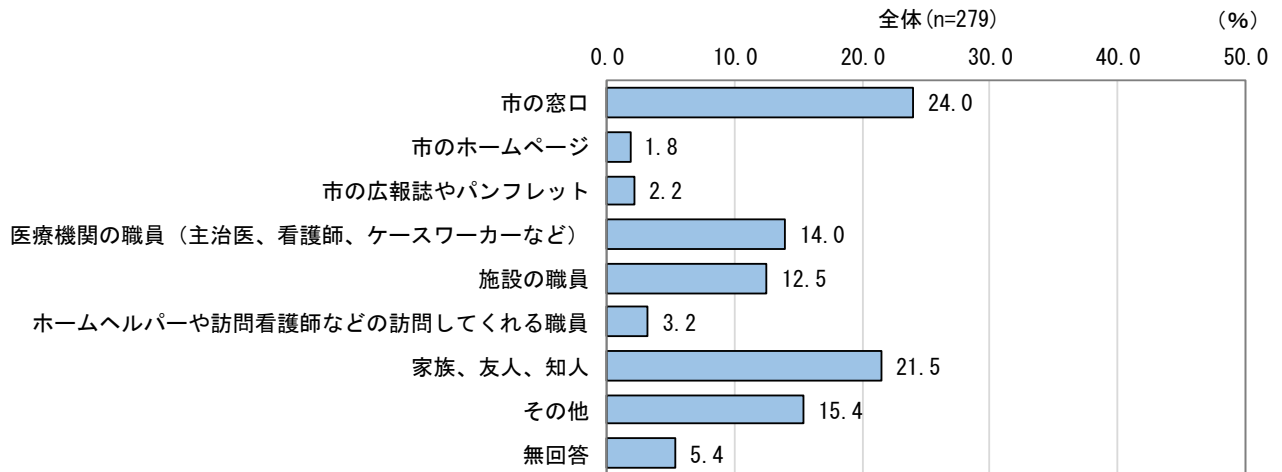
圏域別でみると、いずれも「知らない」が最も多く、「北圏域」が34.3%、「東圏域」が40.3%、「西圏域」が32.2%、「中央圏域」が31.8%、「南圏域」が37.3%となっています。



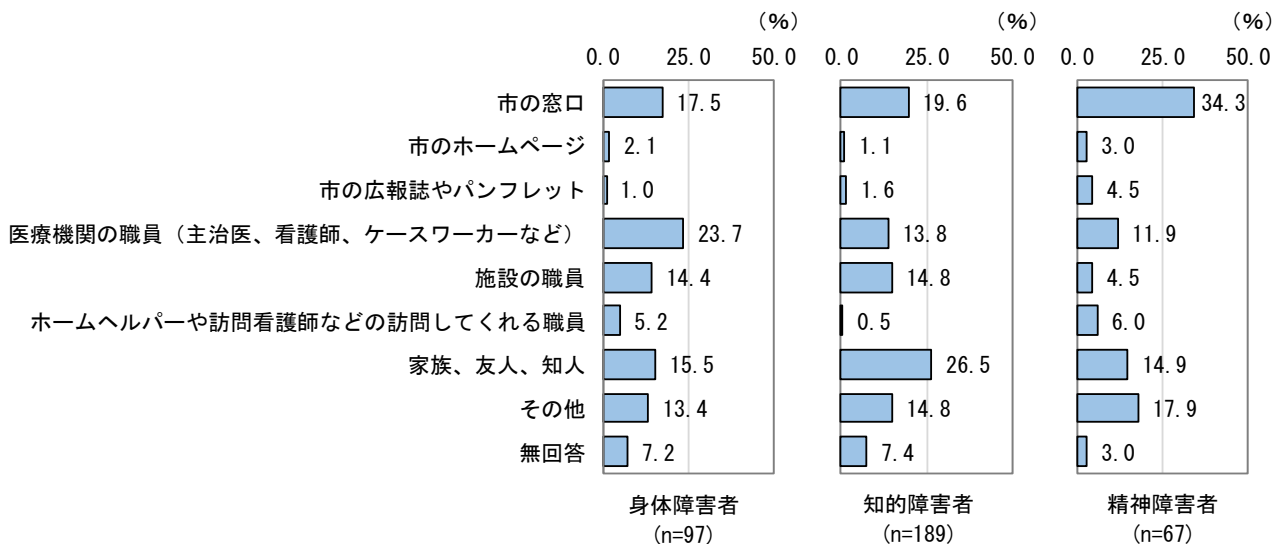
(7) 障害者相談支援事業所を知った場所など

問 27-1 問 27 で「利用したことがある」を回答した方におたずねします。障害者相談支援事業所をどこで知りましたか。 ○は1つだけ

障害者相談支援事業所を利用したことがある人に、障害者相談支援事業所をどこで知ったかについてたずねたところ、「市の窓口」が24.0%で最も多く、次いで「家族、友人、知人」が21.5%、「その他」が15.4%となっており、「その他」の内容として「支援学校」「就労支援移行事業所」「ケースワーカー、ソーシャルワーカー（医療機関以外）」などがありました。



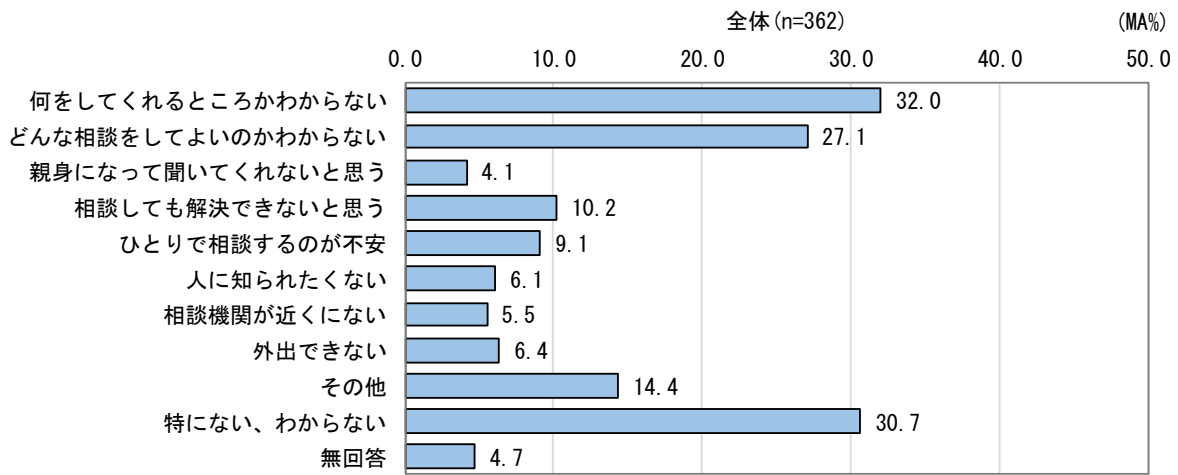
障害種別でみると、「身体障害者」では「医療機関の職員（主治医、看護師、ケースワーカーなど）」が23.7%で最も多く、「知的障害者」では「家族、友人、知人」が26.5%で最も多く、「精神障害者」では「市の窓口」が34.3%で最も多くなっています。



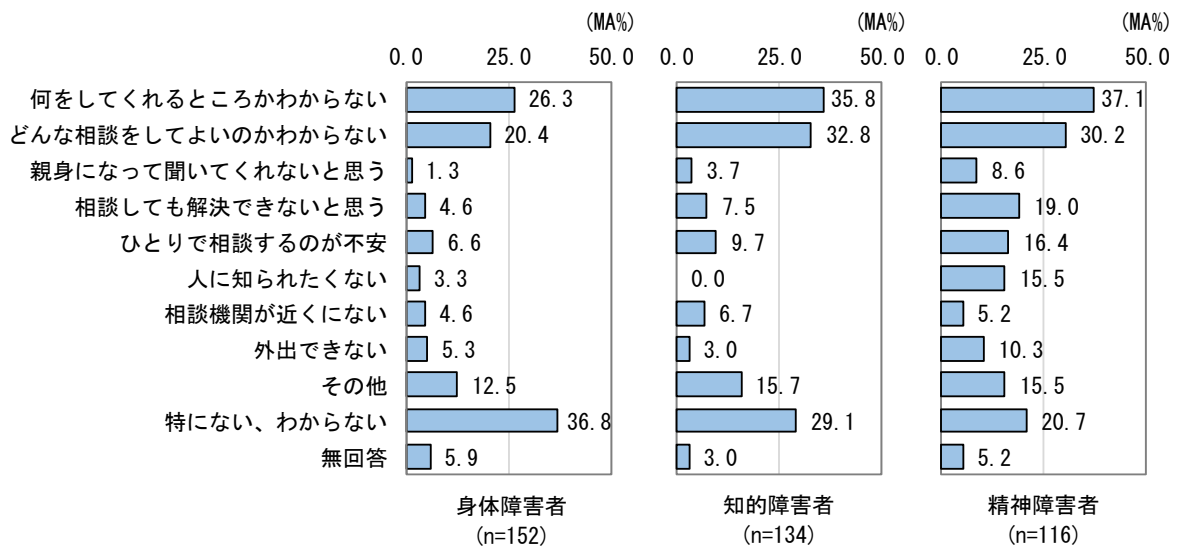
(8) 障害者相談支援事業所を利用したことがない理由

問 27-2	問 27 で「知っているが、利用したことはない」もしくは「名前だけ聞いたことはあるが、利用したことはない」のいずれかを回答した方におたずねします。利用したことがない理由は何ですか。	○はいくつでも
--------	--	---------

障害者相談支援事業所を利用したことはないが、知っている（名前だけ聞いたことがある）人に、利用したことがない理由についてたずねたところ、「何をしてくれるところかわからない」が 32.0%で最も多く、次いで「特にない、わからない」が 30.7%、「どんな相談をしてよいのかわからない」が 27.1% となっており、「その他」の内容として「今は困っていないので必要ない」「他で相談しているので必要ない」「親・配偶者にしているので必要ない」などがありました。

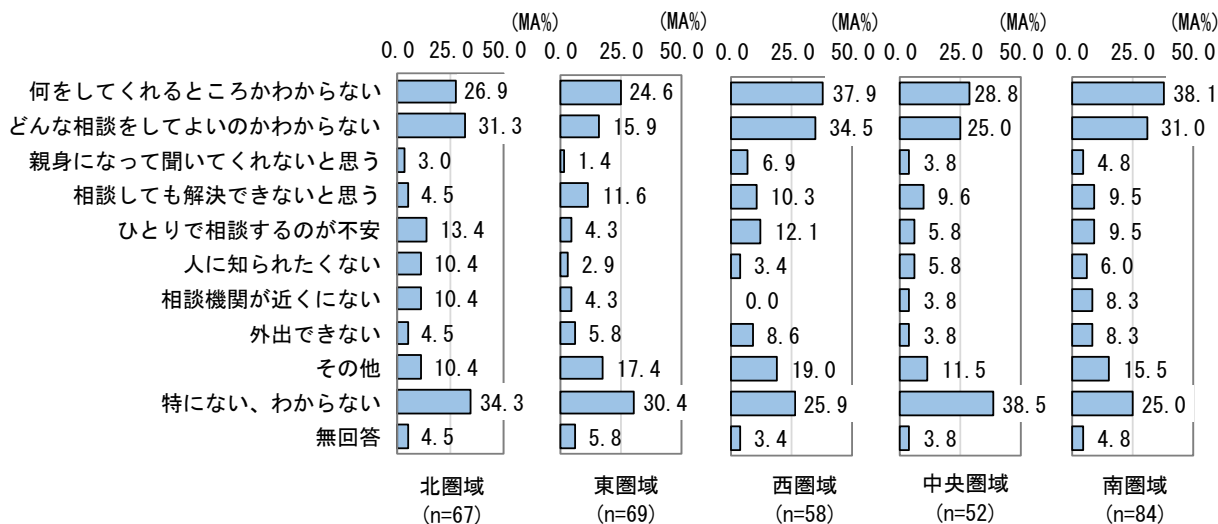


障害種別でみると、「身体障害者」では「特にない、わからない」が 36.8%で最も多く、「知的障害者」では「何をしてくれるところかわからない」が 35.8%で最も多く、「精神障害者」では「何をしてくれるところかわからない」が 37.1%で最も多くなっています。



第2章 身体・知的・精神障害者調査の結果

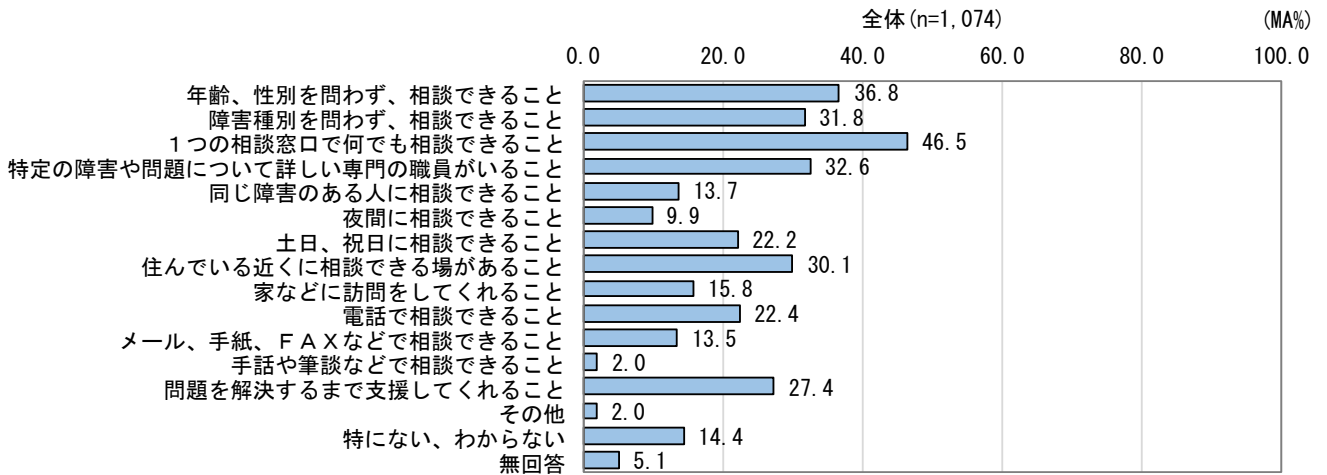
圏域別で見ると、「北圏域」では「特にない、わからない」が34.3%で最も多く、「東圏域」では「特にない、わからない」が30.4%で最も多く、「西圏域」では「何をしてくれるところかわからない」が37.9%で最も多く、「中央圏域」では「特にない、わからない」が38.5%で最も多く、「南圏域」では「何をしてくれるところかわからない」が38.1%で最も多くなっています。



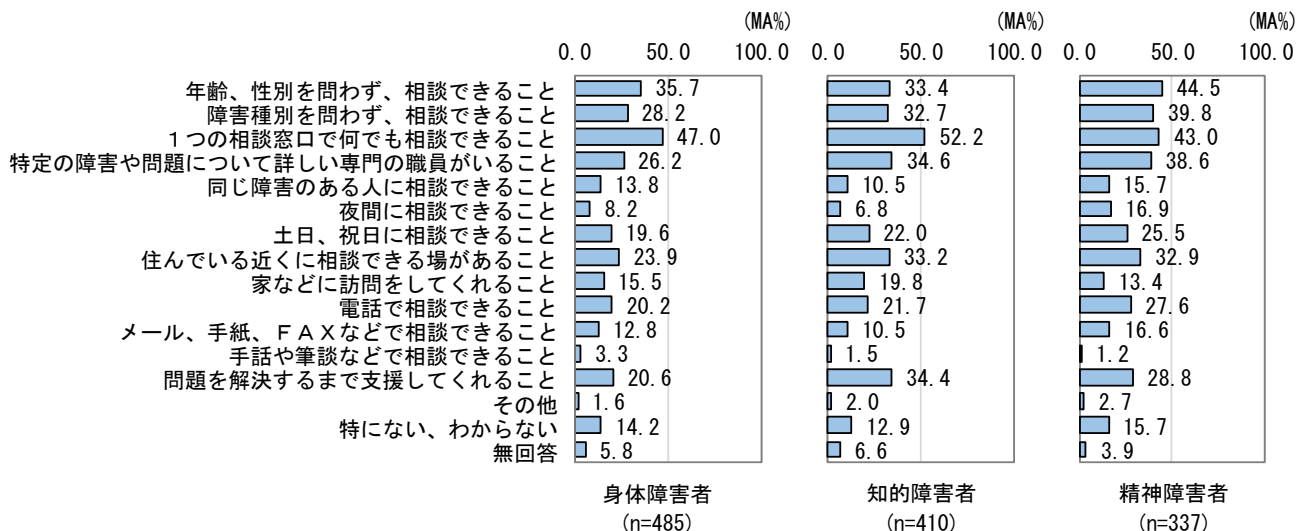
(9) 利用しやすい相談機関

問 28 あなたにとって利用しやすい相談機関はどのようなものですか。 ○はいくつでも

利用しやすい相談機関について、「1つの相談窓口で何でも相談できること」が46.5%で最も多く、次いで「年齢、性別を問わず、相談できること」が36.8%、「特定の障害や問題について詳しい専門の職員がいること」が32.6%となっており、「その他」の内容として「親身に話を聞いてくれる職員がいること」「医療機関」「医療行為のわかる職員がいること」「オンライン相談ができること」などがありました。

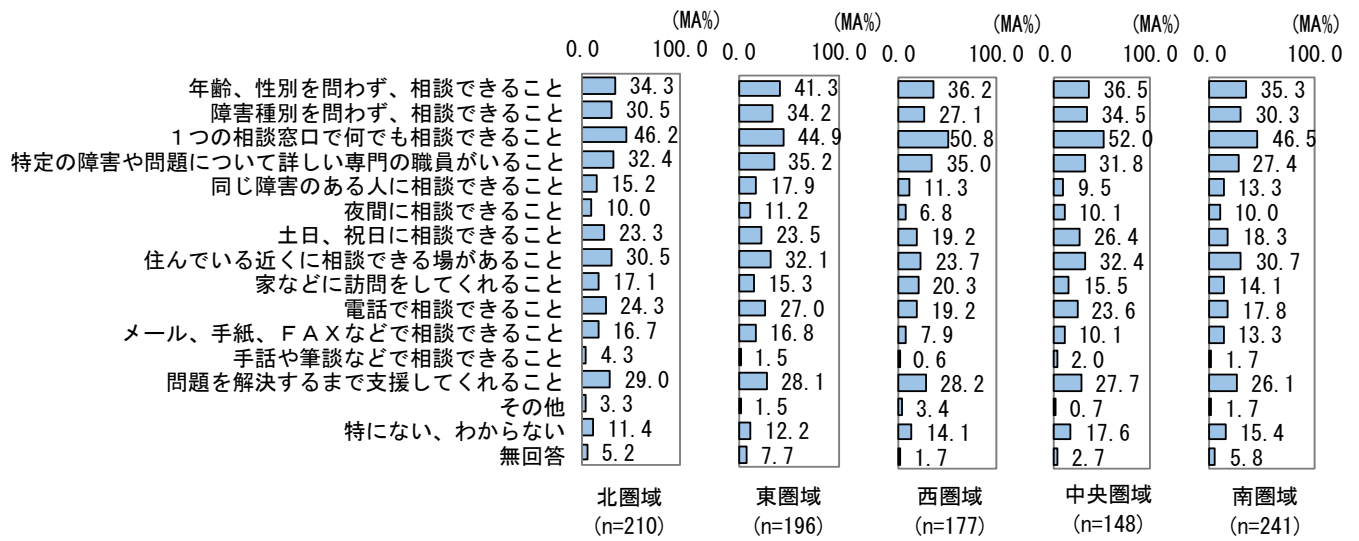


障害種別でみると、「身体障害者」では「1つの相談窓口で何でも相談できること」が47.0%で最も多く、「知的障害者」では「1つの相談窓口で何でも相談できること」が52.2%で最も多く、「精神障害者」では「年齢、性別を問わず、相談できること」が44.5%で最も多くなっています。



第2章 身体・知的・精神障害者調査の結果

圏域別で見ると、いずれも「1つの相談窓口で何でも相談できること」が最も多く、「北圏域」が46.2%、「東圏域」が44.9%、「西圏域」が50.8%、「中央圏域」が52.0%、「南圏域」が46.5%となっています。



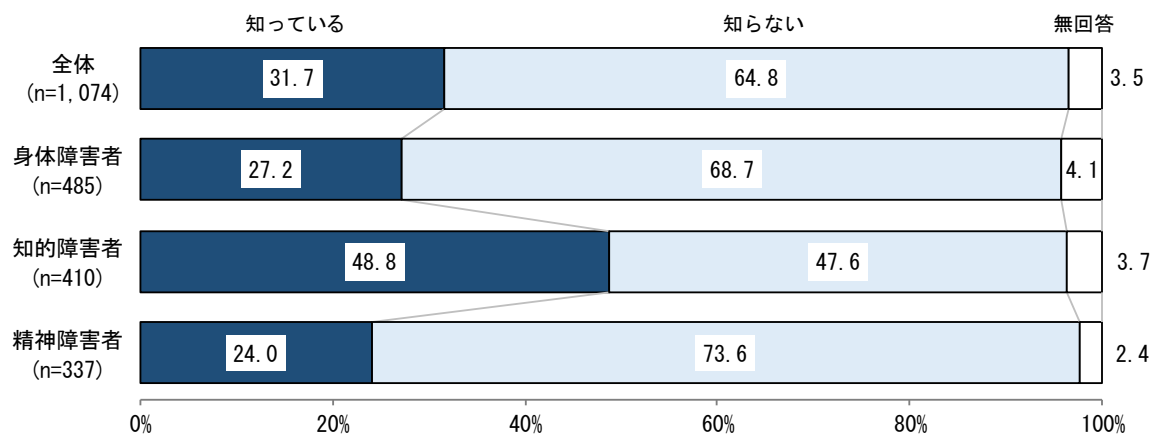
(10) 障害福祉センターハートフルの認知状況

問 29 あなたは、障害福祉センターハートフルを知っていますか。

○は1つだけ

障害福祉センターハートフルの認知状況について、「知っている」が31.7%、「知らない」が64.8%となっています。

障害種別でみると、「知っている」では「身体障害者」が27.2%、「知的障害者」が48.8%、「精神障害者」が24.0%となっています。



6 就労などについて

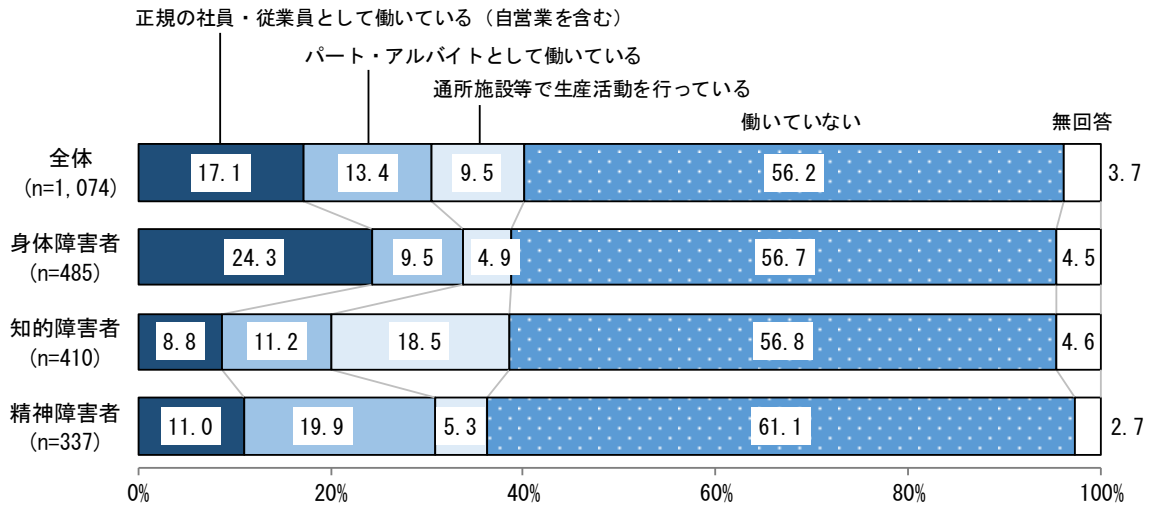
(1) 就労形態

問 30 あなたは、働いていますか。

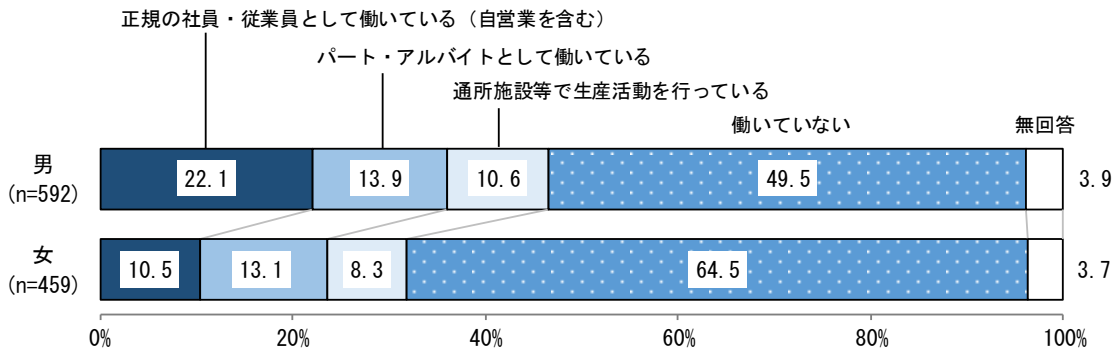
○は1つだけ

就労形態について、「働いていない」が56.2%で最も多く、次いで「正規の社員・従業員として働いている（自営業を含む）」が17.1%、「パート・アルバイトとして働いている」が13.4%となっています。

障害種別でみると、いずれも「働いていない」が最も多く、「身体障害者」が56.7%、「知的障害者」が56.8%、「精神障害者」が61.1%となっています。



性別でみると、「男」では「働いていない」が49.5%で最も多く、次いで「正規の社員・従業員として働いている（自営業を含む）」が22.1%、「パート・アルバイトとして働いている」が13.9%、「女」では「働いていない」が64.5%で最も多く、次いで「パート・アルバイトとして働いている」が13.1%、「正規の社員・従業員として働いている（自営業を含む）」が10.5%となっています。



(2) 1か月あたりの勤務日数

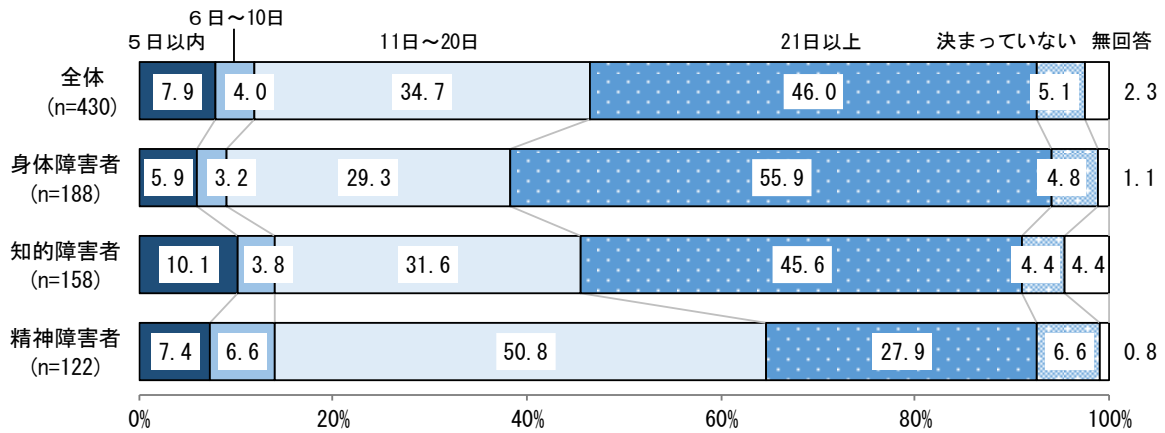
問 30-1

1か月に何日くらい働いていますか。

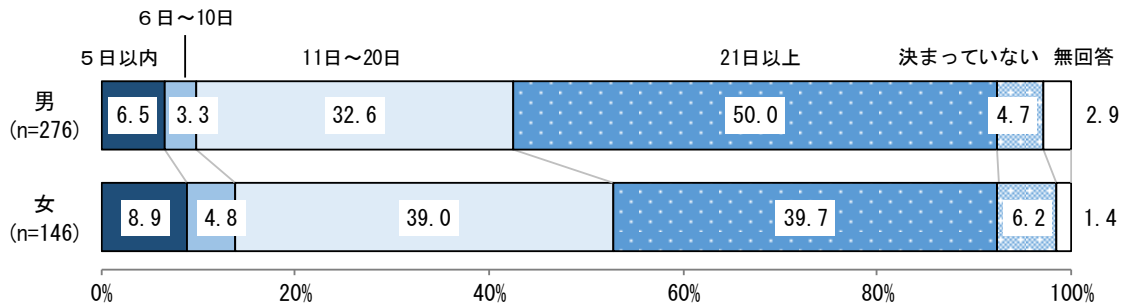
○は1つだけ

働いている人に、1か月あたりの勤務日数についてたずねたところ、「21日以上」が46.0%で最も多く、次いで「11～20日」が34.7%、「5日以内」が7.9%となっています。

障害種別でみると、「身体障害者」では「21日以上」が55.9%で最も多く、「知的障害者」では「21日以上」が45.6%で最も多く、「精神障害者」では「11～20日」が50.8%で最も多くなっています。



性別でみると、「男」では「21日以上」が50.0%で最も多く、次いで「11日～20日」が32.6%、「5日以内」が6.5%、「女」では「21日以上」が39.7%で最も多く、次いで「11日～20日」が39.0%、「5日以内」が8.9%となっています。

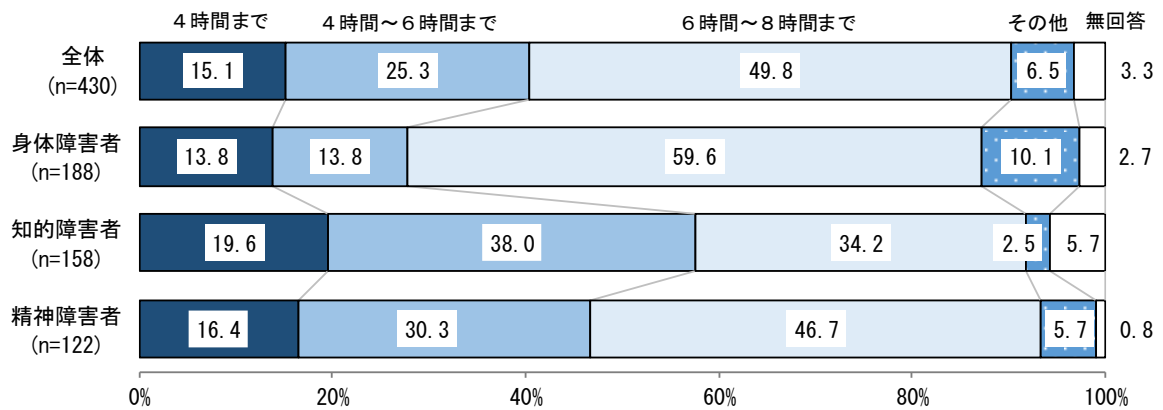


(3) 1日あたりの勤務時間

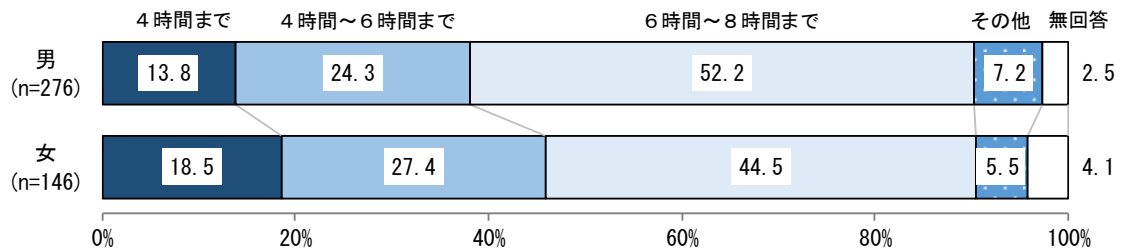
問 30-2 1日に何時間くらい働いていますか。 ○は1つだけ

働いている人に、1日あたりの勤務時間についてたずねたところ、「6時間～8時間まで」が49.8%で最も多く、次いで「4時間～6時間まで」が25.3%、「4時間まで」が15.1%となっています。

障害種別でみると、「身体障害者」では「6時間～8時間まで」が59.6%で最も多く、「知的障害者」では「4時間～6時間まで」が38.0%で最も多く、「精神障害者」では「6時間～8時間まで」が46.7%で最も多くなっています。



性別でみると、「男」では「6時間～8時間まで」が52.2%で最も多く、次いで「4時間～6時間まで」が24.3%、「4時間まで」が13.8%、「女」では「6時間～8時間まで」が44.5%で最も多く、次いで「4時間～6時間まで」が27.4%、「4時間まで」が18.5%となっています。



(4) 今の職場での勤務年数

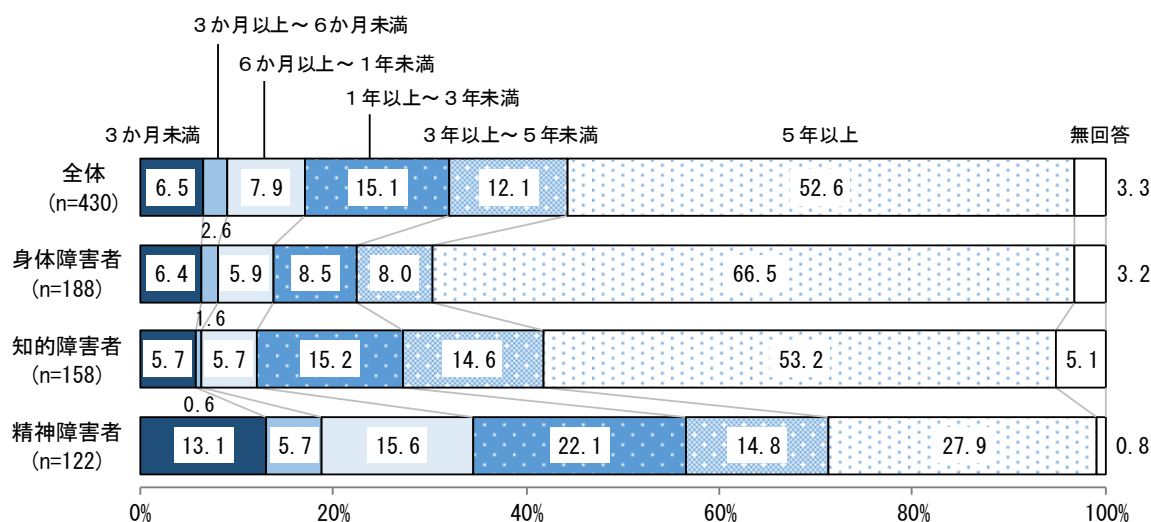
問 30-3

今の職場ではどのくらい働いていますか。

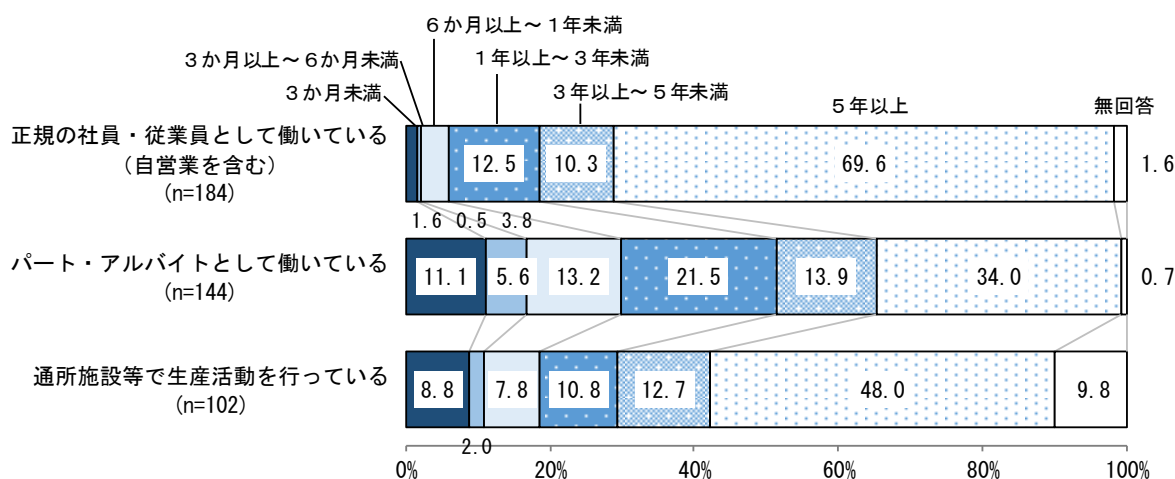
○は1つだけ

働いている人に、今の職場での勤務年数についてたずねたところ、「5年以上」が52.6%で最も多く、次いで「1年以上～3年未満」が15.1%、「3年以上～5年未満」が12.1%となっています。

障害種別でみると、いずれも「5年以上」が最も多く、「身体障害者」が66.5%、「知的障害者」が53.2%、「精神障害者」が27.9%となっています。



就労形態別でみると、いずれも「5年以上」が最も多く、「正規の社員・従業員として働いている（自営業を含む）」が69.6%、「パート・アルバイトとして働いている」が34.0%、「通所施設等で生産活動を行っている」が48.0%となっています。

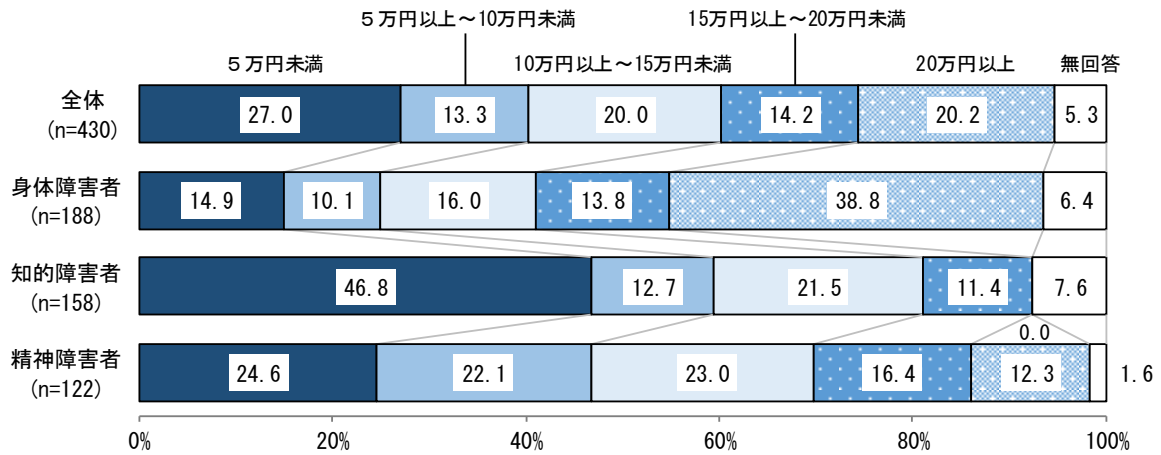


(5) 月収について

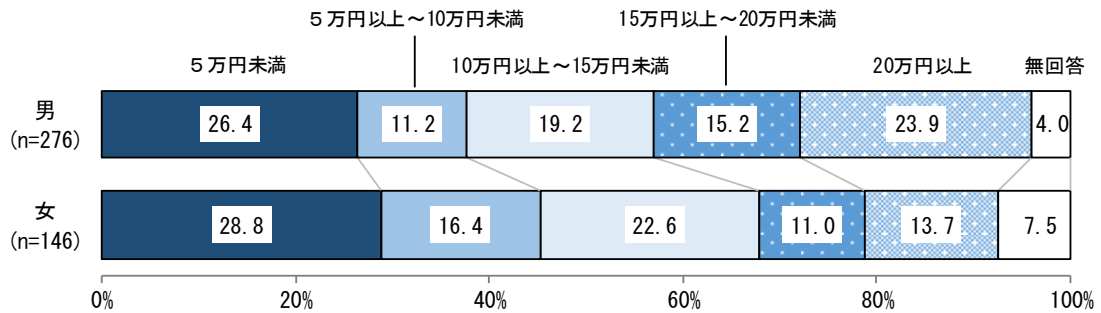
問 30-4 月収（障害年金手当等を除く）はいくらですか。 ○は1つだけ

働いている人に、月収についてたずねたところ、「5万円未満」が27.0%で最も多く、次いで「20万円以上」が20.2%、「10万円以上～15万円未満」が20.0%となっています。

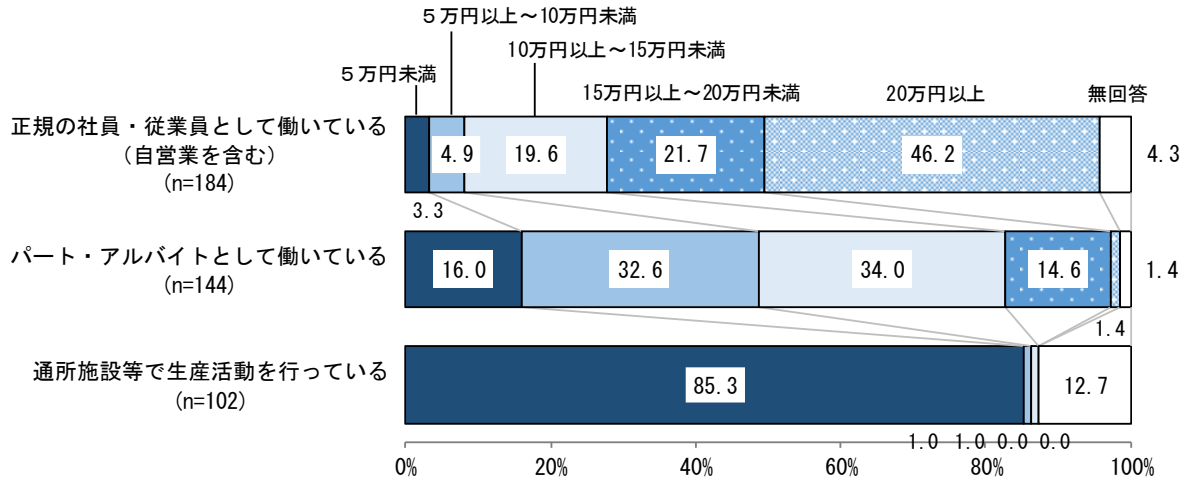
障害種別でみると、「身体障害者」では「20万円以上」が38.8%で最も多く、「知的障害者」では「5万円未満」が46.8%で最も多く、「精神障害者」では「5万円未満」が24.6%で最も多くなっています。



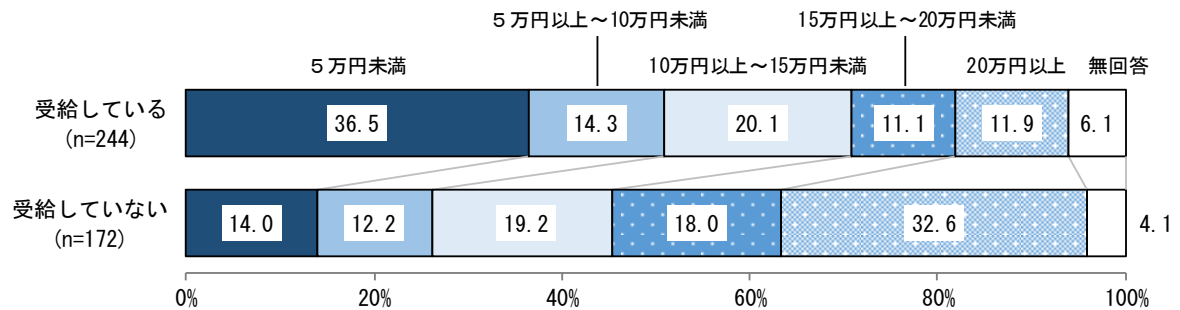
性別でみると、「男」では「5万円未満」が26.4%で最も多く、次いで「20万円以上」が23.9%、「10万円以上～15万円未満」が19.2%、「女」では「5万円未満」が28.8%で最も多く、次いで「10万円以上～15万円未満」が22.6%、「5万円以上～10万円未満」が16.4%となっています。



就労形態別で見ると、「正規の社員・従業員として働いている（自営業を含む）」では「20万円以上」が46.2%で最も多く、「パート・アルバイトとして働いている」では「10万円以上～15万円未満」が34.0%で最も多く、「通所施設等で生産活動を行っている」では「5万円未満」が85.3%で最も多くなっています。



年金受給別で見ると、「受給している」では「5万円未満」が36.5%で最も多く、次いで「10万円以上～15万円未満」が20.1%、「5万円以上～10万円未満」が14.3%、「受給していない」では「20万円以上」が32.6%で最も多く、次いで「10万円以上～15万円未満」が19.2%、「15万円以上～20万円未満」が18.0%となっています。

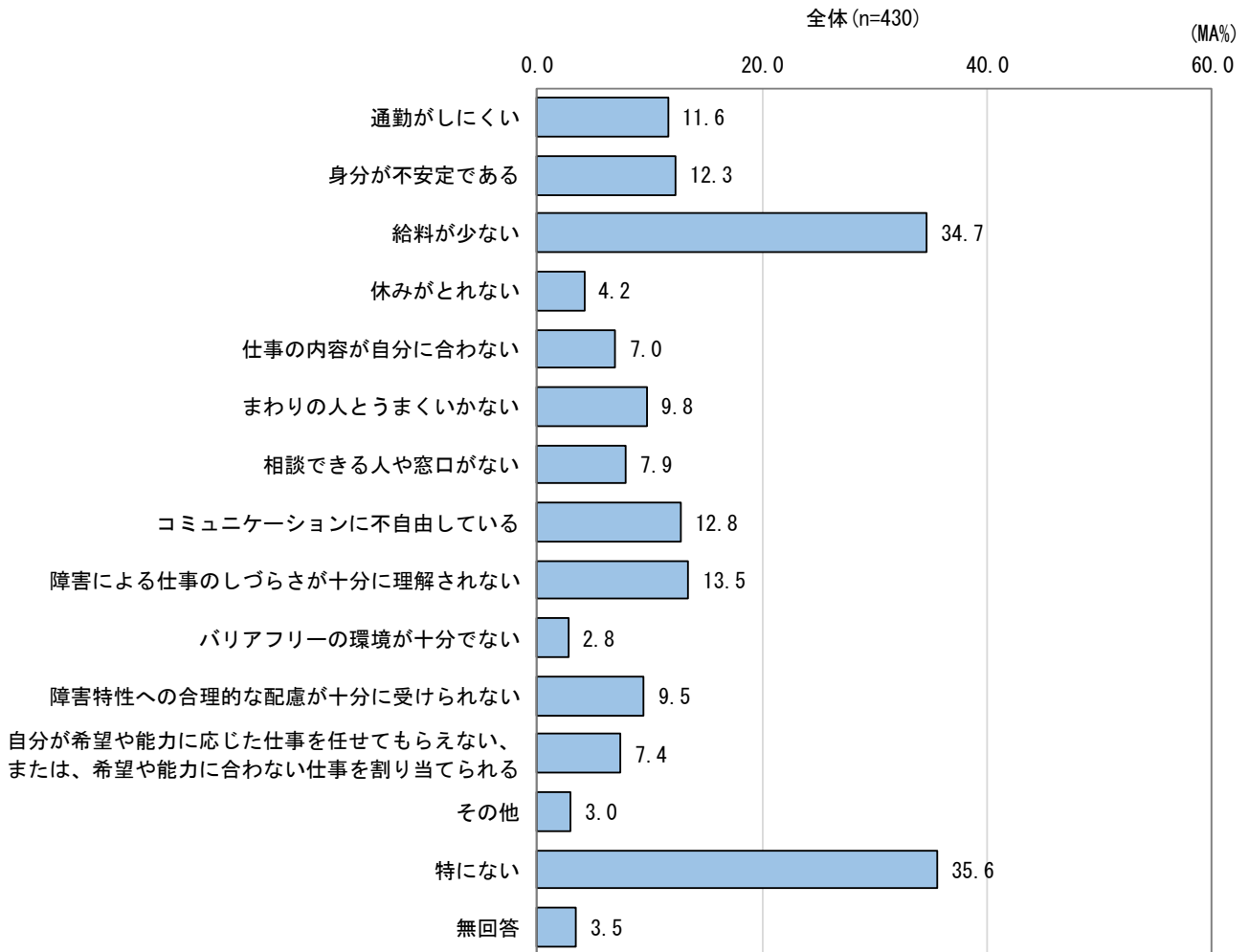


(6) 働くなかで困っていること

問 30-5 働くなかで、困っていることは何ですか。

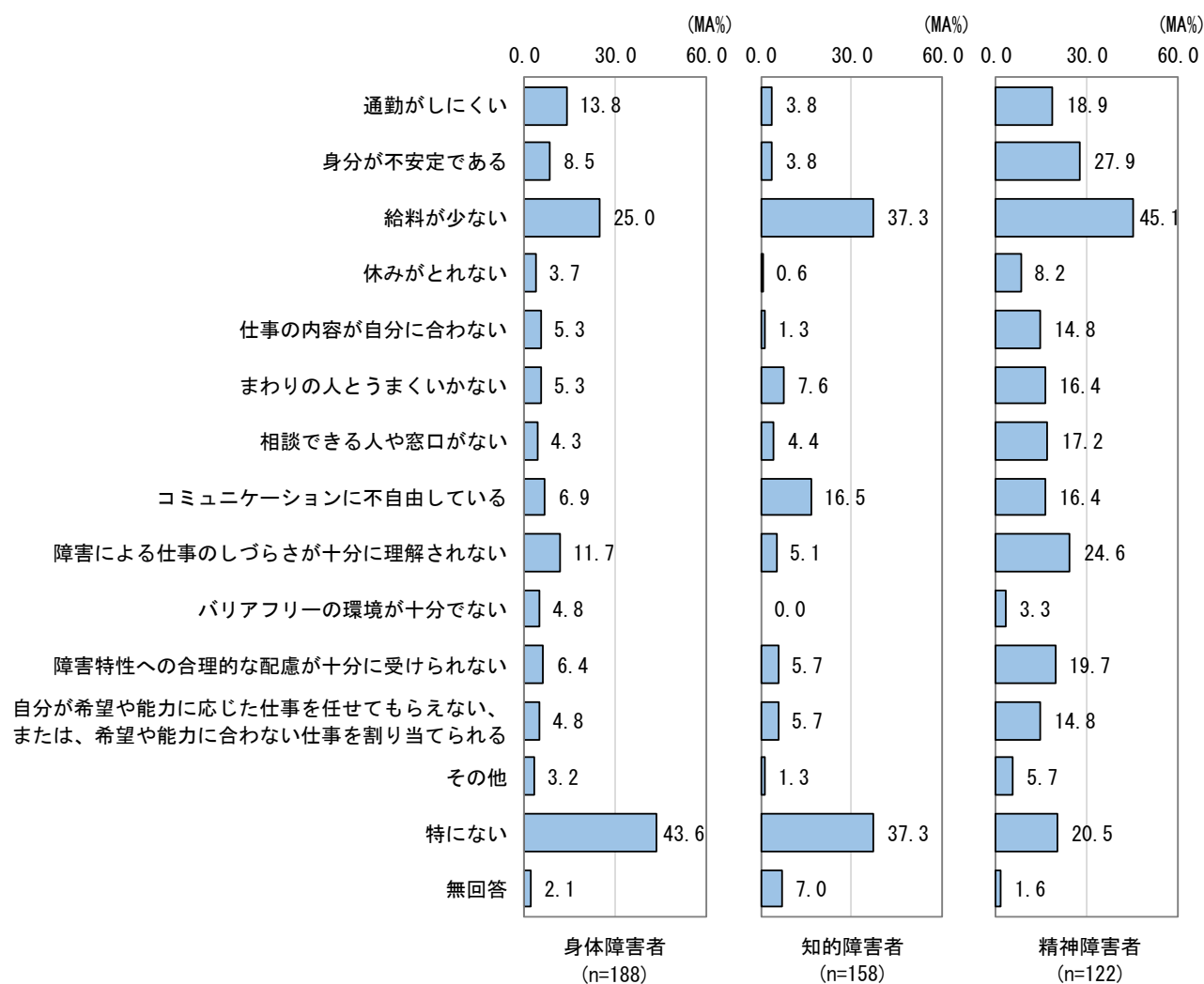
○はいくつでも

働いている人に、困っていることについてたずねたところ、「特にない」が35.6%で最も多く、次いで「給料が少ない」が34.7%、「障害による仕事のしづらさが十分に理解されない」が13.5%となっており、「その他」の内容として「健康状態が不安」「障害による仕事のやりにくさ」「休みがとりづらい」などがありました。



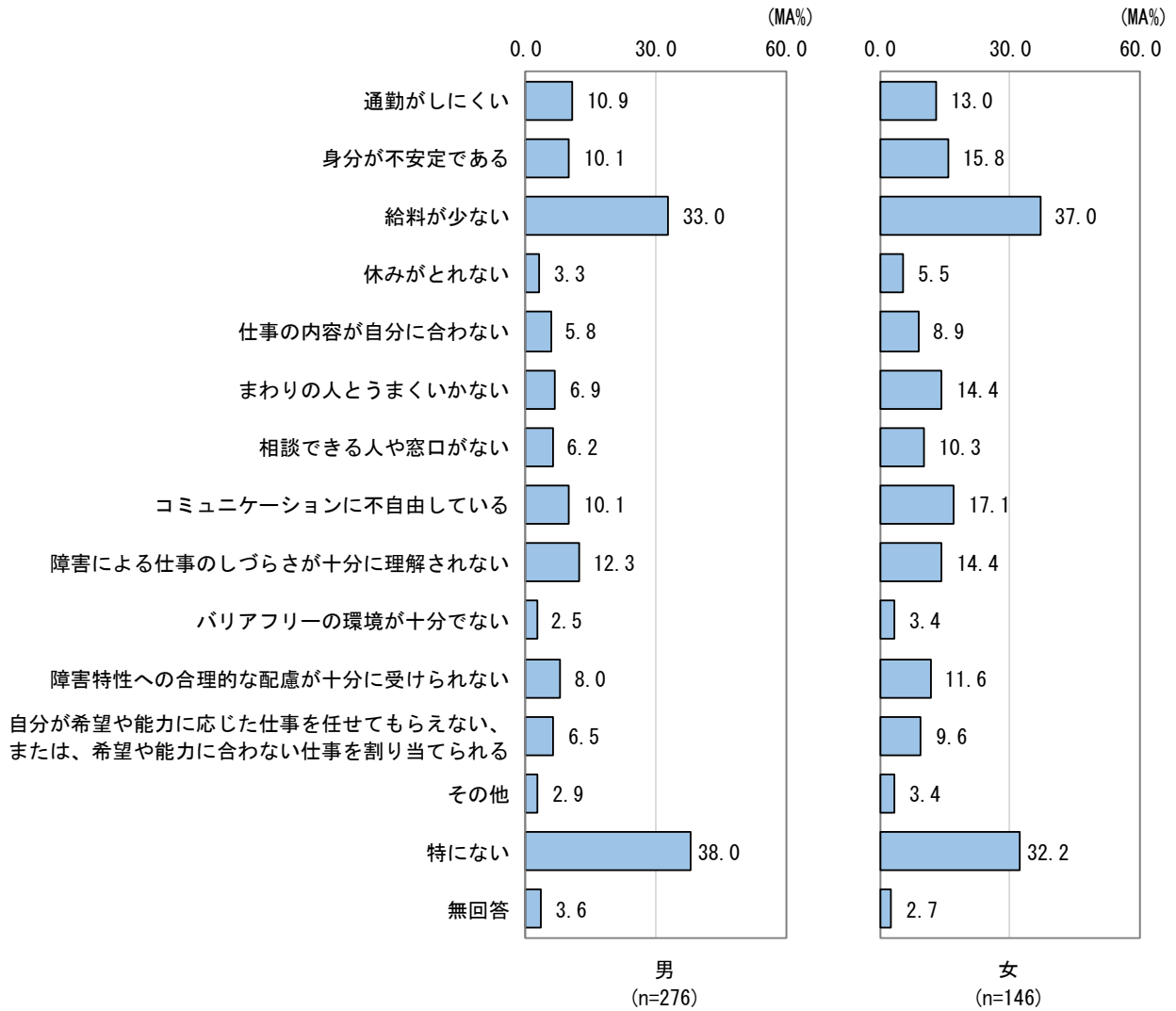
第2章 身体・知的・精神障害者調査の結果

障害種別でみると、「身体障害者」では「特にない」が43.6%で最も多く、「知的障害者」では「給料が少ない」「特にない」が37.3%で最も多く、「精神障害者」では「給料が少ない」が45.1%で最も多くなっています。



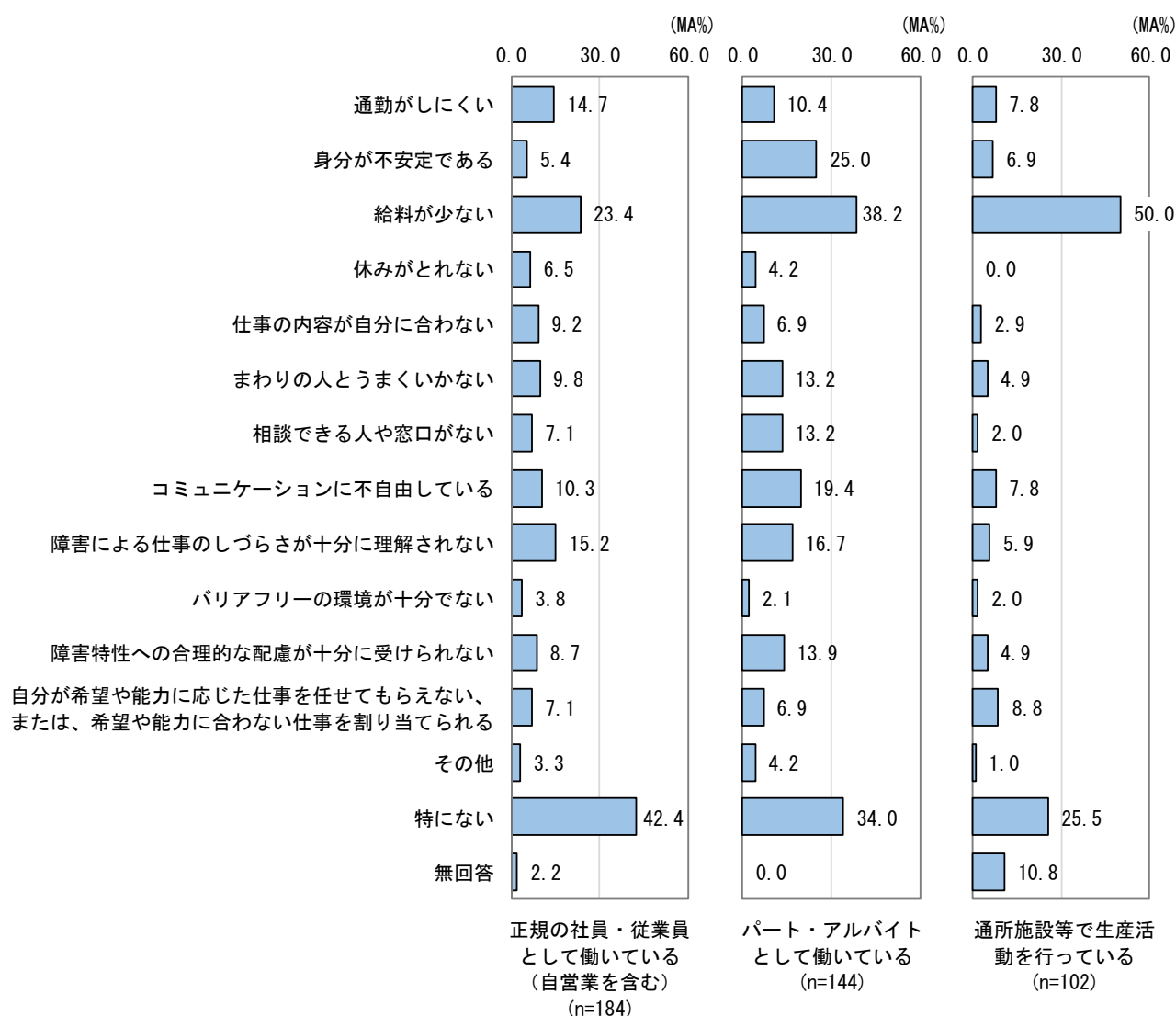
第2章 身体・知的・精神障害者調査の結果

性別で見ると、「男」では「特にない」が38.0%で最も多く、次いで「給料が少ない」が33.0%、「障害による仕事のしづらさが十分に理解されない」が12.3%、「女」では「給料が少ない」が37.0%で最も多く、次いで「特にない」が32.2%、「コミュニケーションに不自由している」が17.1%となっています。



第2章 身体・知的・精神障害者調査の結果

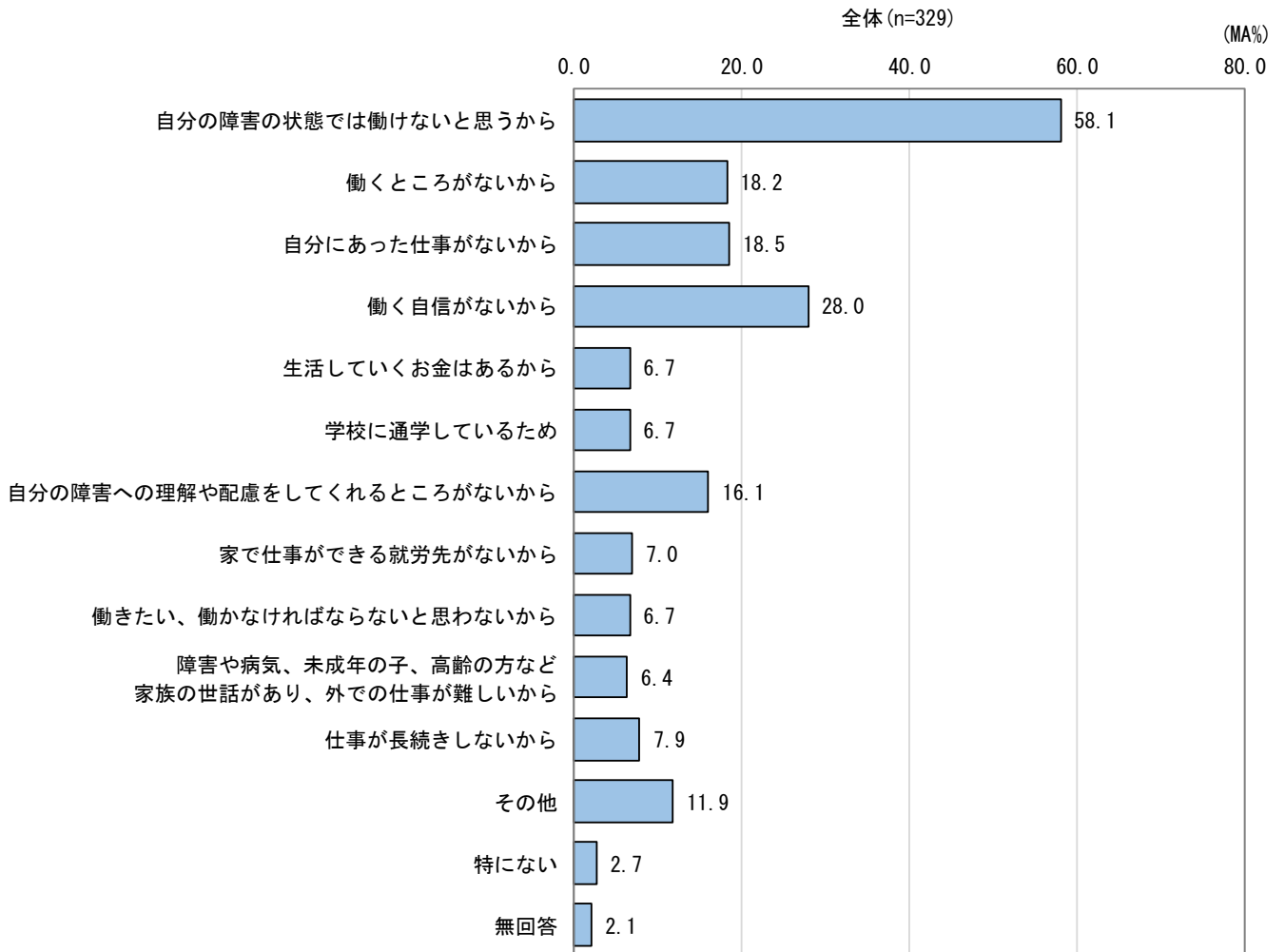
就労形態別でみると、「正規の社員・従業員として働いている（自営業を含む）」では「特にない」が42.4%で最も多く、「パート・アルバイトとして働いている」では「給料が少ない」が38.2%で最も多く、「通所施設等で生産活動を行っている」では「給料が少ない」が50.0%で最も多くなっています。



(7) 現在、働いていない理由

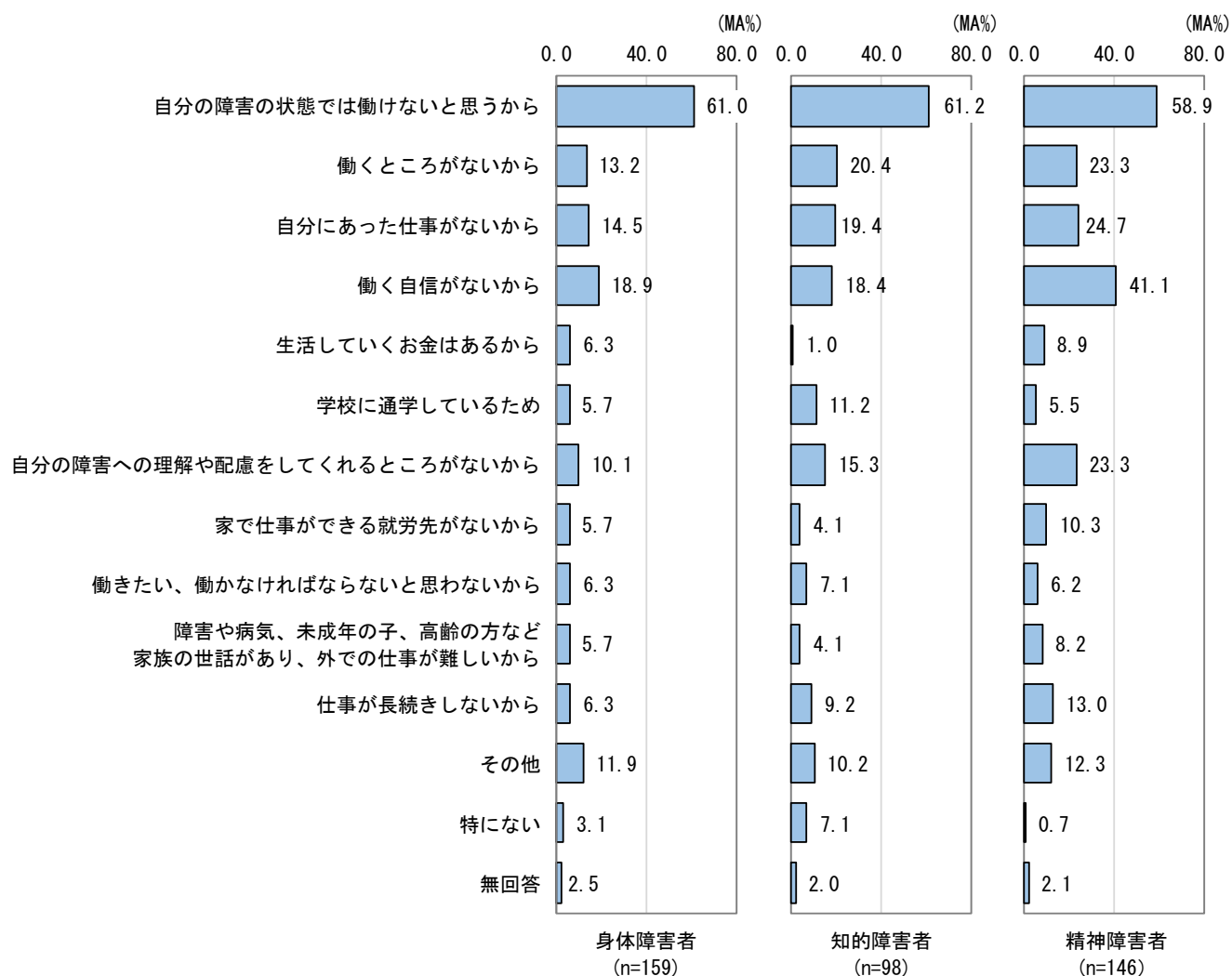
問31	18歳以上65歳未満の方で働いていない方におたずねします。現在、働いていない理由は何ですか。	○はいくつでも
-----	--	---------

18歳以上65歳未満で働いていない方に、働いていない理由についてたずねたところ、「自分の障害の状態では働けないと思うから」が58.1%で最も多く、次いで「働く自信がないから」が28.0%、「自分にあつた仕事がないから」が18.5%となっており、「その他」の内容として「体調に不安があるため」「病気のため」「入院中、病気療養中のため」などがありました。



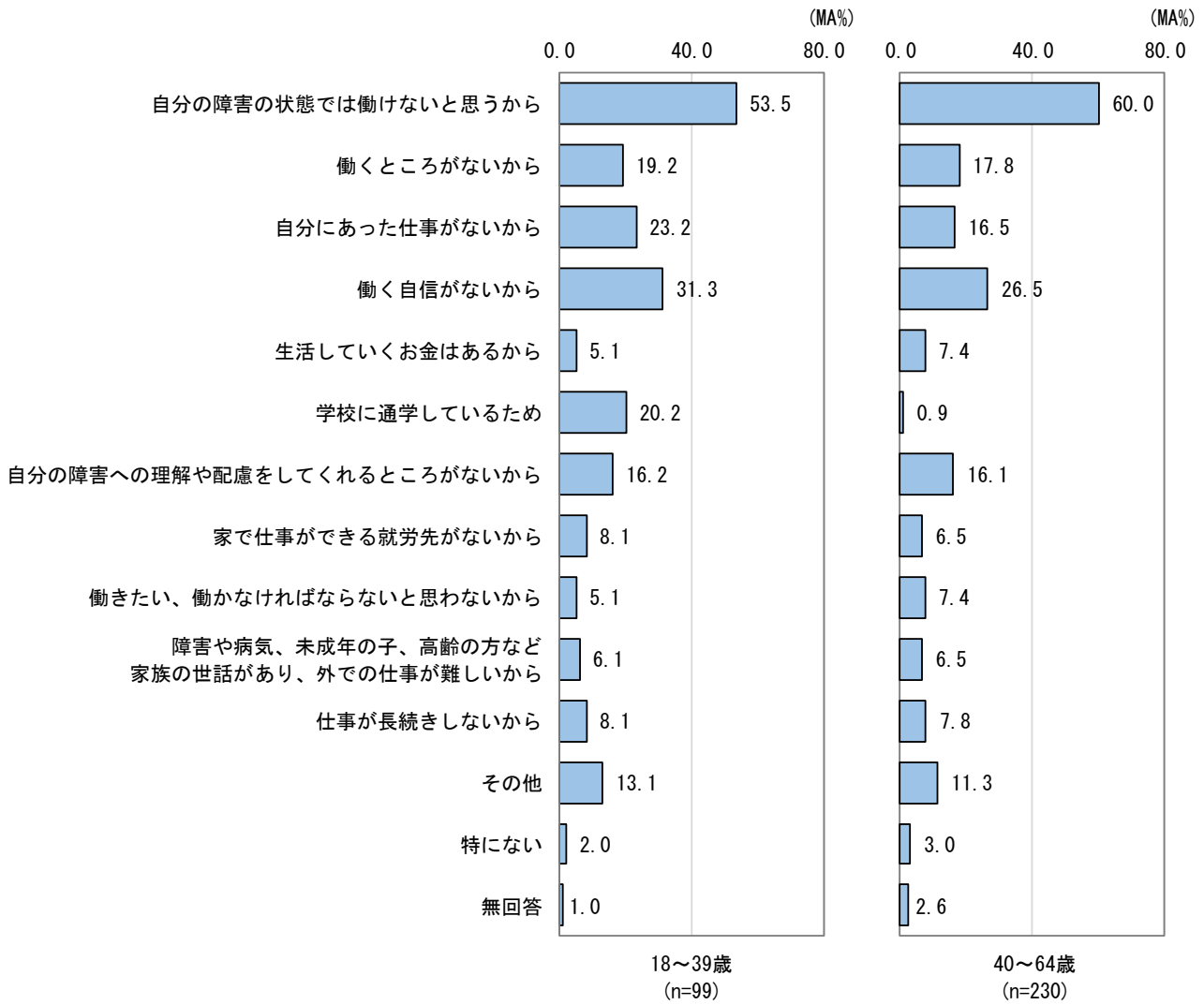
第2章 身体・知的・精神障害者調査の結果

障害種別で見ると、いずれも「自分の障害の状態では働けないと思うから」が最も多く、「身体障害者」が61.0%、「知的障害者」が61.2%、「精神障害者」が58.9%となっています。



第2章 身体・知的・精神障害者調査の結果

年齢別でみると、「18～39歳」では「自分の障害の状態では働けないと思うから」が53.5%で最も多く、次いで「働く自信がないから」が31.3%、「自分にあった仕事がないから」が23.2%、「40～64歳」では「自分の障害の状態では働けないと思うから」が60.0%で最も多く、次いで「働く自信がないから」が26.5%、「働くところがないから」が17.8%となっています。

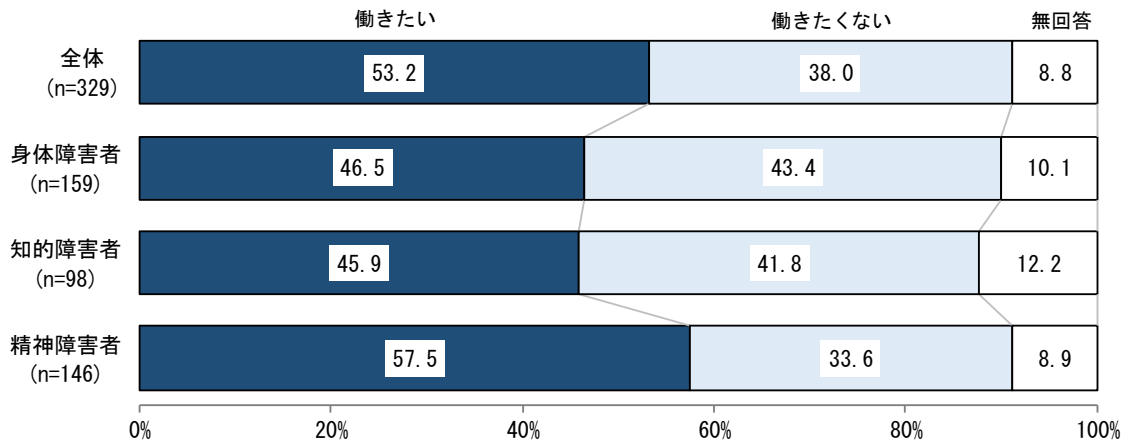


(8) 就労意向

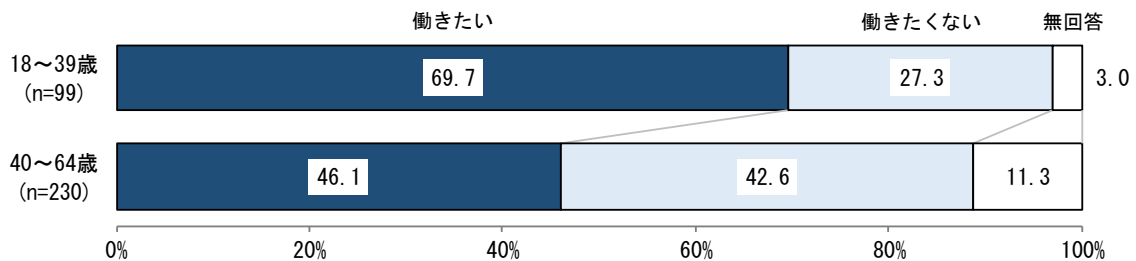
問 32	18歳以上65歳未満の方で働いていない方におたずねします。今後、働きたいですか。	○は1つだけ
-------------	--	--------

18歳以上65歳未満で働いていない方に、今後の就労意向についてたずねたところ、「働きたい」が53.2%、「働きたくない」が38.0%となっています。

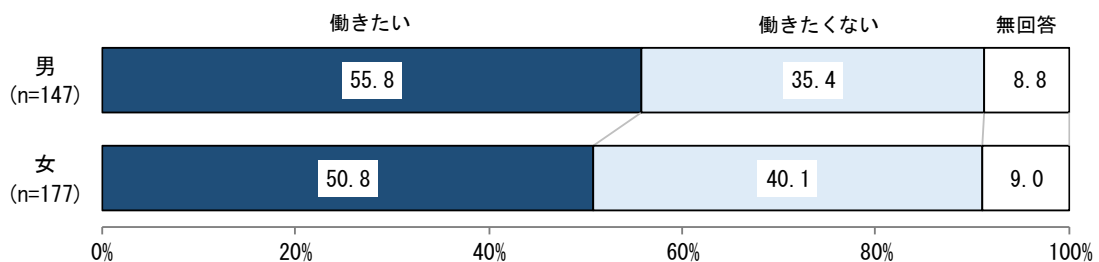
障害種別でみると、いずれも「働きたい」のほうが多く、「身体障害者」が46.5%、「知的障害者」が45.9%、「精神障害者」が57.5%となっています。



年齢別でみると、いずれも「働きたい」のほうが多く、「18～39歳」が69.7%、「40～64歳」が46.1%となっています。



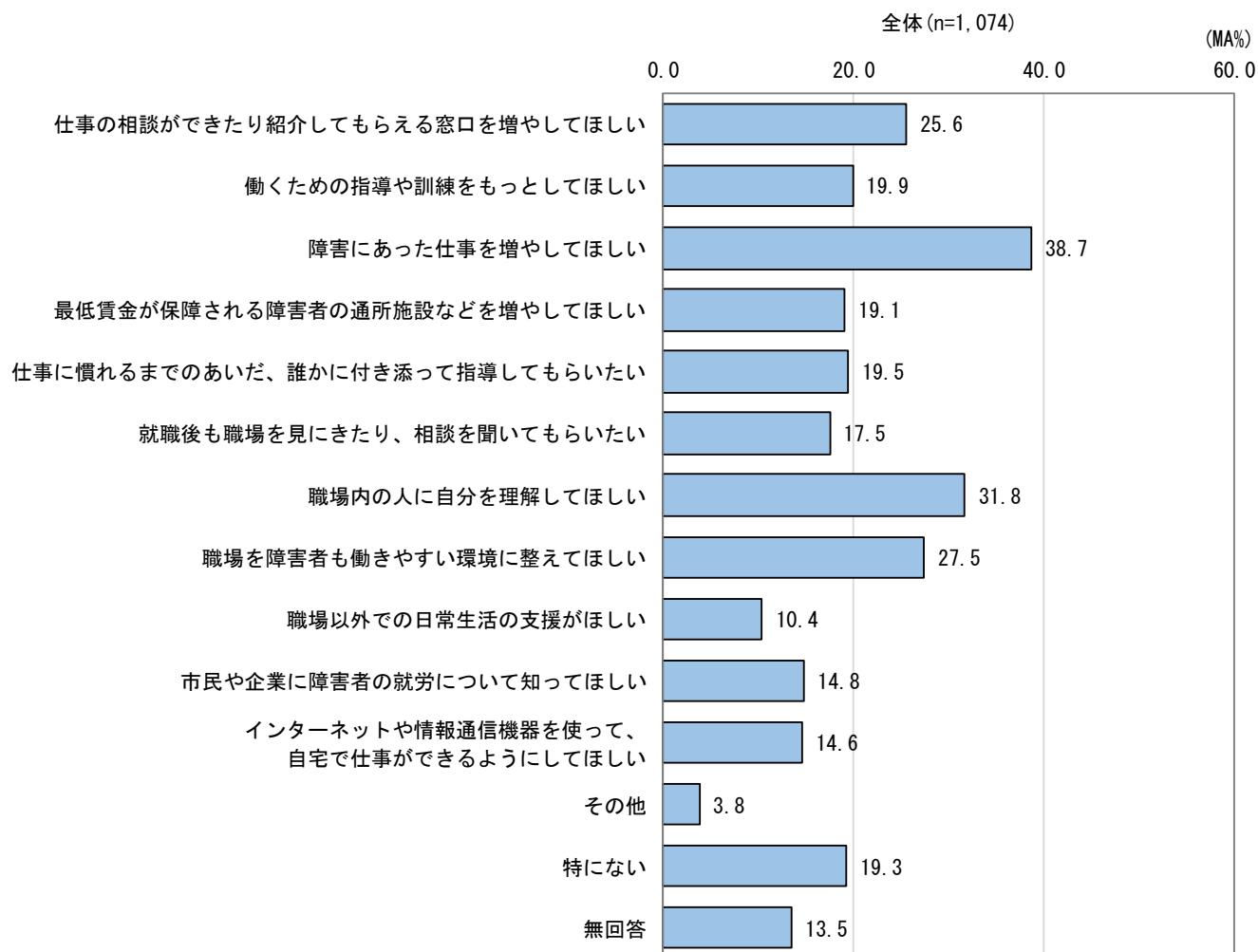
性別でみると、いずれも「働きたい」のほうが多く、「男」が55.8%、「女」が50.8%となっています。



(9) 働くことに対して望むこと

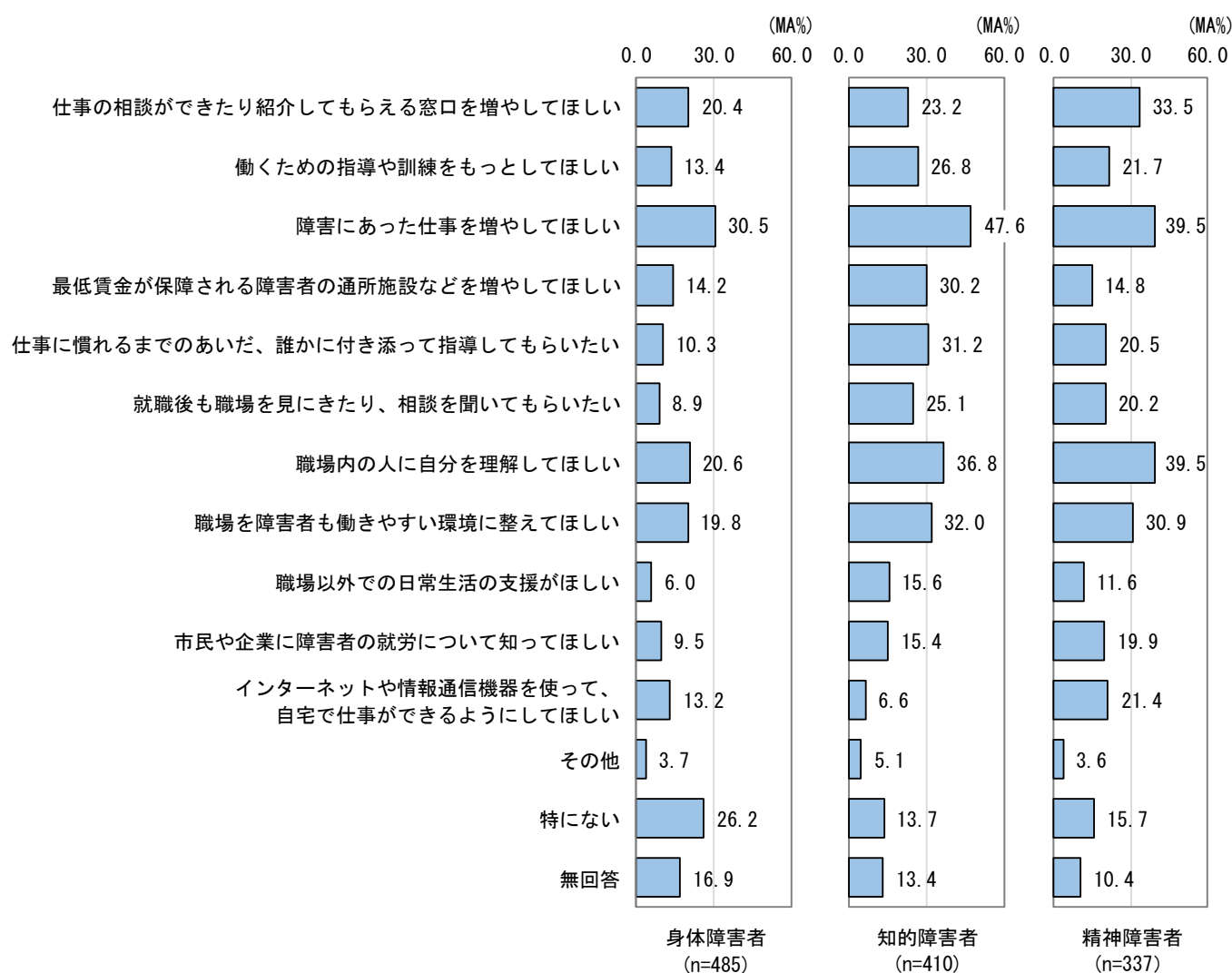
問 33	あなたが働くとすれば（または働き続けるとすれば）どういうことを望みますか。	○はいくつでも
-------------	---------------------------------------	---------

働くことに対して望むことについて、「障害にあった仕事を増やしてほしい」が 38.7%で最も多く、次いで「職場内の人に自分を理解してほしい」が 31.8%、「職場を障害者も働きやすい環境に整えてほしい」が 27.5%となっており、「その他」の内容として「通勤時の支援」「生活可能な収入」「自宅から近い職場」などがありました。



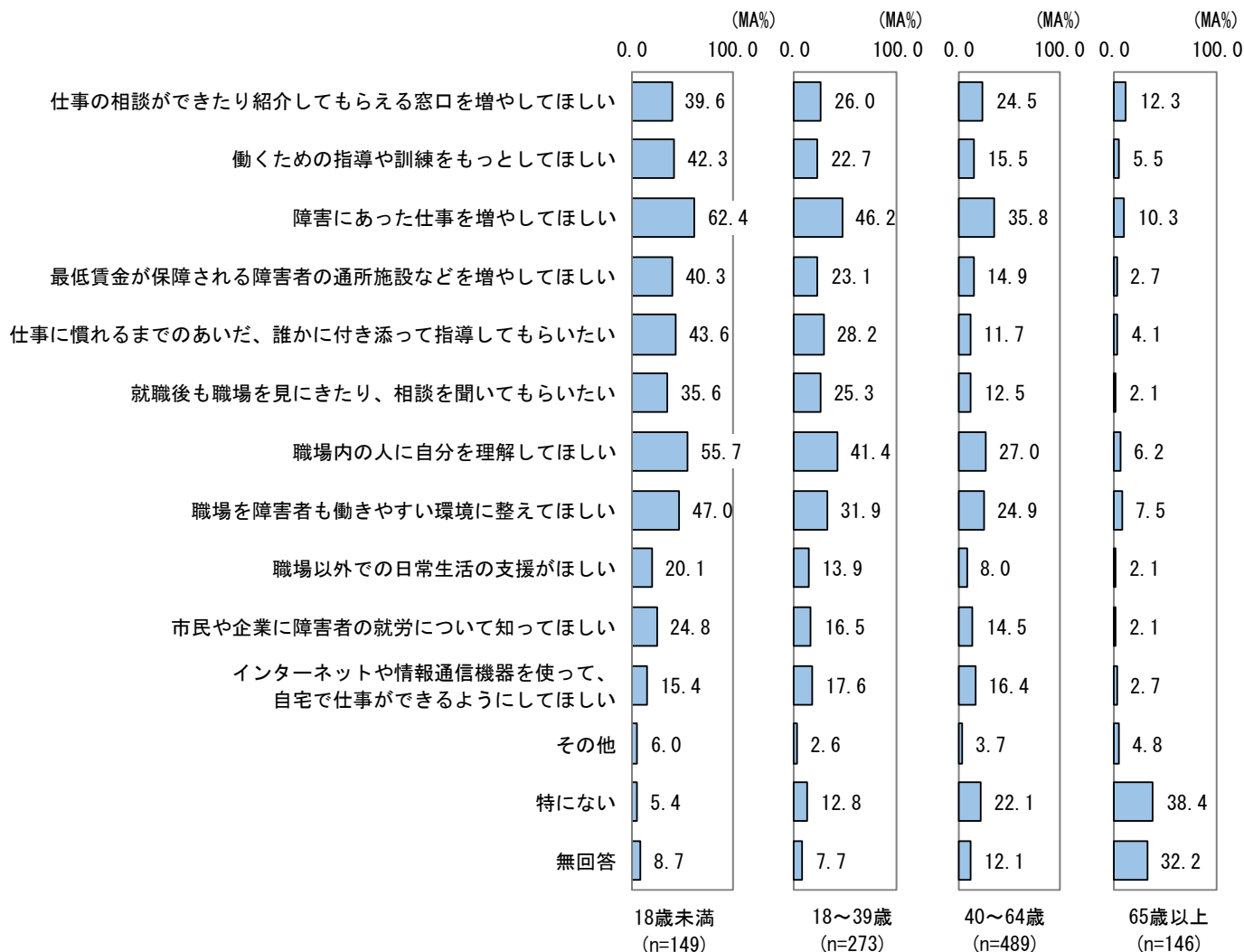
第2章 身体・知的・精神障害者調査の結果

障害種別で見ると、いずれも「障害にあった仕事を増やしてほしい」が最も多く、「身体障害者」が30.5%、「知的障害者」が47.6%、「精神障害者」が39.5%となっています。

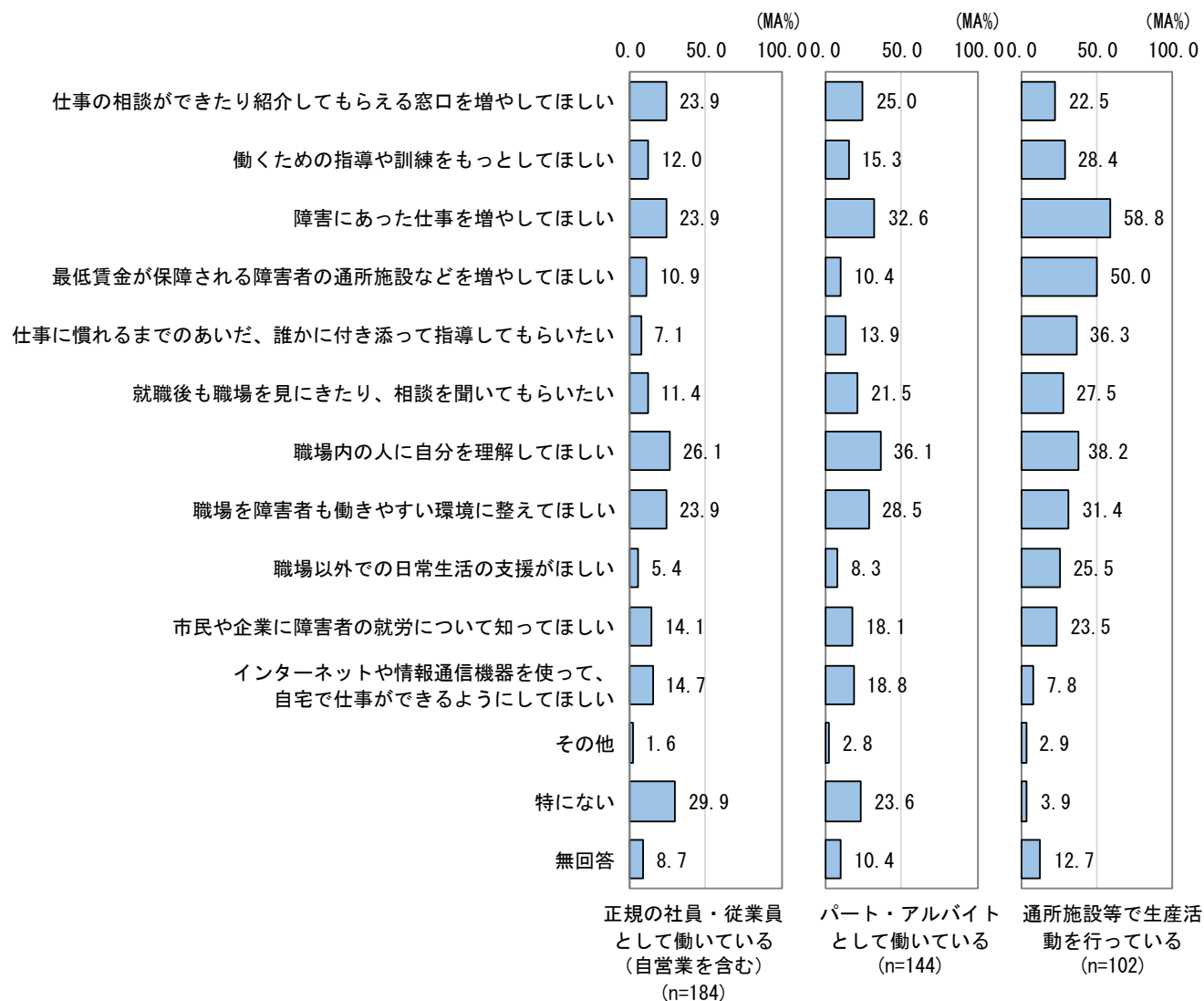


第2章 身体・知的・精神障害者調査の結果

年齢別で見ると、「18歳未満」では「障害にあった仕事を増やしてほしい」が62.4%で最も多く、「18～39歳」では「障害にあった仕事を増やしてほしい」が46.2%で最も多く、「40～64歳」では「障害にあった仕事を増やしてほしい」が35.8%で最も多く、「65歳以上」では「特にない」が38.4%で最も多くなっています。



就労形態別で見ると、「正規の社員・従業員として働いている（自営業を含む）」では「特にない」が29.9%で最も多く、「パート・アルバイトとして働いている」では「職場内の人に自分を理解してほしい」が36.1%で最も多く、「通所施設等で生産活動を行っている」では「障害にあった仕事を増やしてほしい」が58.8%で最も多くなっています。

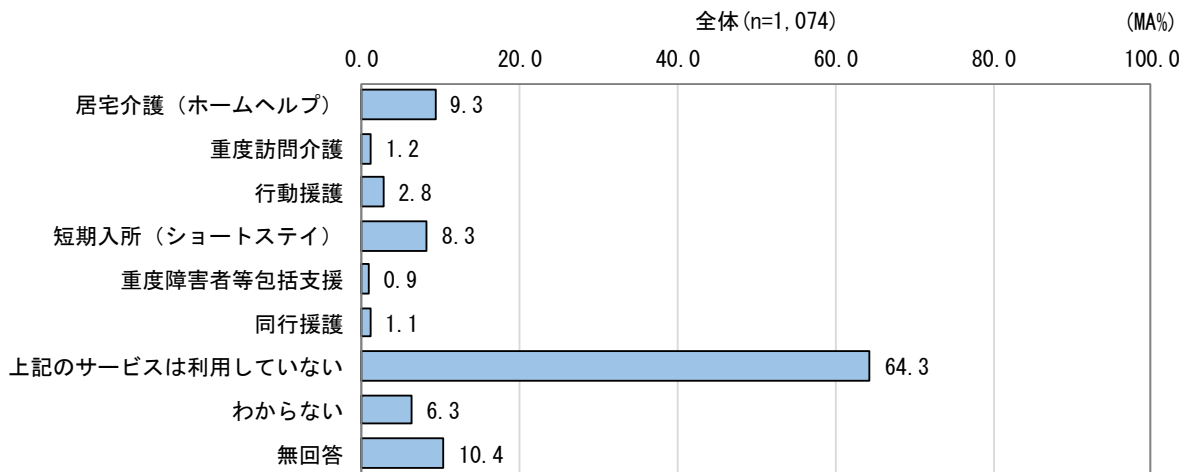


7 障害福祉サービスの利用状況

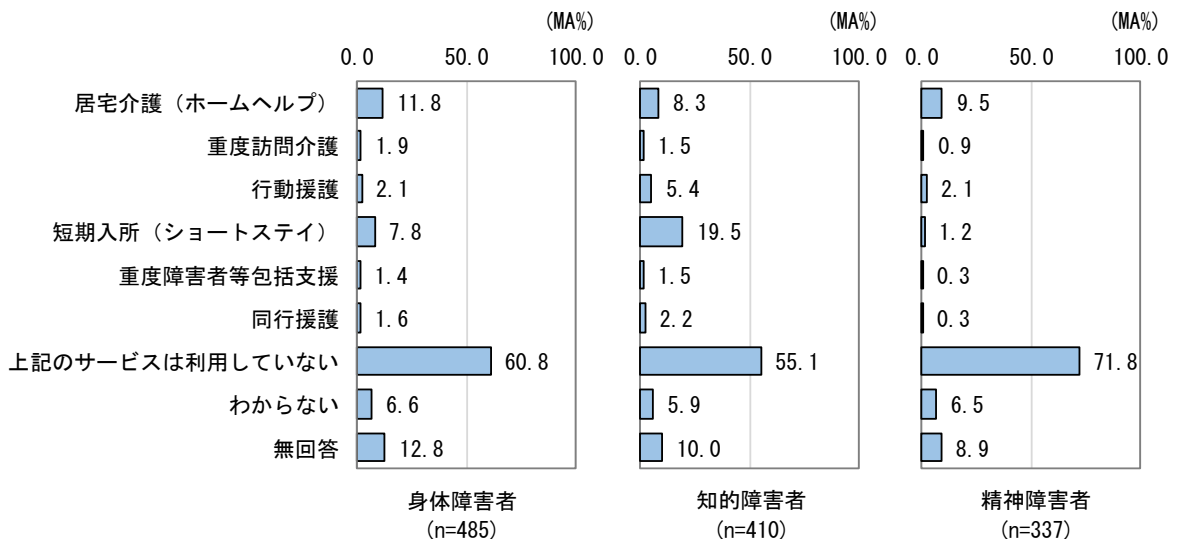
(1) 介護給付の訪問系サービスの利用状況

問 34 下記の介護給付の訪問系サービスのうち、あなたが現在利用しているものは何ですか。 ○はいくつでも

現在利用している介護給付の訪問系サービスについて、「上記のサービスは利用していない」が64.3%で最も多く、次いで「居宅介護（ホームヘルプ）」が9.3%、「短期入所（ショートステイ）」が8.3%となっています。



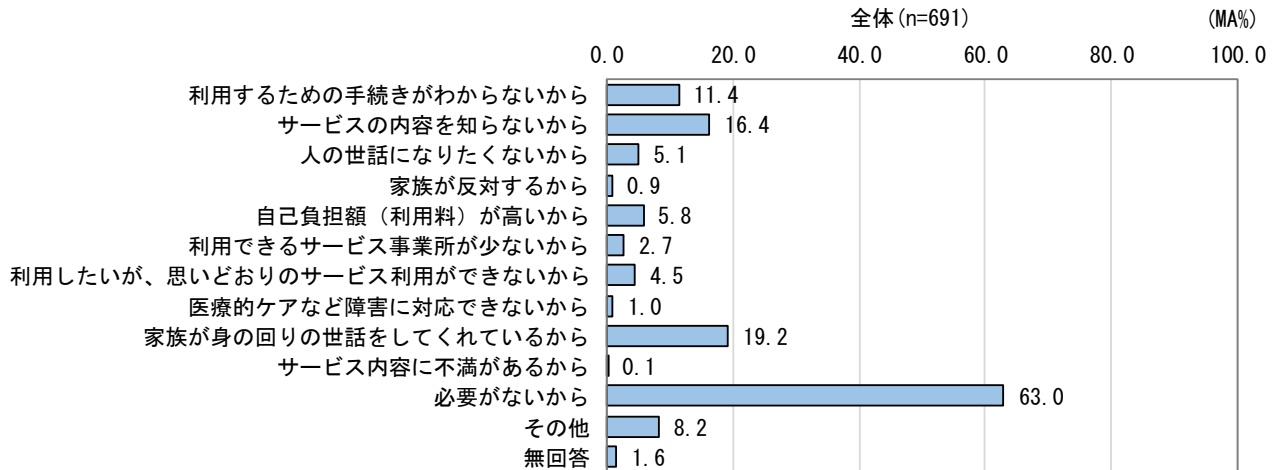
障害種別でみると、いずれも「上記のサービスは利用していない」が最も多く、「身体障害者」が60.8%、「知的障害者」が55.1%、「精神障害者」が71.8%となっています。



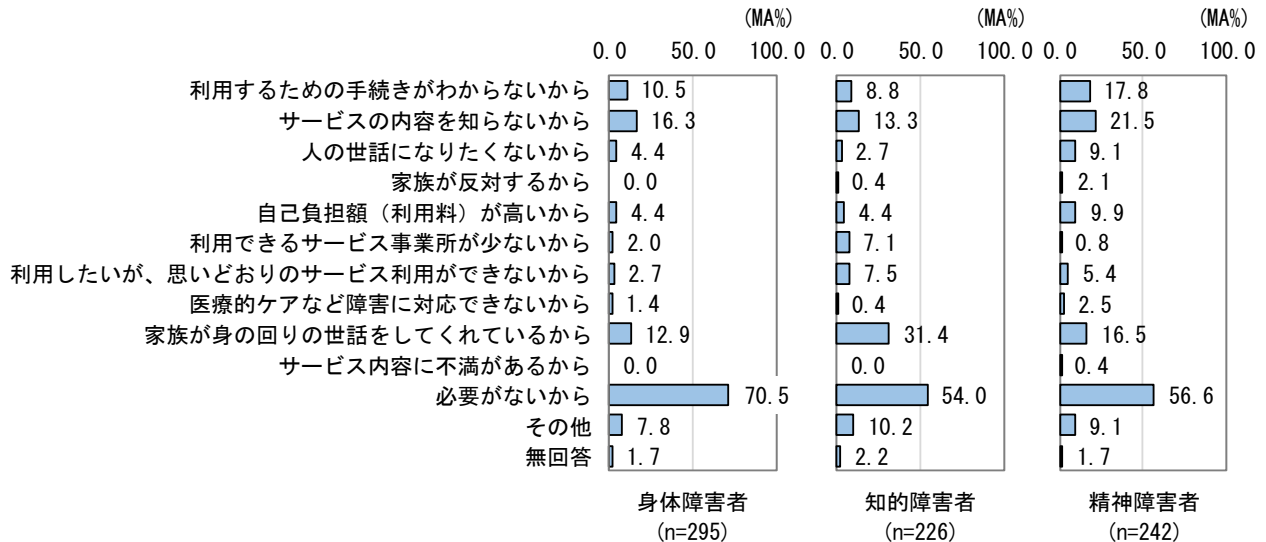
(2) 介護給付の訪問系サービスを利用していない理由

問 34-1 問 34 で「上記のサービスは利用していない」と回答した方におたずねします。現在、利用していない理由は何ですか。 ○はいくつでも

介護給付の訪問系サービスを利用していない人に、その理由についてたずねたところ、「必要がないから」が63.0%で最も多く、次いで「家族が身の回りの世話をしてくれているから」が19.2%、「サービスの内容を知らないから」が16.4%となっており、「その他」の内容として「入院中、施設に入所」「受給者証持っていない、利用条件を満たしていない」「コミュニケーションが苦手」などがありました。



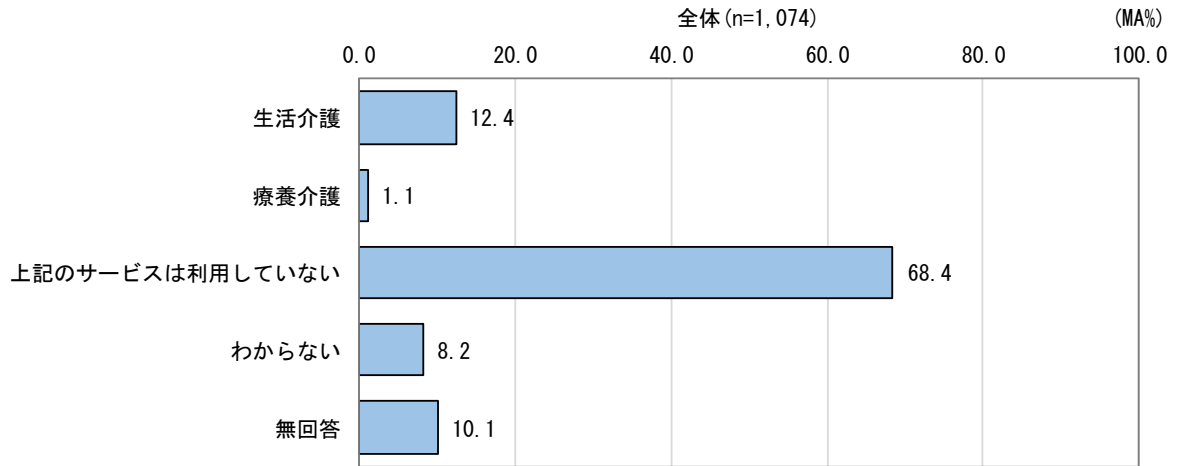
障害種別でみると、いずれも「必要ないから」が最も多く、「身体障害者」が70.5%、「知的障害者」が54.0%、「精神障害者」が56.6%となっています。



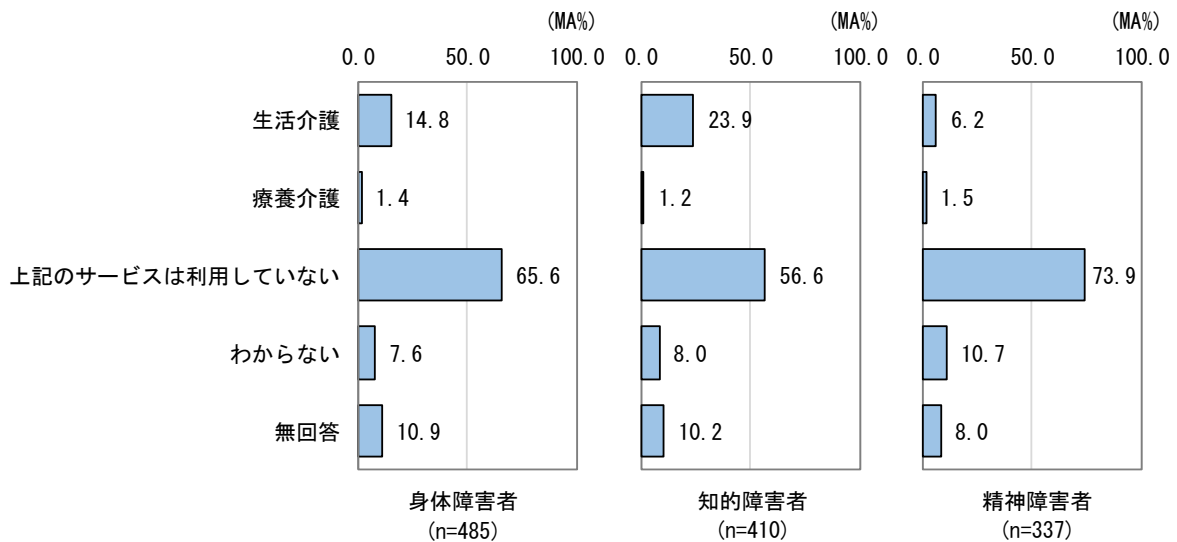
(3) 介護給付の日中活動系のサービスの利用状況

問 35 下記の介護給付の日中活動系サービスのうち、あなたが現在利用しているものは何ですか。 ○はいくつでも

現在利用している介護給付の日中活動系サービスについて、「上記のサービスは利用していない」が68.4%で最も多く、次いで「生活介護」が12.4%、「わからない」が8.2%となっています。



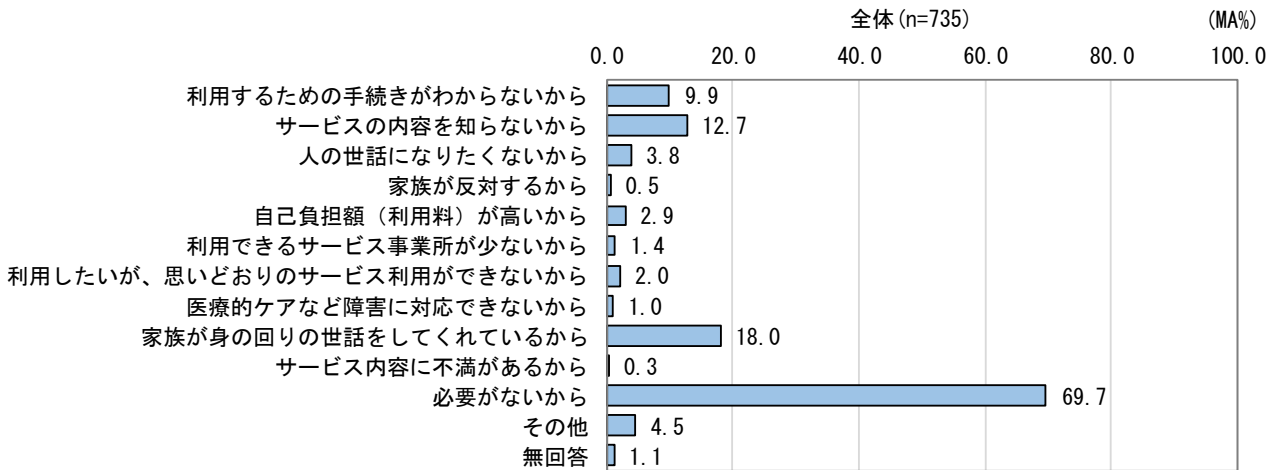
障害種別でみると、いずれも「上記のサービスは利用していない」が最も多く、「身体障害者」が65.6%、「知的障害者」が56.6%、「精神障害者」が73.9%となっています。



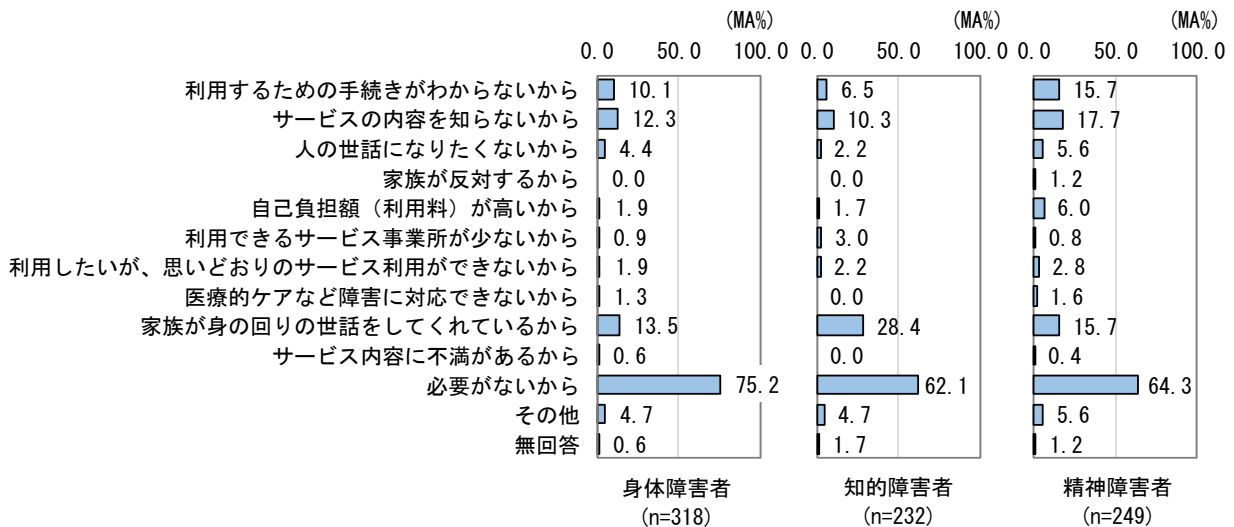
(4) 介護給付の日中活動系サービスを利用していない理由

問 35-1 問 35 で「上記のサービスは利用していない」と回答した方におたずねします。現在、利用していない理由は何ですか。 ○はいくつでも

介護給付の日中活動系サービスを利用していない人に、その理由についてたずねたところ、「必要ないから」が69.7%で最も多く、次いで「家族が身の回りの世話をしてくれているから」が18.0%、「サービスの内容を知らないから」が12.7%となっており、「その他」の内容として「受給者証持っていない、利用条件をみたしていない」「入院中、施設に入所」「介護保険のサービスを利用」などがありました。



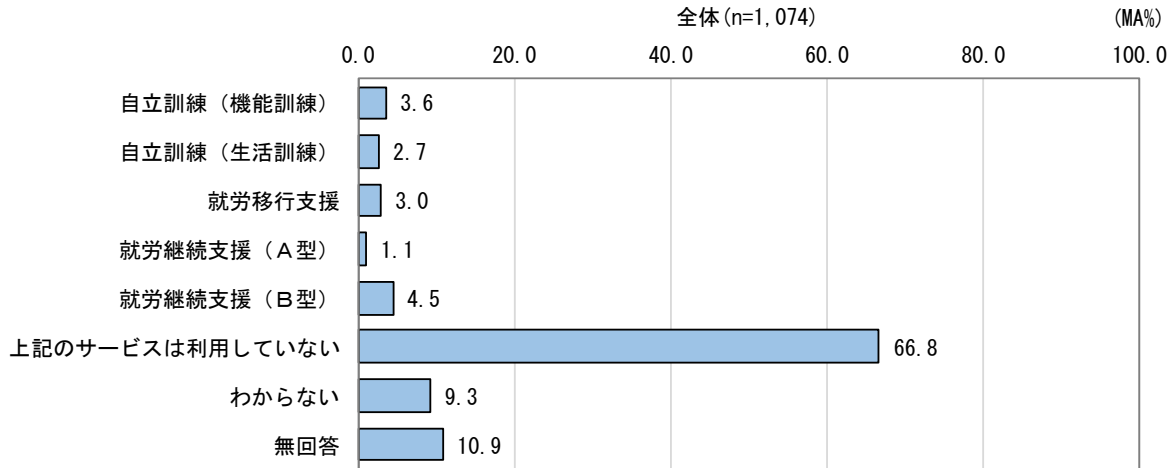
障害種別でみると、いずれも「必要ないから」が最も多く、「身体障害者」が75.2%、「知的障害者」が62.1%、「精神障害者」が64.3%となっています。



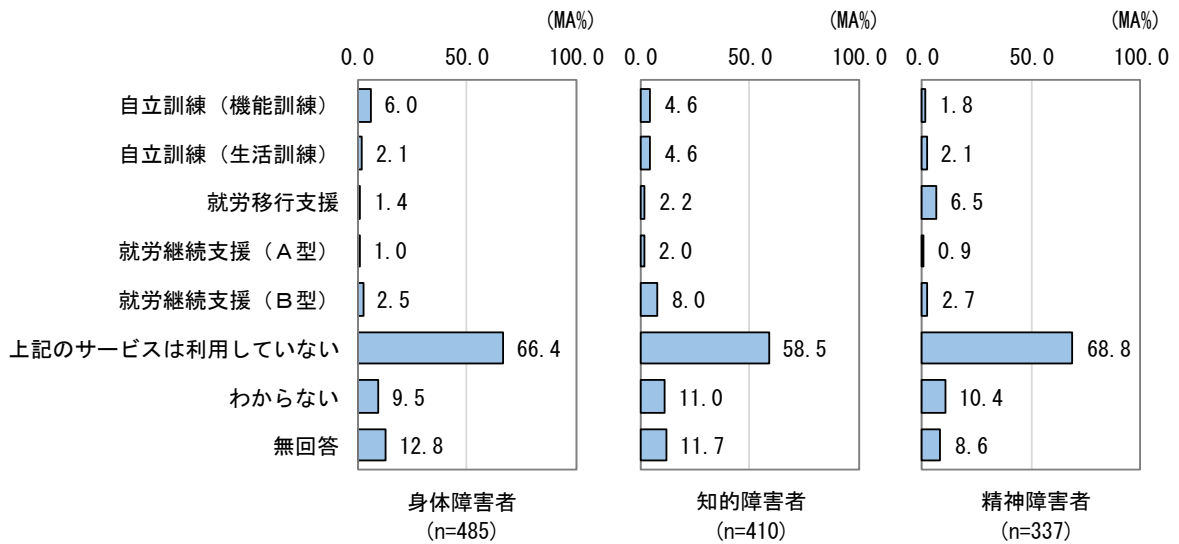
(5) 訓練等の日中活動系サービスの利用状況

問 36 下記の訓練等の日中活動系サービスのうち、あなたが現在利用しているものは何ですか。 ○はいくつでも

現在利用している訓練等の日中活動系サービスについて、「上記のサービスは利用していない」が66.8%で最も多く、次いで「わからない」が9.3%、「就労継続支援（B型）」が4.5%となっています。



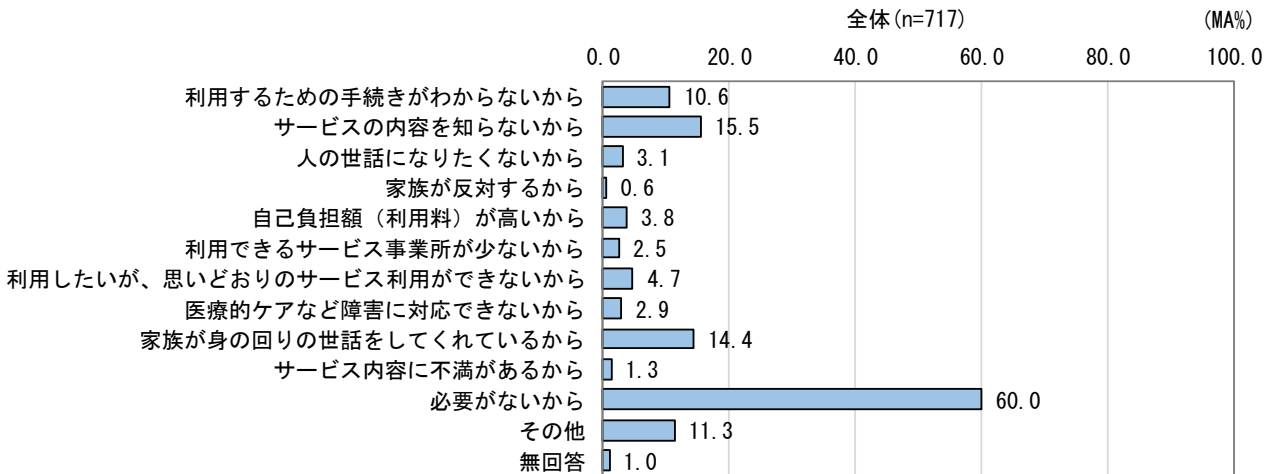
障害種別でみると、いずれも「上記のサービスは利用していない」が最も多く、「身体障害者」が66.4%、「知的障害者」が58.5%、「精神障害者」が68.8%となっています。



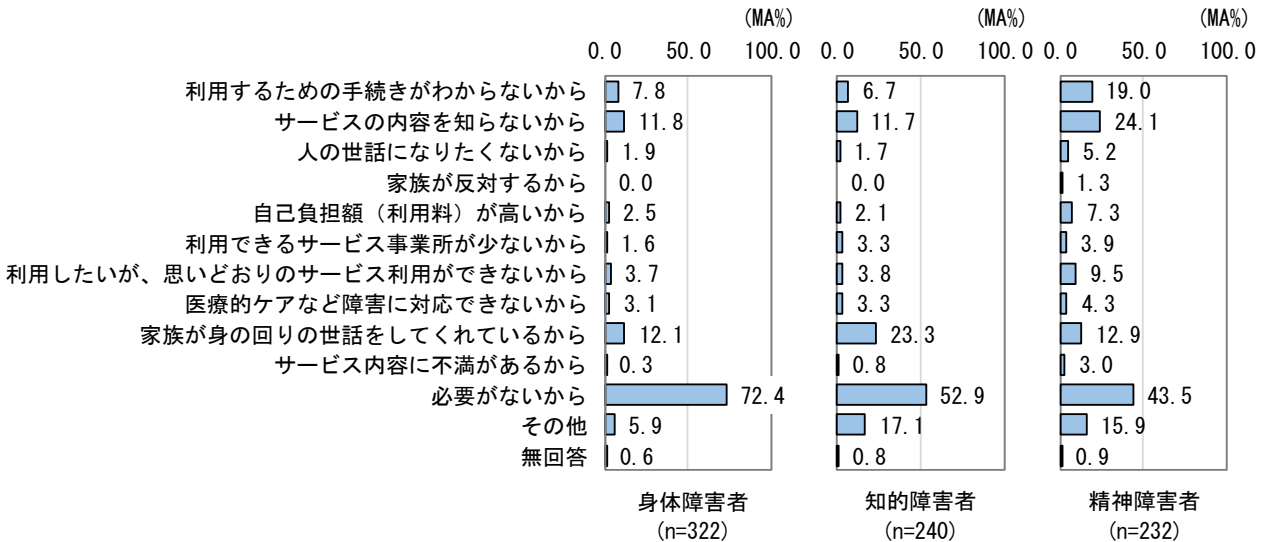
(6) 訓練等の日中活動系サービスを利用していない理由

問 36-1 問 36 で「上記のサービスは利用していない」と回答した方におたずねします。現在、利用していない理由は何ですか。 ○はいくつでも

訓練等の日中活動系サービスを利用していない人に、その理由についてたずねたところ、「必要ないから」が60.0%で最も多く、次いで「サービスの内容を知らないから」が15.5%、「家族が身の回りの世話をしてくれているから」が14.4%となっており、「その他」の内容として「通学している、未成年のため」「以前、利用していた」「生活介護、介護保険を利用しているから」などがありました。



障害種別でみると、いずれも「必要ないから」が最も多く、「身体障害者」が72.4%、「知的障害者」が52.9%、「精神障害者」が43.5%となっています。

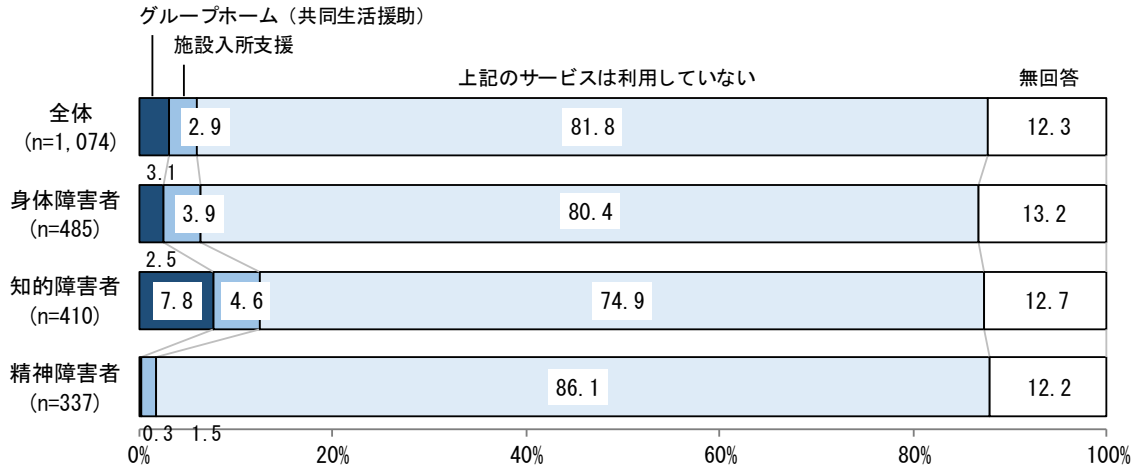


(7) 居住系サービスの利用状況

問 37 下記の居住系サービスのうち、あなたが現在利用しているものは何ですか。 ○は1つだけ

現在利用している居住系サービスについて、「上記のサービスは利用していない」が81.8%で最も多く、次いで「グループホーム（共同生活援助）」が3.1%、「施設入所支援」が2.9%となっています。

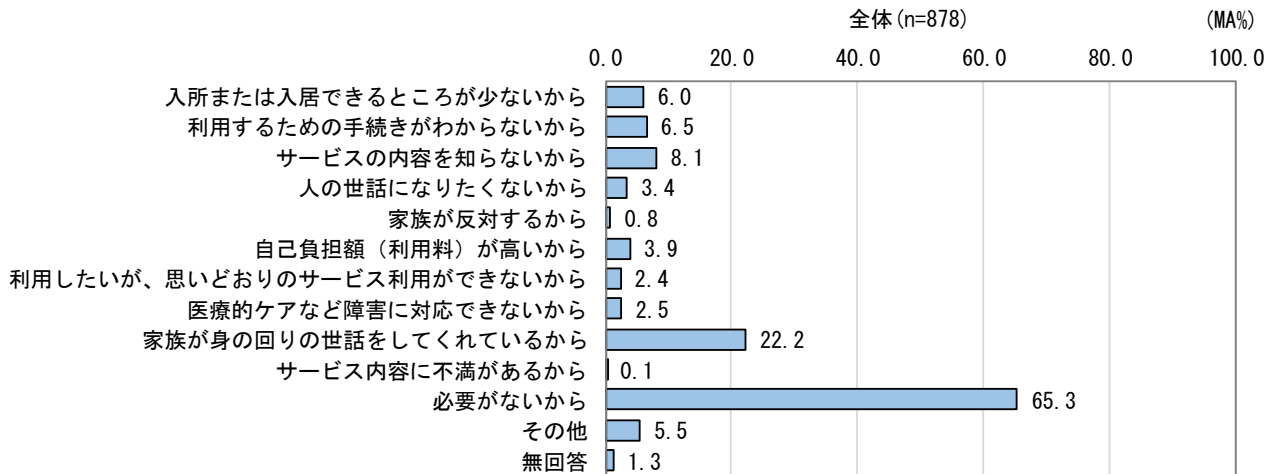
障害種別でみると、いずれも「上記のサービスは利用していない」が最も多く、「身体障害者」が80.4%、「知的障害者」が74.9%、「精神障害者」が86.1%となっています。



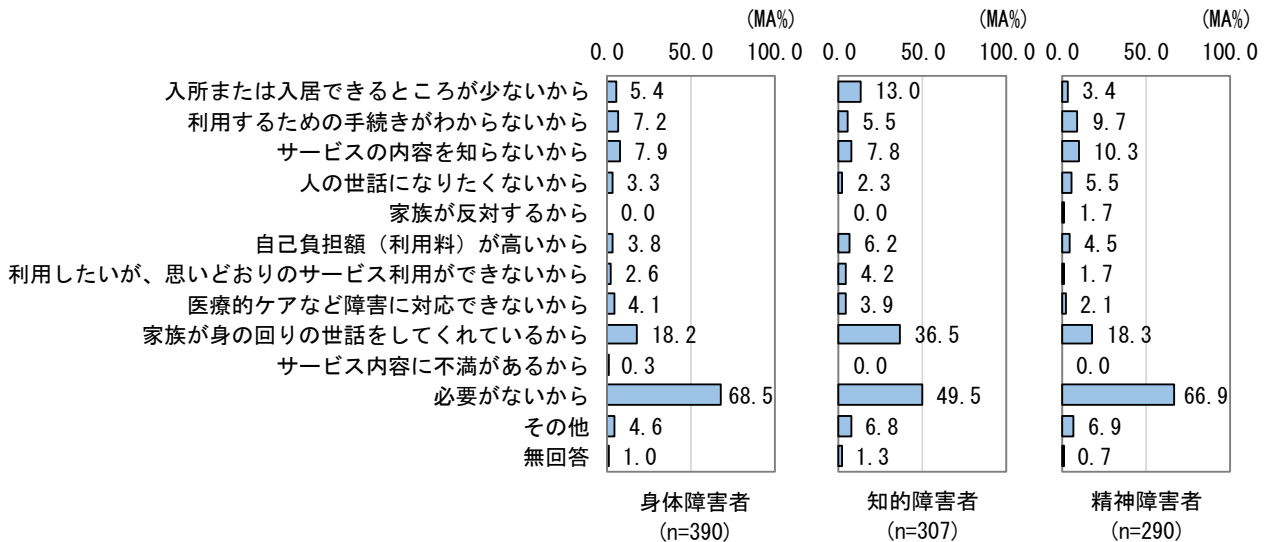
(8) 居住系サービスを利用していない理由

問 37-1 問 37 で「上記のサービスは利用していない」と回答した方におたずねします。現在、利用していない理由は何ですか。 ○はいくつでも

居住系サービスを利用していない人に、その理由についてたずねたところ、「必要ないから」が65.3%で最も多く、次いで「家族が身の回りの世話をしてくれているから」が22.2%、「サービスの内容を知らないから」が8.1%となっており、「その他」の内容として「通学している、未成年のため」「入院中、施設に入所」「受給者証持っていない、利用条件を満たしていない」などがありました。



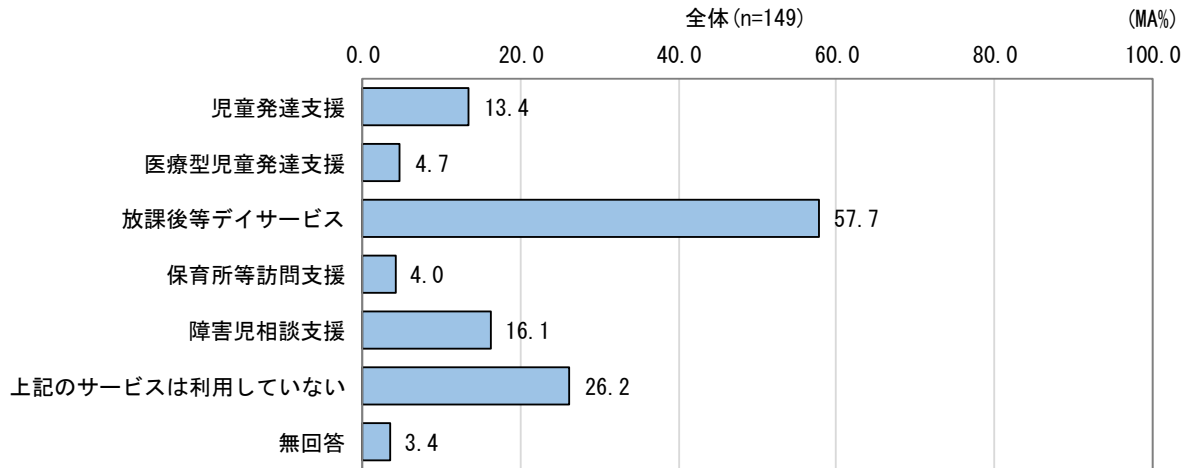
障害種別でみると、いずれも「必要ないから」が最も多く、「身体障害者」が68.5%、「知的障害者」が49.5%、「精神障害者」が66.9%となっています。



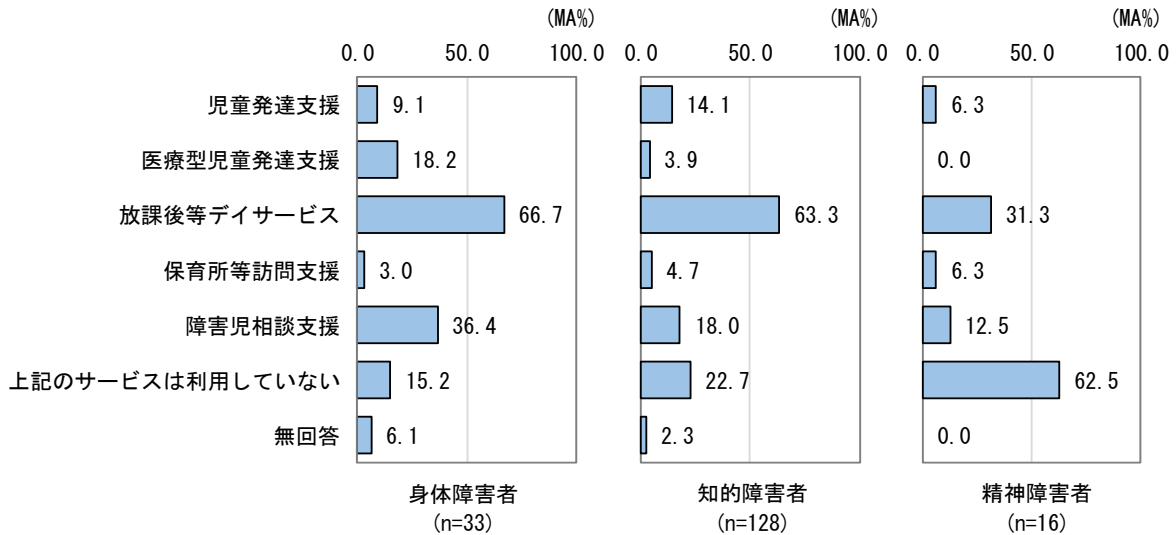
(9) 障害児サービスの利用状況

問 38 18歳未満の方におたずねします。下記の障害児サービスのうち、あなたが現在利用しているものは何ですか。 ○はいくつでも

18歳未満の方に、現在利用している障害児サービスについてたずねたところ、「放課後等デイサービス」が57.7%で最も多く、次いで「上記のサービスは利用していない」が26.2%、「障害児相談支援」が16.1%となっています。



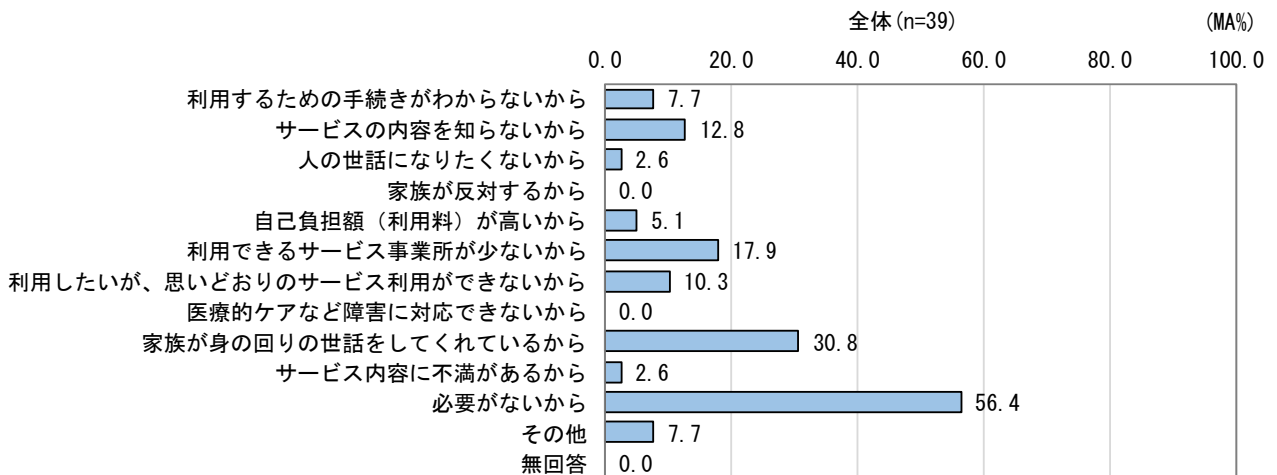
障害種別でみると、「身体障害者」では「放課後等デイサービス」が66.7%で最も多く、「知的障害者」では「放課後等デイサービス」が63.3%で最も多く、「精神障害者」では「上記のサービスは利用していない」が62.5%で最も多くなっています。



(10) 障害児サービスを利用していない理由

問 38-1	問 38 で「上記のサービスは利用していない」と回答した方におたずねします。現在、障害児サービスを利用していない理由は何ですか。	○はいくつでも
--------	--	---------

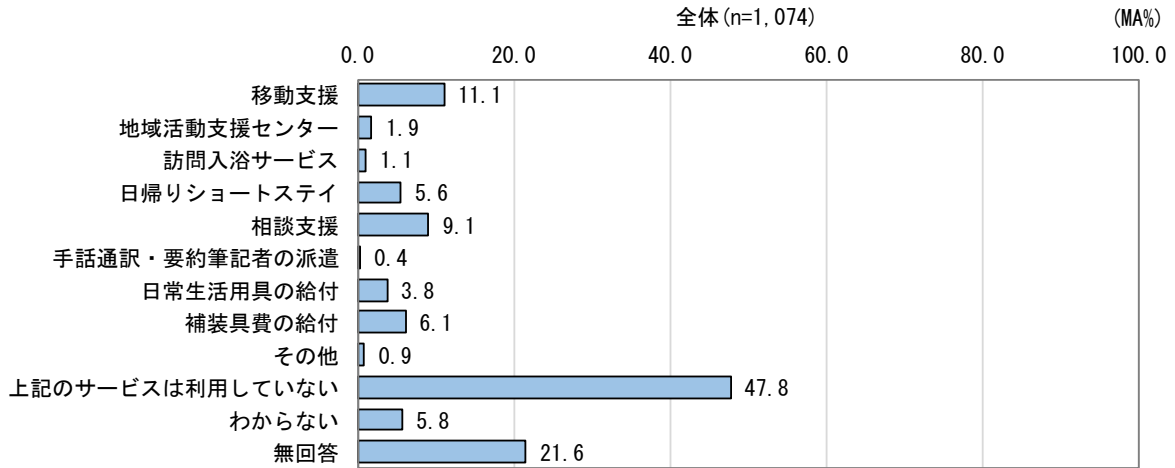
障害児サービスを利用していない人に、その理由についてたずねたところ、「必要ないから」が56.4%で最も多く、次いで「家族が身の回りの世話をしてくれているから」が30.8%、「利用できるサービス事業所が少ないから」が17.9%となっており、「その他」の内容として「空きがない」「学校が終わってからでは時間に間に合わない」「個人に合っていない」がありました。



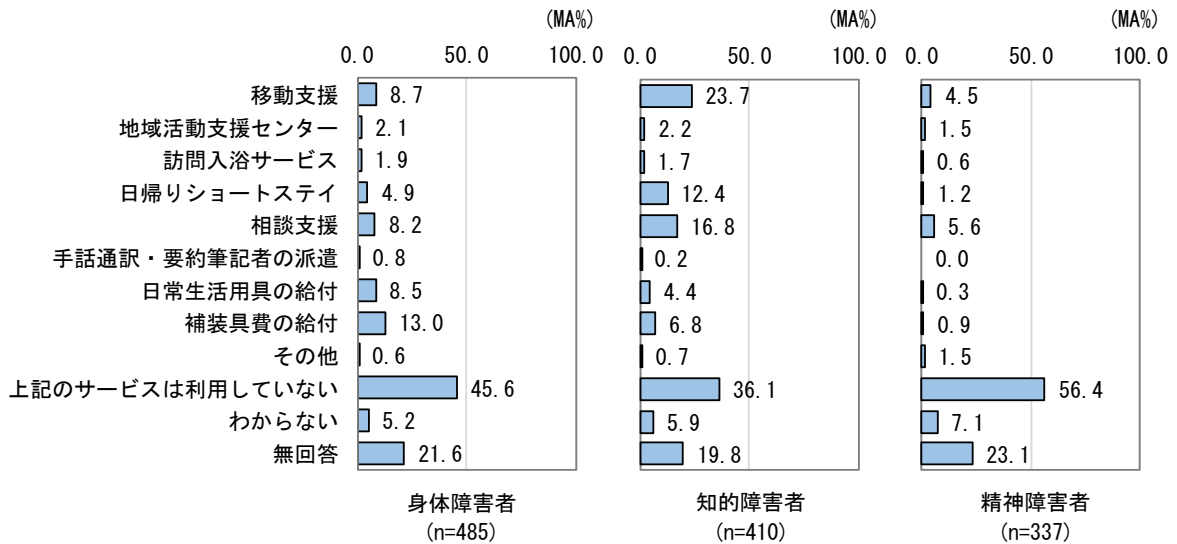
(11) その他のサービスの利用状況

問 39 下記のサービスのうち、あなたが現在利用しているものは何ですか。 ○はいくつでも

現在利用しているその他サービスについて、「上記のサービスは利用していない」が47.8%で最も多く、次いで「移動支援」が11.1%、「相談支援」が9.1%となっています。



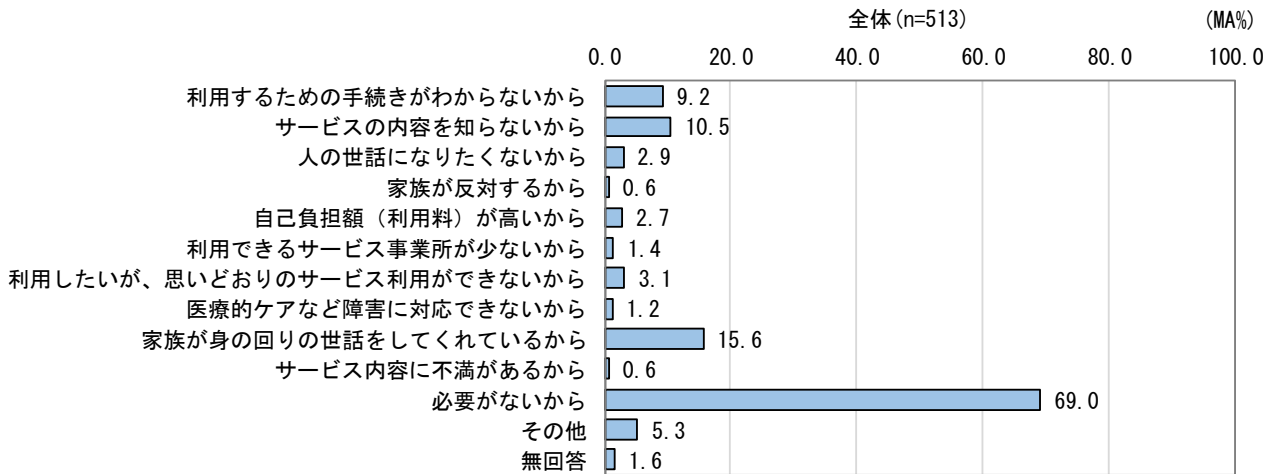
障害種別でみると、いずれも「上記のサービスは利用していない」が最も多く、「身体障害者」が45.6%、「知的障害者」が36.1%、「精神障害者」が56.4%となっています。



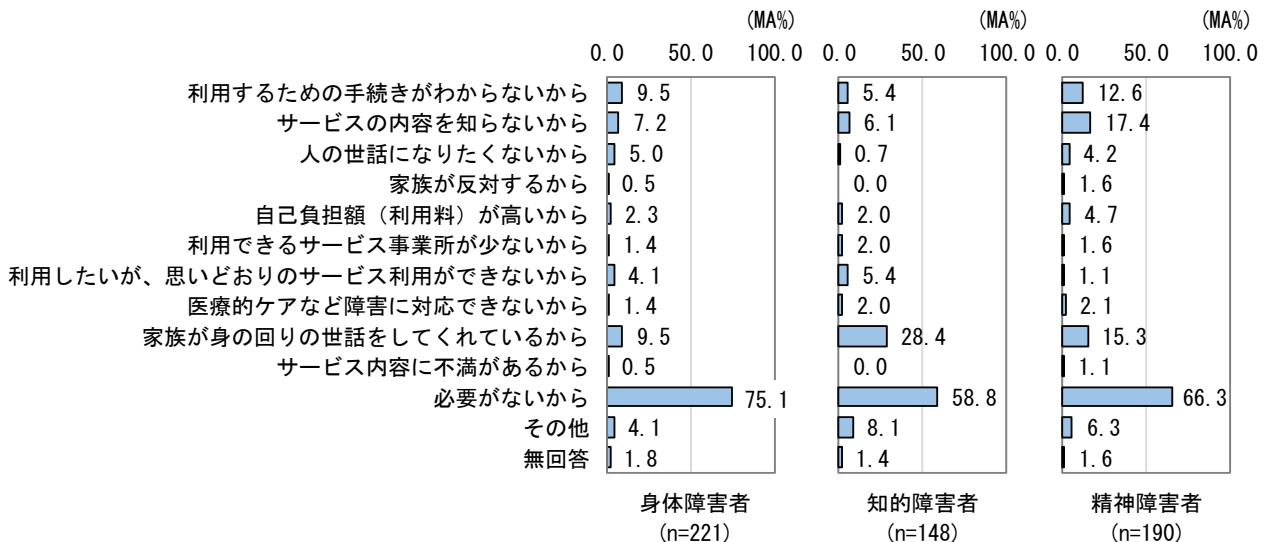
(12) その他のサービスを利用していない理由

問 39-1	問 39 で「上記のサービスは利用していない」と回答した方におたずねします。現在、利用していない理由は何ですか。	○はいくつでも
--------	--	---------

その他のサービスを利用していない人に、その理由についてたずねたところ、「必要ないから」が69.0%で最も多く、次いで「家族が身の回りの世話をしてくれているから」が15.6%、「サービスの内容を知らないから」が10.5%となっており、「その他」の内容として「受給者証持っていない、利用条件を満たしていない」「入院中」「利用検討中、申請予定」などがありました。



障害種別でみると、いずれも「必要ないから」が最も多く、「身体障害者」が75.1%、「知的障害者」が58.8%、「精神障害者」が66.3%となっています。



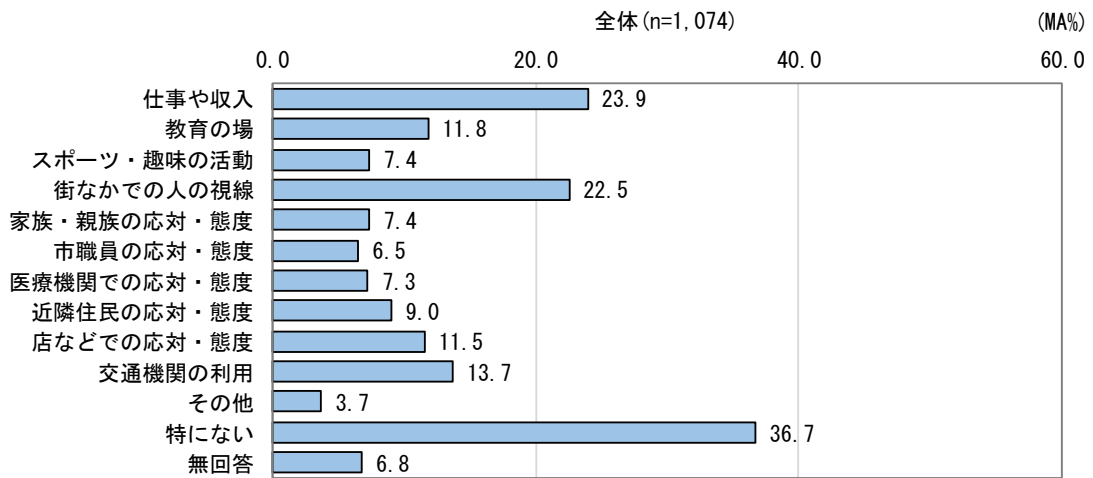
8 障害者に対する市民の理解、権利擁護

(1) 差別や偏見・疎外感を感じるとき

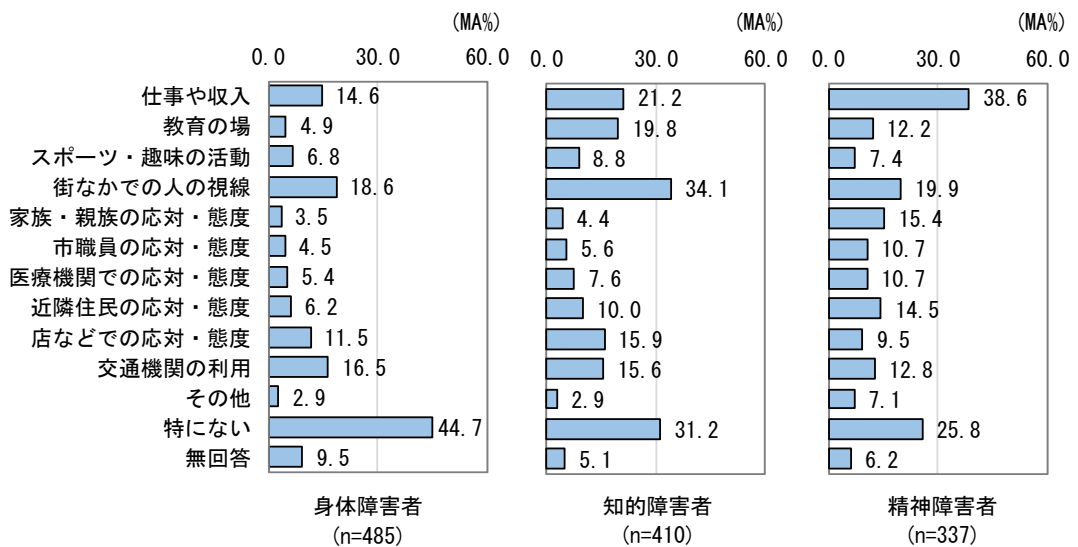
問 40 あなたが差別や偏見・疎外感を感じるのはどんなときですか。

○はいくつでも

差別や偏見・疎外感を感じるときについて、「特にない」が36.7%で最も多く、次いで「仕事や収入」が23.9%、「街なかでの人の視線」が22.5%となっており、「その他」の内容として「わからない」「自身の障害について知っている人の対応・態度」「常に差別や偏見・疎外感を感じている」などがありました。



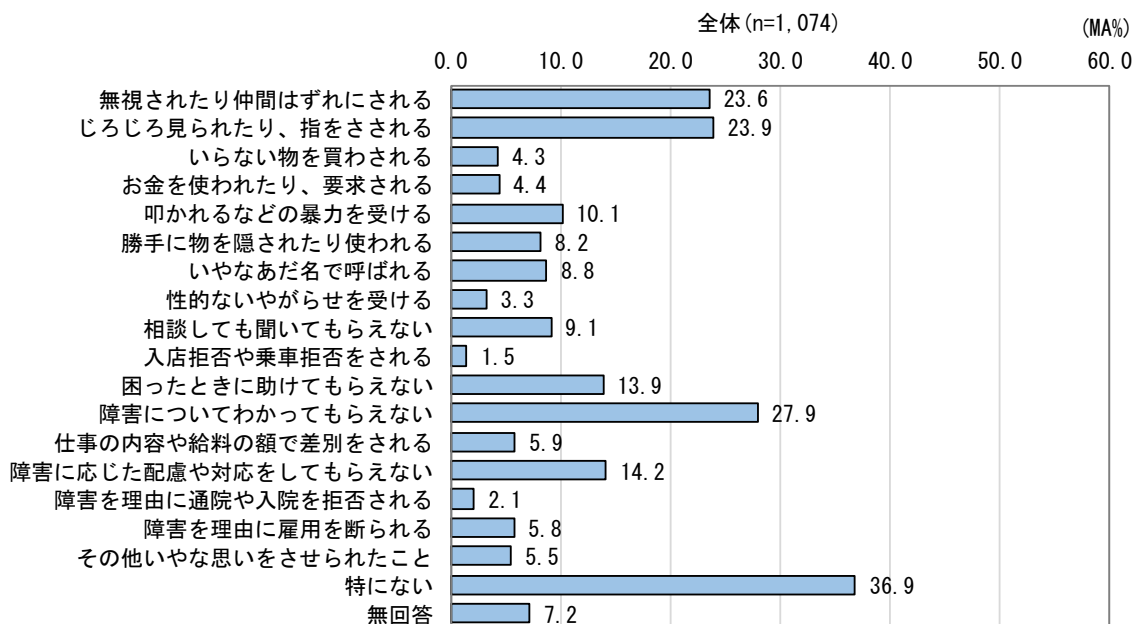
障害種別でみると、「身体障害者」では「特にない」が44.7%で最も多く、「知的障害者」では「街なかでの人の視線」が34.1%で最も多く、「精神障害者」では「仕事や収入」が38.6%で最も多くなっています。



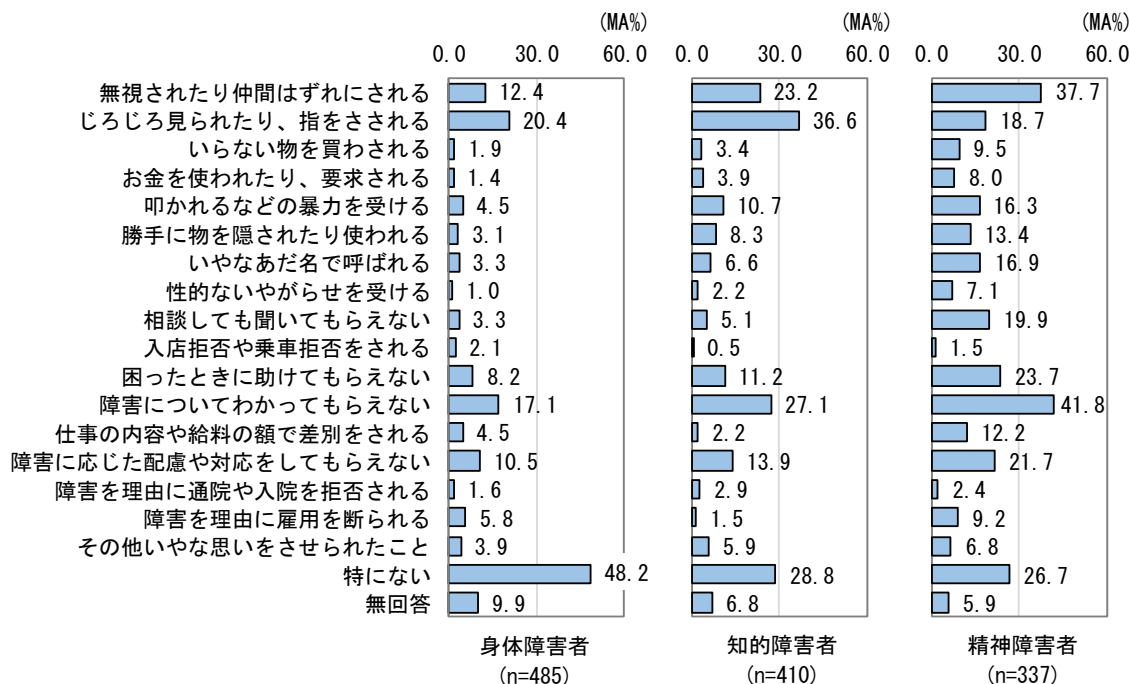
(2) 差別などいやな思いをした経験

問 41 あなたは、これまで次のような行為を受けた経験はありますか。 ○はいくつでも

差別などいやな思いをした経験について、「特にない」が36.9%で最も多く、次いで「障害についてわかってもらえない」が27.9%、「じろじろ見られたり、指をさされる」が23.9%となっており、「その他いやな思いをさせられたこと」の内容として「悪口・暴言を言われる」「病院や市役所で理不尽な対応を受ける」「店や満員電車で嫌な顔をされる」などがありました。

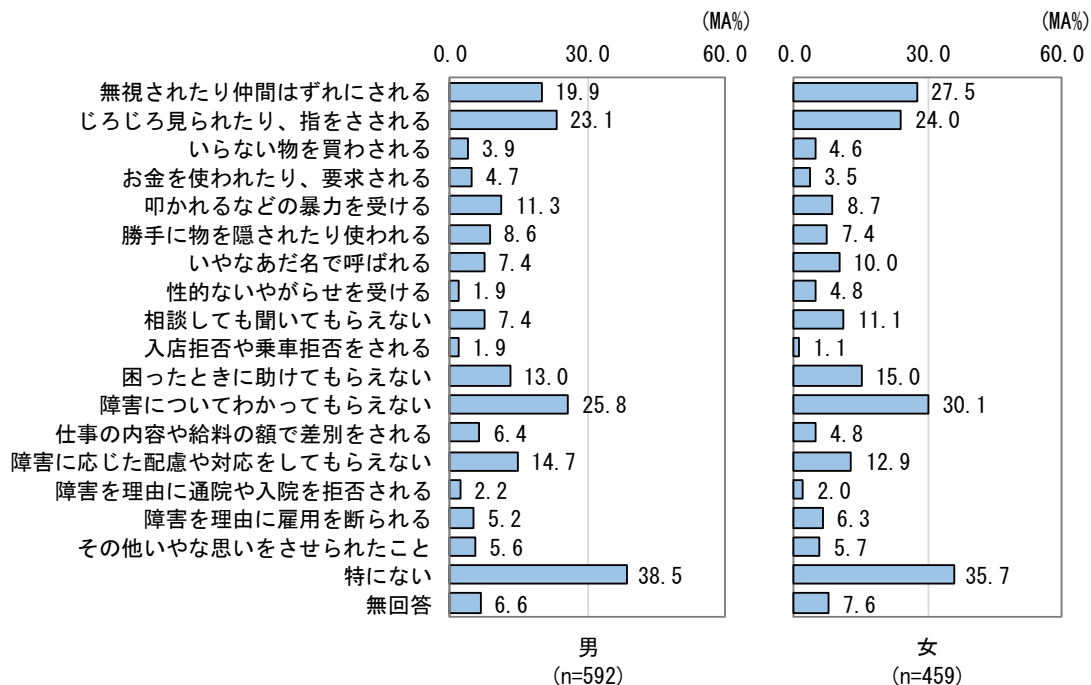


障害種別でみると、「身体障害者」では「特にない」が48.2%で最も多く、「知的障害者」では「じろじろ見られたり、指をさされる」が36.6%で最も多く、「精神障害者」では「障害についてわかってもらえない」が41.8%で最も多くなっています。



第2章 身体・知的・精神障害者調査の結果

性別で見ると、「男」では「特にない」が38.5%で最も多く、次いで「障害についてわかってもらえない」が25.8%、「じろじろ見られたり、指をさされる」が23.1%、「女」では「特にない」が35.7%で最も多く、次いで「障害についてわかってもらえない」が30.1%、「無視されたり仲間はずれにされる」が27.5%となっています。



(3) 差別や偏見を感じた時の相談の有無

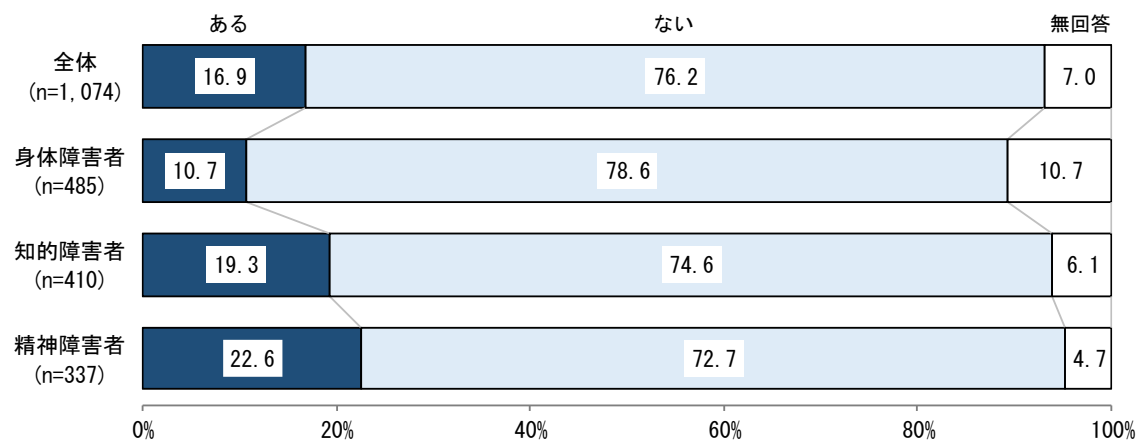
問 42

差別や偏見を感じた時に、相談したことがありますか。

○は1つだけ

差別や偏見を感じた時に、相談したことがあるかについて、「ある」が16.9%、「ない」が76.2%となっています。

障害種別でみると、「ある」では「身体障害者」が10.7%、「知的障害者」が19.3%、「精神障害者」が22.6%となっています。

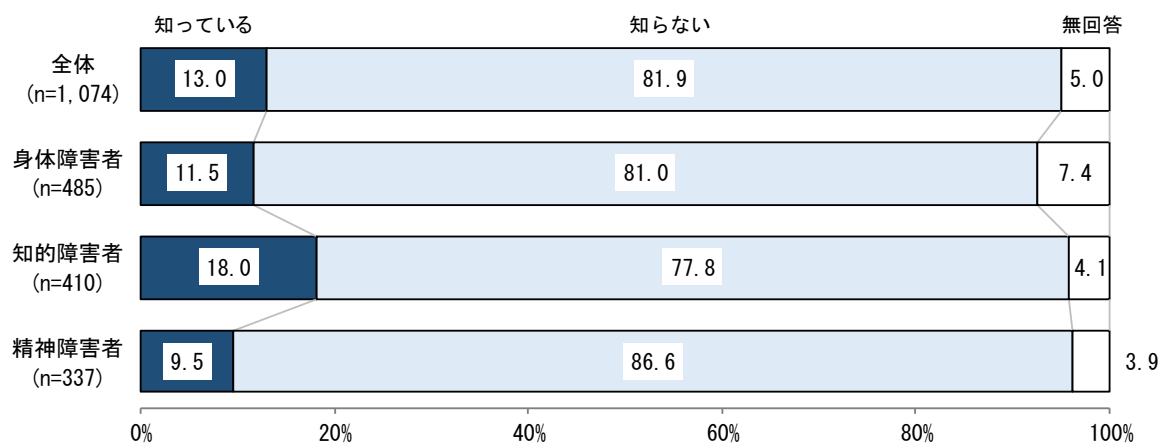


(4) 虐待防止センターや通報ダイヤルの認知状況

問 43 あなたは、茨木市障害者虐待防止センターや障害者虐待通報ダイヤルがあることを知っていますか。 ○は1つだけ

虐待防止センターや通報ダイヤルの認知状況について、「知っている」が13.0%、「知らない」が81.9%となっています。

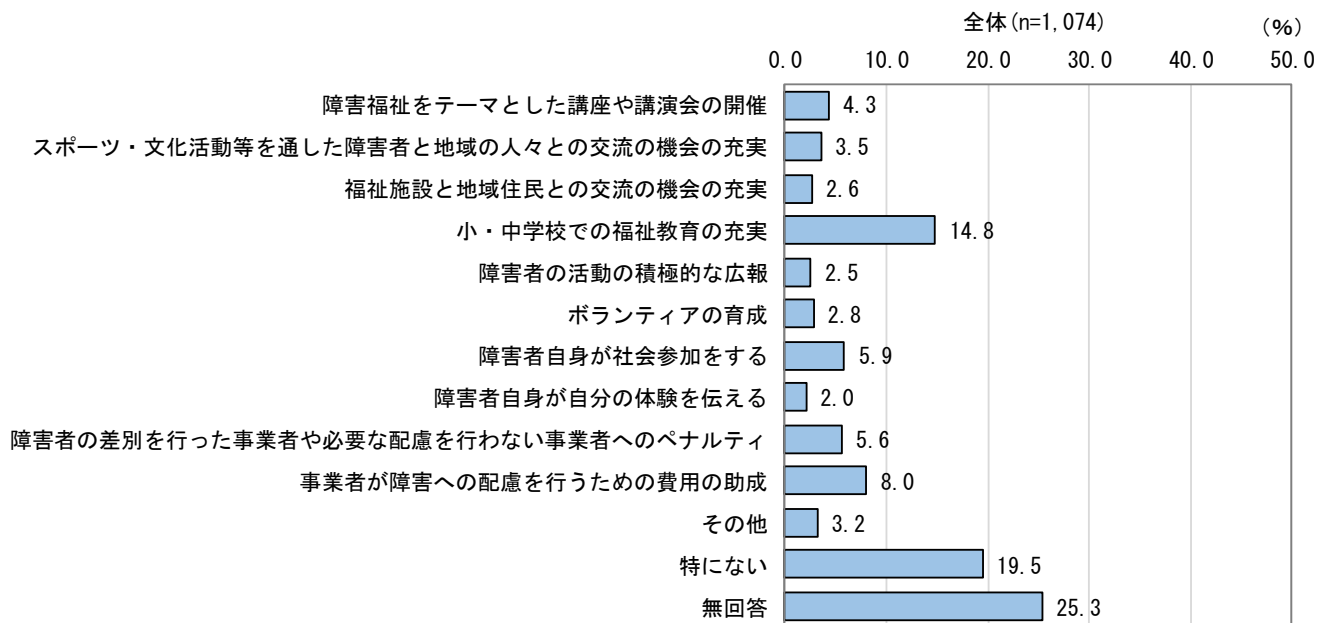
障害種別でみると、「知っている」では「身体障害者」が11.5%、「知的障害者」が18.0%、「精神障害者」が9.5%となっています。



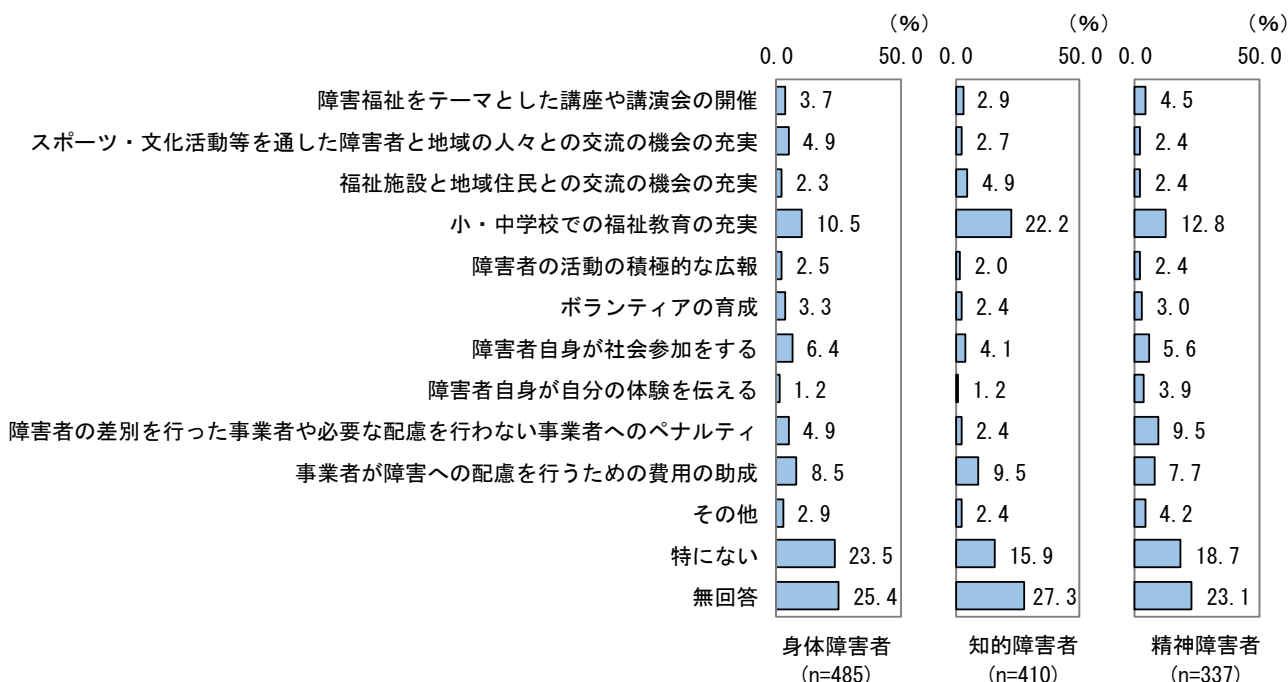
(5) 障害者への理解を深めるために力を入れるべきこと

問 44 障害者への理解を深めるために最も力を入れるべきことは何だと思えますか。 ○は1つだけ

障害者への理解を深めるために最も力を入れるべきことについて、「特にない」が19.5%で最も多く、次いで「小・中学校での福祉教育の充実」が14.8%、「事業者が障害への配慮を行うための費用の助成」が8.0%となっており、「その他」の内容として「わからない」「障害に対する関する広報や体験学習の実施」「障害者が活動するためのサポートの充実」などがありました。



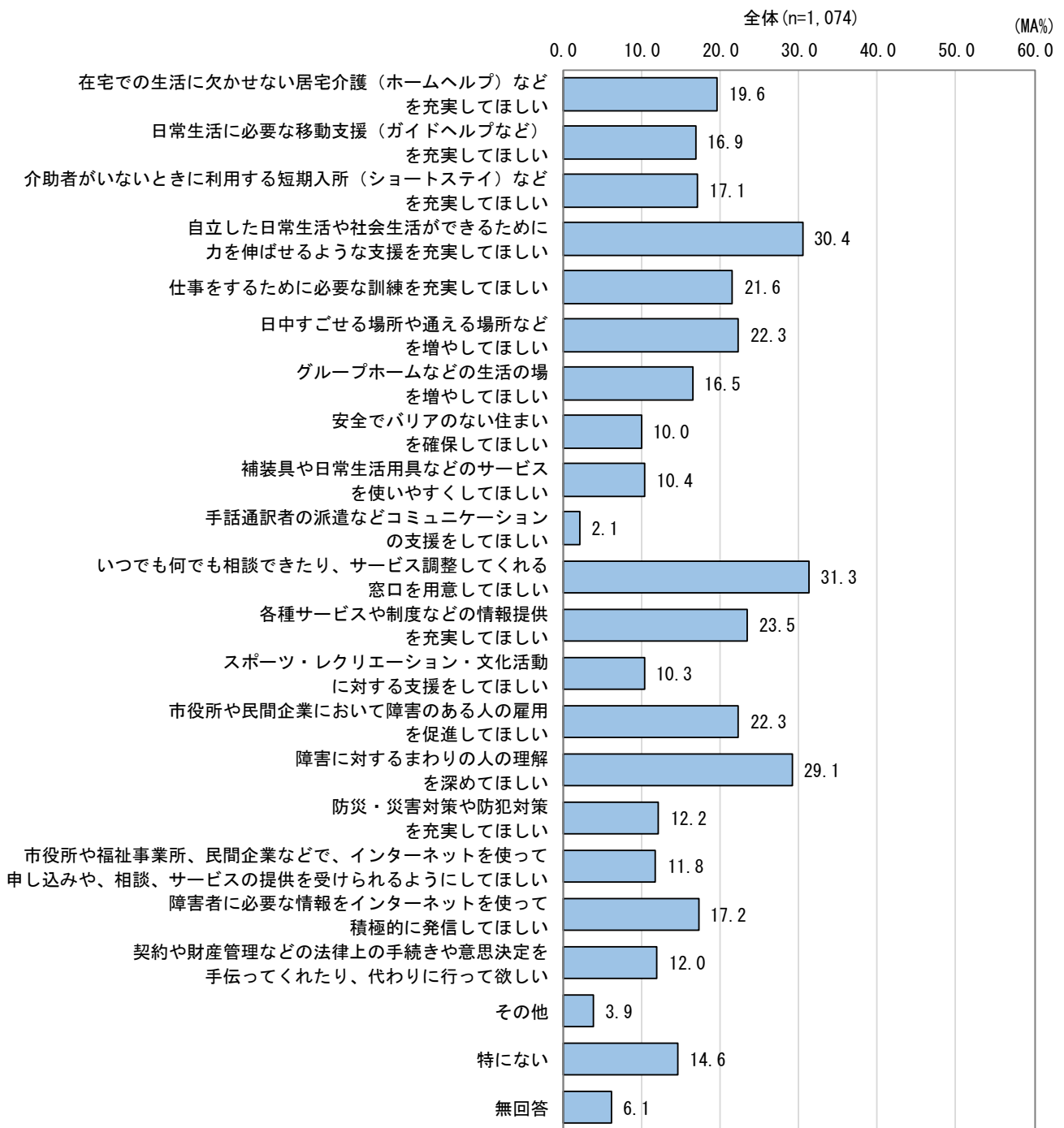
障害種別でみると、「身体障害者」では「特にない」が23.5%で最も多く、「知的障害者」では「小・中学校での福祉教育の充実」が22.2%で最も多く、「精神障害者」では「特にない」が18.7%で最も多くなっています。



(6) 今後の障害者施策に望むこと

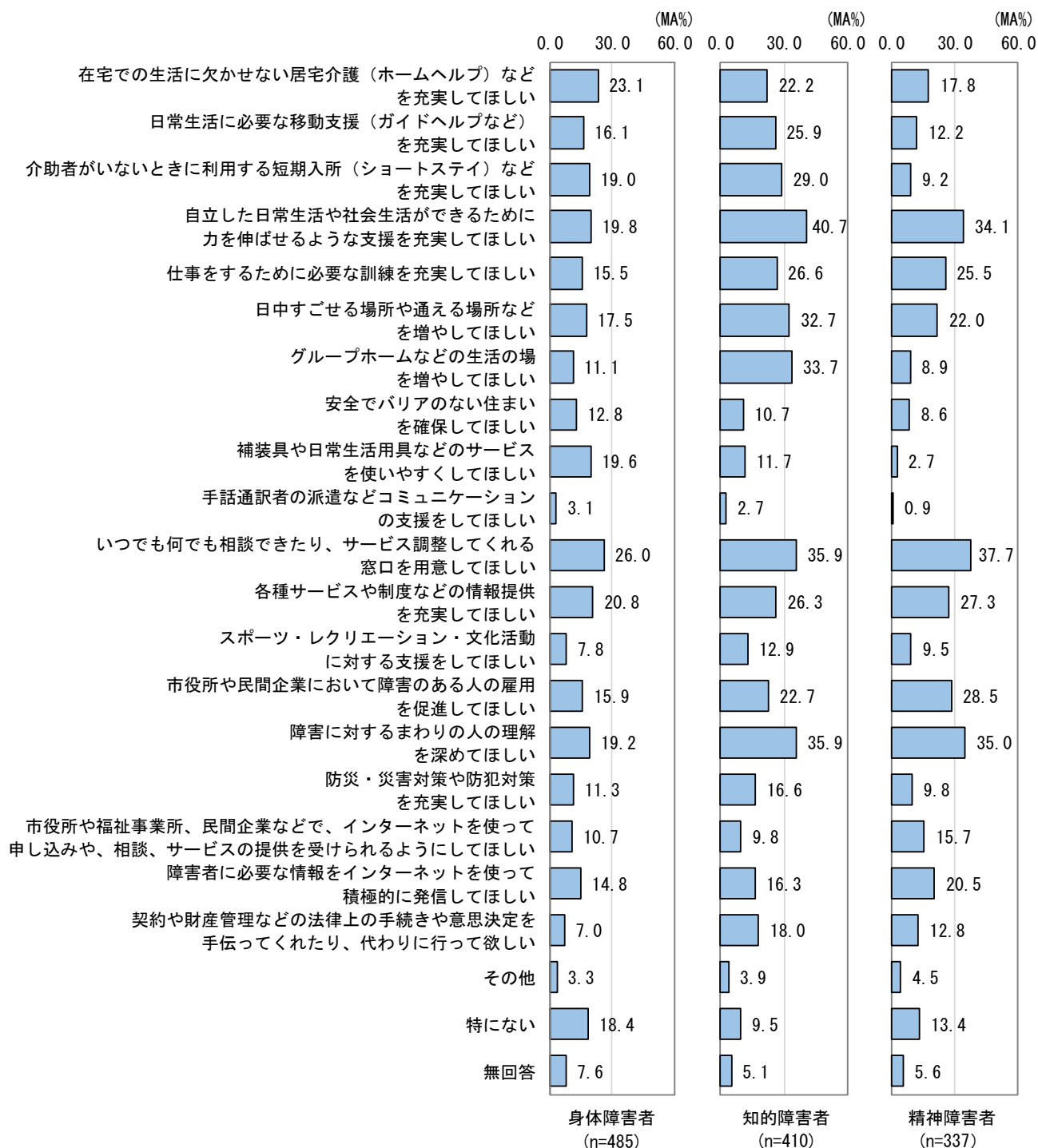
問 45	あなたが、暮らしやすくなるために、今後の障害者施策に特に望むことはどのようなことですか。	○はいくつでも
------	--	---------

暮らしやすくなるために、今後の障害者施策に特に望むことについて、「いつでも何でも相談できたり、サービス調整してくれる窓口を用意してほしい」が31.3%で最も多く、次いで「自立した日常生活や社会生活ができるために力を伸ばせるような支援を充実してほしい」が30.4%、「障害に対するまわりの人の理解を深めてほしい」が29.1%となっており、「その他」の内容として「入所施設の増設、サービス内容の充実」「各種サービスの充実に関する要望」「助成金に関する要望」などがありました。



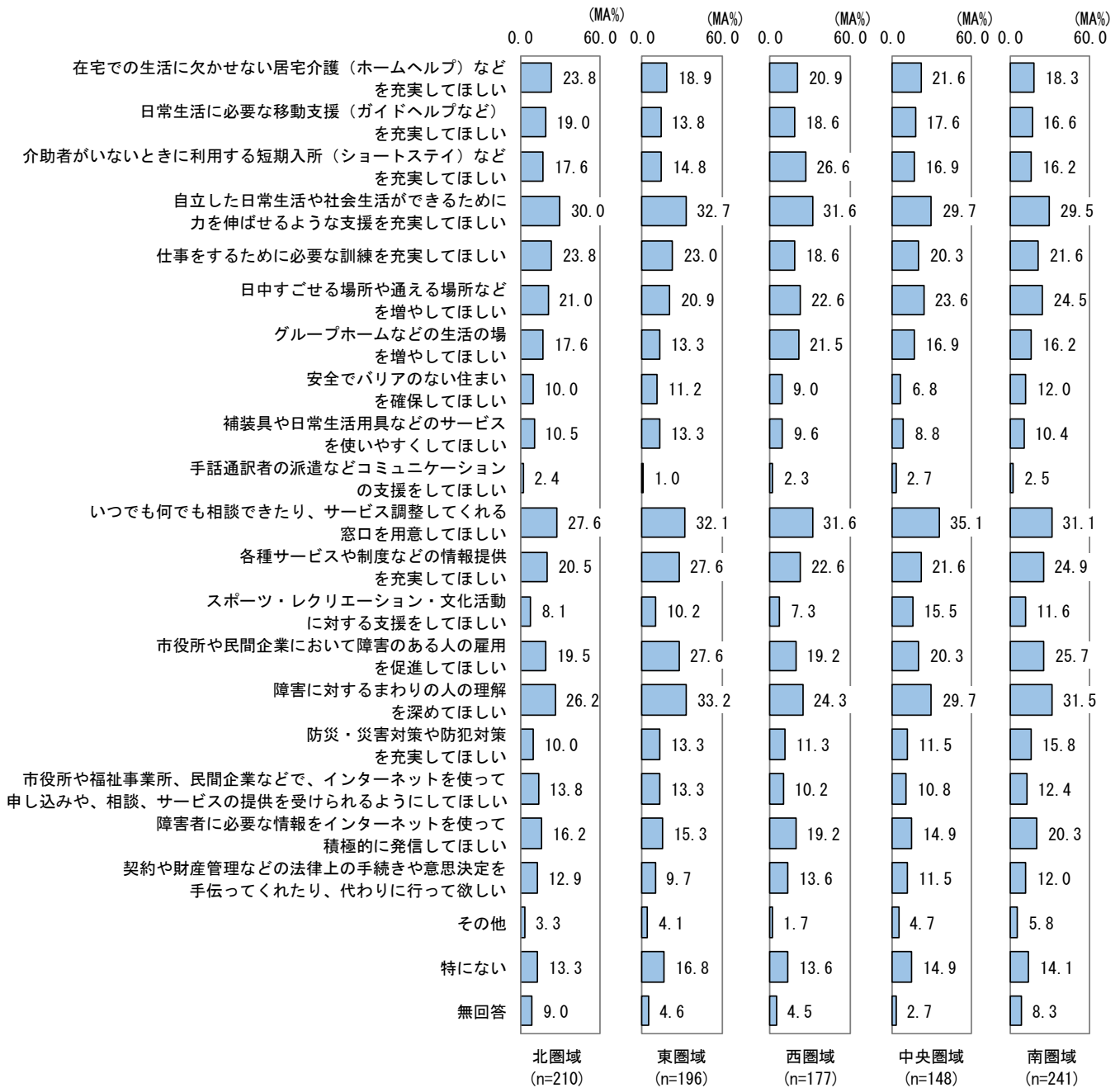
第2章 身体・知的・精神障害者調査の結果

障害種別でみると、「身体障害者」では「いつでも何でも相談できたり、サービス調整してくれる窓口を用意してほしい」が26.0%で最も多く、「知的障害者」では「自立した日常生活や社会生活ができるために力を伸ばせるような支援を充実してほしい」が40.7%で最も多く、「精神障害者」では「いつでも何でも相談できたり、サービス調整してくれる窓口を用意してほしい」が37.7%で最も多くなっています。



第2章 身体・知的・精神障害者調査の結果

圏域別でみると、「北圏域」では「自立した日常生活や社会生活ができるために力を伸ばせるような支援を充実してほしい」が30.0%で最も多く、「東圏域」では「障害に対するまわりの人の理解を深めてほしい」が33.2%で最も多く、「西圏域」では「自立した日常生活や社会生活ができるために力を伸ばせるような支援を充実してほしい」「いつでも何でも相談できたり、サービス調整してくれる窓口を用意してほしい」が31.6%で最も多く、「中央圏域」では「いつでも何でも相談できたり、サービス調整してくれる窓口を用意してほしい」が35.1%で最も多く、「南圏域」では「障害に対するまわりの人の理解を深めてほしい」が31.5%で最も多くなっています。

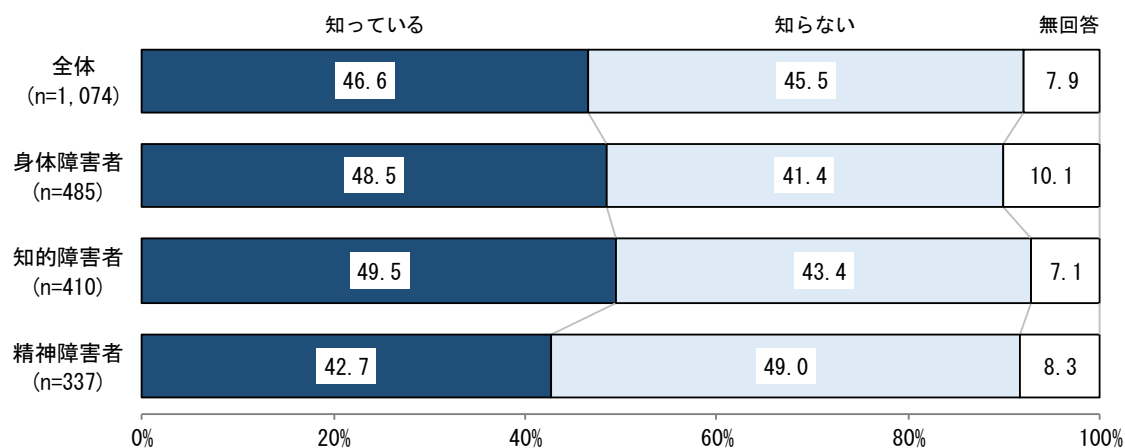


(7) 成年後見制度の認知状況

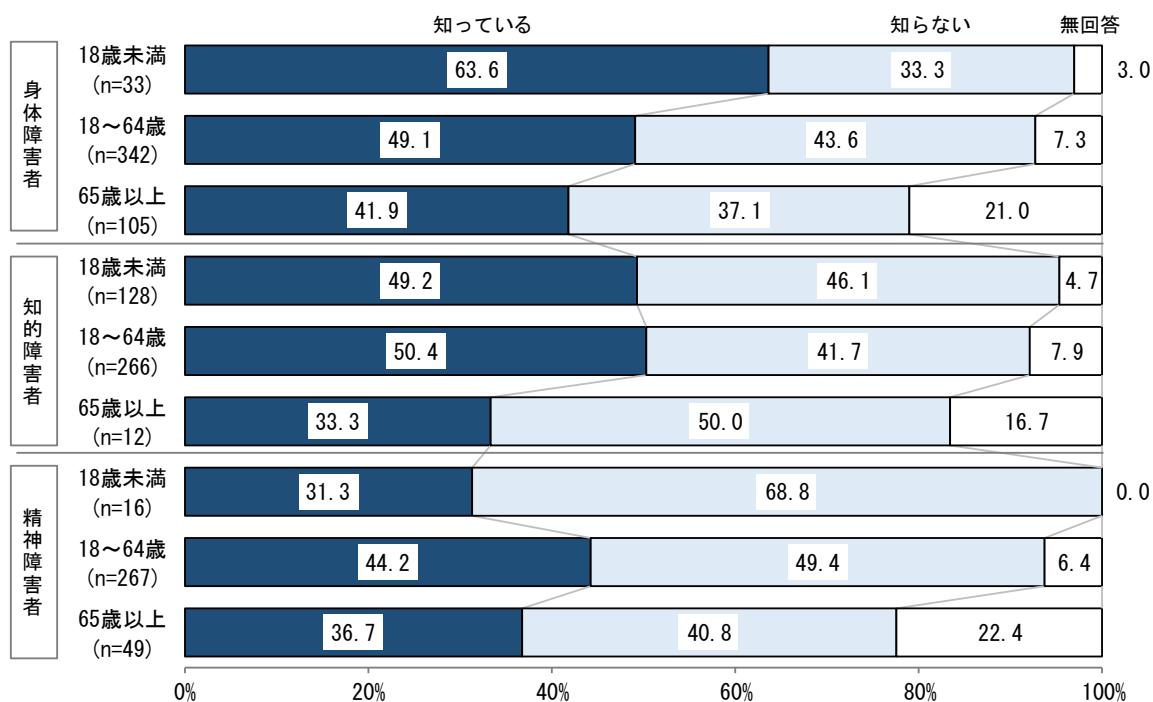
問46 あなたは、成年後見制度について知っていますか。

○は1つだけ

成年後見制度の認知状況について、「知っている」が46.6%、「知らない」が45.5%となっています。障害種別でみると、「知っている」では「身体障害者」が48.5%、「知的障害者」が49.5%、「精神障害者」が42.7%となっています。



障害種別及び年齢別でみると、「知っている」について、「身体障害者」では「18歳未満」が63.6%で最も多く、「知的障害者」では「18～64歳」が50.4%で最も多く、「精神障害者」では「18～64歳」が44.2%で最も多くなっています。



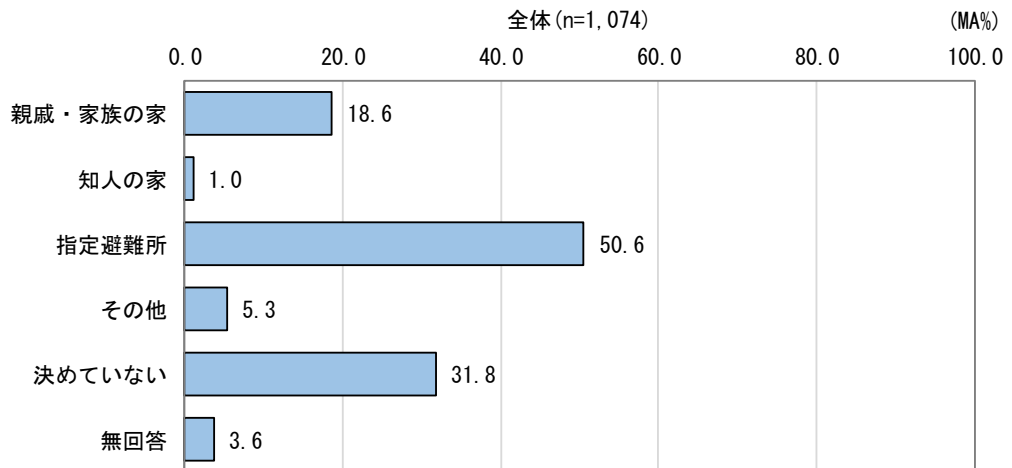
9 災害時の避難等

(1) 災害時の避難行動先

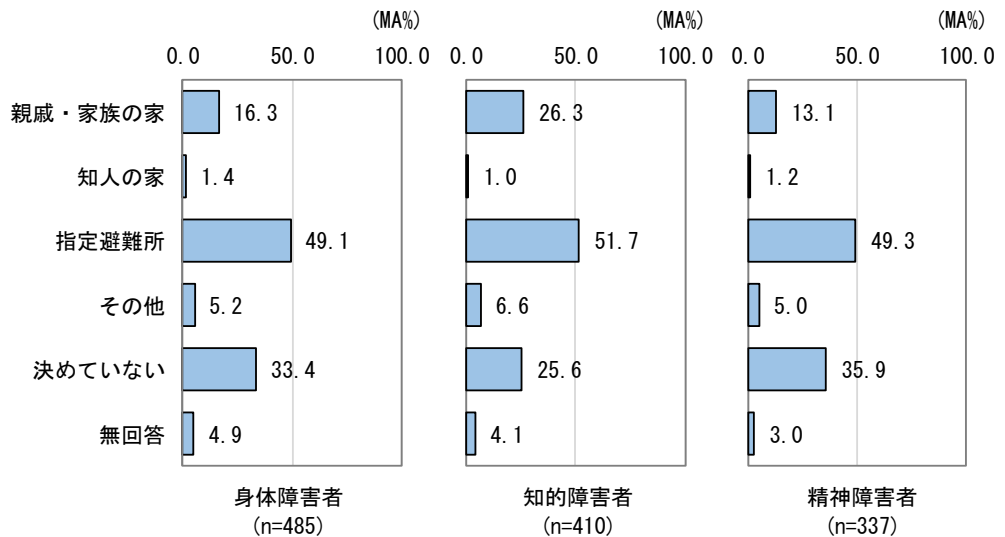
問 47 あなたは、地震等の災害時にどこに避難をするか決めていますか。

○はいくつでも

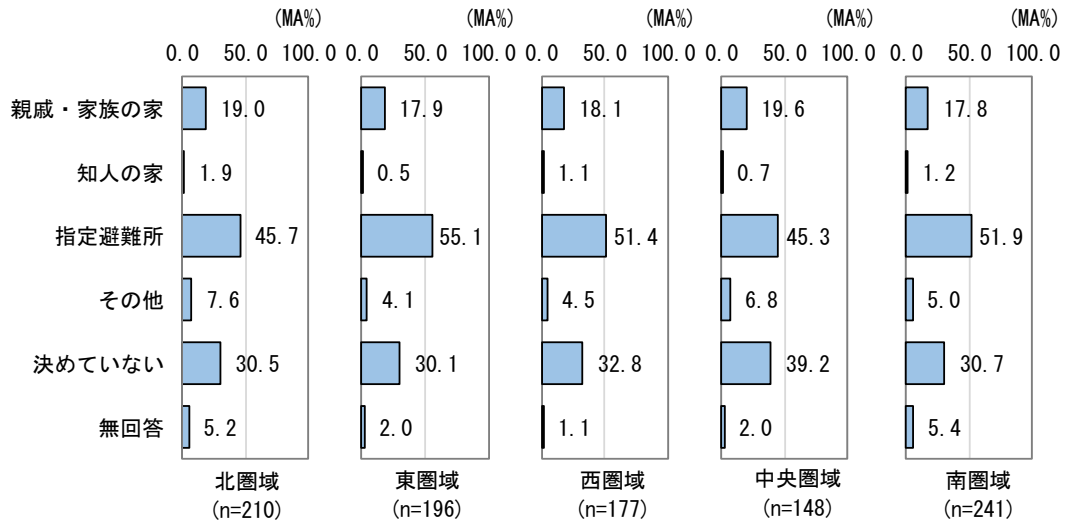
災害時の避難行動先について、「指定避難所」が50.6%で最も多く、次いで「決めていない」が31.8%、「親戚・家族の家」が18.6%となっており、「その他」の内容として「自宅」「施設」「病院・施設の職員の指示のあった場所」などがありました。



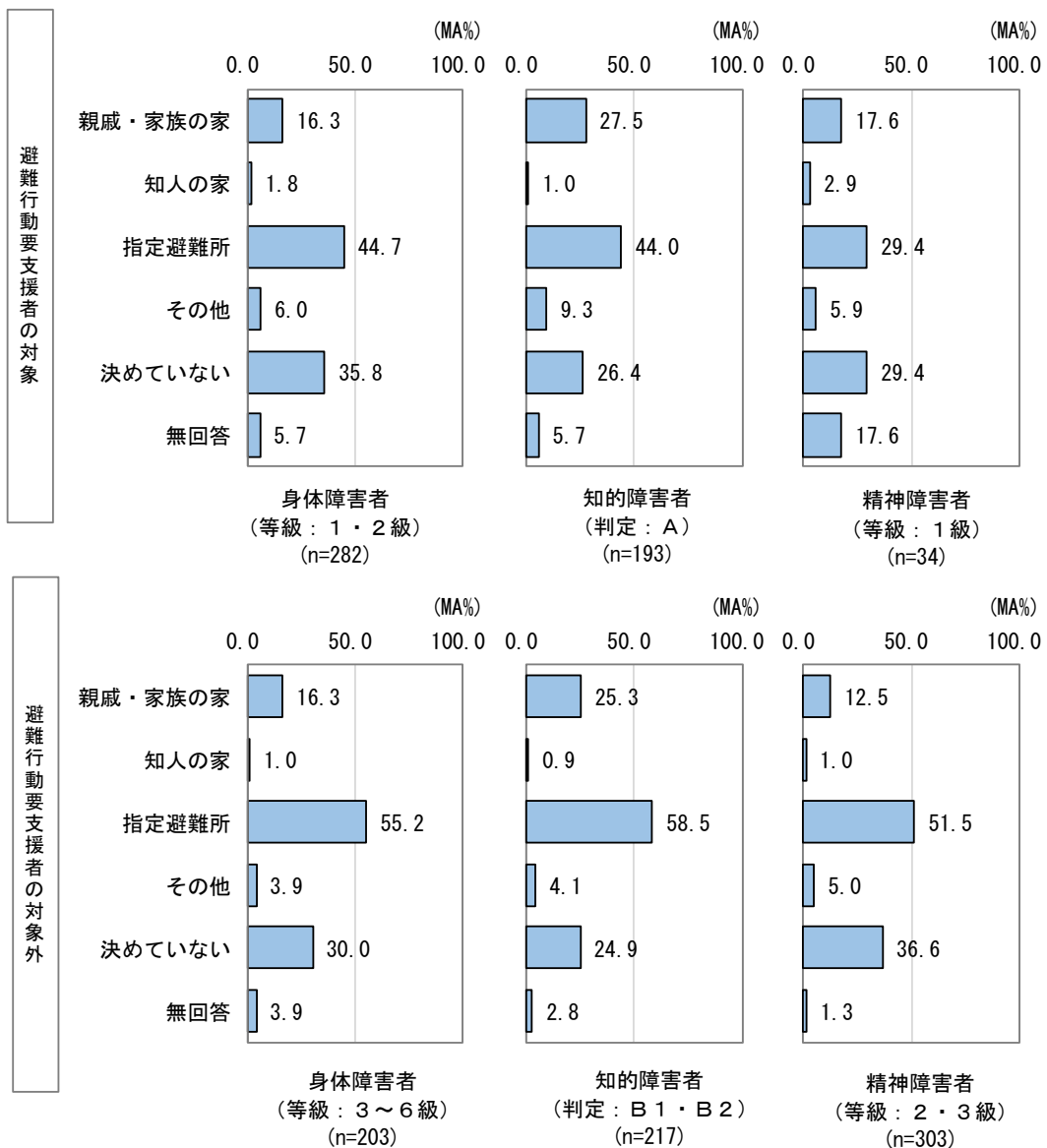
障害種別でみると、いずれも「指定避難所」が最も多く、「身体障害者」が49.1%、「知的障害者」が51.7%、「精神障害者」が49.3%となっています。



圏域別でみると、いずれも「指定避難所」が最も多く、「北圏域」が45.7%、「東圏域」が55.1%、「西圏域」が51.4%、「中央圏域」が45.3%、「南圏域」が51.9%となっています。



避難行動要支援者の対象別でみると、いずれも「指定避難所」が最も多くなっています。

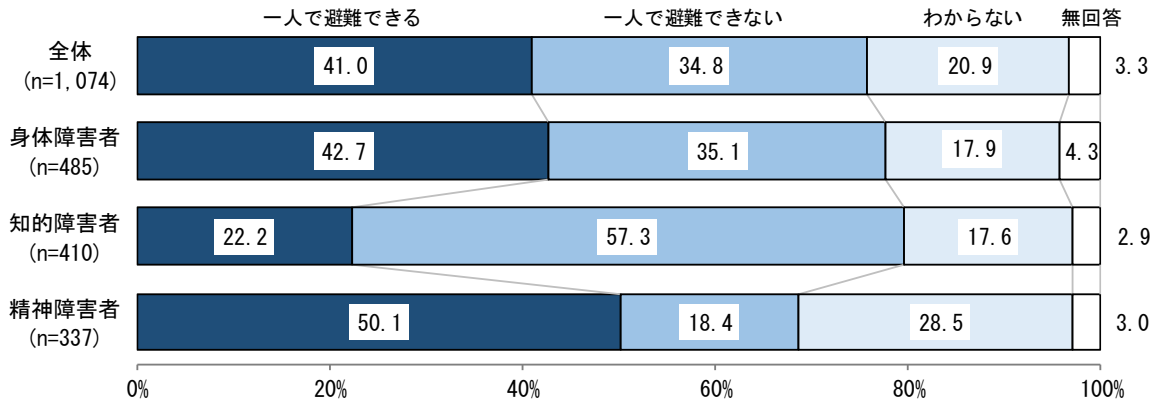


(2) 自力避難

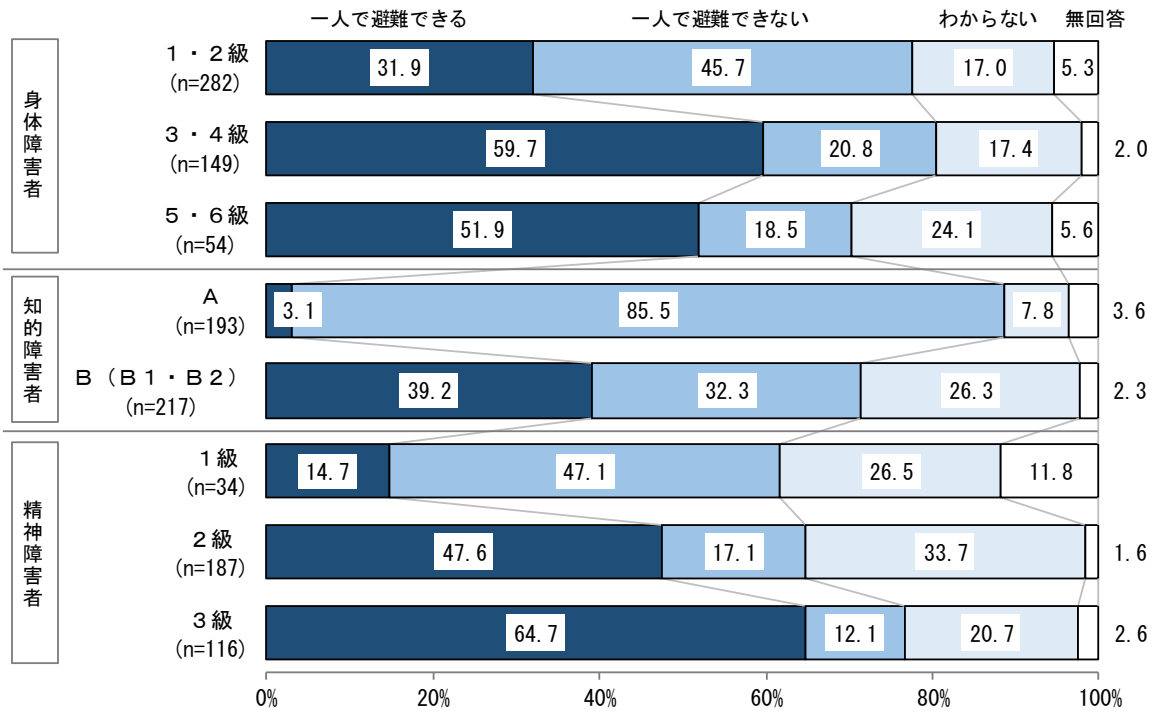
問 48 あなたは、地震等の災害時に一人で避難できますか。 ○は1つだけ

地震等の災害時に一人で避難できるかについて、「一人で避難できる」が41.0%で最も多く、次いで「一人で避難できない」が34.8%、「わからない」が20.9%となっています。

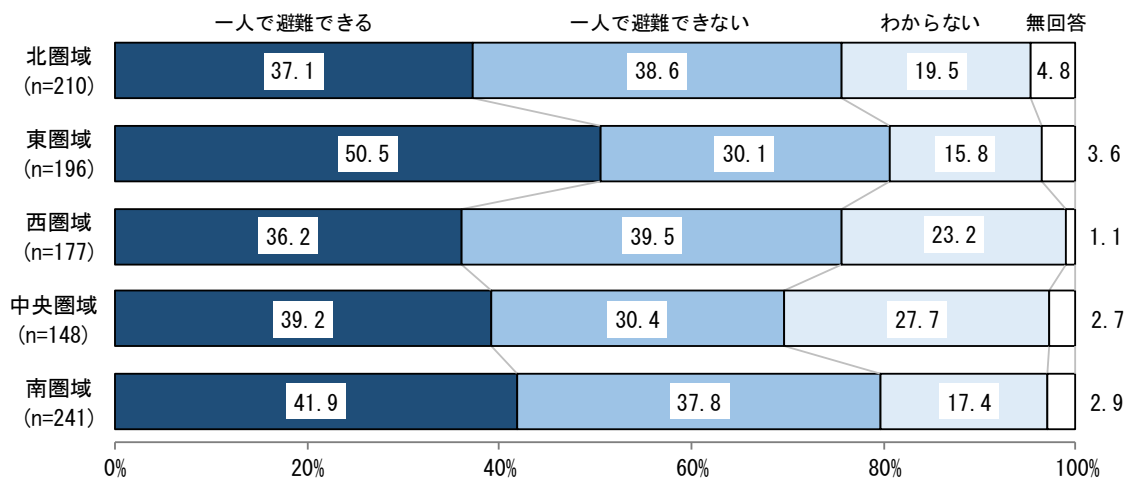
障害種別でみると、「一人で避難できる」では「身体障害者」が42.7%、「知的障害者」が22.2%、「精神障害者」が50.1%となっています。



障害種別及び等級・判定別でみると、「身体障害者」の「1・2級」では「一人で避難できない」が45.7%で最も多く、「知的障害者」の「A」では「一人で避難できない」が85.5%で最も多く、「精神障害者」の「1級」では「一人で避難できない」が47.1%で最も多くなっています。



圏域別で見ると、「北圏域」では「一人で避難できない」が38.6%で最も多く、「東圏域」では「一人で避難できる」が50.5%で最も多く、「西圏域」では「一人で避難できない」が39.5%で最も多く、「中央圏域」では「一人で避難できる」が39.2%で最も多く、「南圏域」では「一人で避難できる」が41.9%で最も多くなっています。

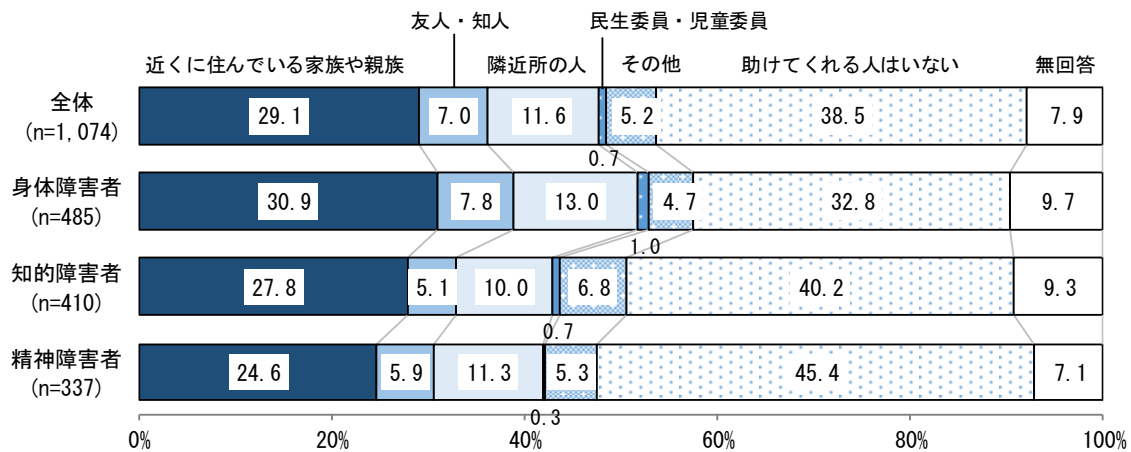


(3) 近くに助けしてくれる人の有無

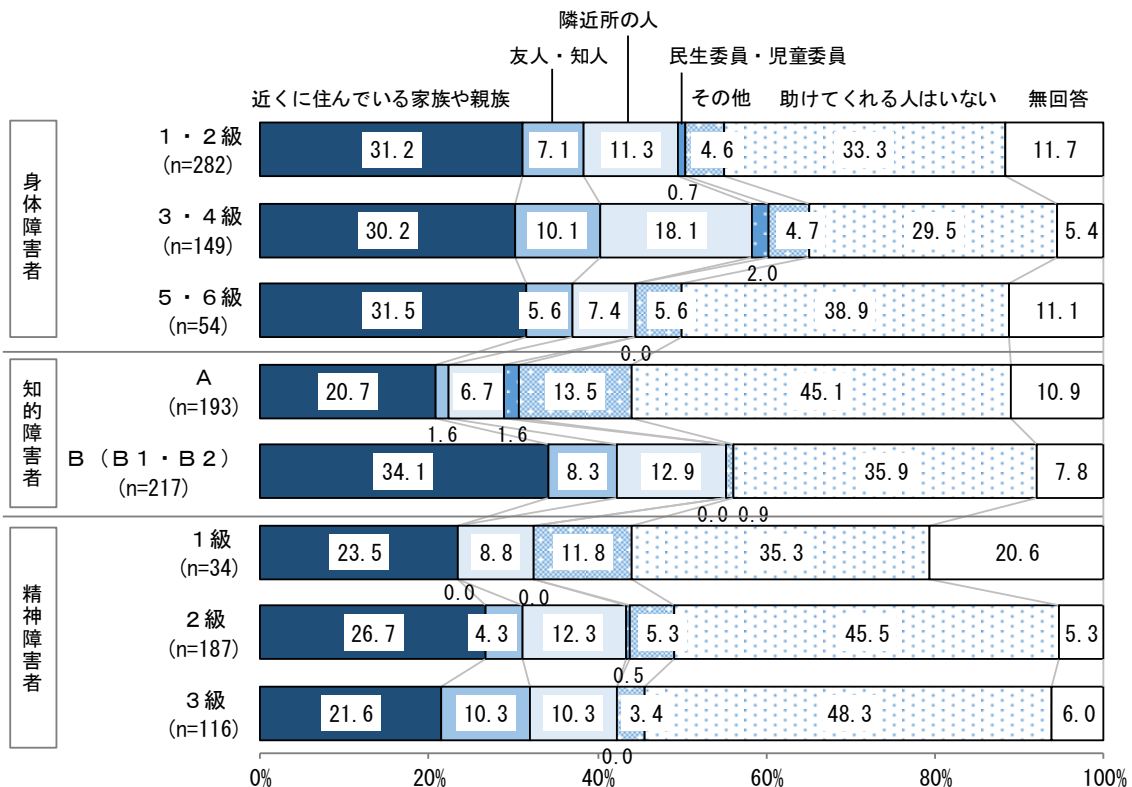
問 49 地震等の災害時に家族が不在の場合やひとり暮らしの場合、近くにあなたを助けしてくれる人はいますか。 ○は1つだけ

近くに助けしてくれる人はいるかについて、「助けしてくれる人はいない」が38.5%で最も多く、次いで「近くに住んでいる家族や親族」が29.1%、「隣近所の人」が11.6%となっており、「その他」の内容として「施設の職員」「一人になることがない」「病院スタッフ」などがありました。

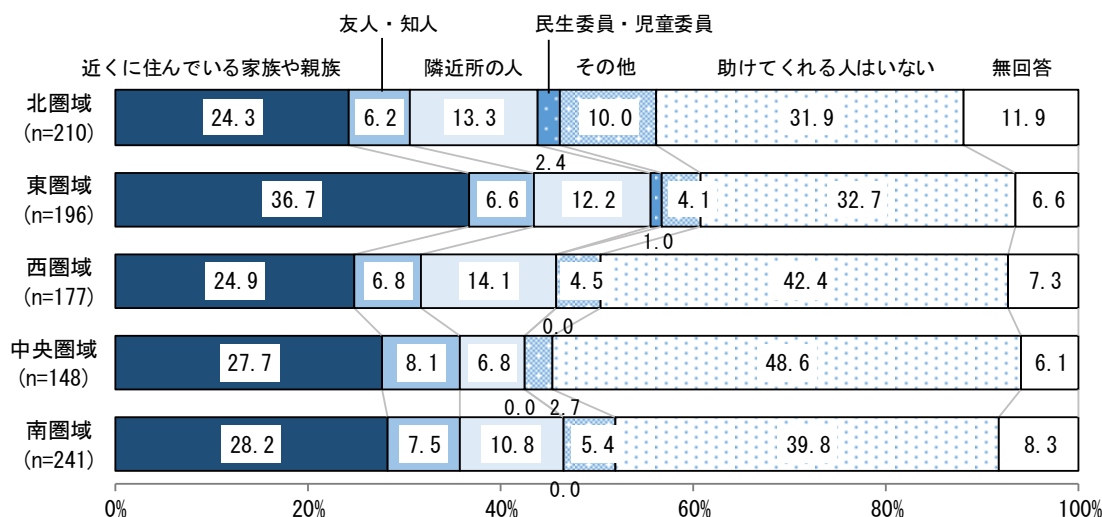
障害種別でみると、いずれも「助けしてくれる人はいない」が最も多く、「身体障害者」が32.8%、「知的障害者」が40.2%、「精神障害者」が45.4%となっています。



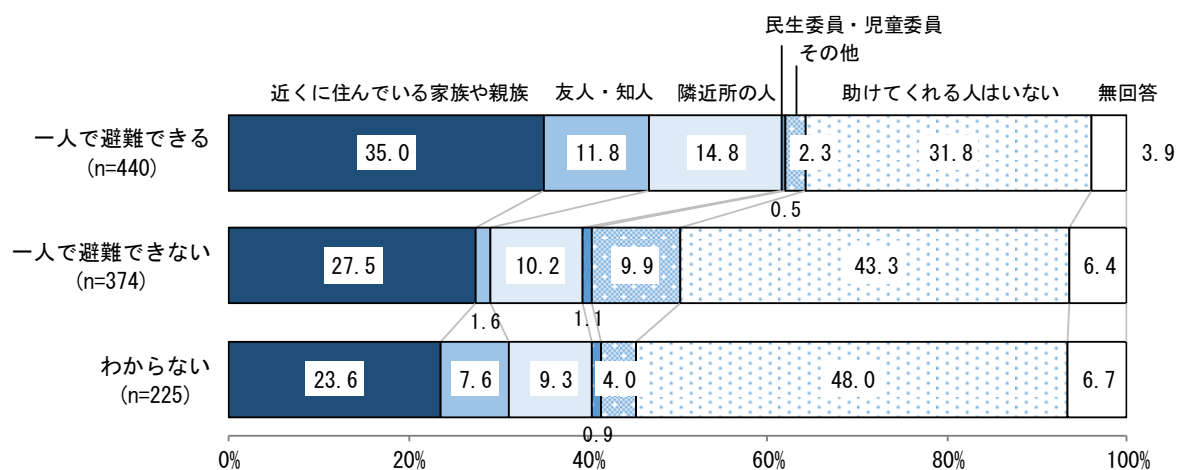
障害種別及び等級・判定別でみると、「身体障害者」の「1・2級」では「助けしてくれる人はいない」が33.3%で最も多く、「知的障害者」の「A」では「助けしてくれる人はいない」が45.1%で最も多く、「精神障害者」の「1級」では「助けしてくれる人はいない」が35.3%で最も多くなっています。



圏域別でみると、「北圏域」では「助けてくれる人はいない」が31.9%で最も多く、「東圏域」では「近くに住んでいる家族や親族」が36.7%で最も多く、「西圏域」では「助けてくれる人はいない」が42.4%で最も多く、「中央圏域」では「助けてくれる人はいない」が48.6%で最も多く、「南圏域」では「助けてくれる人はいない」が39.8%で最も多くなっています。



災害時の避難行動別でみると、「一人で避難できる」では「近くに住んでいる家族や親族」が35.0%で最も多く、「一人で避難できない」では「助けてくれる人はいない」が43.3%で最も多く、「わからない」では「助けてくれる人はいない」が48.0%で最も多くなっています。

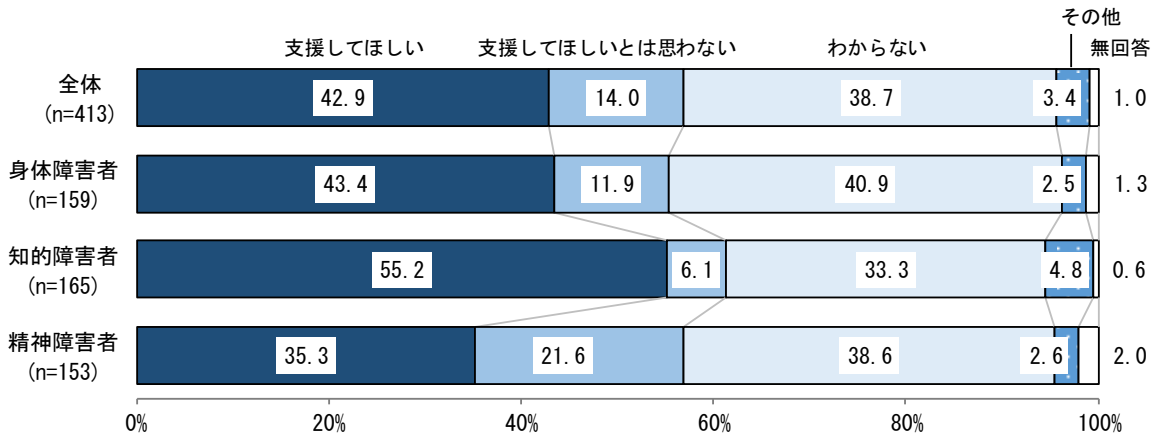


(4) 災害時の支援希望

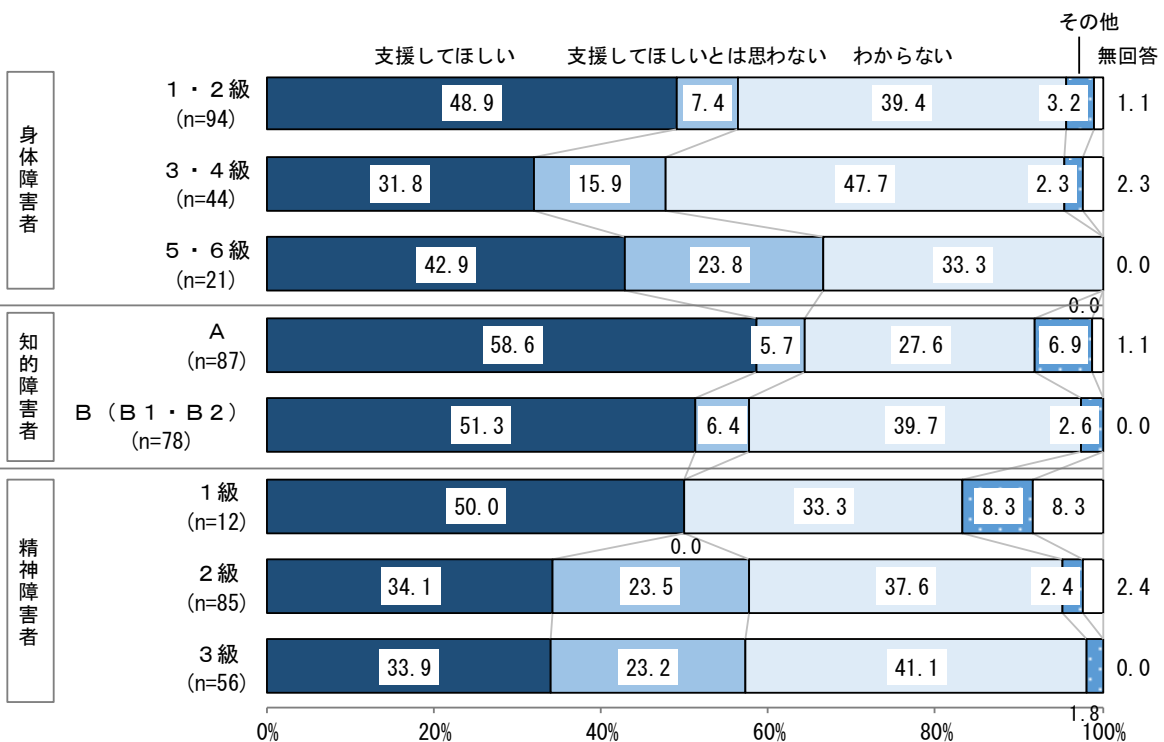
問 49-1 問 49 で「助けてくれる人はいない」と回答した方におたずねします。地震等の災害時に助けが必要な場合、近所の人に支援してほしいですか。 ○は1つだけ

近くに助けてくれる人はいない人に、地震等の災害時に助けが必要な場合、近所の人に支援してほしいかについてたずねたところ、「支援してほしい」が42.9%で最も多く、次いで「わからない」が38.7%、「支援してほしいとは思わない」が14.0%となっており、「その他」の内容として「近所づきあいがなく頼れない」「支援してほしいが無理だと思う」「人を派遣してほしい」「避難所で支援してほしい」などがありました。

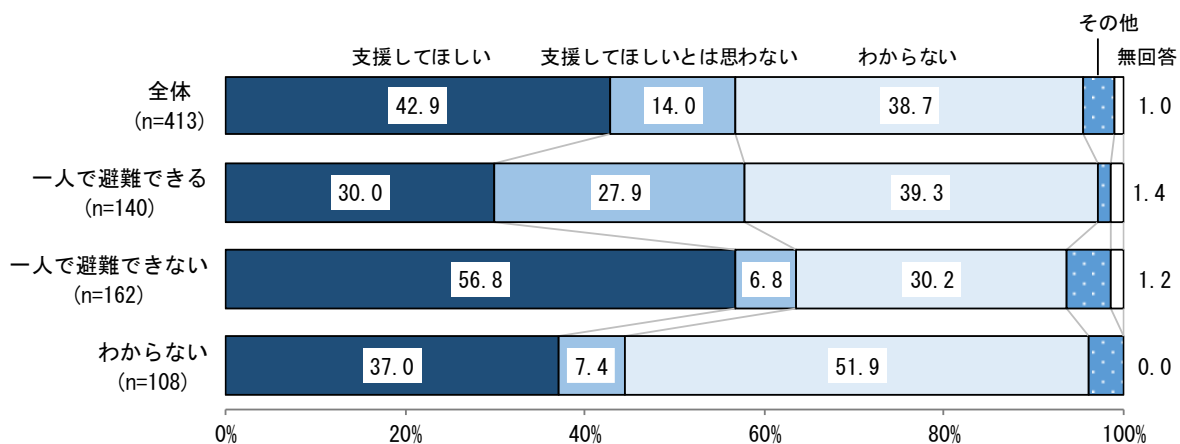
障害種別でみると、「身体障害者」では「支援してほしい」が43.4%で最も多く、「知的障害者」では「支援してほしい」が55.2%で最も多く、「精神障害者」では「わからない」が38.6%で最も多くなっています。



障害種別及び等級・判定別でみると、「身体障害者」の「1・2級」では「支援してほしい」が48.9%で最も多く、「知的障害者」の「A」では「支援してほしい」が58.6%で最も多く、「精神障害者」の「1級」では「支援してほしい」が50.0%で最も多くなっています。



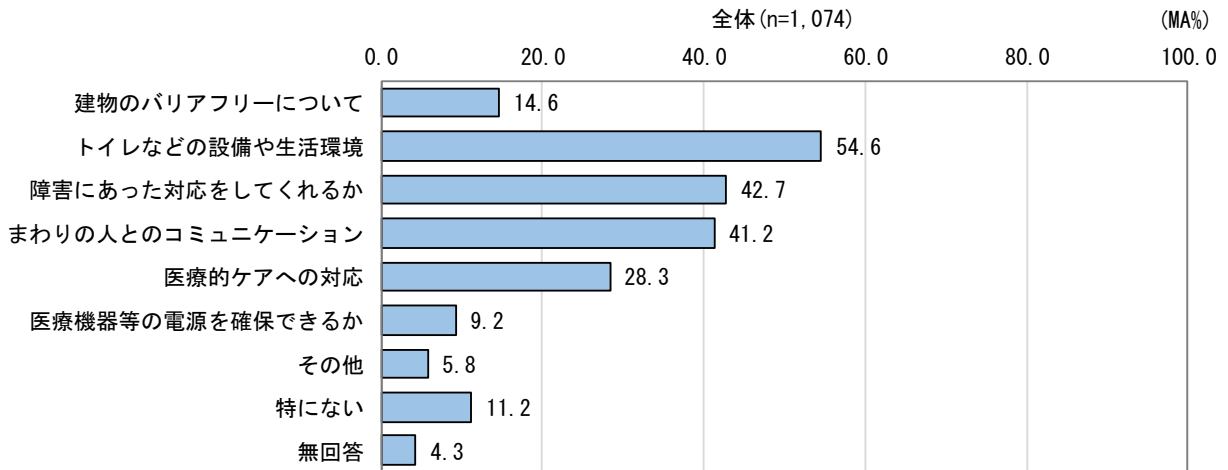
災害時の避難行動別で見ると、「一人で避難できる」では「わからない」が39.3%で最も多く、「一人で避難できない」では「支援してほしい」が56.8%で最も多くなっています。



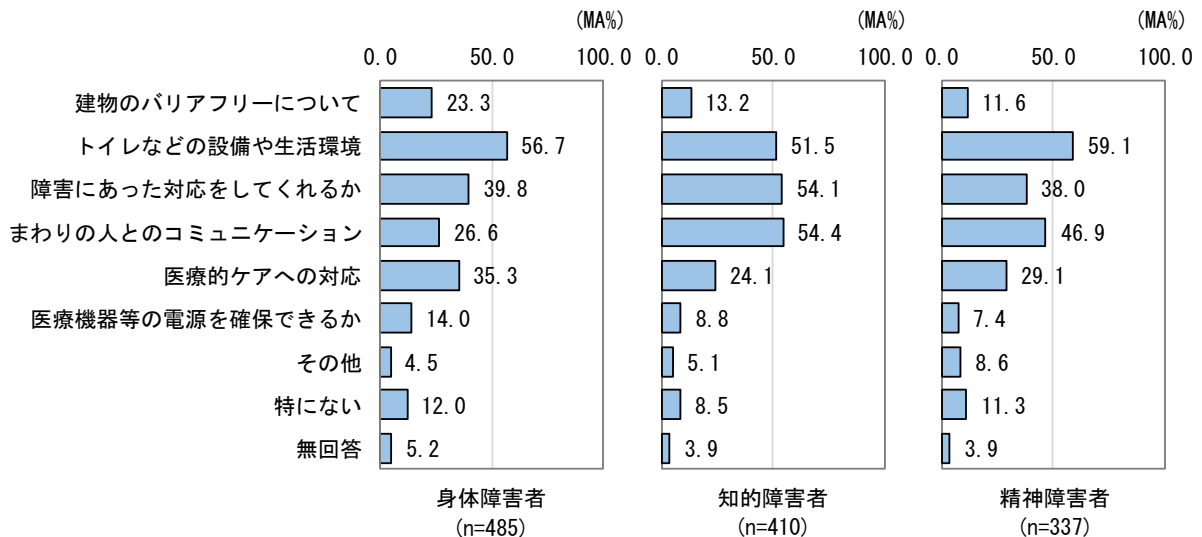
(5) 避難所で過ごす際に不安なこと

問 50 地震等の災害時に避難所で過ごす際に不安なことは何ですか。 ○はいくつでも

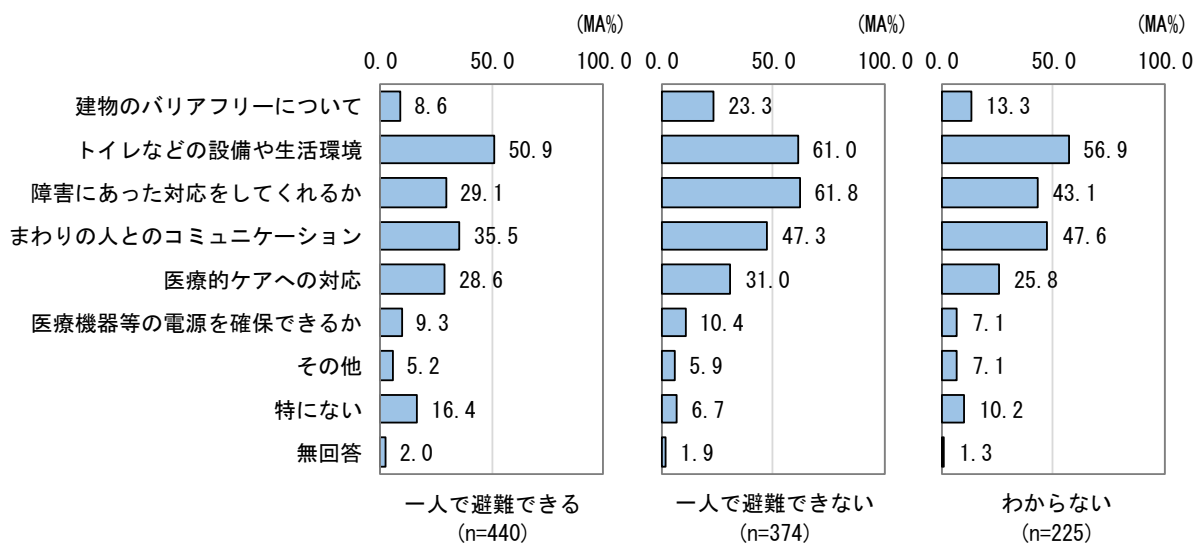
地震等の災害時に避難所で過ごす際に不安なことについて、「トイレなどの設備や生活環境」が54.6%で最も多く、次いで「障害にあった対応をしてくれるか」が42.7%、「まわりの人とのコミュニケーション」が41.2%となっており、「その他」の内容として「薬の確保・管理」「食料の確保、食事の対応」「透析について」「障害に対応してもらえないのでは」などがありました。



障害種別でみると、「身体障害者」では「トイレなどの設備や生活環境」が56.7%で最も多く、「知的障害者」では「まわりの人とのコミュニケーション」が54.4%、「精神障害者」では「トイレなどの設備や生活環境」が59.1%となっています。



災害時の避難行動別で見ると、「一人で避難できる」では「トイレなどの設備や生活環境」が50.9%で最も多く、「一人で避難できない」では「障害にあった対応をしてくれるか」が61.8%で最も多く、「わからない」では「トイレなどの設備や生活環境」が56.9%で最も多くなっています。

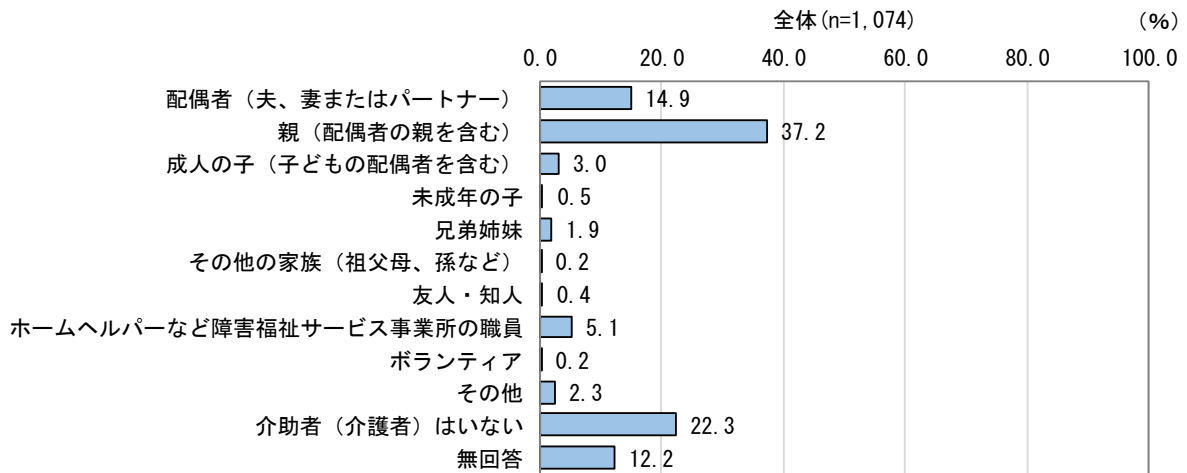


10 介助者（介護者）の状況

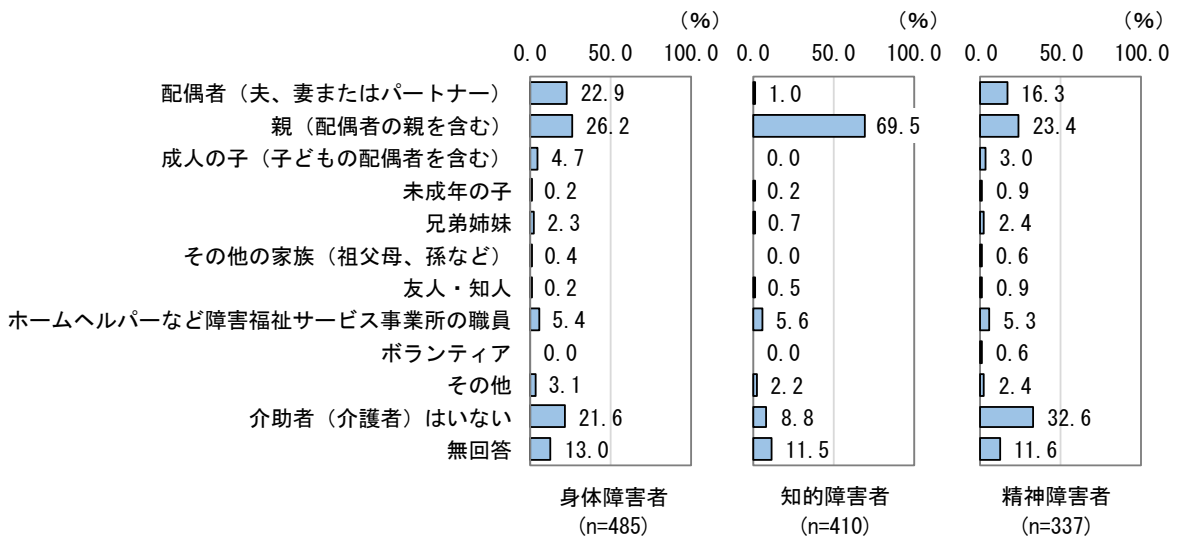
(1) 主な介助者（介護者）

問 51 あなたの主な介助者（介護者）の方はどなたですか。 ○は1つだけ

主な介助者（介護者）について、「親（配偶者の親を含む）」が37.2%で最も多く、次いで「介助者（介護者）はいない」が22.3%、「配偶者（夫、妻またはパートナー）」が14.9%となっているほか、「未成年の子」が0.5%となっており、「その他」の内容として「必要なし」「施設職員」「病院スタッフ」などがありました。



障害種別でみると、「身体障害者」では「親（配偶者の親を含む）」が26.2%で最も多く、「知的障害者」では「親（配偶者の親を含む）」が69.5%で最も多く、「精神障害者」では「介助者（介護者）はいない」が32.6%で最も多くなっています。



(2) 主な介助者（介護者）の年齢

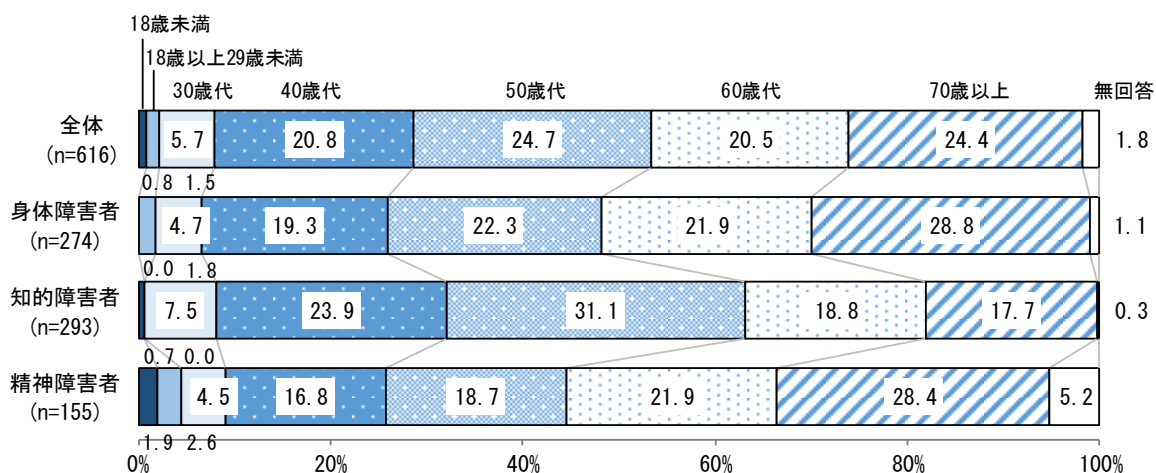
問51-1

主な介助者（介護者）の方の年齢は何歳ですか。

○は1つだけ

家族から介助（介護）を受けている人に、主な介助者（介護者）の年齢についてたずねたところ、「50歳代」が24.7%で最も多く、次いで「70歳以上」が24.4%、「40歳代」が20.8%となっているほか、「18歳未満」が0.8%となっています。

障害種別でみると、「身体障害者」では「70歳以上」が28.8%で最も多く、「知的障害者」では「50歳代」が31.1%で最も多く、「精神障害者」では「70歳以上」が28.4%で最も多くなっています。

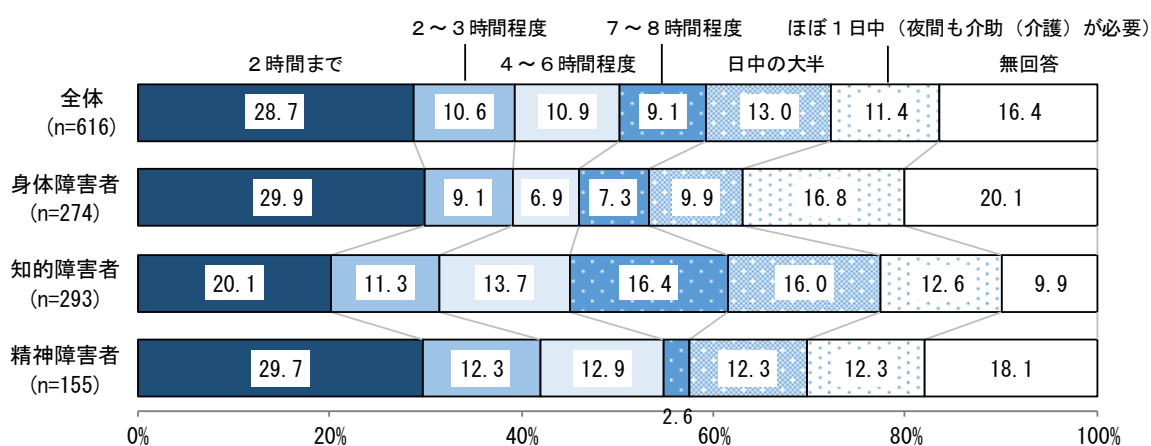


(3) 1日あたりの介助（介護）時間

問 51-2	主な介助者（介護者）の方の介助（介護）時間は、1日あたりどのくらいですか。	○は1つだけ
--------	---------------------------------------	--------

家族から介助（介護）を受けている人に、1日あたりの介助（介護）時間についてたずねたところ、「2時間まで」が28.7%で最も多く、次いで「日中の大半」が13.0%、「ほぼ1日中（夜間も介助（介護）が必要）」が11.4%となっています。

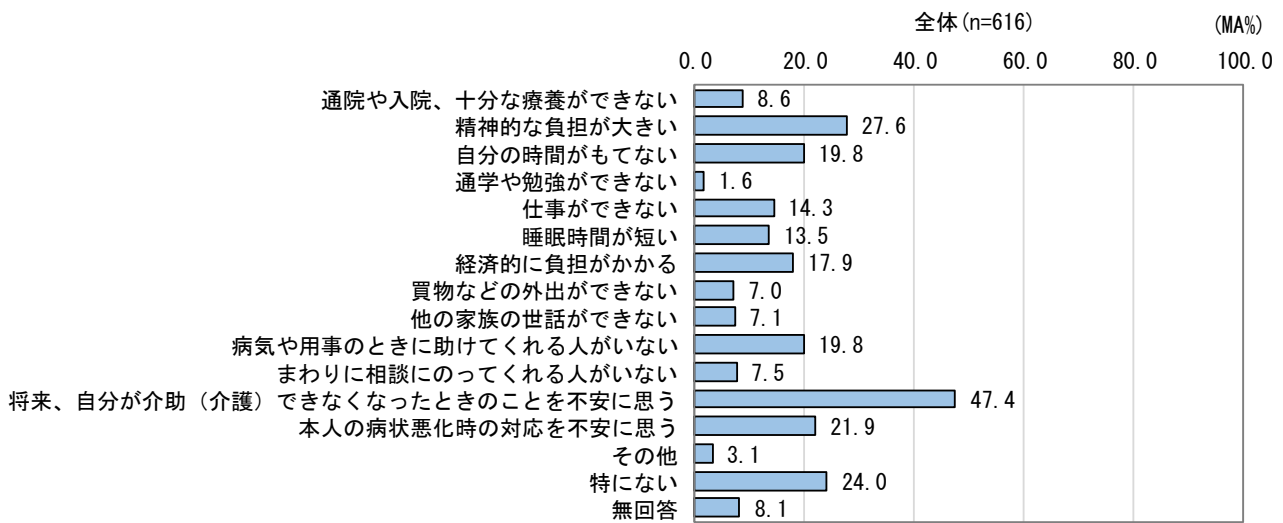
障害種別でみると、いずれも「2時間まで」が最も多く、「身体障害者」が29.9%、「知的障害者」が20.1%、「精神障害者」が29.7%となっています。



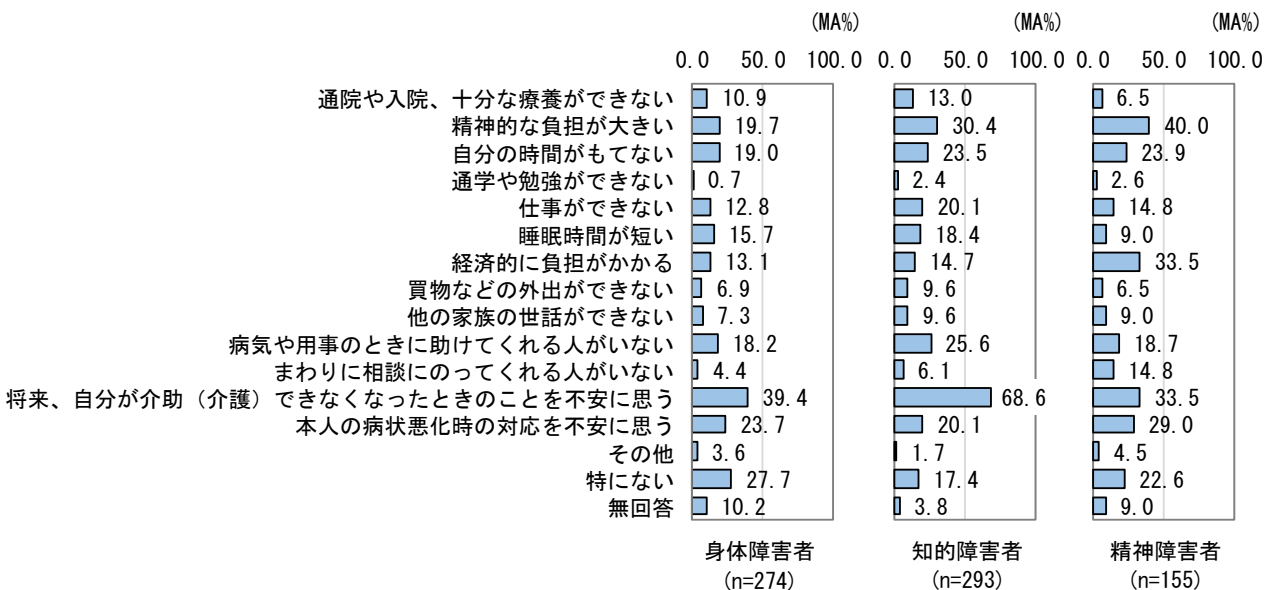
(4) 介助（介護）を行ううえで困っていること

問51-3 主な介助者（介護者）の方が介助（介護）を行ううえで困っていることは何ですか。 ○はいくつでも

家族から介助（介護）を受けている人に、介助（介護）を行ううえで困っていることについてたずねたところ、「将来、自分が介助（介護）できなくなったときのことを不安に思う」が47.4%で最も多く、次いで「精神的な負担が大きい」が27.6%、「特にない」が24.0%となっており、「その他」の内容として「外泊ができない」「要介護者が複数人いるので時間がない」「常に付き添いを求められる」などがありました。



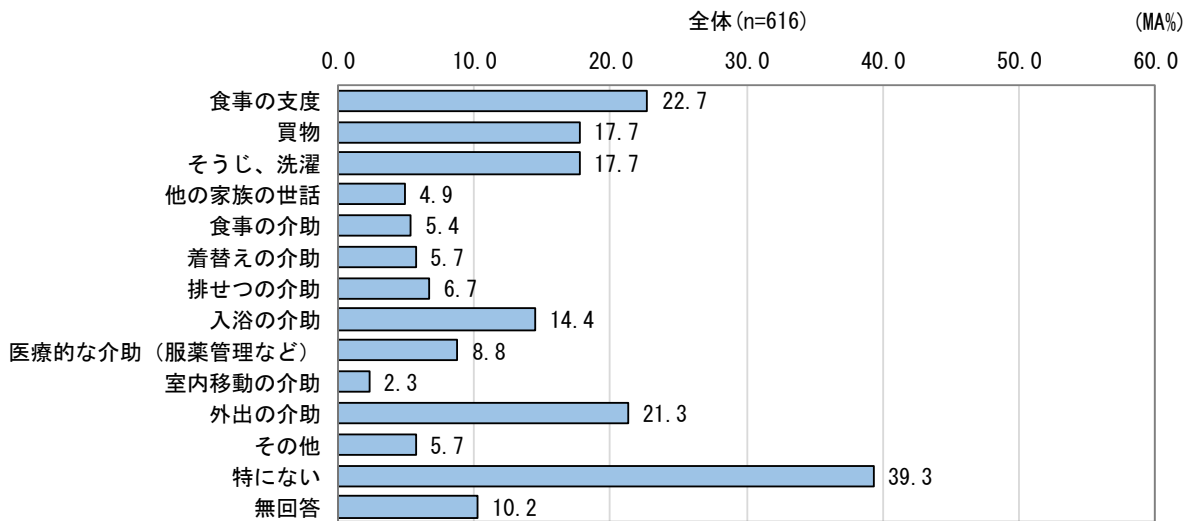
障害種別でみると、「身体障害者」では「将来、自分が介助（介護）できなくなったときのことを不安に思う」が39.4%で最も多く、「知的障害者」では「将来、自分が介助（介護）できなくなったときのことを不安に思う」が68.6%で最も多く、「精神障害者」では「精神的な負担が大きい」が40.0%で最も多くなっています。



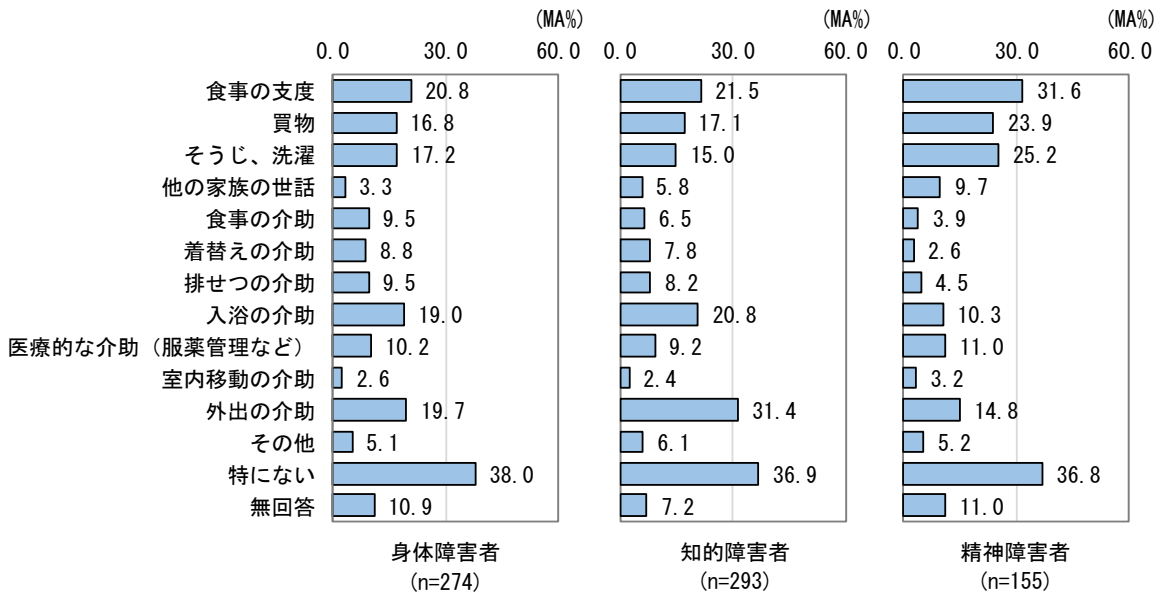
(5) 家族以外に手助けなどしてもらえたら助かること

問51-4 主な介助者（介護者）の方がしている介助のうち、家族以外の人に手伝ってもらったり、代わってもらえると助かるものがありますか。 ○はいくつでも

家族から介助（介護）を受けている人に、主な介助者（介護者）の方がしている介助のうち、家族以外の人に手伝ってもらったり、代わってもらえると助かるものがあるかについてたずねたところ、「特にない」が39.3%で最も多く、次いで「食事の支度」が22.7%、「外出の介助」が21.3%となっており、「その他」の内容として「通学・通院時の送迎、付き添い」「見守り、留守番、一時預かり」「遊び相手、話し相手、勉強の手伝い」などがありました。



障害種別でみると、いずれも「特にない」が最も多く、「身体障害者」が38.0%、「知的障害者」が36.9%、「精神障害者」が36.8%となっています。



II 共生社会の実現に向けたまちづくり

(1) 日常の暮らしの中での経験

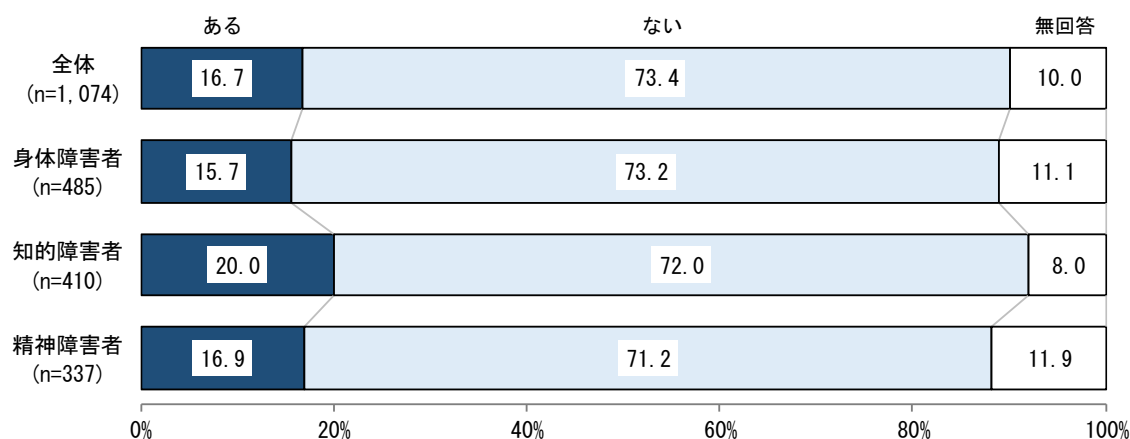
問 52 日常の暮らしの中で、次のような経験をしたことはありますか。

○は1つだけ

①まちを歩いている時に「じゃまだ」と言われたことがある

まちを歩いている時に「じゃまだ」と言われた経験があるかについて、「ある」が16.7%、「ない」が73.4%となっています。

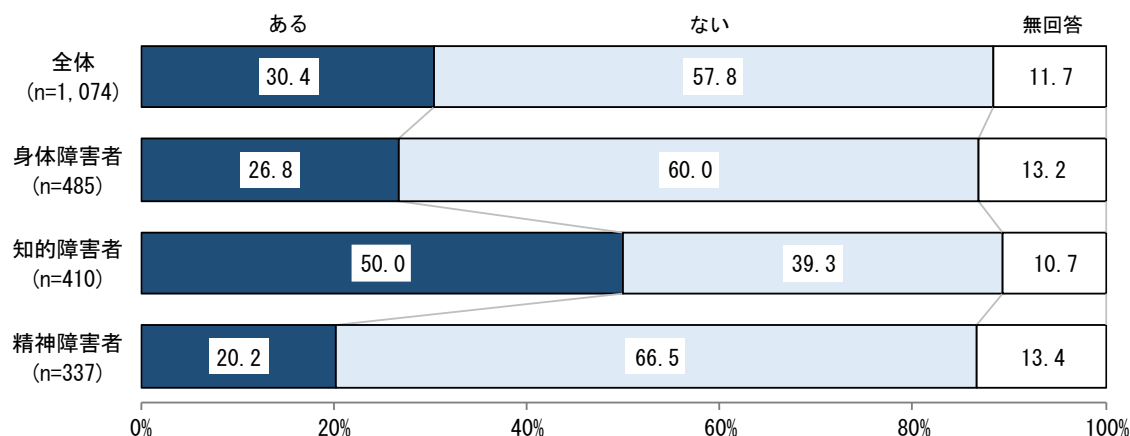
障害種別でみると、「ある」では「身体障害者」が15.7%、「知的障害者」が20.0%、「精神障害者」が16.9%となっています。



②受付時に本人ではなく、付き添いに話しかけられたことがある

受付時に本人ではなく、付き添いに話しかけられた経験があるかについて、「ある」が30.4%、「ない」が57.8%となっています。

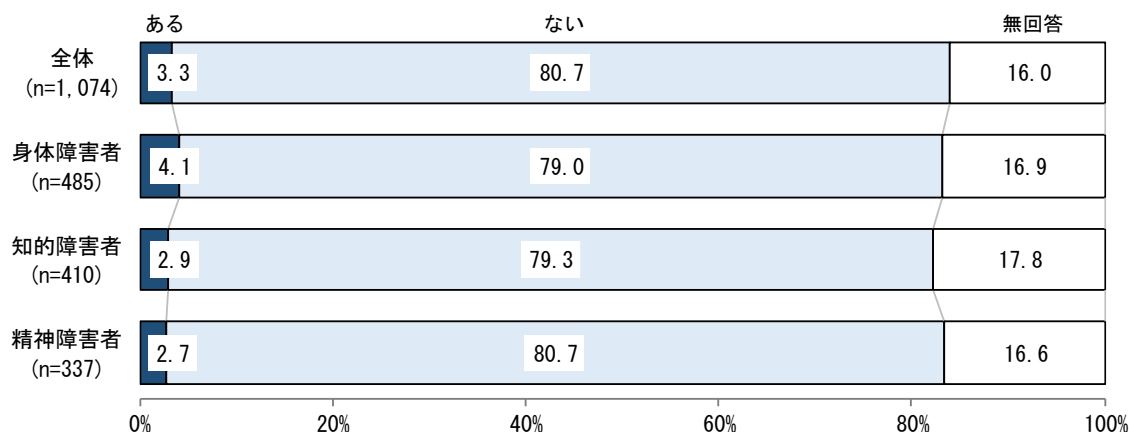
障害種別でみると、「ある」では「身体障害者」が26.8%、「知的障害者」が50.0%、「精神障害者」が20.2%となっています。



③お店で筆談を面倒がられたことがある

お店で筆談を面倒がられた経験があるかについて、「ある」が3.3%、「ない」が80.7%となっています。

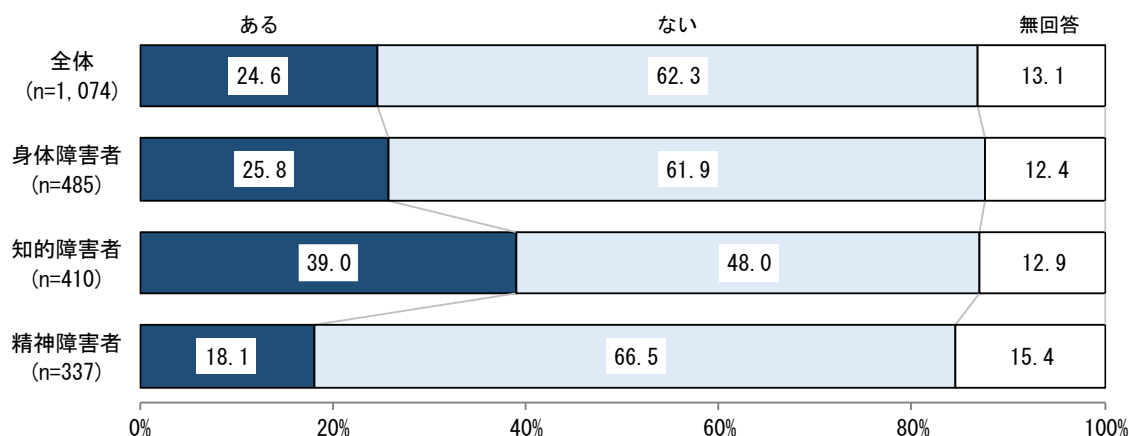
障害種別でみると、「ある」では「身体障害者」が4.1%、「知的障害者」が2.9%、「精神障害者」が2.7%となっています。



④入院時に家族の付き添いを求められたことがある

入院時に家族の付き添いを求められた経験があるかについて、「ある」が24.6%、「ない」が62.3%となっています。

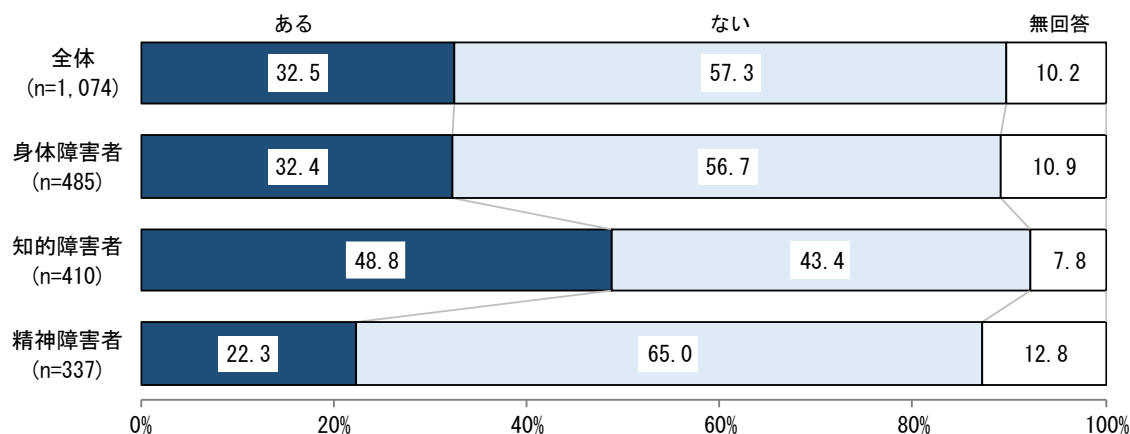
障害種別でみると、「ある」では「身体障害者」が25.8%、「知的障害者」が39.0%、「精神障害者」が18.1%となっています。



⑤まちを歩いている時に、周りからジロジロ見られたことがある

まちを歩いている時に、周りからジロジロ見られた経験があるかについて、「ある」が32.5%、「ない」が57.3%となっています。

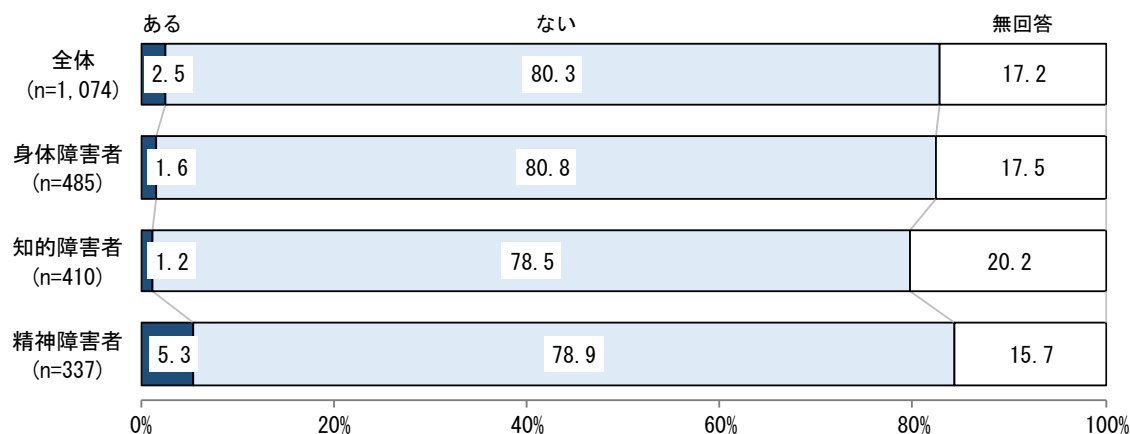
障害種別でみると、「ある」では「身体障害者」が32.4%、「知的障害者」が48.8%、「精神障害者」が22.3%となっています。



⑥家を借りようとした時に、障害を理由に不動産会社から入居を断られたことがある

家を借りようとした時に、障害を理由に不動産会社から入居を断られた経験があるかについて、「ある」が2.5%、「ない」が80.3%となっています。

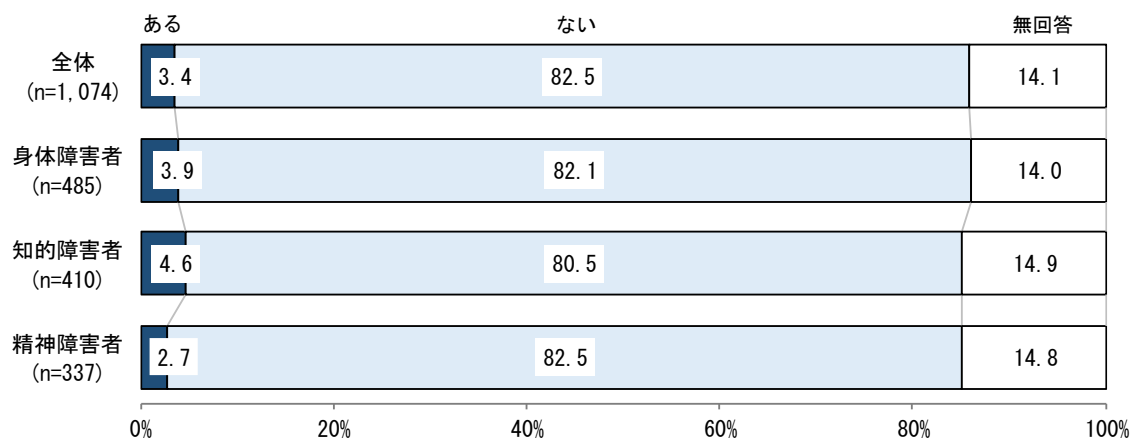
障害種別でみると、「ある」では「身体障害者」が1.6%、「知的障害者」が1.2%、「精神障害者」が5.3%となっています。



⑦障害を理由に入店を断られたことがある

障害を理由に入店を断られた経験があるかについて、「ある」が3.4%、「ない」が82.5%となっています。

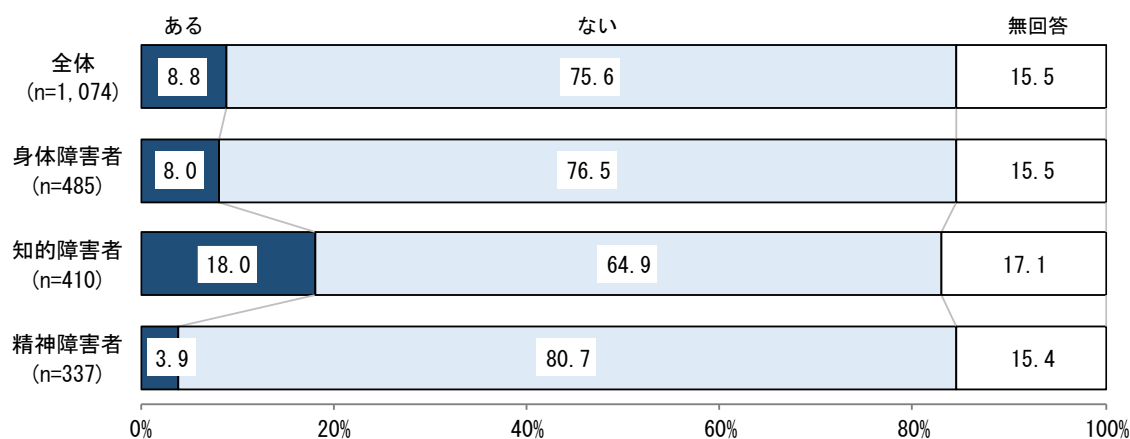
障害種別でみると、「ある」では「身体障害者」が3.9%、「知的障害者」が4.6%、「精神障害者」が2.7%となっています。



⑧地域の行事に参加しようとした時に、障害を理由に付き添いを求められたことがある

地域の行事に参加しようとした時に、障害を理由に付き添いを求められた経験があるかについて、「ある」が8.8%、「ない」が75.6%となっています。

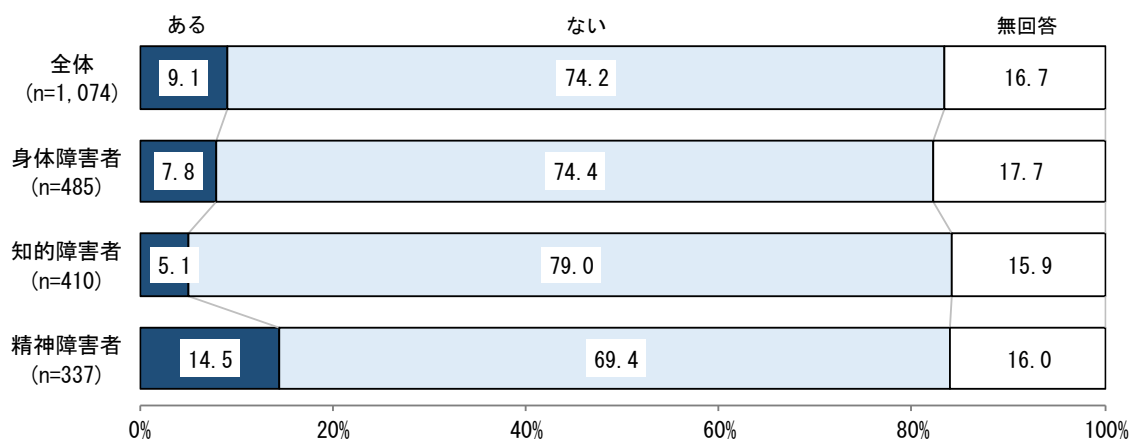
障害種別でみると、「ある」では「身体障害者」が8.0%、「知的障害者」が18.0%、「精神障害者」が3.9%となっています。



⑨障害年金をうけとることによって、周りからうらやましがられたことがある

障害年金をうけとることによって、周りからうらやましがられた経験があるかについて、「ある」が9.1%、「ない」が74.2%となっています。

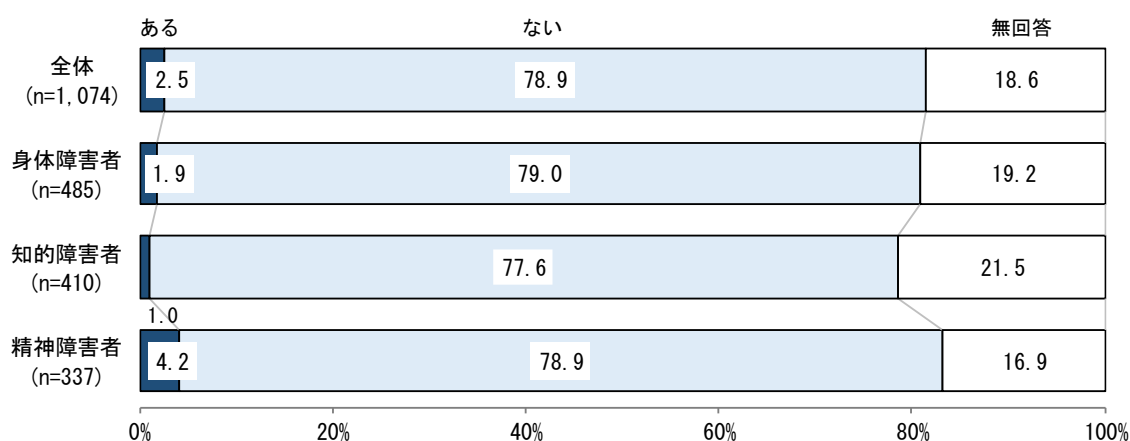
障害種別でみると、「ある」では「身体障害者」が7.8%、「知的障害者」が5.1%、「精神障害者」が14.5%となっています。



⑩障害を理由に信用取引を断られたことがある

障害を理由に信用取引を断られた経験があるかについて、「ある」が2.5%、「ない」が78.9%となっています。

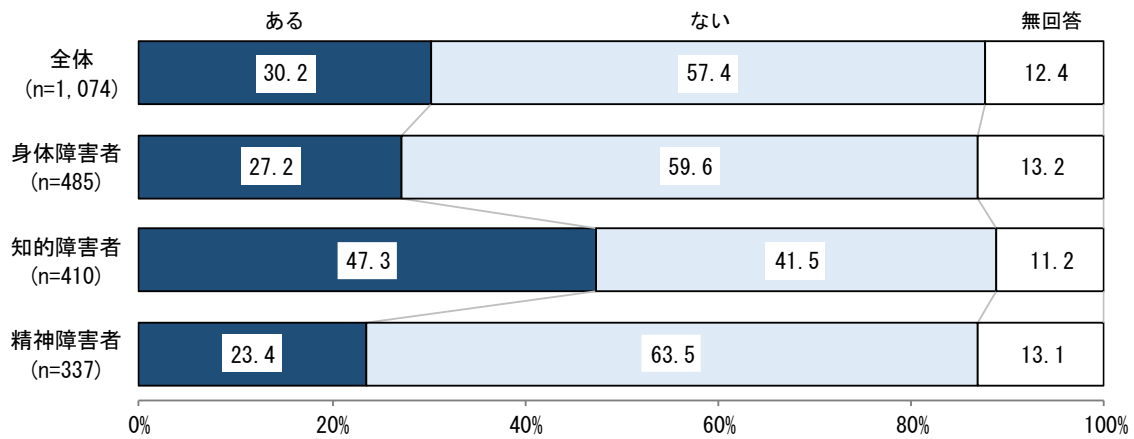
障害種別でみると、「ある」では「身体障害者」が1.9%、「知的障害者」が1.0%、「精神障害者」が4.2%となっています。



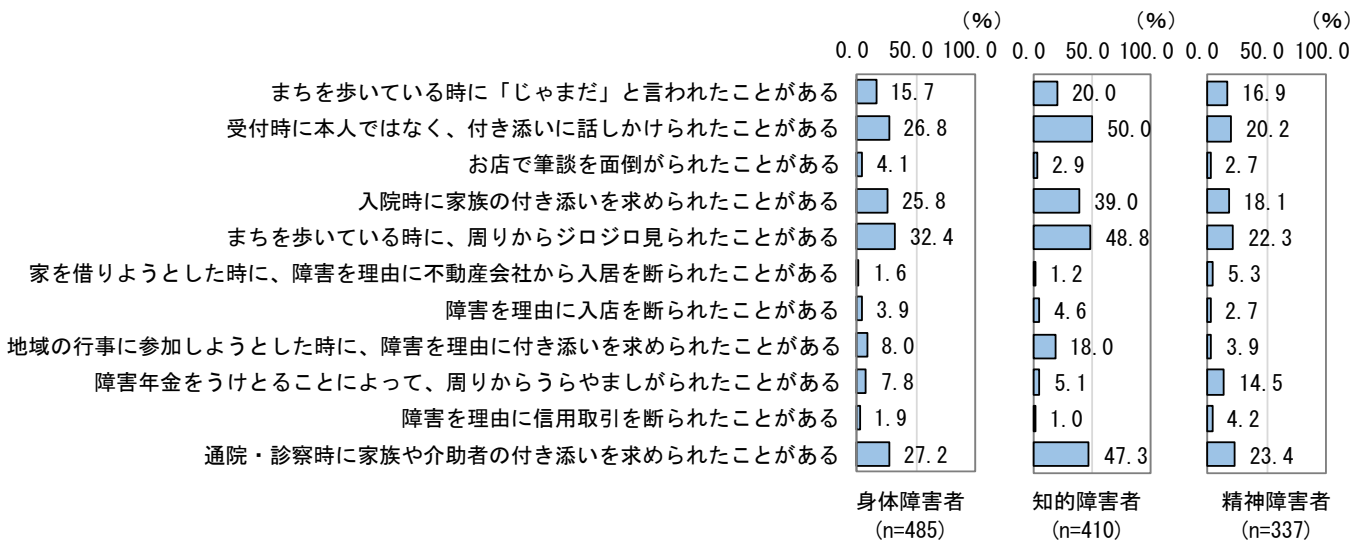
⑩通院・診察時に家族や介助者の付き添いを求められたことがある

通院・診察時に家族や介助者の付き添いを求められた経験があるかについて、「ある」が30.2%、「ない」が57.4%となっています。

障害種別でみると、「ある」では「身体障害者」が27.2%、「知的障害者」が47.3%、「精神障害者」が23.4%となっています。



日常での暮らしの経験について、障害種別でみると、「身体障害者」では「まちを歩いている時に、周りからジロジロ見られたことがある」が32.4%で最も多く、「知的障害者」では「受付時に本人ではなく、付き添いに話しかけられたことがある」が50.0%で最も多く、「精神障害者」では「通院・診察時に家族や介助者の付き添いを求められたことがある」が23.4%で最も多くなっています。



(2) その他に経験したこと

問 52-1	その他に経験したことがありましたら、ご自由にお書きください。	自由記述
--------	--------------------------------	------

意見	件数
障害について理解してもらえず嫌な思いをした、又は、疑われたことがある	34
家族、知らない人等から差別を受けた（罵声・暴力・睨まれる・奇異な目で見られる等）	29
学校でいじめを受けた	9
病院（医者）からの差別を受けた	8
病院以外で付き添いを求められたことがある	7
コミュニケーションがうまくとれず他者（学校・就労先・地域の人）から距離をとられる	6
就労先で差別を受けた（雇用条件・業務内容・解雇等）	5
市役所（職員）からの差別を受けた	5
就労が困難である（障害を理由に採用されない等）	3
学校（教師）からの差別を受けた	3
生命保険等を断られたことがある	2
金銭面で騙されたことがある（おつりをもらえない等）	1
施設（ヘルパー等）からの差別・虐待を受けた	1
その他	40
延べ件数	153

12 自由意見

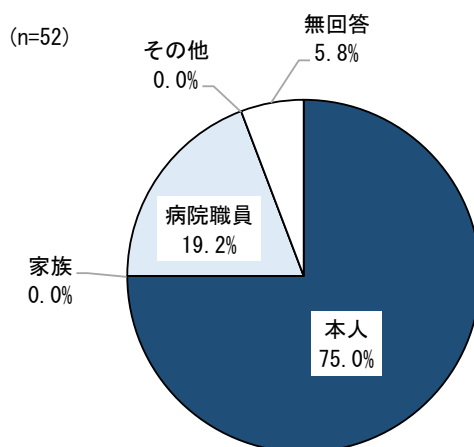
問 53	最後に、障害福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。	自由記述
------	--	------

意見	件数
福祉施設・障害福祉サービスの充実（給付金、補助金等）	52
福祉施設（グループホーム、ショートステイ等）の増設・サポートについての要望	44
サービス等に関する情報公開・情報提供・情報の詳しい説明	24
将来に対する不安（生活、年金等）	22
サービス・支援に対する感謝・満足	22
障害に対する理解や体制の充実・周知についての要望	19
生活に関わるサービスの充実（紙おむつ、タクシーチケット、施設利用料等）	18
交流の場、機会についての要望	16
障害者の雇用条件の改善、雇用の機会・就労サポートについて	15
市役所職員の対応改善（障害に対する理解度等）	14
相談窓口の設置、相談事業の充実	13
現在、生活や病状に対する不安	11
手続きや書類が煩雑なので簡素化	8
子どもが通いやすい支援学校の増設・学校への要望	8
医療費・医療器具（補聴器や補聴援助機器等）の購入に対する補助金	6
市役所窓口の時間延長（土日祝の対応）	6
一人一人に合ったサービス・支援の提供	5
市役所での交付等の手続きの迅速化	5
施設・病院での対応改善	4
災害が発生した場合、利用できる施設や避難場所についての不安	4
住環境整備（道路、公共機関、商業施設等）についての要望	4
障害者の声を聞いてもらえる機会	3
自身の障害に対する認識・理解について	3
気兼ねなくサービスを受けられる体制、取り組み	3
その他	39
延べ件数	368

第3章 精神障害者（入院患者）調査の結果

このアンケートをご記入いただく方についてお答えください。	○は1つだけ
------------------------------	--------

アンケートの記入者について、「本人」が75.0%、「病院職員」が19.2%となっています。



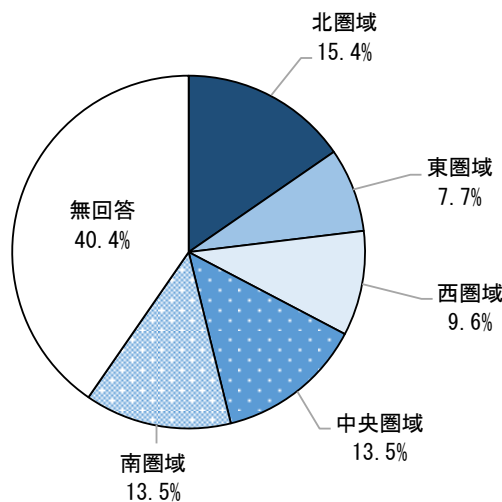
I 対象者の属性

(1) 居住地

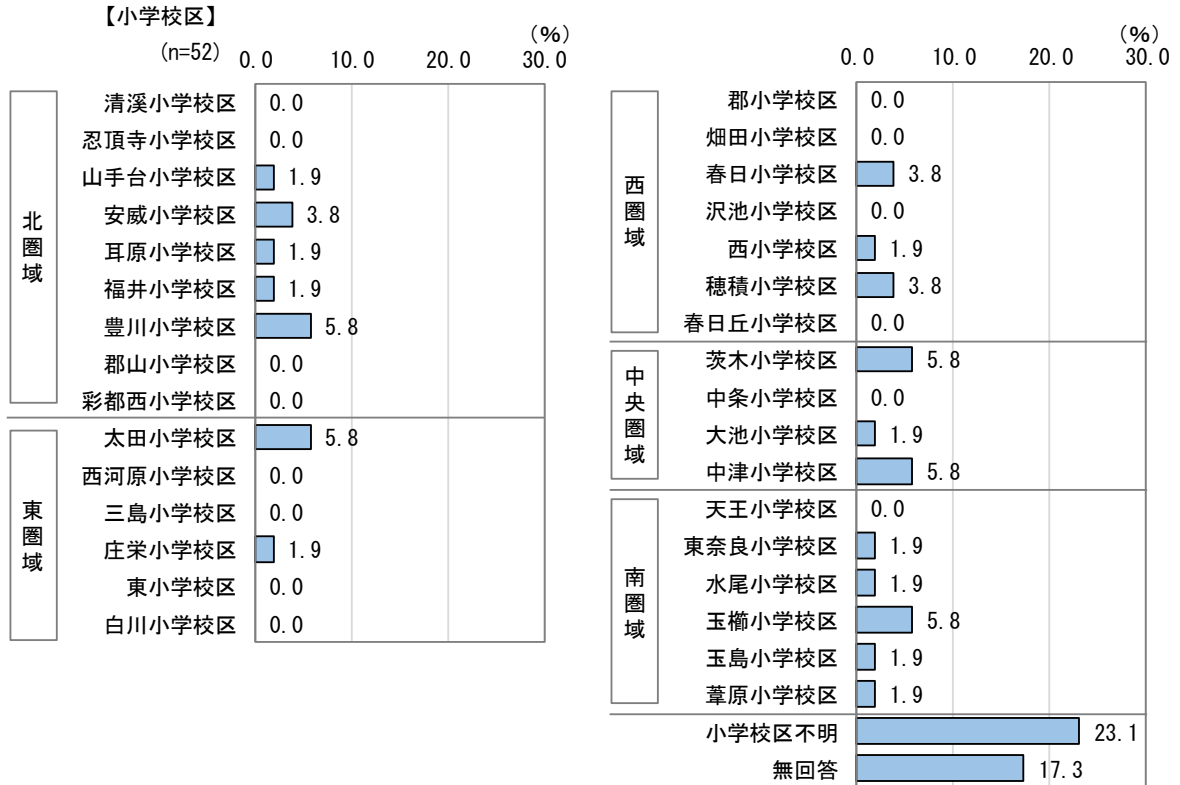
問1	入院される直前にお住まいだった町名をご記入ください。	記述
----	----------------------------	----

居住地について、圏域別（8ページ参照）で見ると、「北圏域」が15.4%で最も多く、次いで「中央圏域」「南圏域」が13.5%、「西圏域」が9.6%となっています。

【日常生活圏域】
(n=52)



第3章 精神障害者（入院患者）調査の結果

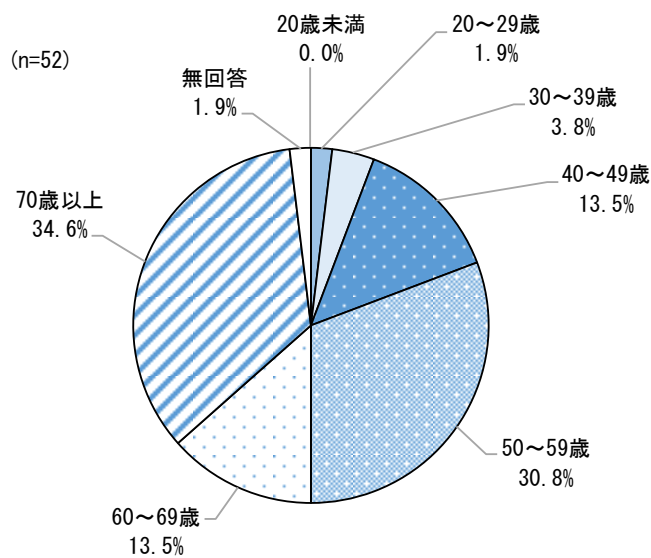


(2) 年齢

問2 あなたの年齢は。

数値記入

年齢について、「70歳以上」が34.6%で最も多く、次いで「50～59歳」が30.8%、「40～49歳」「60～69歳」が13.5%となっています。

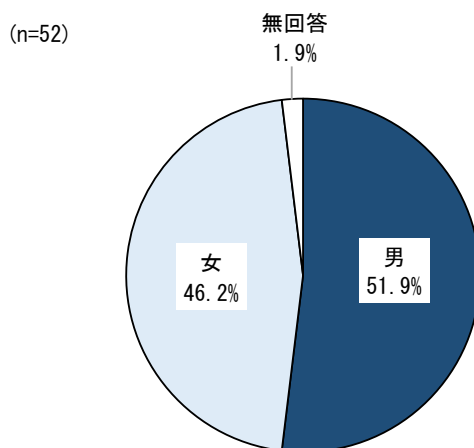


(3) 性別

問3 あなたの身体上の性別は。

○は任意

身体上の性別について、「男」が51.9%、「女」が46.2%となっています。

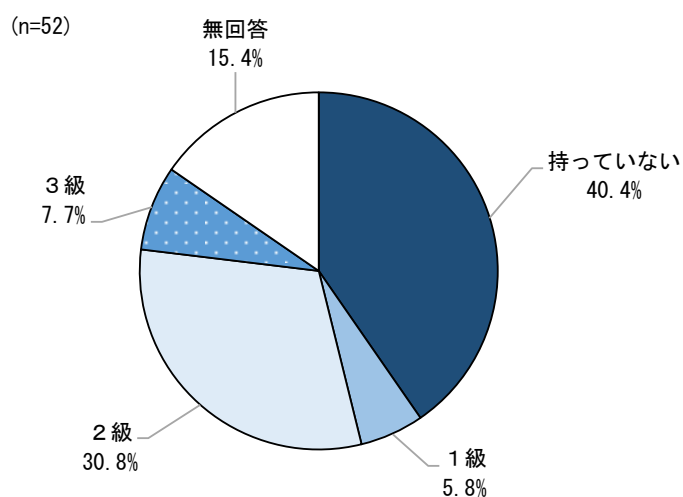


(4) 精神障害者保健福祉手帳の有無、また、等級

問4 精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。お持ちの場合、等級は何級ですか。

○は1つだけ

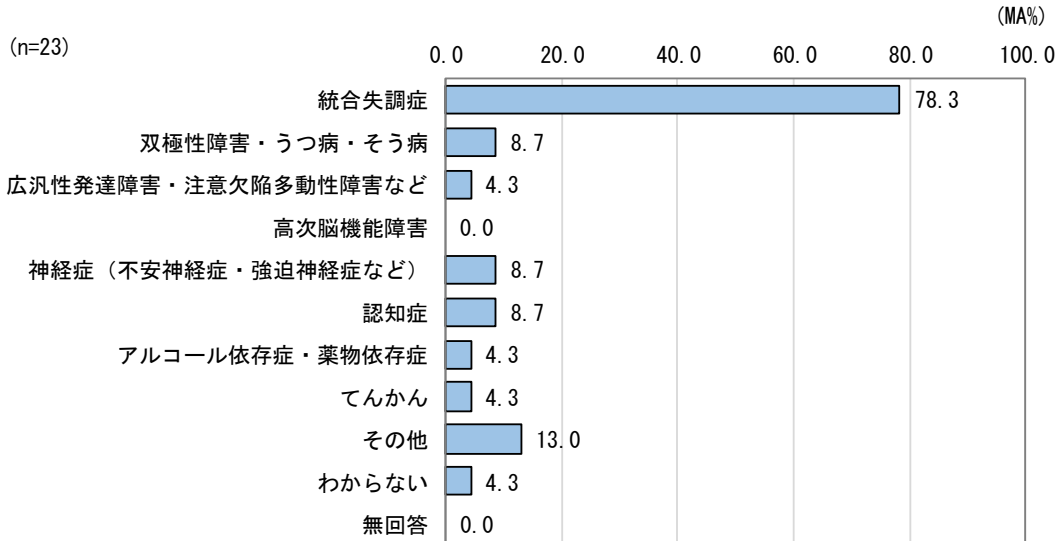
精神障害者保健福祉手帳の有無及び等級について、「持っていない」が40.4%で最も多く、次いで「2級」が30.8%、「3級」が7.7%となっています。



（5）精神疾患の内容

問4-1 あなたご自身の状況についておたずねします。主治医に診断されている内容についてあてはまるものに○をつけてください。 ○はいくつでも

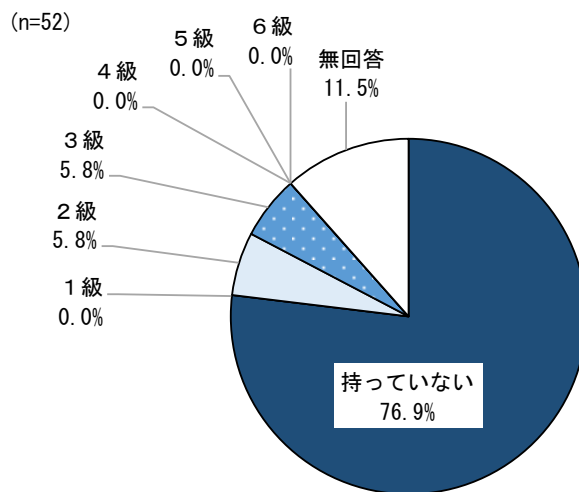
精神障害者保健福祉手帳を持っている人に、主治医に診断されている内容についてたずねたところ、「統合失調症」が78.3%で最も多く、次いで「その他」が13.0%、「双極性障害・うつ病・そう病」「神経症（不安神経症・強迫神経症など）」「認知症」が8.7%となっています。



（6）身体障害者手帳の有無、また、総合等級

問5 身体障害者手帳をお持ちですか。お持ちの場合、総合等級は何級ですか。 ○は1つだけ

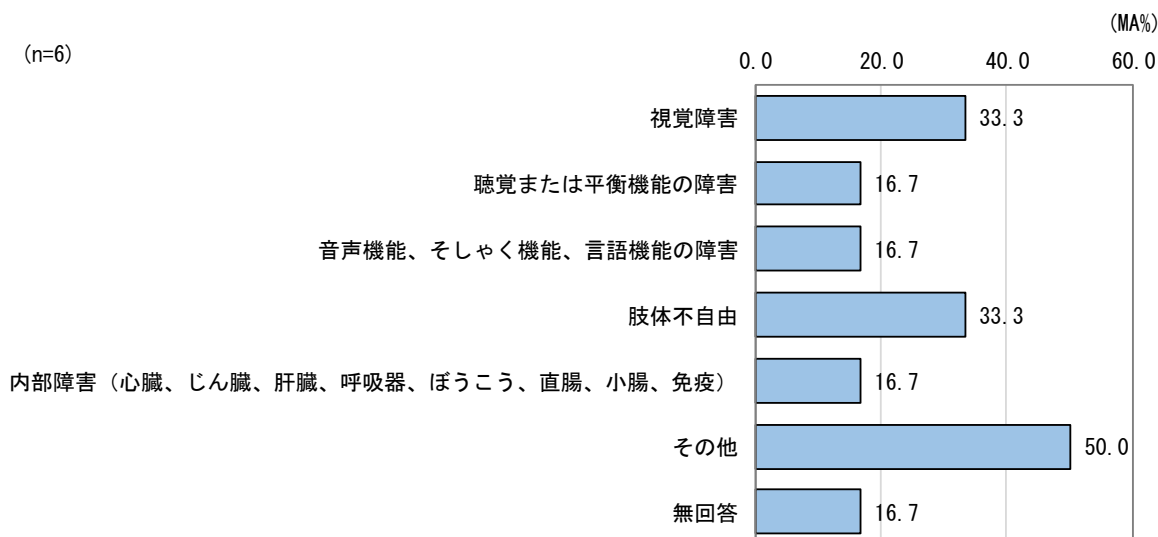
身体障害者手帳の有無及び総合等級について、「持っていない」が76.9%で最も多く、次いで「2級」「3級」が5.8%となっています。



（7）身体障害の種類

問5-1	身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。身体障害者手帳に記載されている障害名をお答えください。	○はいくつでも
-------------	---	---------

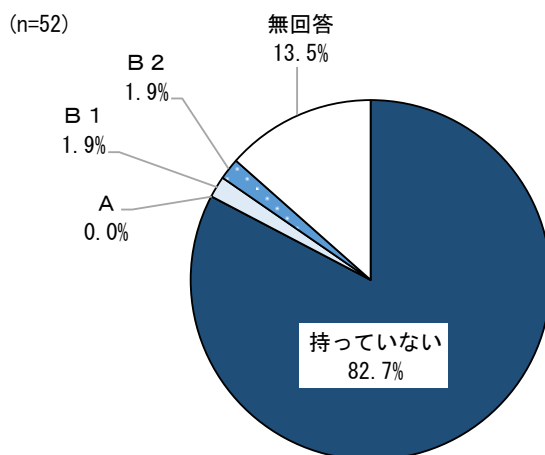
身体障害者手帳を持っている人に、身体障害者手帳に記載されている障害名についてたずねたところ、「その他」が50.0%で最も多く、次いで「視覚障害」「肢体不自由」が33.3%、「聴覚または平衡機能の障害」「音声機能、そしゃく機能、言語機能の障害」「内部障害（心臓、じん臓、肝臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、免疫）」が16.7%となっています。



（8）療育手帳の有無、また、判定

問6	療育手帳をお持ちですか。お持ちの場合、療育手帳の判定は何ですか。	○は1つだけ
-----------	----------------------------------	--------

療育手帳の有無及び判定について、「持っていない」が82.7%で最も多く、次いで「B1」「B2」が1.9%となっています。



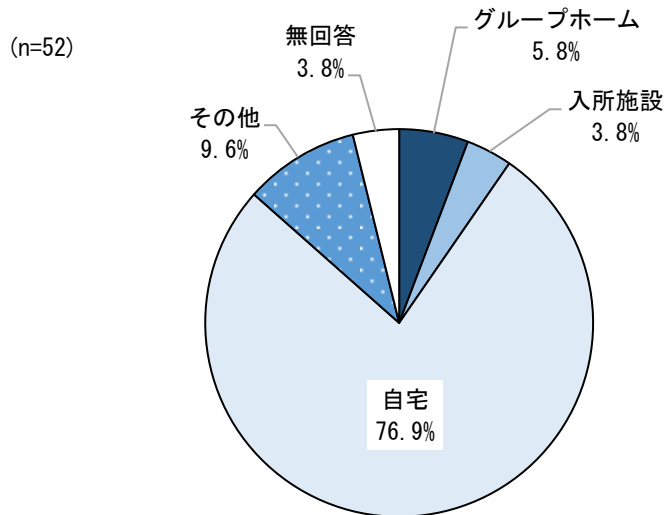
2 入院前の生活状況

(1) 入院直前の住まい

問7 あなたは、入院される直前はどちらにお住まいでしたか。

○は1つだけ

入院直前の住まいについて、「自宅」が76.9%で最も多く、次いで「その他」が9.6%、「グループホーム」が5.8%となっています。



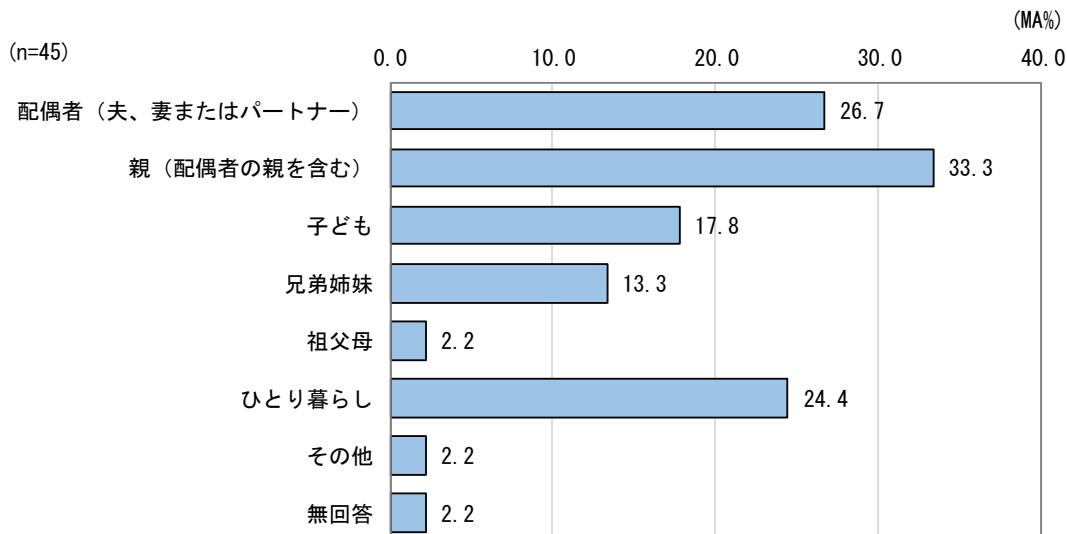
(2) 入院直前の同居家族

問7-1

問7で「自宅」もしくは「その他」のいずれかを回答した方におたずねします。あなたは、入院される直前はどなたと暮らしていましたか。あなたからみた関係でお答えください。

○はいくつでも

入院直前の住まいが自宅等の方に、どなたと暮らしていたかについてたずねたところ、「親（配偶者の親を含む）」が33.3%で最も多く、次いで「配偶者（夫、妻またはパートナー）」が26.7%、「ひとり暮らし」が24.4%となっています。

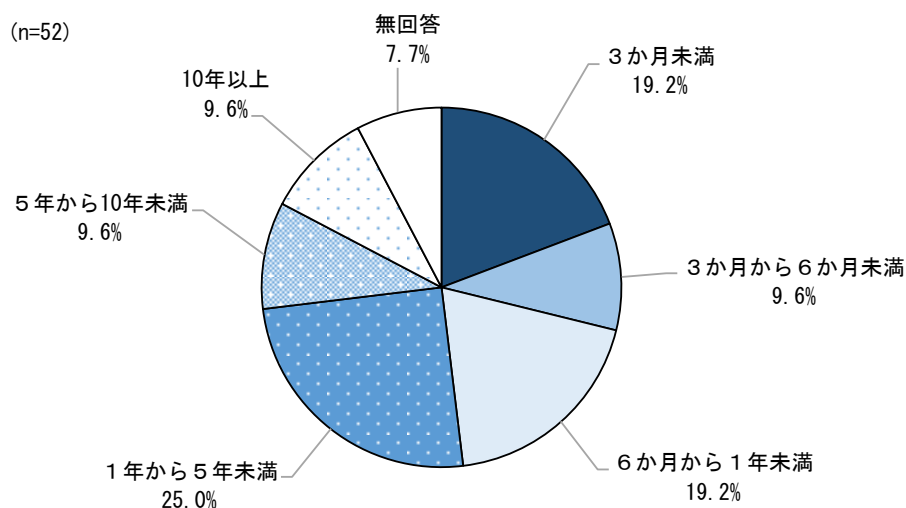


（3）入院期間

問8 入院期間はどのくらいですか。

○は1つだけ

入院期間について、「1年から5年未満」が25.0%で最も多く、次いで「6か月から1年未満」「3か月未満」が19.2%、「3か月から6か月未満」「5年から10年未満」「10年以上」が9.6%となっています。



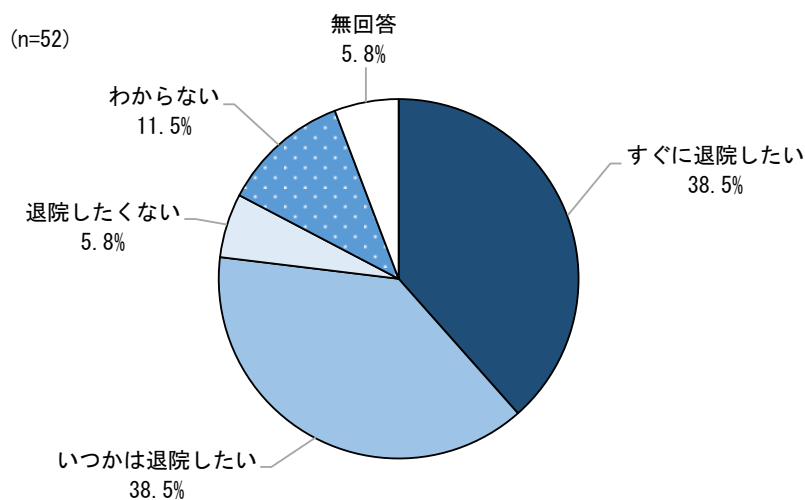
3 退院後の生活

（1）退院意向

問9 あなたは退院したいと思いますか。

○は1つだけ

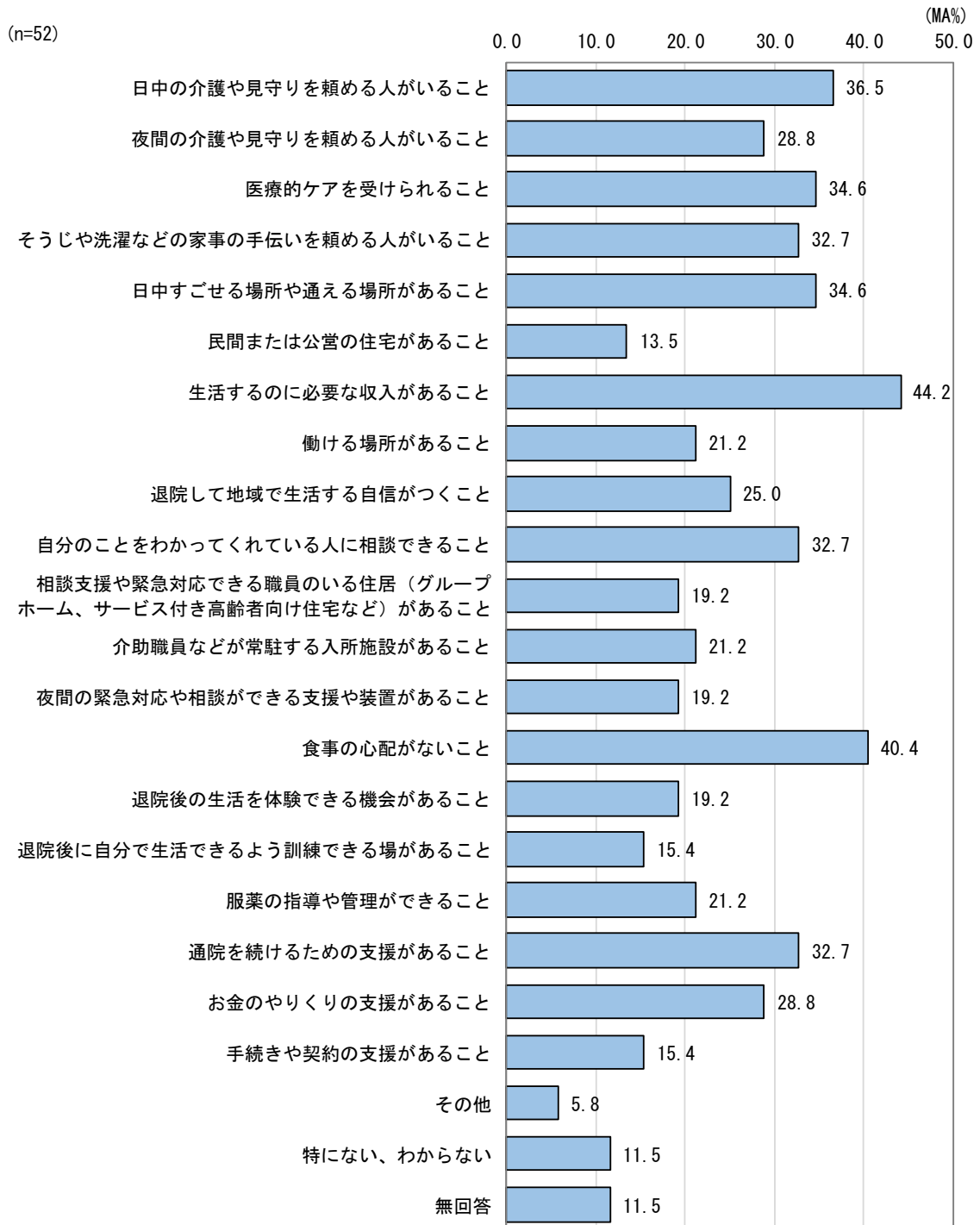
退院意向について、「すぐに退院したい」「いつかは退院したい」が38.5%で最も多く、次いで「わからない」が11.5%、「退院したくない」が5.8%となっています。



（2）退院する際に希望する支援や環境

問 10	あなたは、どんな支援や環境があれば退院したい（退院できる）と思いますか。	○はいくつでも
-------------	--------------------------------------	---------

退院する際に希望する支援や環境について、「生活するのに必要な収入があること」が 44.2%で最も多く、次いで「食事の心配がないこと」が 40.4%、「日中の介護や見守りを頼める人がいること」が 36.5%となっています。

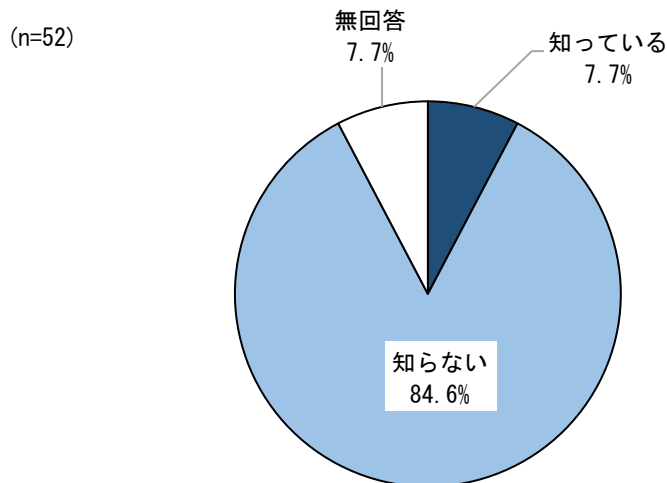


（3）地域移行支援の認知状況

問 11 地域移行支援という障害福祉サービスを知っていますか。

○は1つだけ

地域移行支援という障害福祉サービスを知っているかについて、「知っている」が7.7%、「知らない」が84.6%となっています。

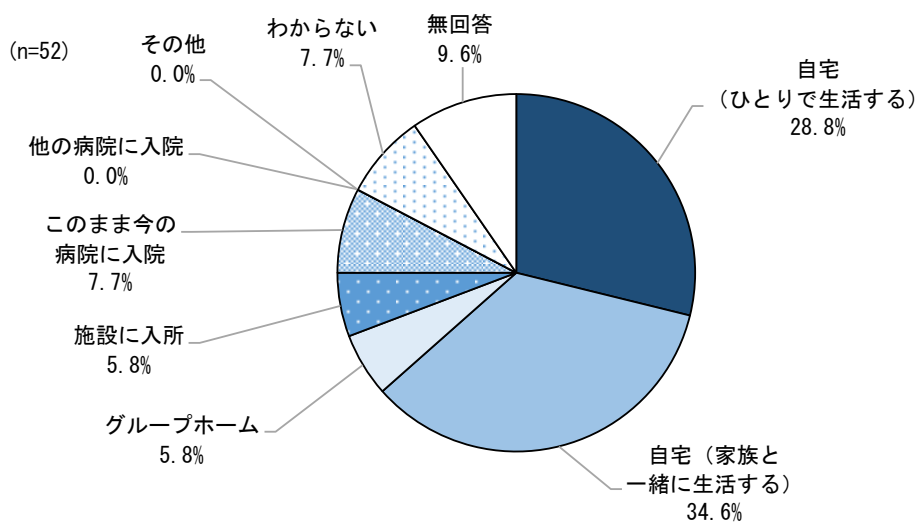


（4）将来（3年後）の生活場所

問 12 あなたは3年後、どこで暮らしたいと思いますか。

○は1つだけ

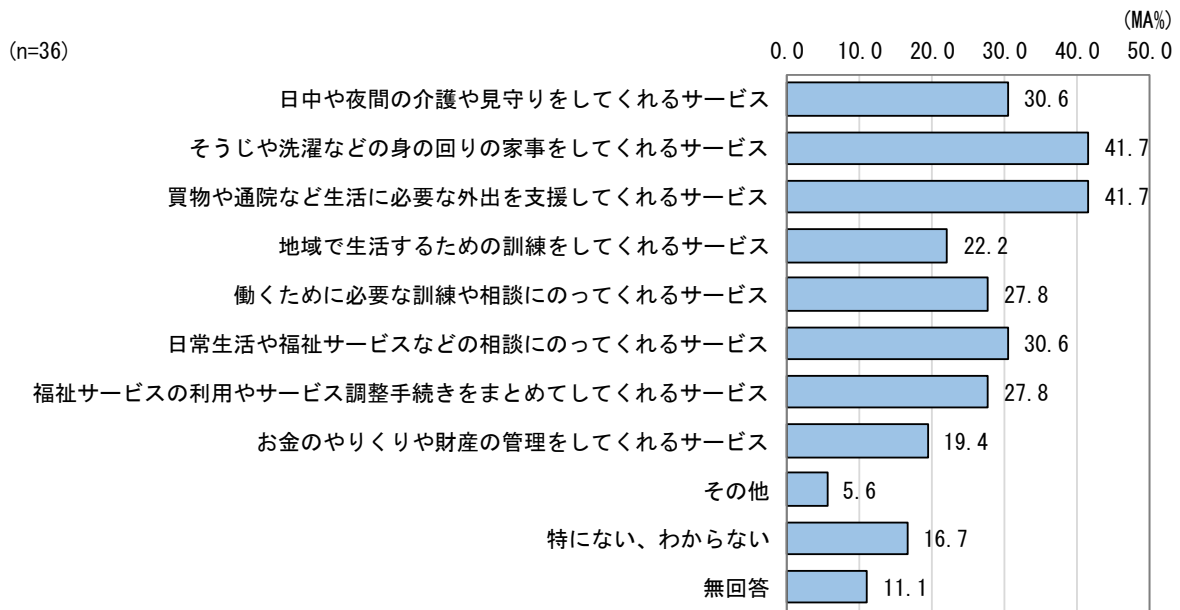
将来（3年後）の生活場所について、「自宅（家族と一緒に生活する）」が34.6%で最も多く、次いで「自宅（ひとりで生活する）」が28.8%、「このまま今の病院に入院」「わからない」が7.7%となっています。



（5）退院後に利用したいサービス

問 12-1	問 12 で「自宅（ひとりで生活する）」「自宅（家族と一緒に生活する）」「グループホーム」のいずれかを回答した方におたずねします。あなたは、退院後、自宅やグループホームで生活するときに、利用したいと思うサービスは何ですか。	○はいくつでも
--------	---	---------

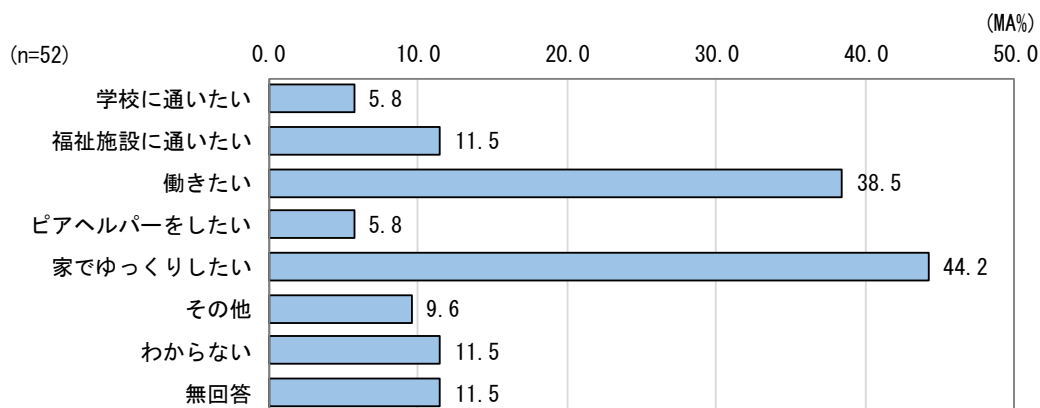
3年後に自宅やグループホームで暮らしたいと思っている人に、退院後に利用したいと思うサービスについてたずねたところ、「そうじや洗濯などの身の回りの家事をしてくれるサービス」「買物や通院など生活に必要な外出を支援してくれるサービス」が41.7%で最も多く、次いで「日中や夜間の介護や見守りをしてくれるサービス」「日常生活や福祉サービスなどの相談にのってくれるサービス」が30.6%、「働くために必要な訓練や相談にのってくれるサービス」「福祉サービスの利用やサービス調整手続きをまとめてしてくれるサービス」が27.8%となっています。



（6）退院後に日々の暮らしの中でやってみたいこと

問 13 あなたが今後退院されたら、日々の暮らしの中でどのようなことをやってみたいと思いますか。 ○はいくつでも

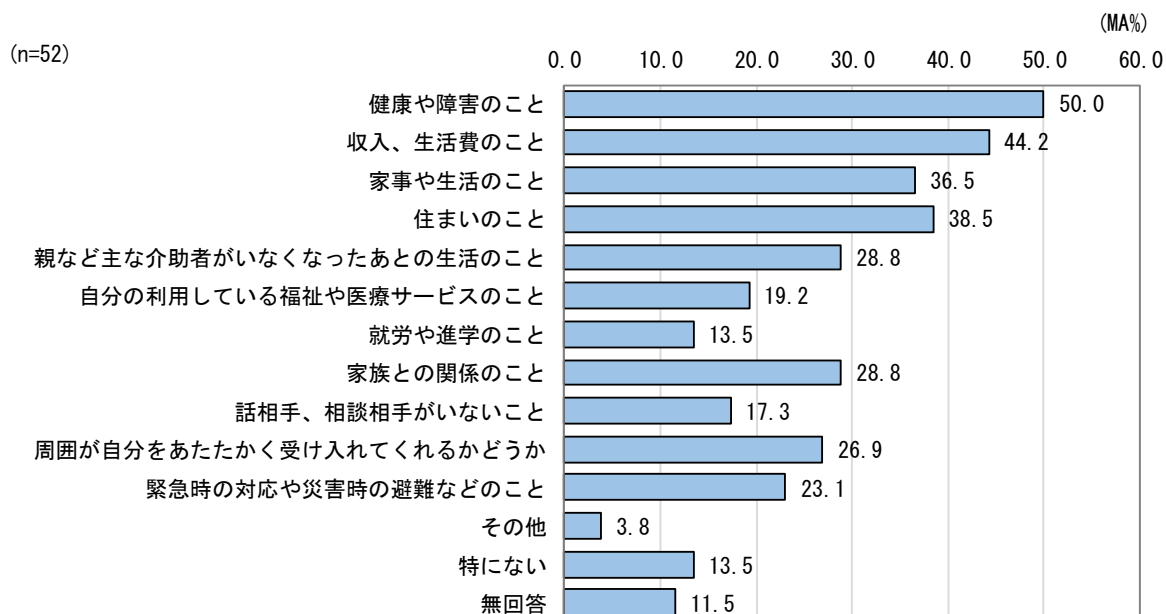
退院後に日々の暮らしの中でやってみたいことについて、「家でゆっくりしたい」が44.2%で最も多く、次いで「働きたい」が38.5%、「福祉施設に通いたい」「わからない」が11.5%となっています。



（7）退院後の生活で不安や心配に感じること

問 14 あなたは退院後の生活で、不安や心配に感じることはありませんか。 ○はいくつでも

退院後の生活で不安や心配に感じることについて、「健康や障害のこと」が50.0%で最も多く、次いで「収入、生活費のこと」が44.2%、「住まいのこと」が38.5%となっています。

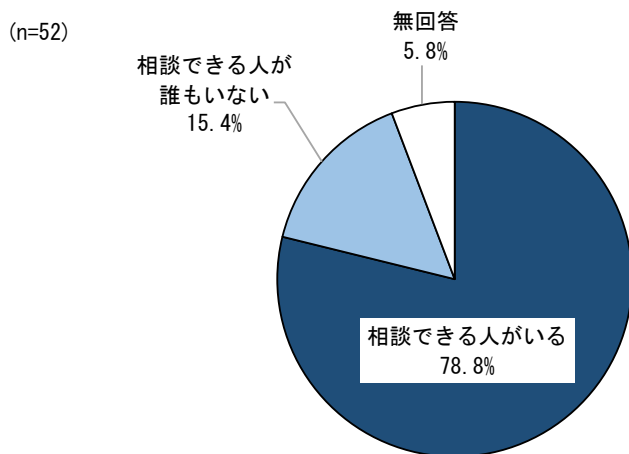


4 相談などについて

(1) 悩みごとや心配ごとの相談相手の有無

問 15 あなたには、悩みごとや心配ごとを相談できる人がいますか。 ○は1つだけ

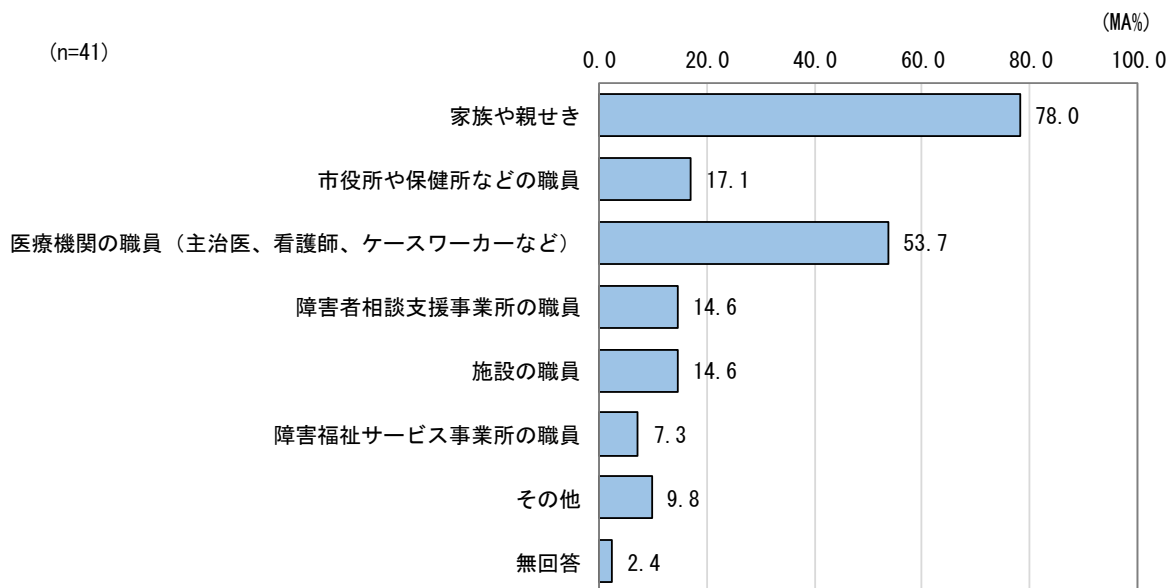
悩みごとや心配ごとを相談できる人がいるかについて、「相談できる人がいる」が78.8%、「相談できる人が誰もいない」が15.4%となっています。



(2) 悩みごとや心配ごとの相談相手

問 15-1 問 15 で「相談できる人がいる」を回答した方におたずねします。相談相手について教えてください。 ○はいくつでも

悩みごとや心配ごとを相談できる人がいる人に、相談相手についてたずねたところ、「家族や親せき」が78.0%で最も多く、次いで「医療機関の職員（主治医、看護師、ケースワーカーなど）」が53.7%、「市役所や保健所などの職員」が17.1%となっています。



（3）悩みごとや心配ごとの解決方法

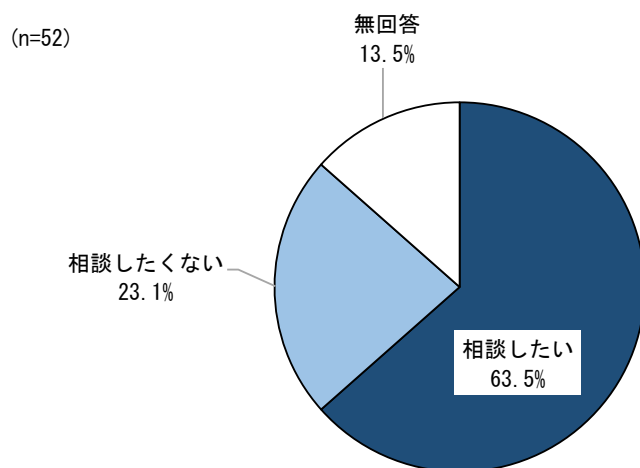
問 15-2	問 15 で「相談できる人が誰もいない」を回答した方におたずねします。あなたは、抱えている悩みや心配ごとをどのように解決しますか。具体的に記入してください。	自由記述
--------	--	------

悩みごとや心配ごとを相談できる人が誰もいない人に、抱えている悩みや心配ごとをどのように解決するかについてたずねたところ、「自分で解決する」「ケースワーカーに相談する」「難しい」などの意見がありました。

（4）悩みごとの相談意向

問 16	あなたは、悩みごとを相談したいと思いますか。	○は1つだけ
------	------------------------	--------

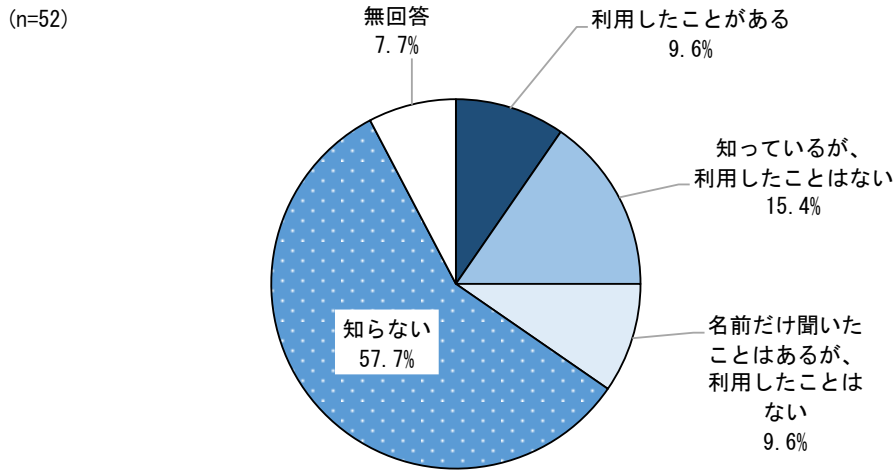
悩みごとを相談したいと思うかについて、「相談したい」が 63.5%、「相談したくない」が 23.1%となっています。



（5）茨木市障害者基幹相談支援センターや精神障害者相談支援センターの利用・認知状況

問 17 福祉総合相談課内にある茨木市障害者基幹相談支援センターや精神障害者相談支援センター（菜の花）を知っていますか。 ○は1つだけ

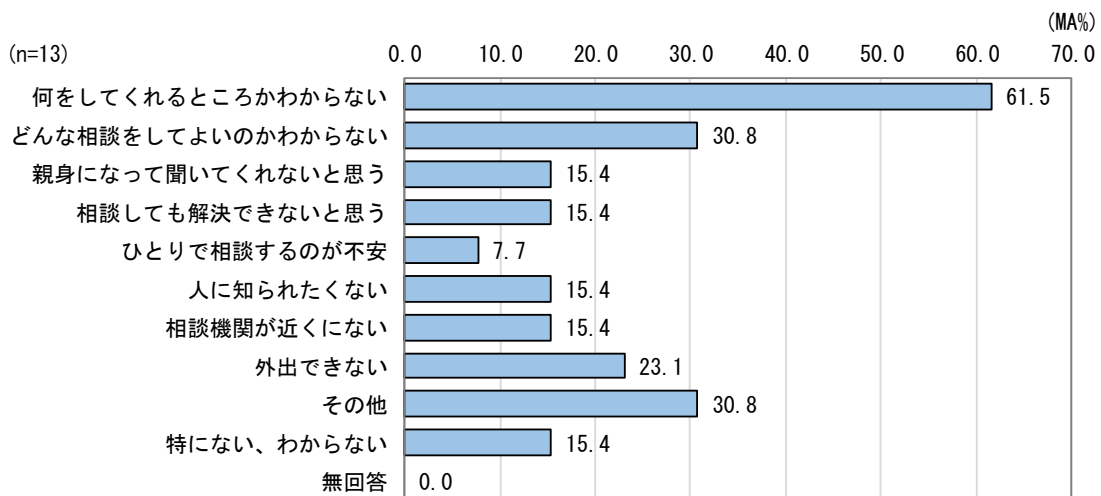
茨木市障害者基幹相談支援センターや精神障害者相談支援センター（菜の花）を知っているかについて、「知らない」が57.7%で最も多く、次いで「知っているが、利用したことはない」が15.4%、「利用したことがある」「名前だけ聞いたことはあるが、利用したことはない」が9.6%となっています。



（6）茨木市障害者基幹相談支援センターや精神障害者相談支援センターを利用したことがない理由

問 17-1 問17で「知っているが、利用したことはない」もしくは「名前だけ聞いたことはあるが、利用したことはない」のいずれかを回答した方におたずねします。利用したことがない理由は何ですか。 ○はいくつでも

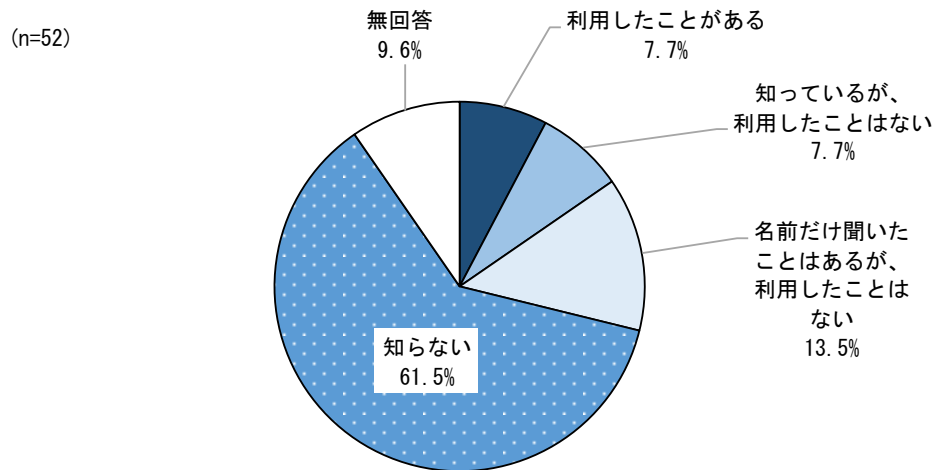
茨木市障害者基幹相談支援センターや精神障害者相談支援センター（菜の花）を利用したことがない人に、その理由についてたずねたところ、「何をしてくれるところかわからない」が61.5%で最も多く、次いで「どんな相談をしてよいかわからない」「その他」が30.8%、「外出できない」が23.1%となっています。



（7）障害者相談支援事業所の利用・認知状況

問 18	あなたは、「ゆうあい」、「あい・あい」、「あゆむ」、「藍野療育園」、「ひまわり」、「りあん」、「慶徳会」、「ぼぼんがぼん」、「リーベ」、「とんぼ」などの障害者相談支援事業所を知っていますか。	○は1つだけ
-------------	---	--------

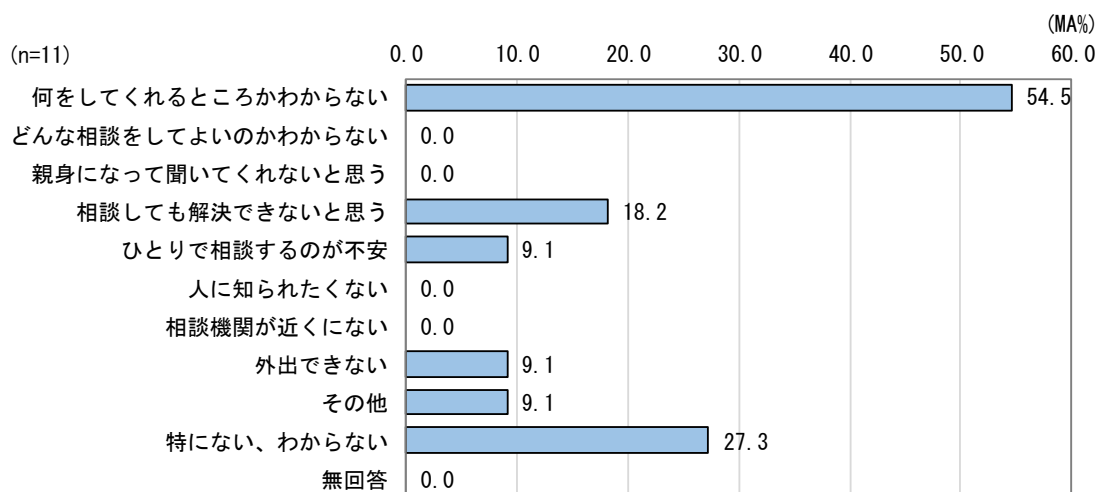
障害者相談支援事業所を知っているかについて、「知らない」が61.5%で最も多く、次いで「名前だけ聞いたことはあるが、利用したことはない」が13.5%、「利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」が7.7%となっています。



（8）障害者相談支援事業所を利用したことがない理由

問 18-1	問18で「知っているが、利用したことはない」もしくは「名前だけ聞いたことはあるが、利用したことはない」のいずれかを回答した方におたずねします。利用したことがない理由は何ですか。	○はいくつでも
---------------	--	---------

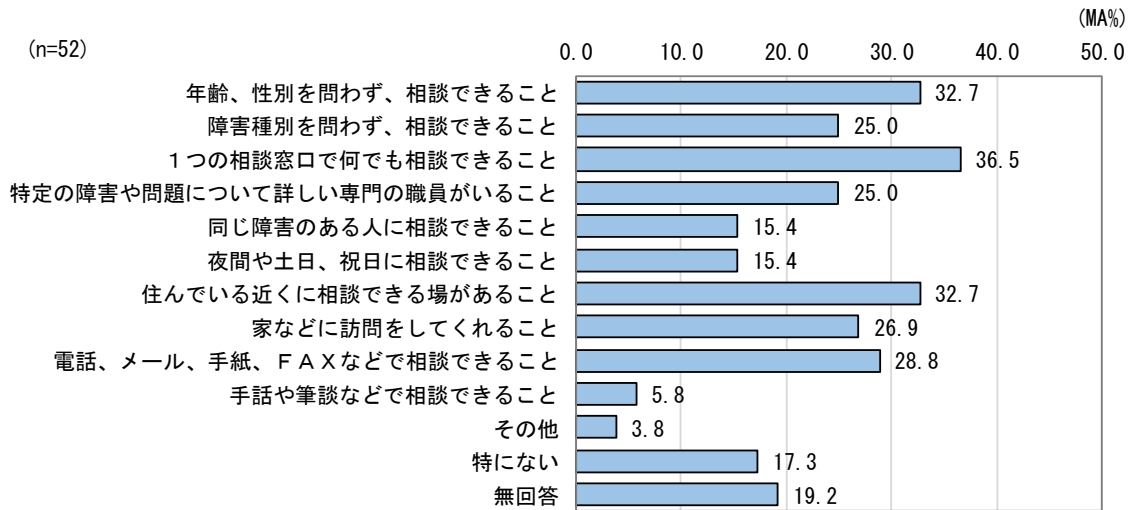
障害者相談支援事業所を利用したことがない人に、その理由についてたずねたところ、「何をしてくれるところかわからない」が54.5%で最も多く、次いで「特になし、わからない」が27.3%、「相談しても解決できないと思う」が18.2%となっています。



（9）利用しやすい相談機関

問 19 あなたにとって利用しやすい相談機関はどのようなものですか。 ○はいくつでも

利用しやすい相談機関について、「1つの相談窓口で何でも相談できること」が36.5%で最も多く、次いで「年齢、性別を問わず、相談できること」「住んでいる近くに相談できる場があること」が32.7%、「電話、メール、手紙、FAXなどで相談できること」が28.8%となっています。

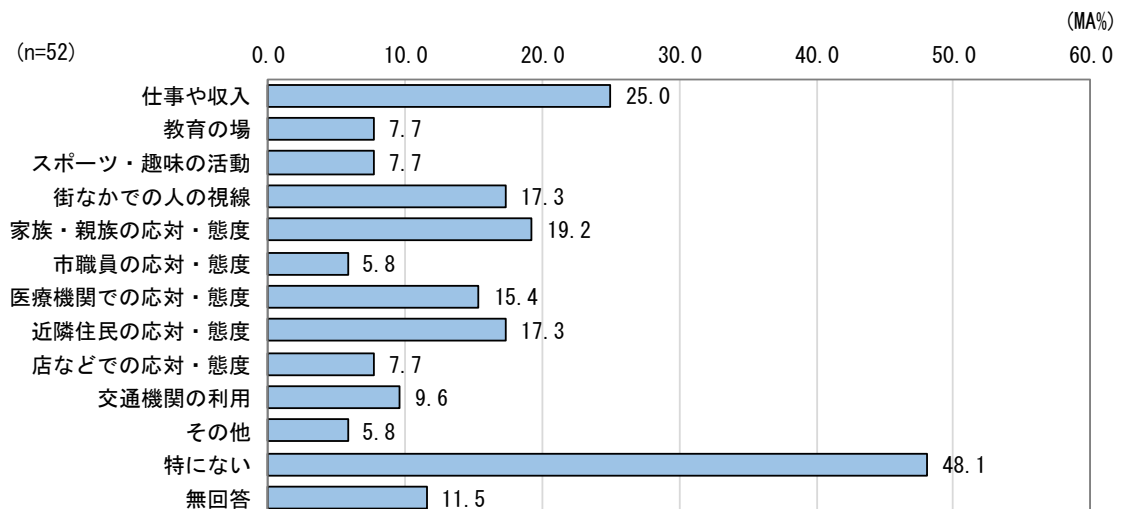


5 障害者に対する市民の理解、権利擁護

（1）差別や偏見・疎外感を感じるとき

問 20 あなたが差別や偏見・疎外感を感じるのはどんなときですか。 ○はいくつでも

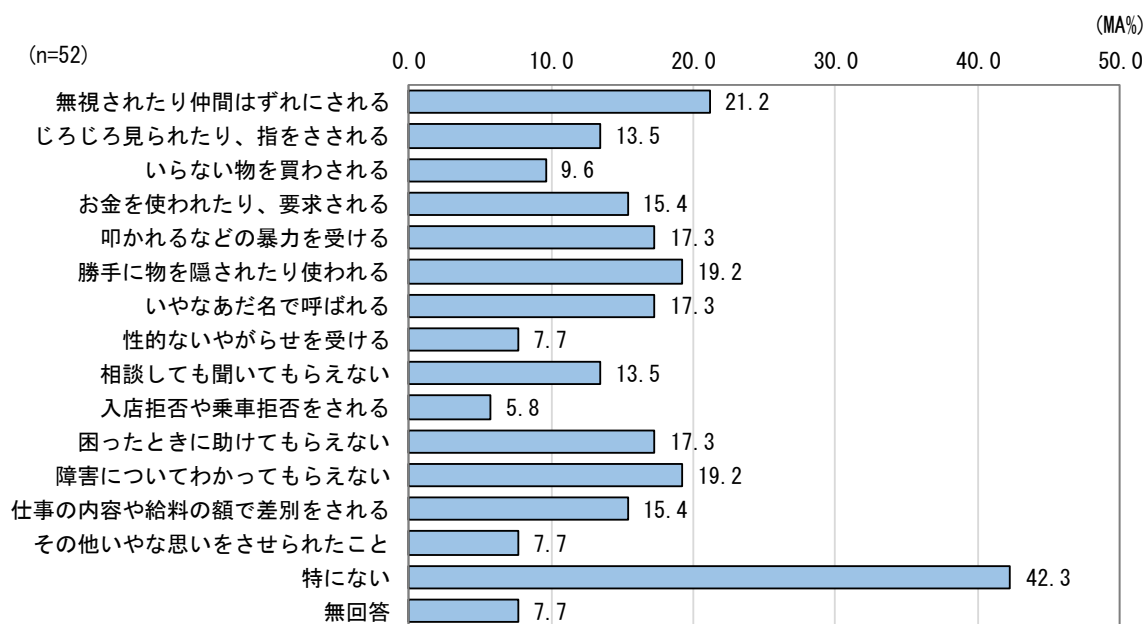
差別や偏見・疎外感を感じるときについて、「特にない」が48.1%で最も多く、「仕事や収入」が25.0%、「家族・親族の応対・態度」が19.2%となっています。



（2）差別などいやな行為を受けた経験

問 21 あなたは、これまで次のような行為を受けた経験はありますか。 ○はいくつでも

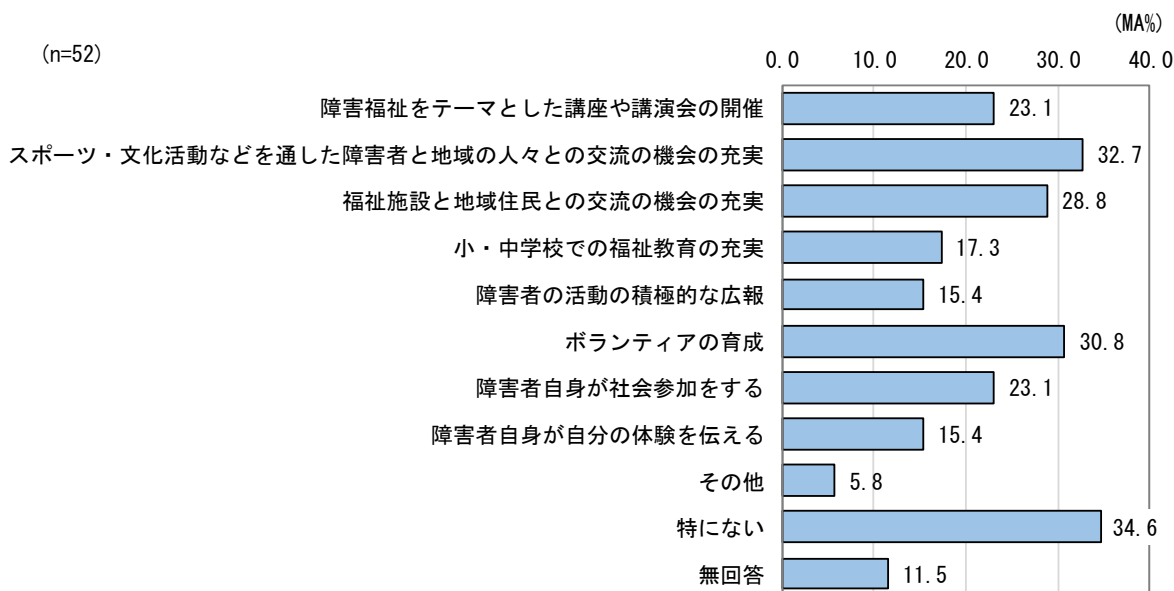
差別などいやな行為を受けた経験について、「特にない」が42.3%で最も多く、次いで「無視されたり仲間はずれにされる」が21.2%、「勝手に物を隠されたり使われる」「障害についてわかってもらえない」が19.2%となっています。



（3）障害者への理解を深めるために力を入れるべきこと

問 22 障害者への理解を深めるために力を入れるべきことは何だと思えますか。 ○はいくつでも

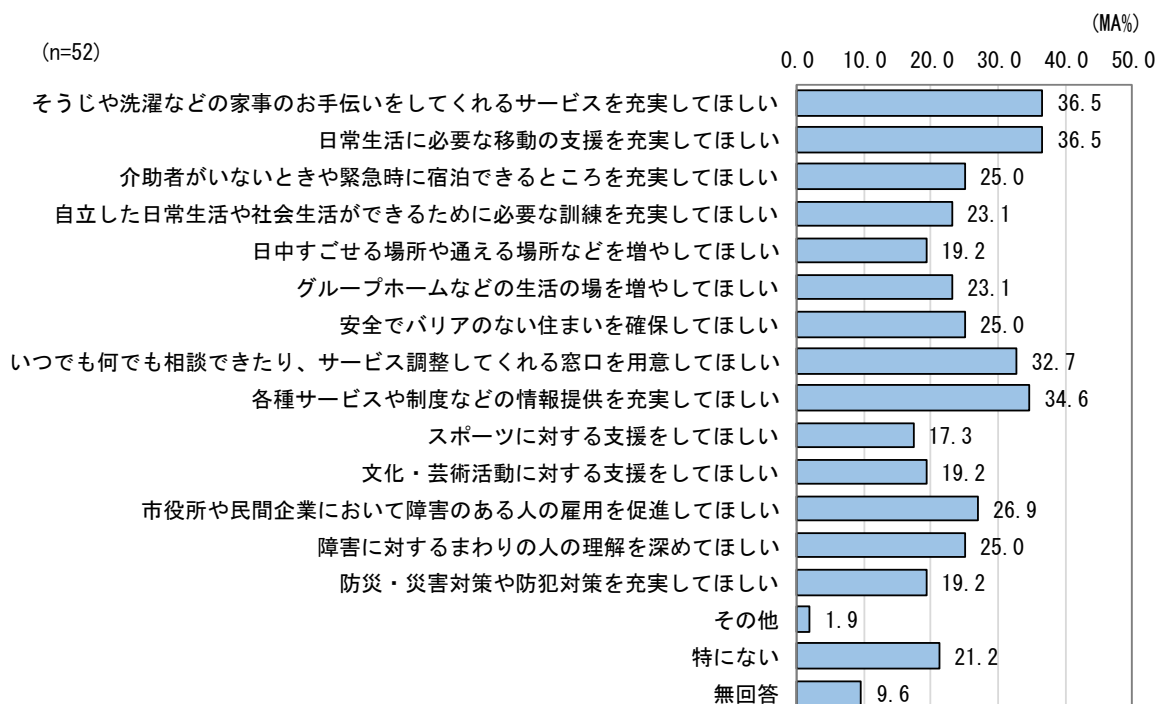
障害者への理解を深めるために力を入れるべきことについて、「特にない」が34.6%で最も多く、次いで「スポーツ・文化活動などを通じた障害者と地域の人々との交流の機会の充実」が32.7%、「ボランティアの育成」が30.8%となっています。



（４）今後の障害者施策に望むこと

問 23	あなたが、暮らしやすくなるために、今後の障害者施策に特に望むことはどのようなことですか。	○はいくつでも
-------------	--	---------

暮らしやすくなるために、今後の障害者施策に特に望むことについて、「そうじや洗濯などの家事のお手伝いをしてくれるサービスを充実してほしい」「日常生活に必要な移動の支援を充実してほしい」が36.5%で最も多く、次いで「各種サービスや制度などの情報提供を充実してほしい」が34.6%、「いつでも何でも相談できたり、サービス調整してくれる窓口を用意してほしい」が32.7%となっています。



6 自由意見

問 24	最後に、障害福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。	自由記述
------	--	------

意見	件数
病院の対応に満足しています（心のこもった介護、職員のやさしさ等）	2
職員の患者に対する対応を改善してほしい	2
病院での治療・入院生活が苦しい	2
しっかりした対応をしてくれる病院（施設）をもっと増やしてほしい	1
病院の対応について不信感を抱いている	1
入院していると、あまり家族に会えないのでさびしい	1
入院生活で体験したことをプラスに考え今後に生かしていきたい	1
家族と暮らせるようになっても見守ってほしい	1
自立した生活を送れるように助けを借りながら努力している	1
障害福祉サービスについての情報公開・情報提供・情報の詳しい説明をしてほしい	1
ヘルプマークを身につけたことで、障害者という偏見の目で見られ嫌な思いをした	1
偏見のないやさしい世の中になるように、もっと情報を発信してほしい	1
心のよりどころ（相談できる場所等）をもっと増やしてほしい	1
これからも好きなことを続けていき、SDGsにも取り組んでいきたい	1
障がい者の雇用条件の改善、雇用の機会をもっと増やしてほしい	1
その他	3
延べ件数	21

第3章 精神障害者（入院患者）調査の結果

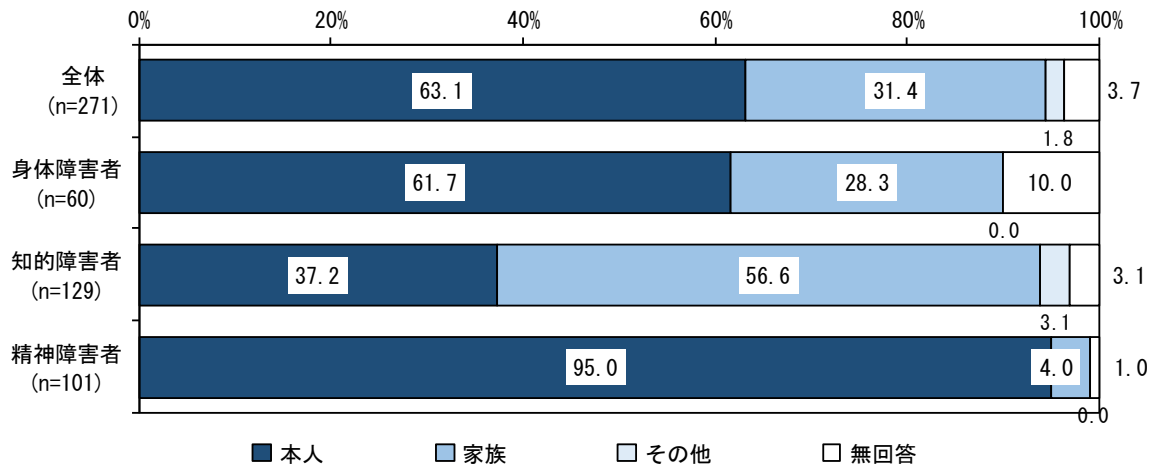
第4章 就労支援事業所利用者調査の結果

このアンケートをご記入いただく方についてお答えください。

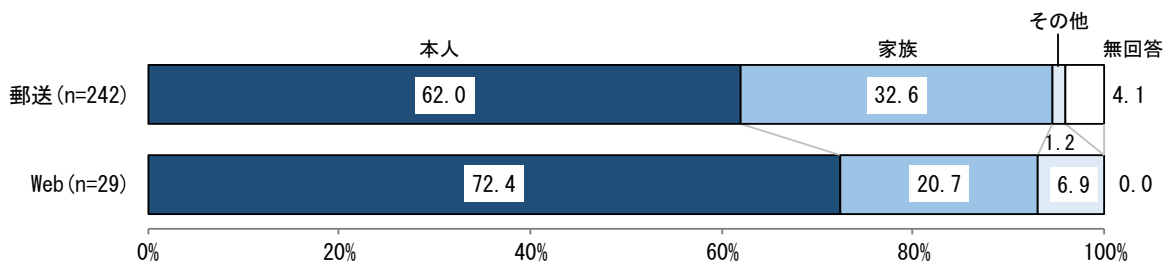
○は1つだけ

アンケートの回答者について、「本人」が63.1%で最も多く、次いで「家族」が31.4%、「その他」が1.8%となっています。

障害種別でみると、「身体障害者」では「本人」が61.7%で最も多く、「知的障害者」では「家族」が56.6%で最も多く、「精神障害者」では「本人」が95.0%で最も多くなっています。

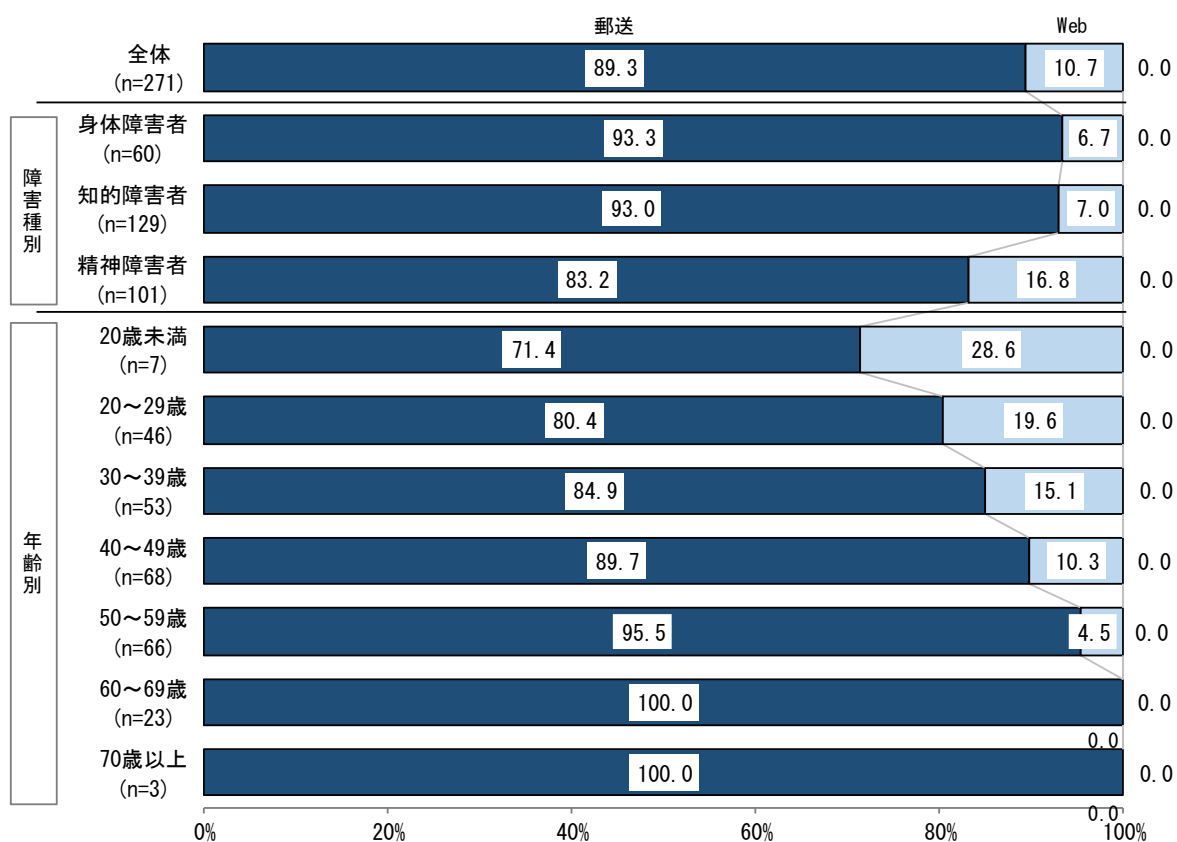


調査方法別でみると、「郵送」では「本人」が62.0%で最も多く、次いで「家族」が32.6%、「その他」が1.2%、「Web」では「本人」が72.4%で最も多く、次いで「家族」が20.7%、「その他」が6.9%となっています。



第4章 就労支援事業所利用者調査の結果

なお、調査方法については、「郵送」が89.3%、「Web」が10.7%となっています。障害種別でみると、「Web」では「精神障害者」が16.8%で最も多く、年齢別でみると、年齢が低いほど「Web」の割合が高くなっています。



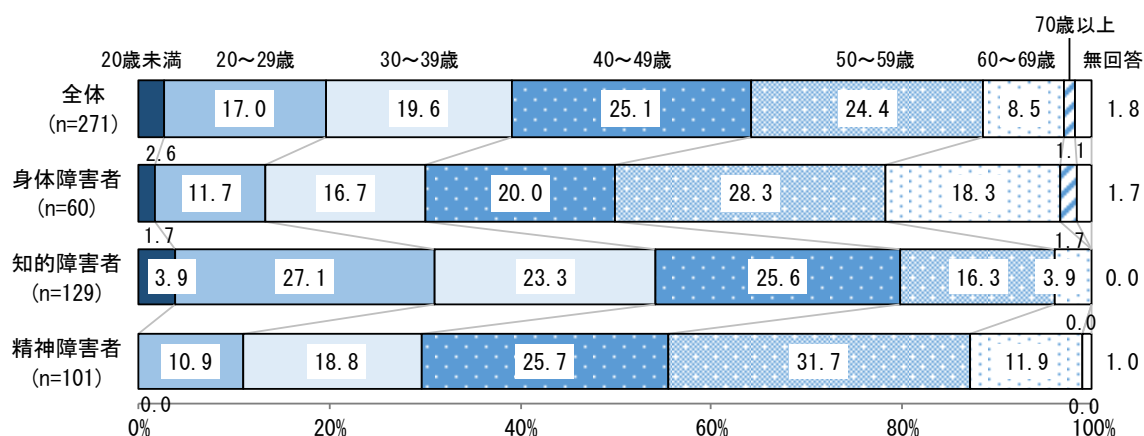
I 対象者の属性

(1) 年齢

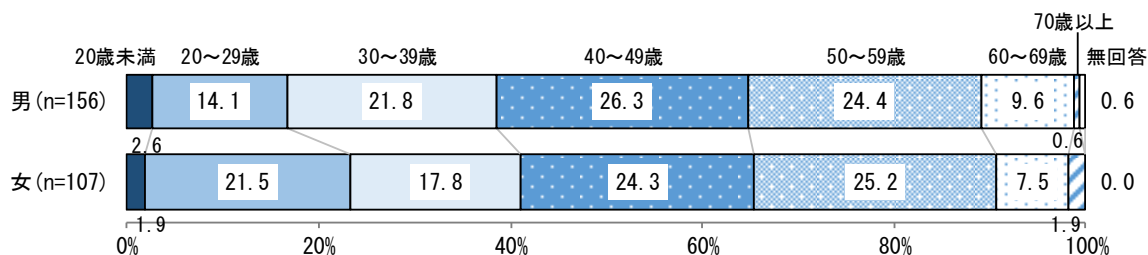
問1	あなたの年齢は。	数値記入
----	----------	------

年齢について、「40～49歳」が25.1%で最も多く、次いで「50～59歳」が24.4%、「30～39歳」が19.6%となっています。

障害種別でみると、「身体障害者」では「50～59歳」が28.3%で最も多く、「知的障害者」では「20～29歳」が27.1%で最も多く、「精神障害者」では「50～59歳」が31.7%で最も多くなっています。



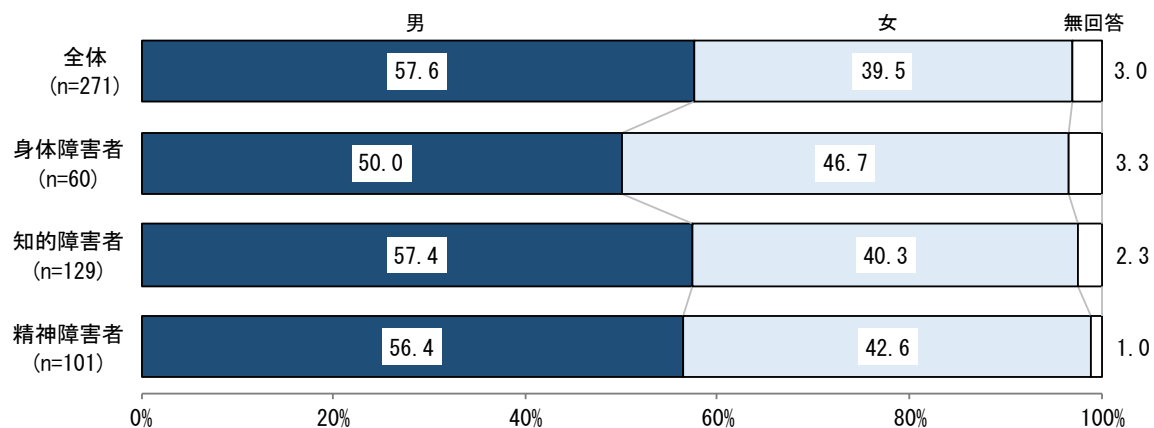
性別でみると、「男」では「40～49歳」が26.3%で最も多く、次いで「50～59歳」が24.4%、「30～39歳」が21.8%、「女」では「50～59歳」が25.2%で最も多く、次いで「40～49歳」が24.3%、「20～29歳」が21.5%となっています。



(2) 性別

問2	あなたの身体上の性別は。	○は任意
-----------	--------------	------

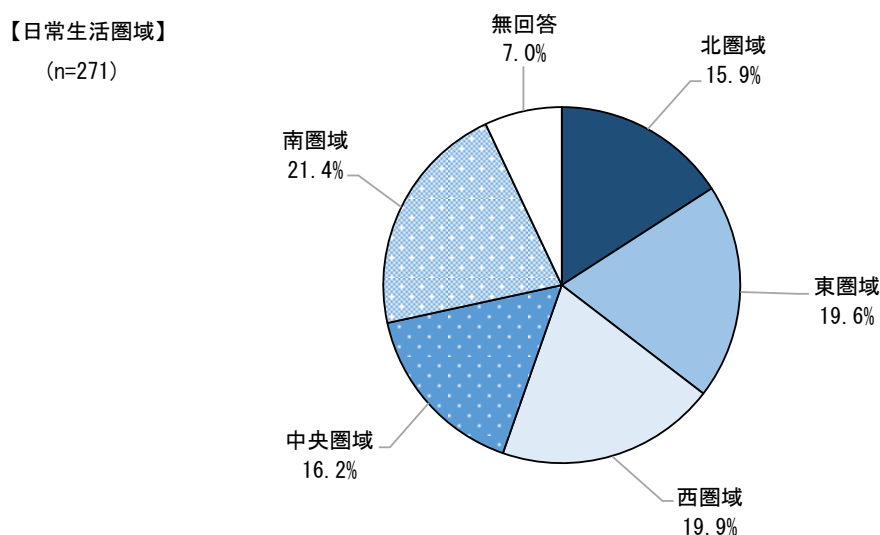
身体上の性別について、「男」が57.6%、「女」が39.5%となっています。

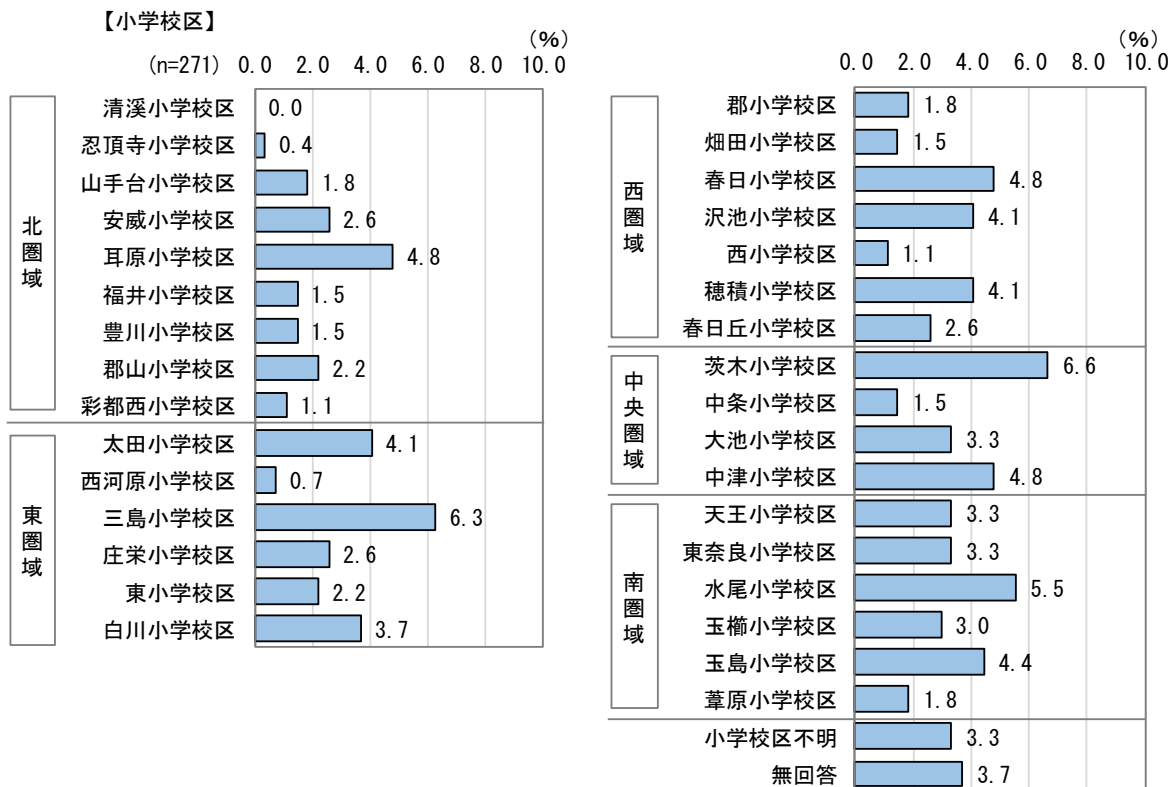


(3) 居住地

問3	あなたのお住まいの町名をご記入ください。	記述
-----------	----------------------	----

居住地について、圏域別（8ページ参照）で見ると、「南圏域」が21.4%で最も多く、次いで「西圏域」が19.9%、「東圏域」が19.6%となっています。



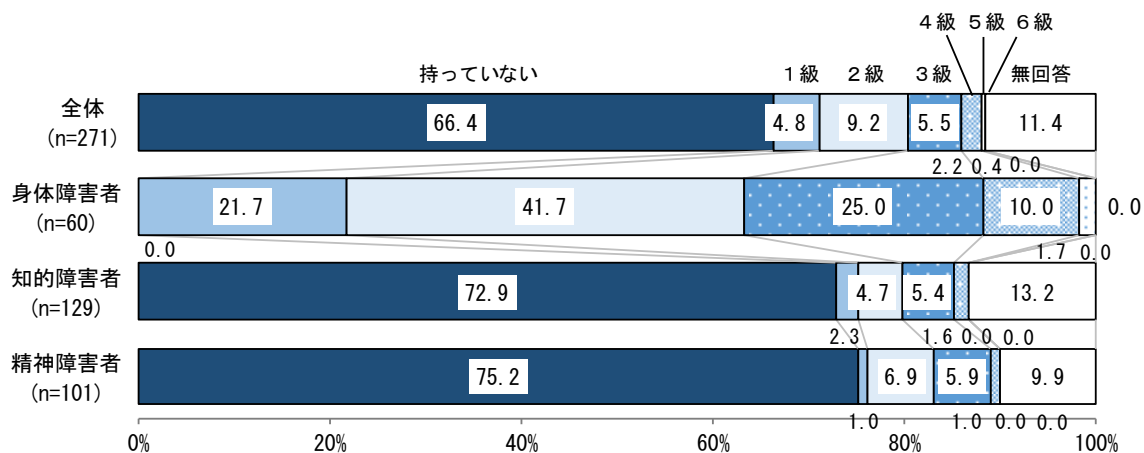


(4) 身体障害者手帳の有無、また、総合等級

問4 身体障害者手帳をお持ちですか。お持ちの場合、総合等級は何級ですか。 ○は1つだけ

身体障害者手帳の有無及び総合等級について、「持っていない」が66.4%で最も多く、次いで「2級」が9.2%、「3級」が5.5%となっています。

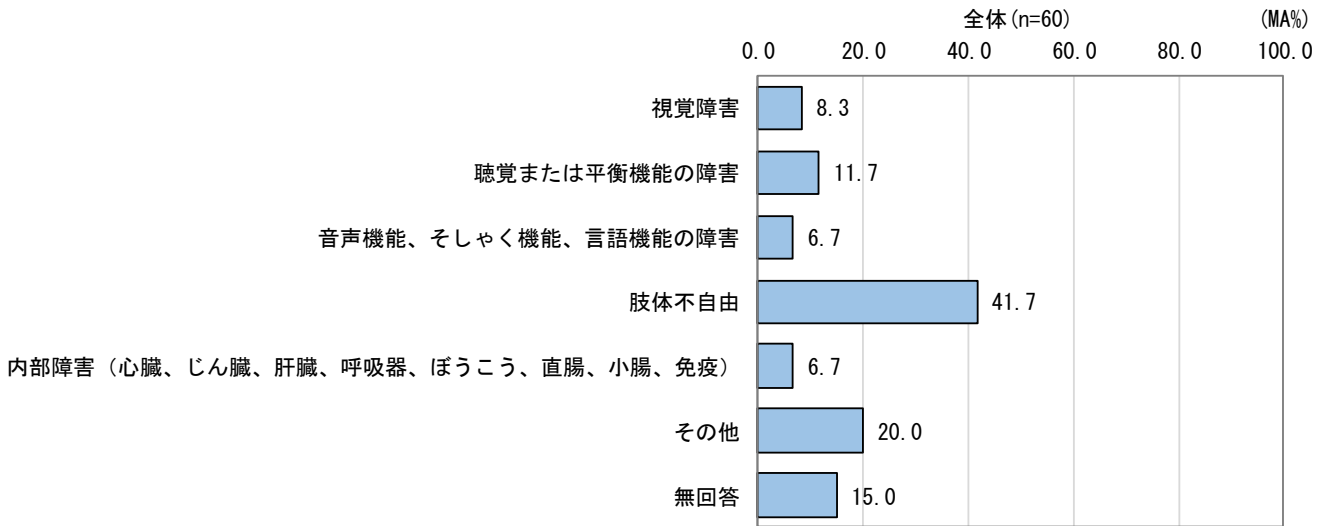
障害種別でみると、「身体障害者」では「2級」が41.7%で最も多く、「知的障害者」では「持っていない」が72.9%で最も多く、「精神障害者」では「持っていない」が75.2%で最も多くなっています。



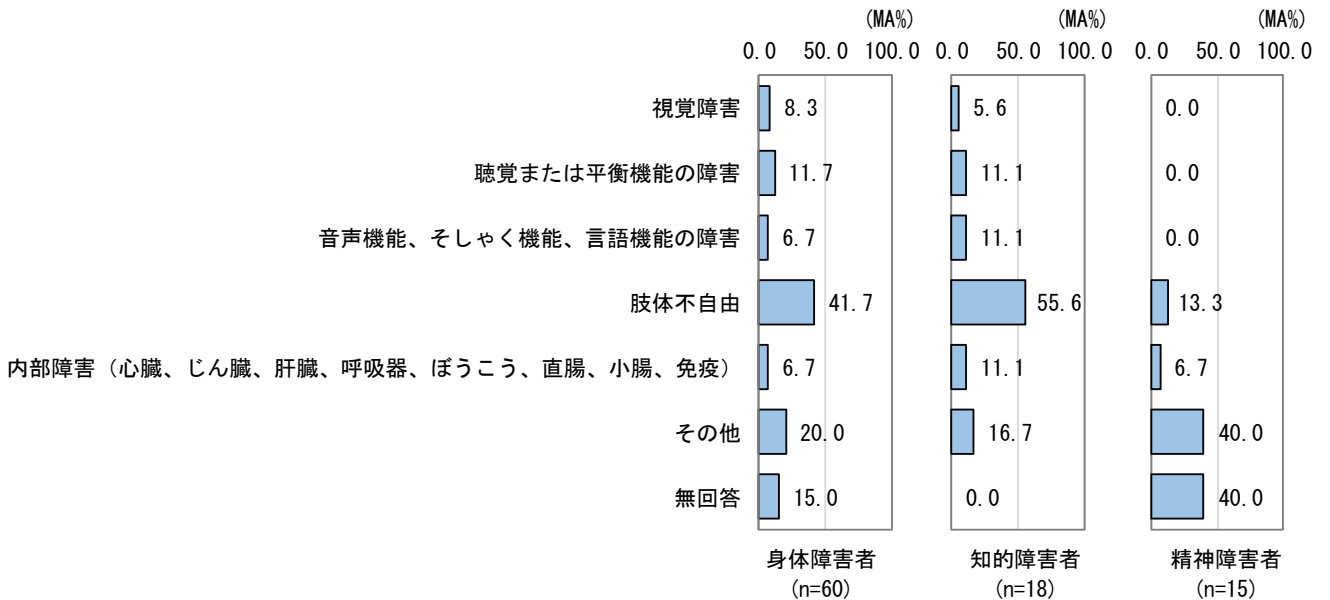
(5) 身体障害の種類

問4-1 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。身体障害者手帳に記載されている障害名をお答えください。 ○はいくつでも

身体障害者手帳を持っている人に、身体障害者手帳に記載されている障害名についてたずねたところ、「肢体不自由」が41.7%で最も多く、次いで「その他」が20.0%、「聴覚または平衡機能の障害」が11.7%となっています。



障害種別でみると、「身体障害者」では「肢体不自由」が41.7%で最も多く、「知的障害者」では「肢体不自由」が55.6%で最も多く、「精神障害者」では「その他」が40.0%で最も多くなっています。

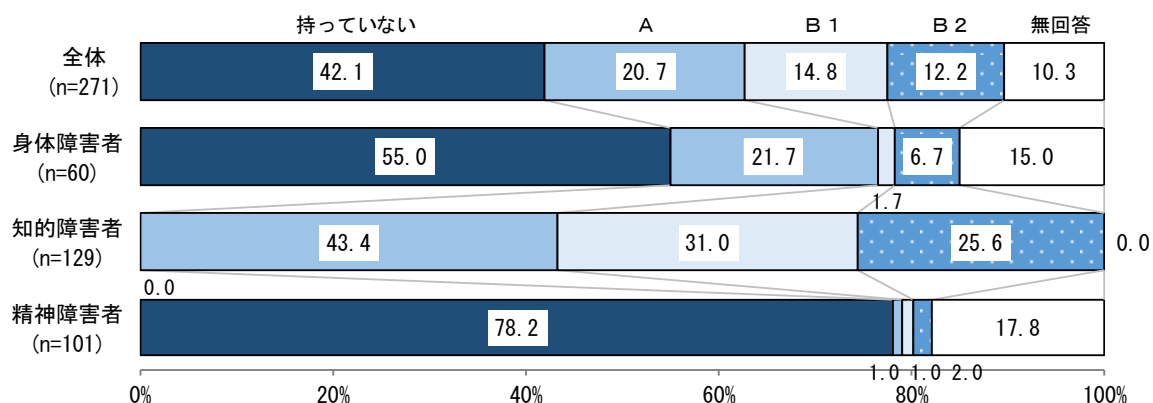


(6) 療育手帳の有無、また、判定

問5 療育手帳をお持ちですか。お持ちの場合、療育手帳の判定は何ですか。 ○は1つだけ

療育手帳の有無及び判定について、「持っていない」が42.1%で最も多く、次いで「A」が20.7%、「B1」が14.8%となっています。

障害種別でみると、「身体障害者」では「持っていない」が55.0%で最も多く、「知的障害者」では「A」が43.4%で最も多く、「精神障害者」では「持っていない」が78.2%で最も多くなっています。

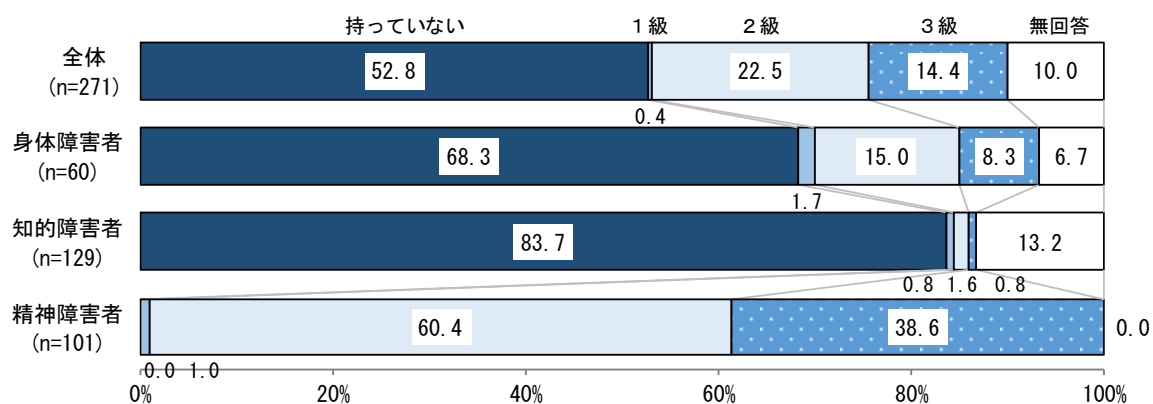


(7) 精神障害者保健福祉手帳の有無、また、等級

問6 精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。お持ちの場合、等級は何級ですか。 ○は1つだけ

精神障害者保健福祉手帳の有無及び等級について、「持っていない」が52.8%で最も多く、次いで「2級」が22.5%、「3級」が14.4%となっています。

障害種別でみると、「身体障害者」では「持っていない」が68.3%で最も多く、「知的障害者」では「持っていない」が83.7%で最も多く、「精神障害者」が「2級」が60.4%で最も多くなっています。

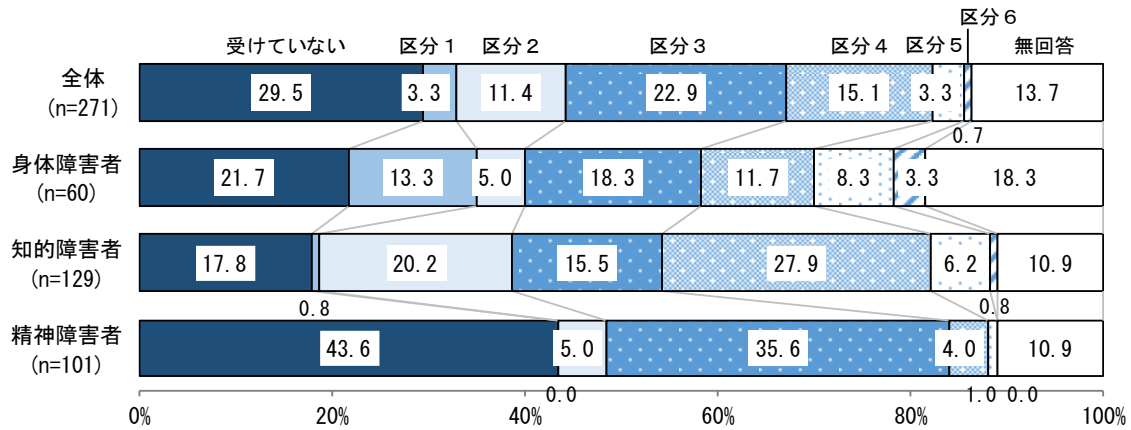


(8) 障害支援区分の認定状況

問7 障害支援区分認定についておたずねします。あなたは、障害支援区分認定を受けていますか。 ○は1つだけ

障害支援区分認定を受けているかについて、「受けていない」が29.5%で最も多く、次いで「区分3」が22.9%、「区分4」が15.1%となっています。

障害種別でみると、「身体障害者」では「受けていない」が21.7%で最も多く、「知的障害者」では「区分4」が27.9%で最も多く、「精神障害者」では「受けていない」が43.6%で最も多くなっています。



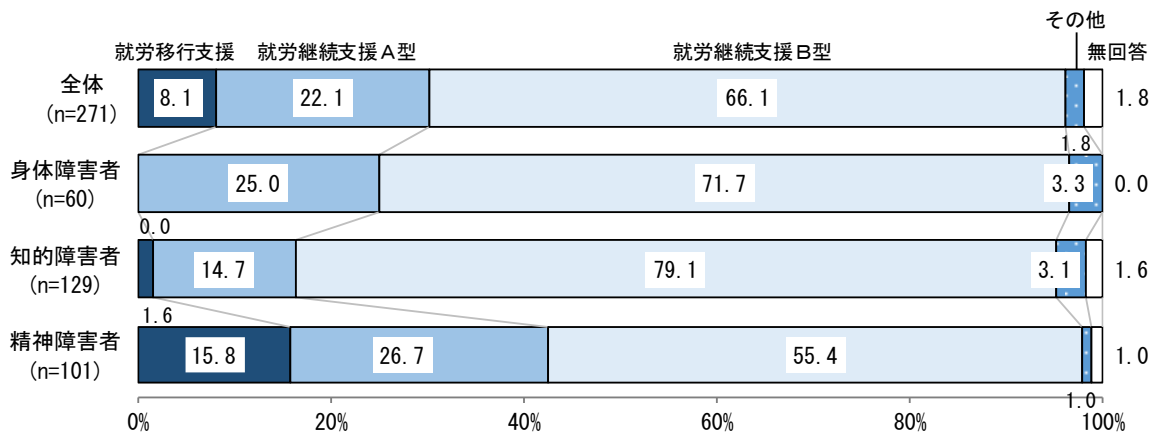
2 就労について

(1) 利用している障害福祉サービス

問8 あなたが、現在利用している障害福祉サービスは、次のどれですか。 ○は1つだけ

現在利用している障害福祉サービスについて、「就労継続支援B型」が66.1%で最も多く、次いで「就労継続支援A型」が22.1%、「就労移行支援」が8.1%となっています。

障害種別でみると、いずれも「就労継続支援B型」が最も多く、「身体障害者」が71.7%、「知的障害者」が79.1%、「精神障害者」が55.4%となっています。

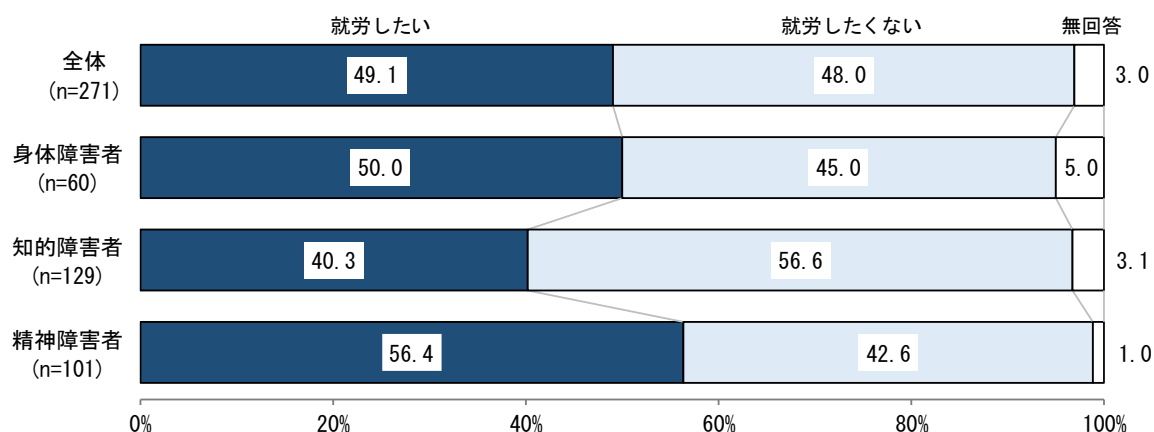


(2) 就労意向

問9 あなたは、これから企業などで一般就労したいですか。 ○は1つだけ

これから企業などで一般就労したいかについて、「就労したい」が49.1%、「就労したくない」が48.0%となっています。

障害種別でみると、「就労したい」では「身体障害者」が50.0%、「知的障害者」が40.3%、「精神障害者」が56.4%となっています。

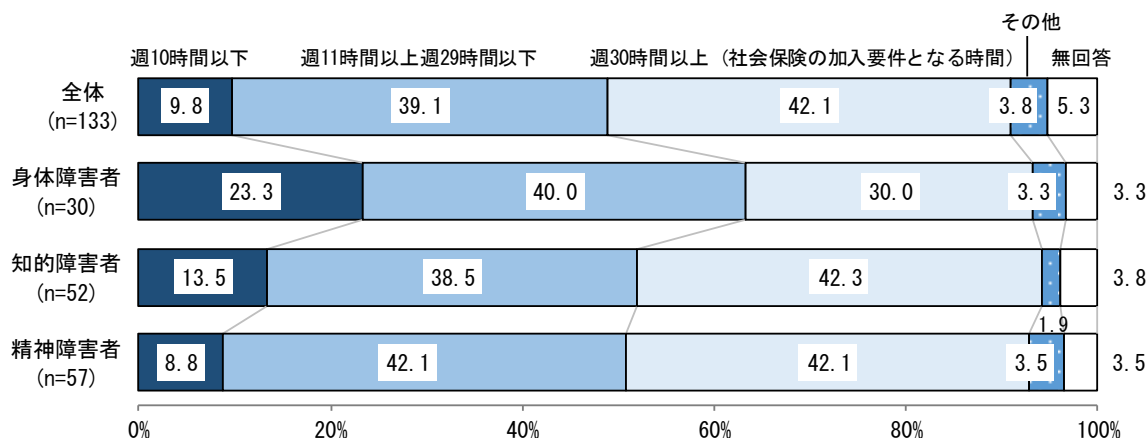


(3) 希望する就労時間

問10 問9で「就労したい」と回答した方におたずねします。就職したい場合、あなたは、1週間のうちどのくらいの時間働きたいですか。 ○は1つだけ

これから企業などで一般就労したい人に、1週間のうちどのくらいの時間働きたいかについてたずねたところ、「週30時間以上（社会保険の加入要件となる時間）」が42.1%で最も多く、次いで「週11時間以上週29時間以下」が39.1%、「週10時間以下」が9.8%となっています。

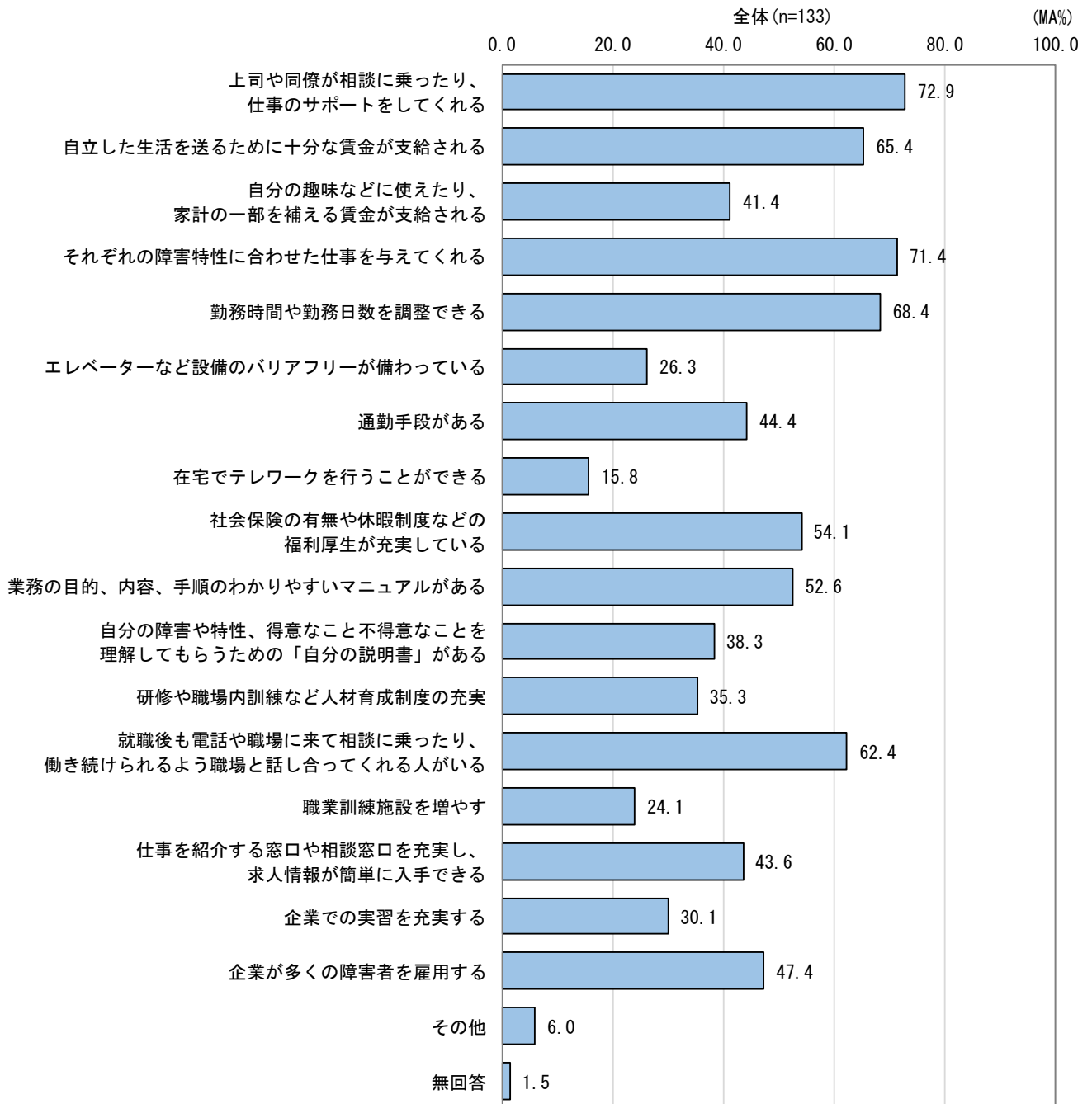
障害種別でみると、「週30時間以上（社会保険の加入要件となる時間）」では「身体障害者」が30.0%、「知的障害者」が42.3%、「精神障害者」が42.1%となっています。



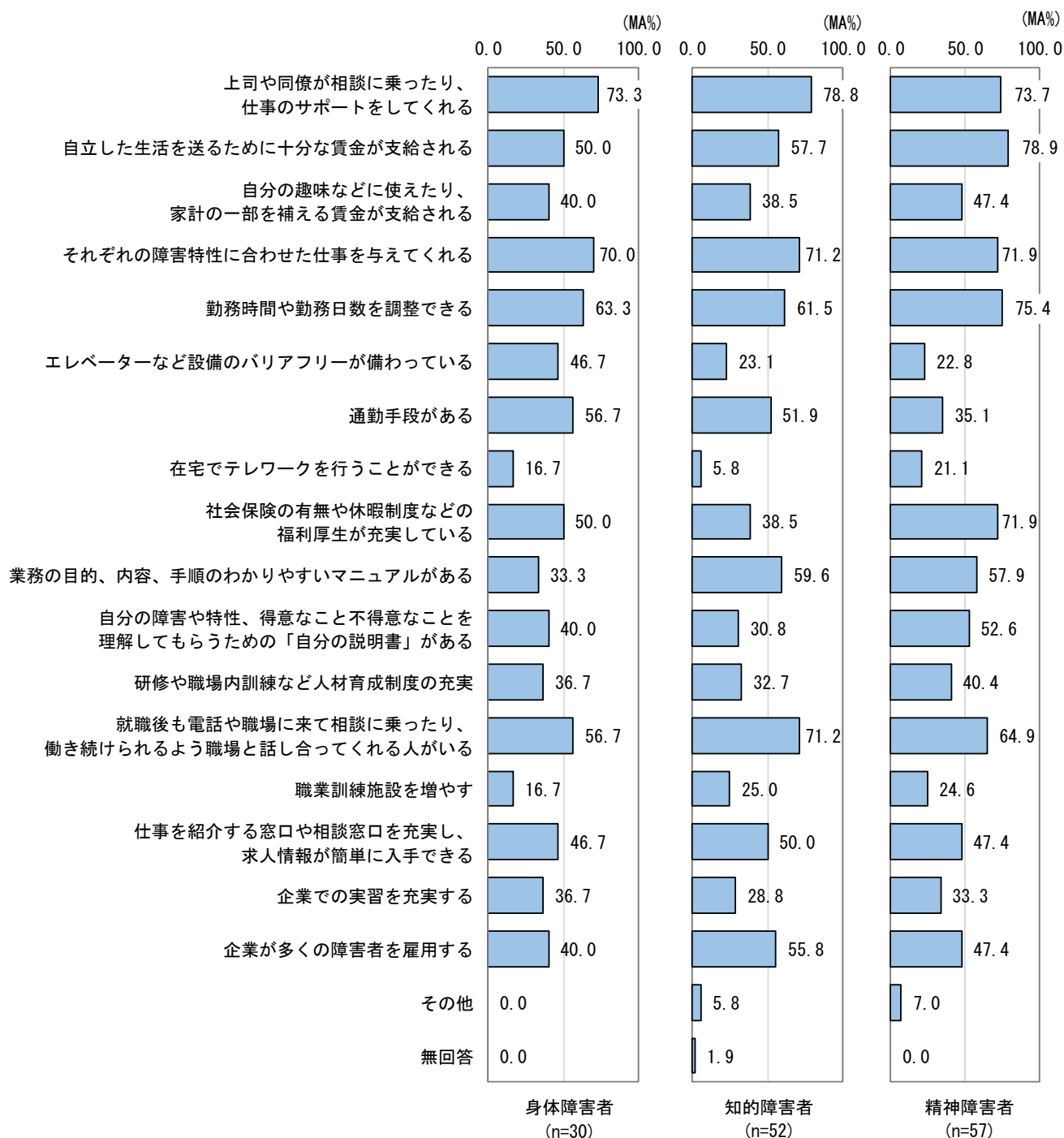
(4) 障害者が就労する上で必要な環境

問 11	問9で「就労したい」と回答した方におたずねします。あなたは、障害のある人が働くためには、どのような環境が必要だと思いますか。	○はいくつでも
------	--	---------

これから企業などで一般就労したい人に、障害者が就労する上で必要な環境についてたずねたところ、「上司や同僚が相談に乗ったり、仕事のサポートをしてくれる」が72.9%で最も多く、次いで「それぞれの障害特性に合わせた仕事を与えてくれる」が71.4%、「勤務時間や勤務日数を調整できる」が68.4%となっています。



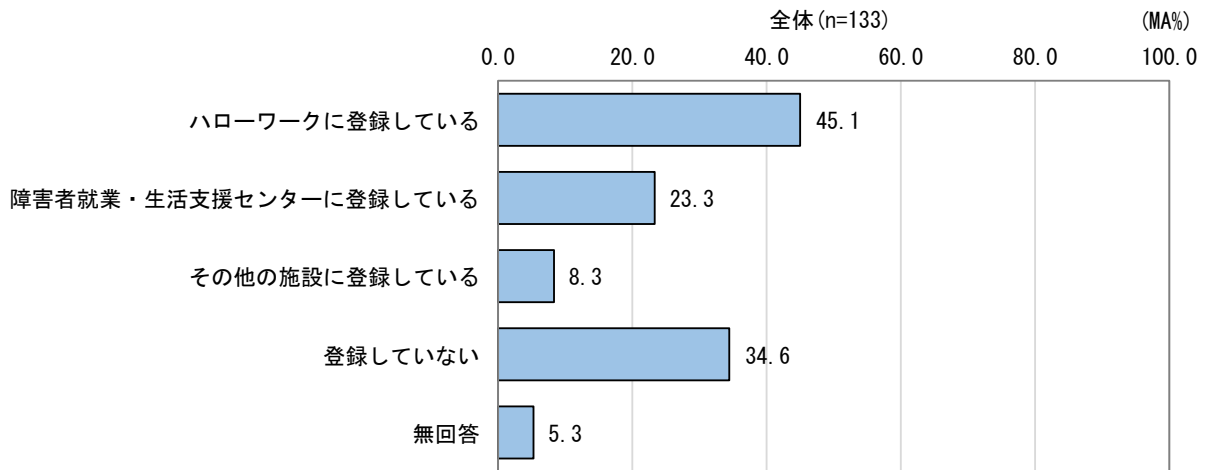
障害種別でみると、「身体障害者」では「上司や同僚が相談に乗ったり、仕事のサポートをしてくれる」が73.3%で最も多く、「知的障害者」では「上司や同僚が相談に乗ったり、仕事のサポートをしてくれる」が78.8%で最も多く、「精神障害者」では「自立した生活を送るために十分な賃金が支給される」が78.9%で最も多くなっています。



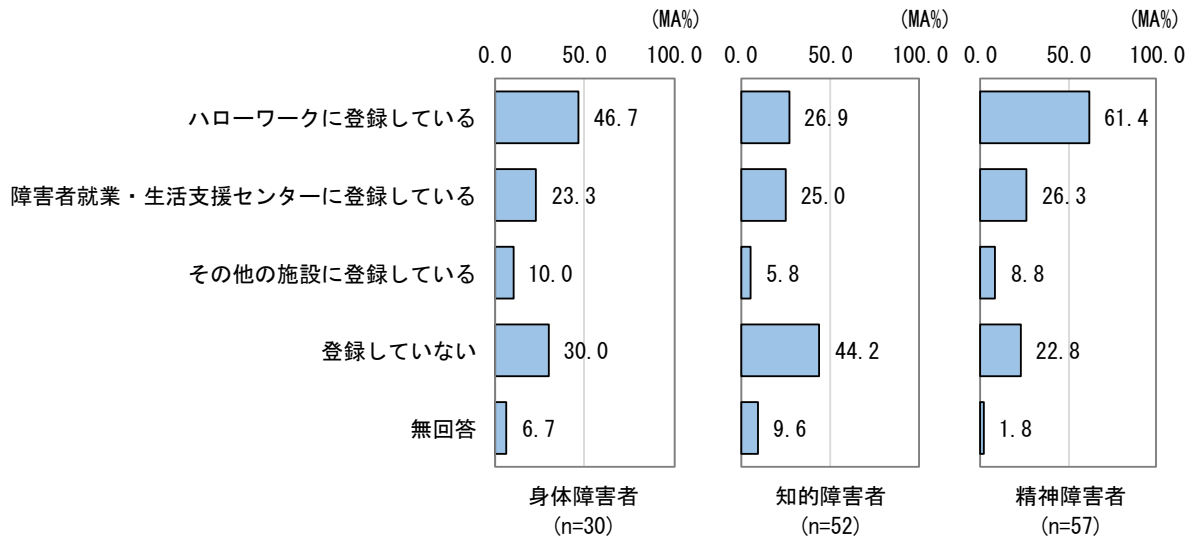
(5) 就労支援機関の登録状況

問12 問9で「就労したい」と回答した方におたずねします。あなたは、就労を支援する機関に登録していますか。 ○は1つだけ

これから企業などで一般就労したい人に、就労を支援する機関に登録しているかについてたずねたところ、「ハローワークに登録している」が45.1%で最も多く、次いで「登録していない」が34.6%、「障害者就業・生活支援センターに登録している」が23.3%となっています。



障害種別でみると、「身体障害者」では「ハローワークに登録している」が46.7%で最も多く、「知的障害者」では「登録していない」が44.2%で最も多く、「精神障害者」では「ハローワークに登録している」が61.4%で最も多くなっています。



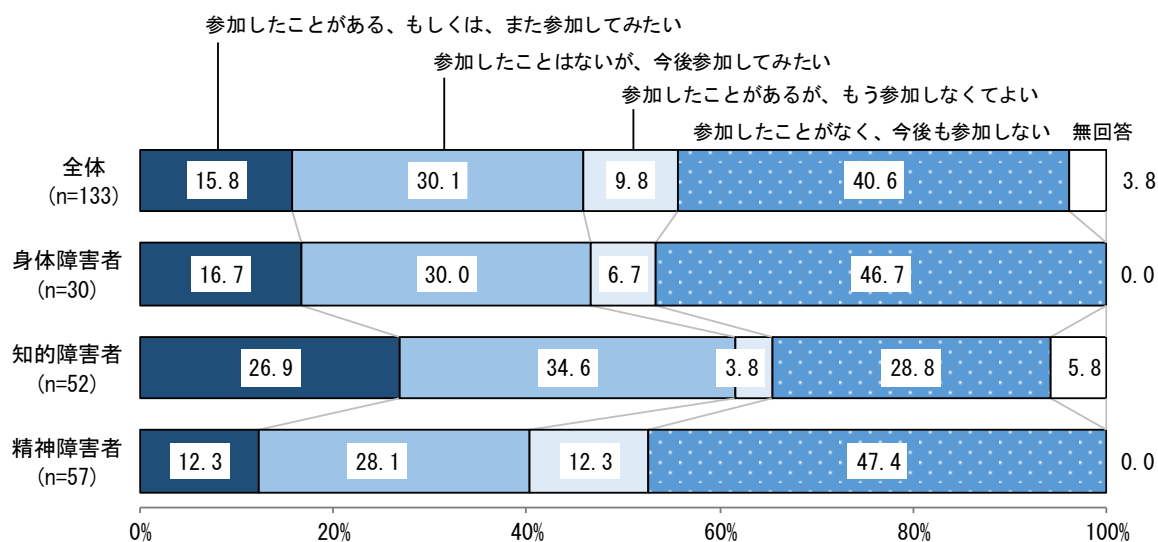
(6) 市内職場実習の参加状況

問 13	問9で「就労したい」と回答した方におたずねします。あなたは、茨木市役所で実施している市内職場実習に参加したことがありますか。	○は1つだけ
-------------	--	--------

これから企業などで一般就労したい人に、茨木市役所で実施している市内職場実習に参加したことがあるかについてたずねたところ、「参加したことがなく、今後も参加しない」が40.6%で最も多く、次いで「参加したことはないが、今後参加してみたい」が30.1%、「参加したことがある、もしくは、また参加してみたい」が15.8%となっています。

「参加したことがある、もしくは、また参加してみたい」理由として、「参加したが、実習後、不採用になった」「就職したいから」「以前参加させて頂き、楽しかった」「できたらお願いします」、「参加したことはないが、今後参加してみたい」理由として、「興味があるから」「いろいろと経験を広げたいから」「どんな職種があり、どんな仕事内容なのか知りたいから」などがありました。

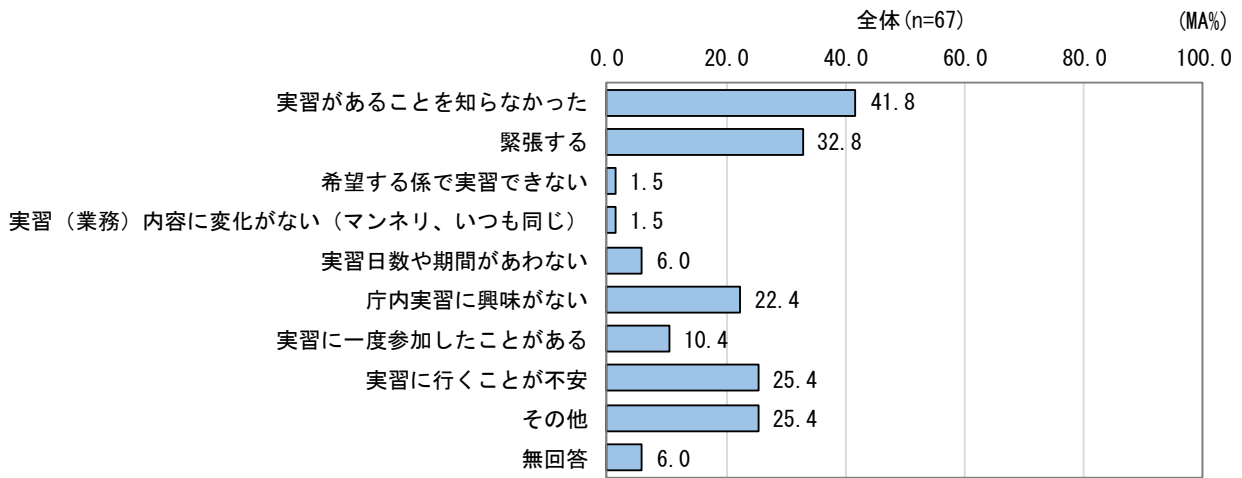
障害種別でみると、「身体障害者」では「参加したことがなく、今後も参加しない」が46.7%で最も多く、「知的障害者」では「参加したことはないが、今後参加してみたい」が34.6%で最も多く、「精神障害者」では「参加したことがなく、今後も参加しない」が47.4%で最も多くなっています。



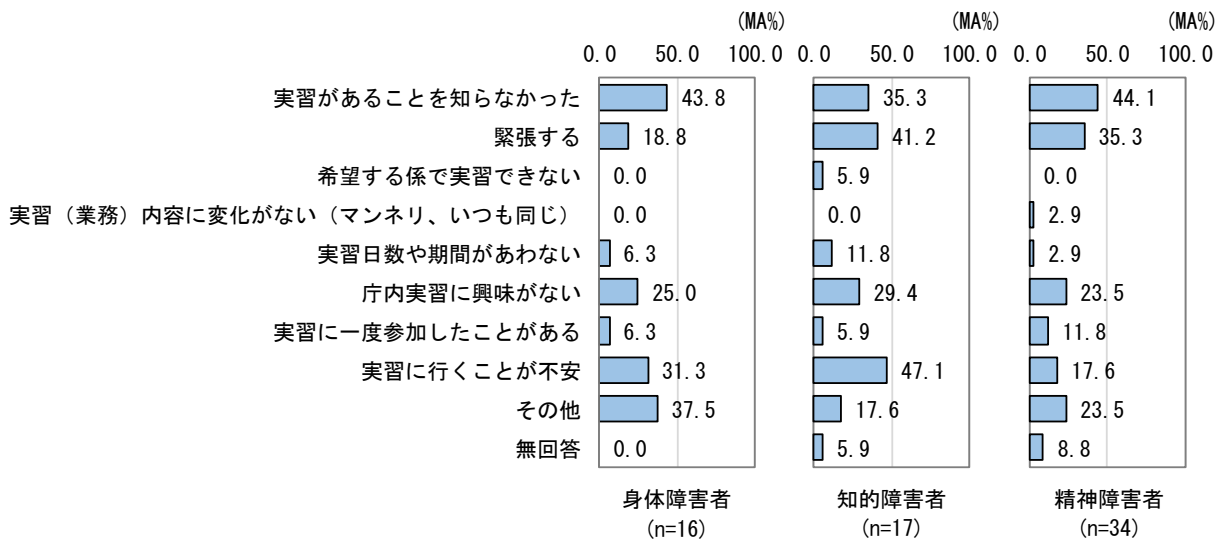
(7) 庁内職場実習に参加しない理由

問13-1	問13で「参加したことがあるが、もう参加しなくてよい」もしくは「参加したことがなく、今後も参加しない」と回答した方におたずねします。参加しない理由は何ですか。	○はいくつでも
-------	---	---------

これから企業などで一般就労したいが、茨木市役所で実施している庁内職場実習に参加しない人に、その理由についてたずねたところ、「実習があることを知らなかった」が41.8%で最も多く、次いで「緊張する」が32.8%、「実習に行くことが不安」「その他」が25.4%となっており、「その他」の内容として「自分には無理、できないと思う」「他の事に集中したい、時間が取れない」「直接就労につながらない、賃金が発生しないから」などがありました。



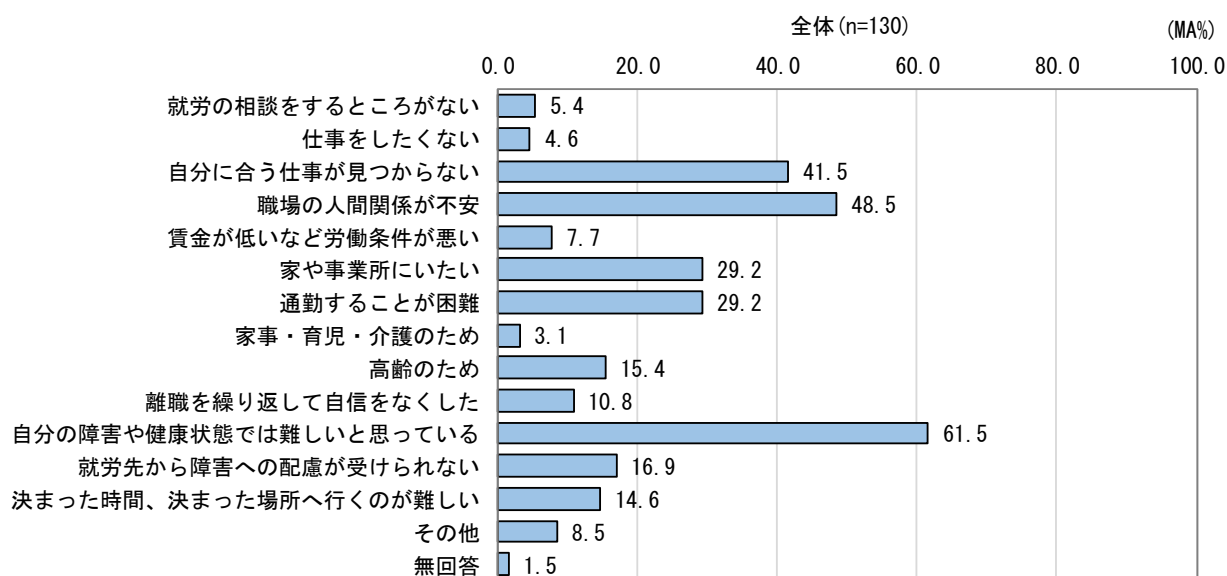
障害種別でみると、「身体障害者」では「実習があることを知らなかった」が43.8%で最も多く、「知的障害者」では「実習に行くことが不安」が47.1%で最も多く、「精神障害者」では「実習があることを知らなかった」が44.1%で最も多くなっています。



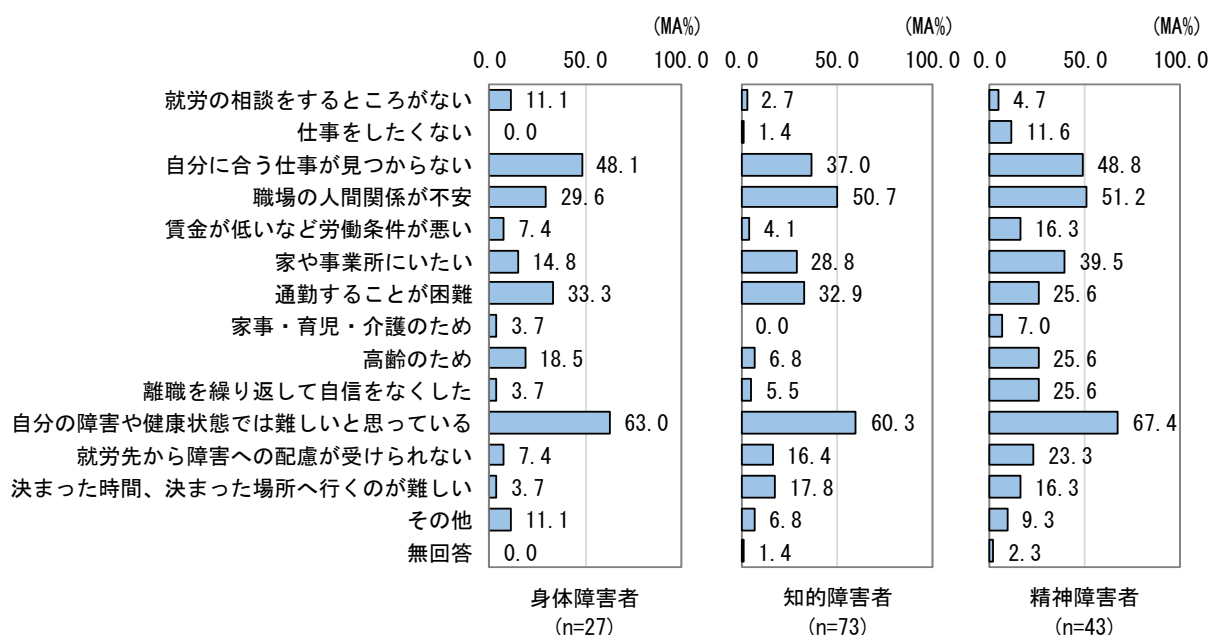
(8) 就職したくない理由

問 14	問9で「就労したくない」と回答した方におたずねします。就労したくない理由は何ですか。	○はいくつでも
------	--	---------

これから企業などで一般就労したくない人に、その理由についてたずねたところ、「自分の障害や健康状態では難しいと思っている」が61.5%で最も多く、次いで「職場の人間関係が不安」が48.5%、「自分に合う仕事が見つからない」が41.5%となっており、「その他」の内容として「他の場所（作業所等）に通っているため」「コミュニケーションがとれないため不安」「一般ではない就労先を希望しているため」などがありました。



障害種別でみると、いずれも「自分の障害や健康状態では難しいと思っている」が最も多く、「身体障害者」が63.0%、「知的障害者」が60.3%、「精神障害者」が67.4%となっています。



第4章 就労支援事業所利用者調査の結果

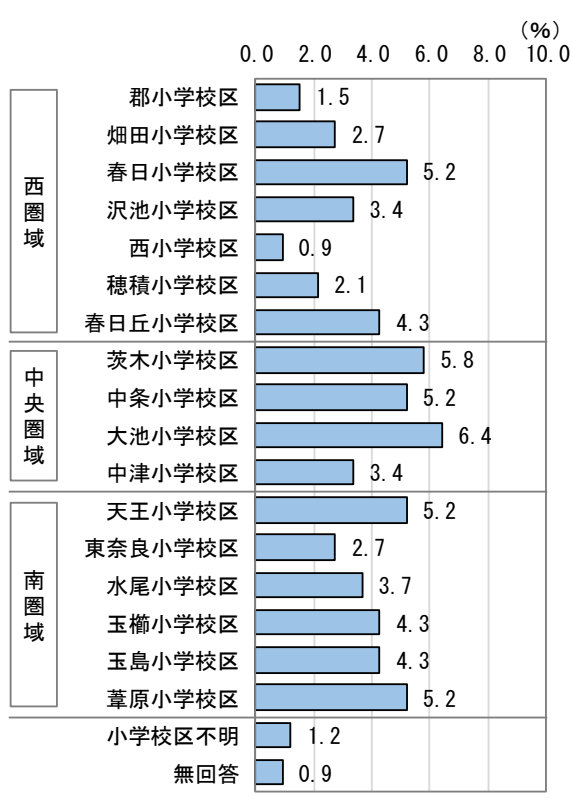
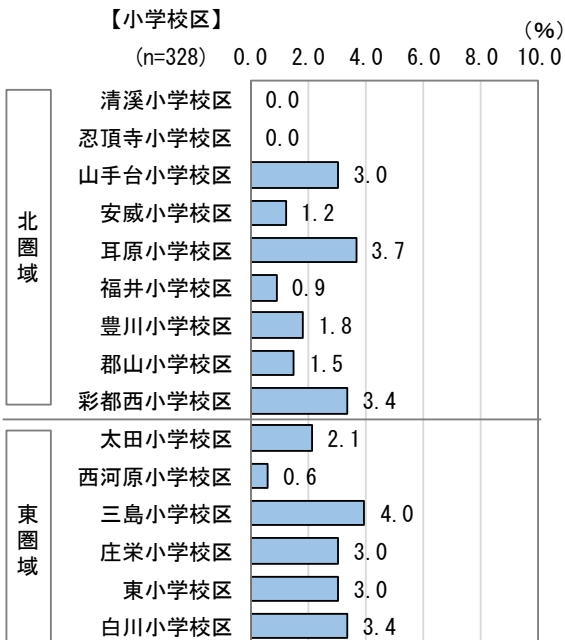
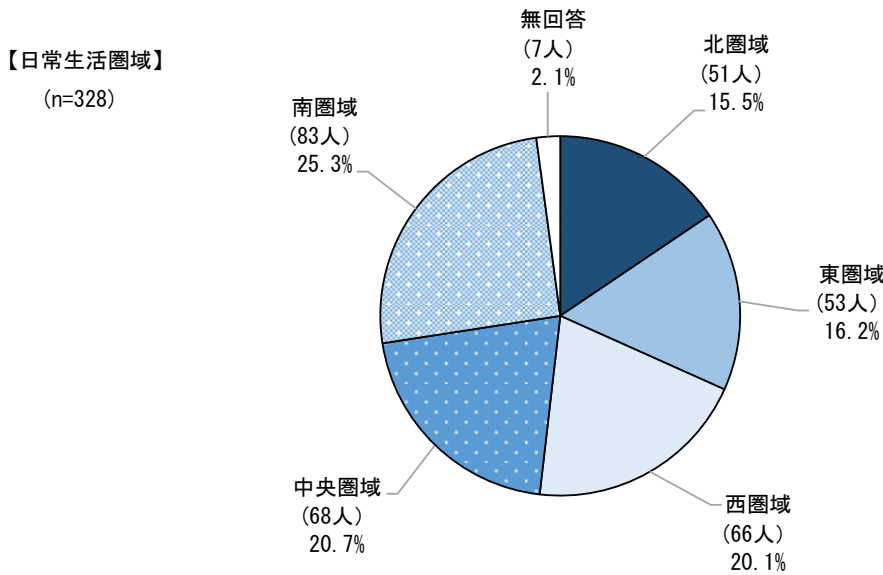
第5章 障害児通所支援等利用者調査の結果

I 対象者の属性

(1) 居住小学校区

問 I	お住まいの地域の小学校区名を記入してください。	記入
------------	-------------------------	----

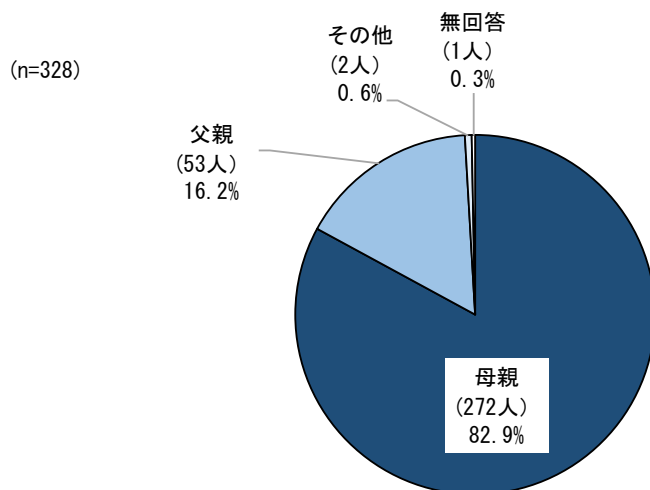
居住地について、圏域別（8ページ参照）で見ると、「南圏域」が25.3%で最も多く、次いで「中央圏域」が20.7%、「西圏域」が20.1%となっています。



(2) アンケートの記入者

問2	この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。	○は1つだけ
-----------	--	--------

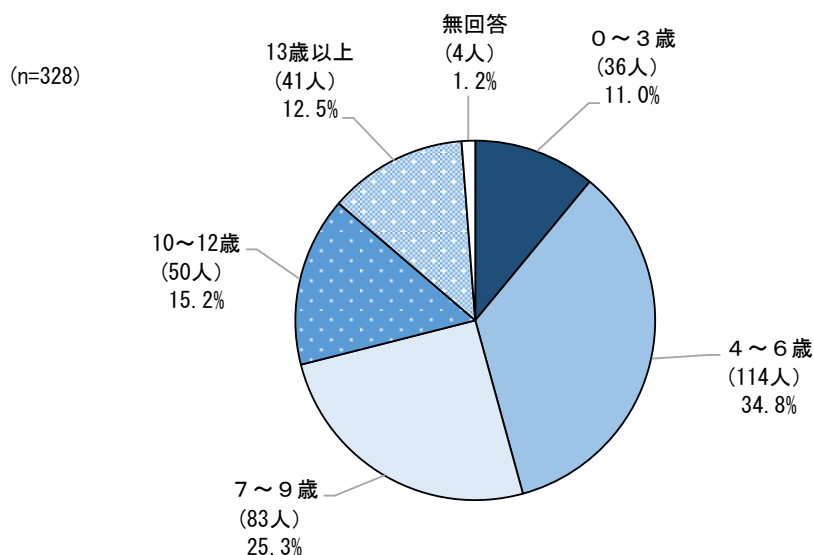
アンケートの記入者について、「母親」が82.9%、「父親」が16.2%となっています。



(3) 子どもの年齢

問3	対象のお子さんの生年月について、数字を入れてください。	数値記入
-----------	-----------------------------	------

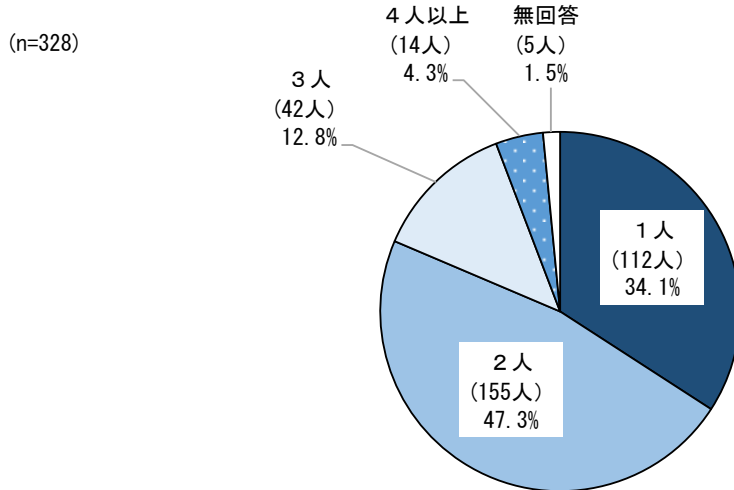
子どもの年齢について、「4～6歳」が34.8%で最も多く、次いで「7～9歳」が25.3%、「10～12歳」が15.2%となっています。



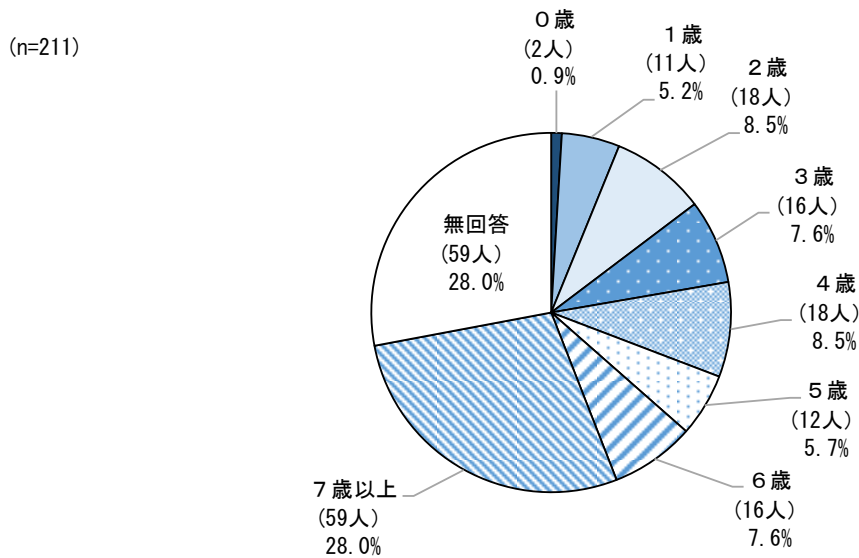
(4) 子どもの人数と末子の年齢

問4	対象のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（令和4年4月1日現在の年齢）を記入してください。	数値記入
-----------	--	------

子どもの人数について、「2人」が47.3%で最も多く、次いで「1人」が34.1%、「3人」が12.8%となっています。



子どもが2人以上いる人に、末子の年齢についてたずねたところ、「7歳以上」が28.0%で最も多く、次いで「2歳」「4歳」が8.5%、「3歳」「6歳」が7.6%となっています。



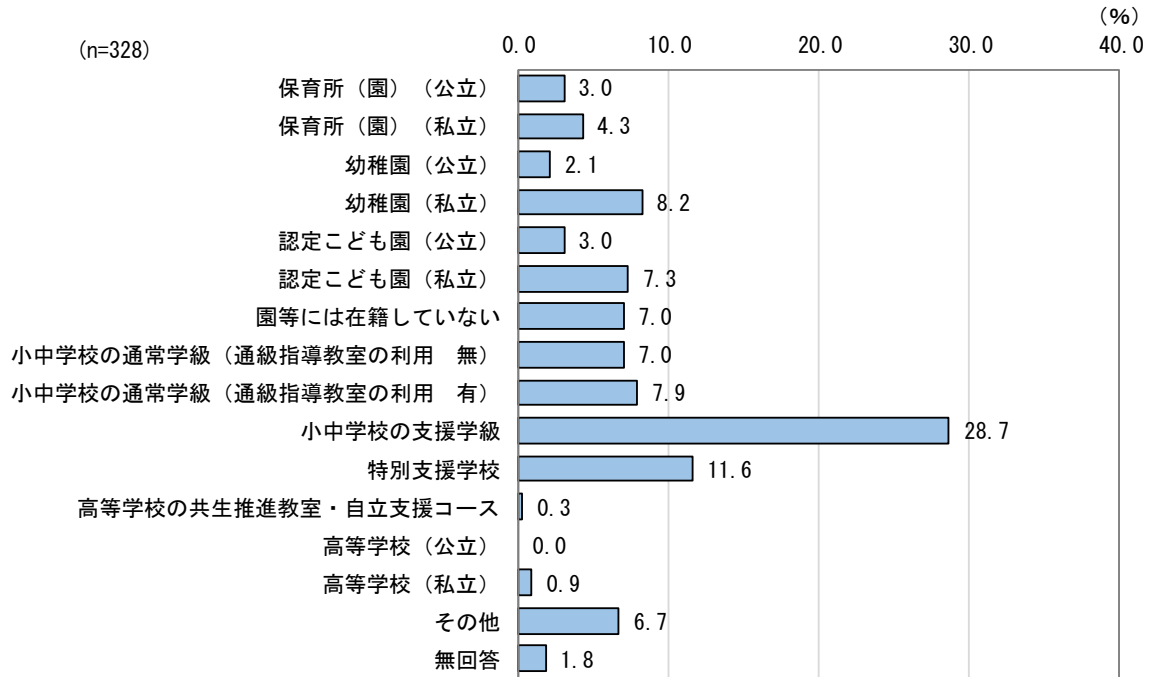
(5) 子どもの所属先

問5

対象のお子さんの所属先についておうかがいします。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

○は1つだけ

子どもの所属先について、「小中学校の支援学級」が28.7%で最も多く、次いで「特別支援学校」が11.6%、「幼稚園（私立）」が8.2%となっており、「その他」の内容として「あけぼの学園（療育園）」「すくすく親子教室」「支援高校」などがありました。



(6) 同居の状況

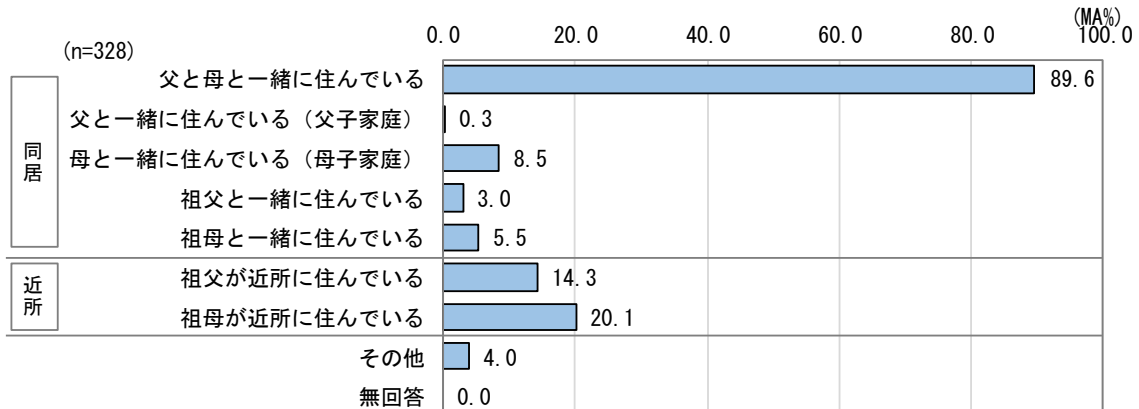
問6

対象のお子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

○はいくつでも

子どもと一緒に住んでいる人について、「父と母と一緒に住んでいる」が89.6%で最も多く、「母と一緒に住んでいる（母子家庭）」が8.5%、「祖母と一緒に住んでいる」が5.5%となっています。

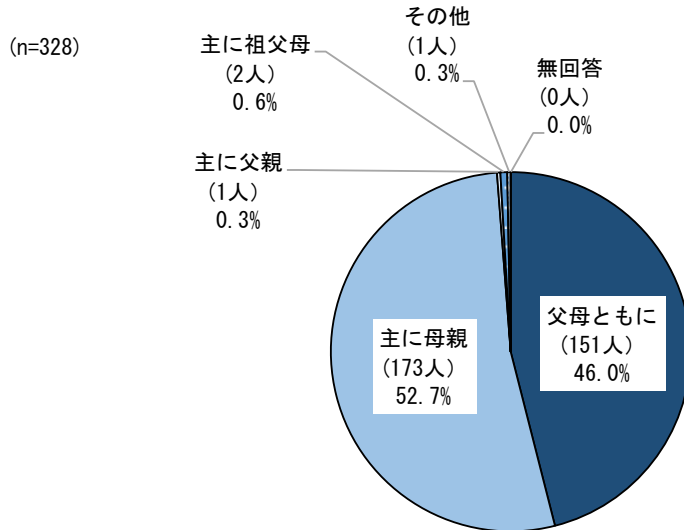
祖父母の居住状況について、「祖母が近所に住んでいる」が20.1%、「祖父が近所に住んでいる」が14.3%となっています。



(7) 子育てや教育を主に行っている人

問7	対象のお子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。	○は1つだけ
-----------	---	--------

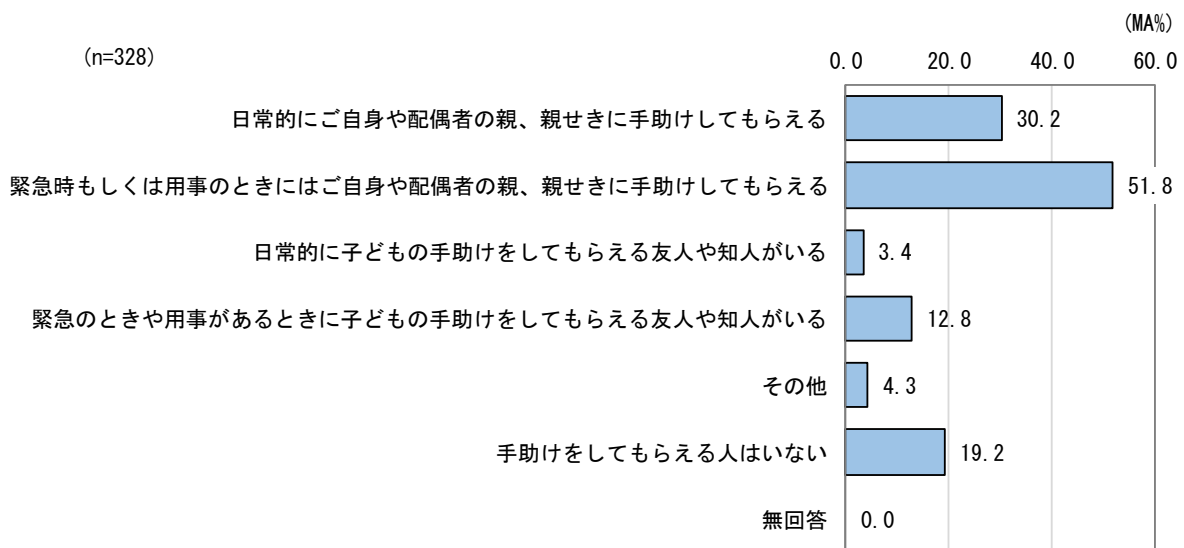
子どもの子育てや教育を主に行っている人について、「主に母親」が52.7%で最も多く、次いで「父母ともに」が46.0%、「主に祖父母」が0.6%となっています。



(8) 子どものことで手助けしてもらえる人

問8	日頃、対象のお子さんのことで手助けしてもらえる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。	○はいくつでも
-----------	---	---------

日頃、子どものことで手助けしてもらえる人がいるかについて、「緊急時もしくは用事的时候にはご自身や配偶者の親、親せきに手助けしてもらえる」が51.8%で最も多く、次いで「日常にご自身や配偶者の親、親せきに手助けしてもらえる」が30.2%、「手助けをしてもらえない人はいない」が19.2%となっており、「その他」の内容として「兄弟姉妹」「福祉事業所の職員」「祖母、曾祖母」などがありました。



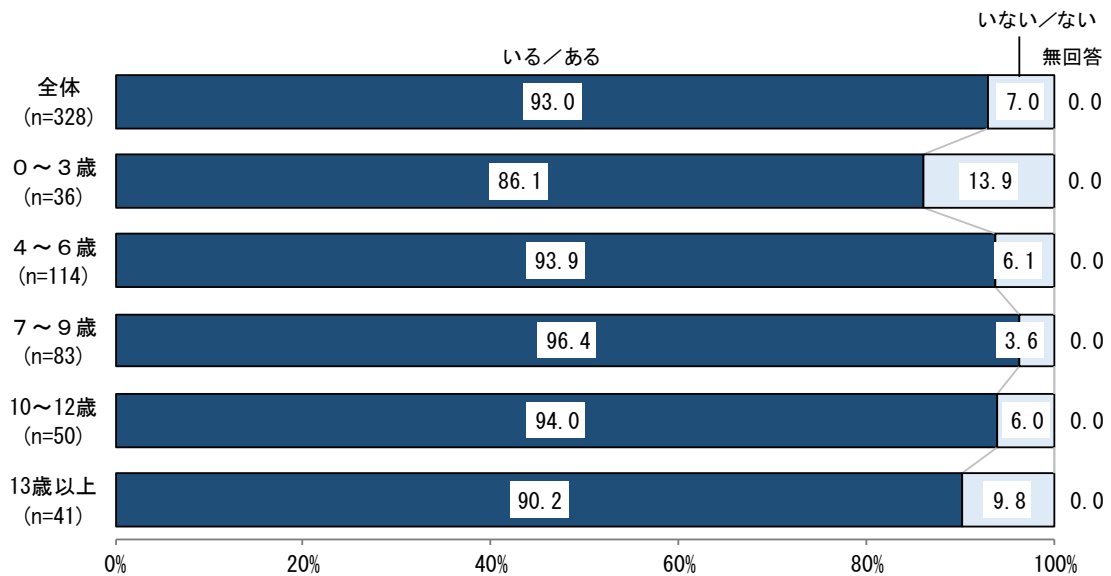
2 相談

(1) 子育てや教育について気軽に相談できる相手や場所の有無

問9	対象のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいますか(又は相談できる場所がありますか)。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。	○は1つだけ
-----------	---	--------

子どもの子育てや教育を気軽に相談できる人はいるかについて、「いる／ある」が93.0%、「いない／ない」が7.0%となっています。

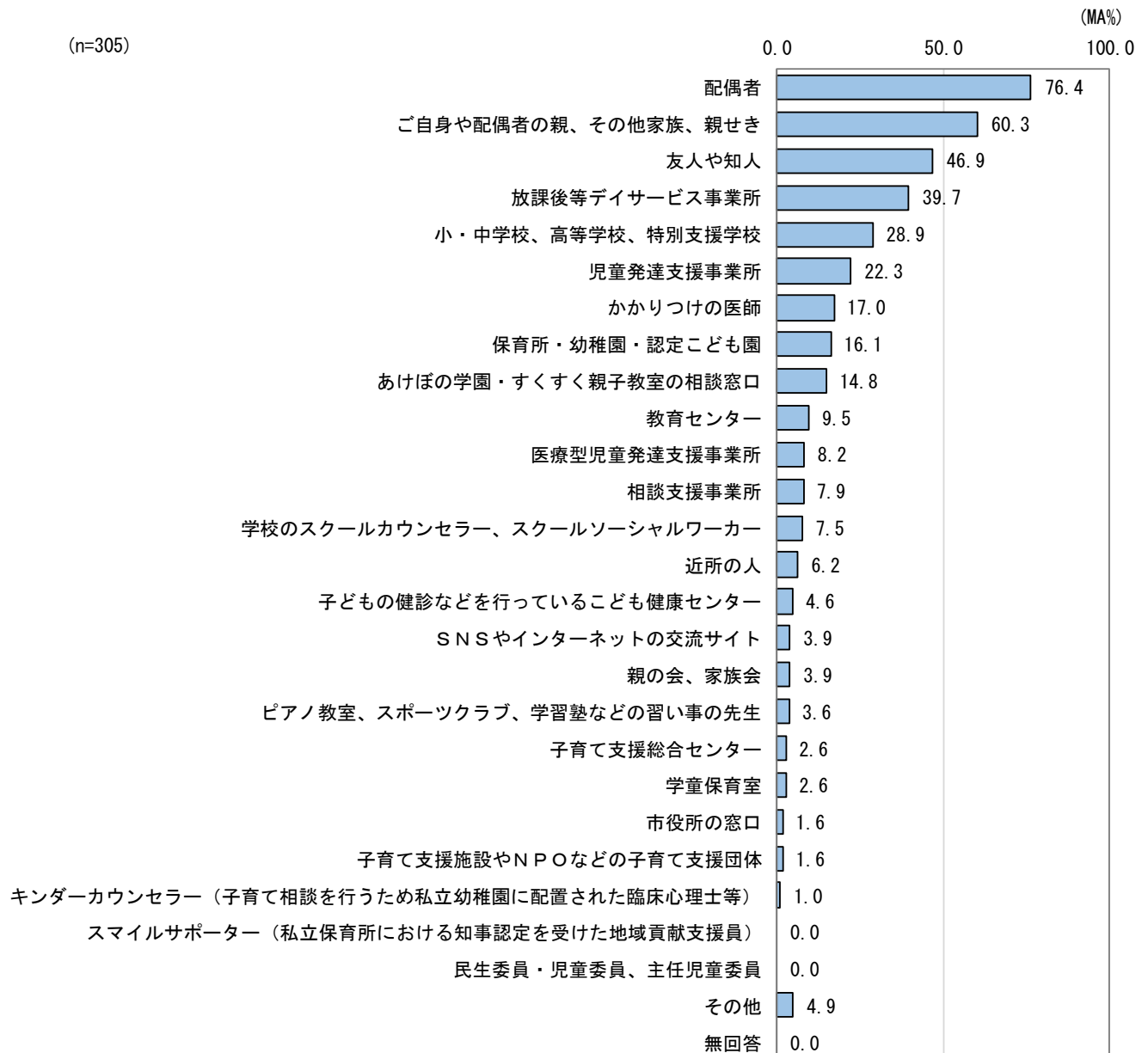
子どもの年齢別で見ると、「いる／ある」では「0～3歳」が86.1%、「4～6歳」が93.9%、「7～9歳」が96.4%、「10～12歳」が94.0%、「13歳以上」が90.2%となっています。



(2) 気軽に相談できる相手や場所

問9-1	問9で「いる／ある」を選ばれた方におうかがいします。気軽に相談できる人や場所などについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。	○はいくつでも
------	--	---------

子どもの子育てや教育を気軽に相談できる人がいる人に、気軽に相談できる人や場所などについてたずねたところ、「配偶者」が76.4%で最も多く、次いで「ご自身や配偶者の親、その他家族、親せき」が60.3%、「友人や知人」が46.9%となっており、「その他」の内容として「訪問看護師」「カウンセラー」「療育園」などがありました。



第5章 障害児通所支援等利用者調査の結果

子どもの年齢別で見ると、いずれも「配偶者」が最も多く、「0～3歳」が77.4%、「4～6歳」が81.3%、「7～9歳」が76.3%、「10～12歳」が74.5%、「13歳以上」が64.9%となっています。

(MA%)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
子どもの年齢	0～3歳 (n=31)	配偶者 77.4%	ご自身や配偶者の親、その他家族、親せき 74.2%	あけぼの学園・すくすく親子教室の相談窓口 45.2%	友人や知人 35.5%	児童発達支援事業所 25.8%
	4～6歳 (n=107)	配偶者 81.3%	ご自身や配偶者の親、その他家族、親せき 62.6%	友人や知人 46.7%	児童発達支援事業所 42.1%	保育所・幼稚園・認定こども園 39.3%
	7～9歳 (n=80)	配偶者 76.3%	放課後等デイサービス事業所 73.8%	ご自身や配偶者の親、その他家族、親せき 68.8%	小・中学校、高等学校、特別支援学校 57.5%	友人や知人 53.8%
	10～12歳 (n=47)	配偶者 74.5%	放課後等デイサービス事業所 59.6%	ご自身や配偶者の親、その他家族、親せき／友人や知人 44.7%	小・中学校、高等学校、特別支援学校 34.0%	
	13歳以上 (n=37)	配偶者 64.9%	放課後等デイサービス事業所 62.2%	小・中学校、高等学校、特別支援学校 56.8%	友人や知人 45.9%	ご自身や配偶者の親、その他家族、親せき 40.5%

(3) 気軽に相談できる相手がいない・場所がない理由

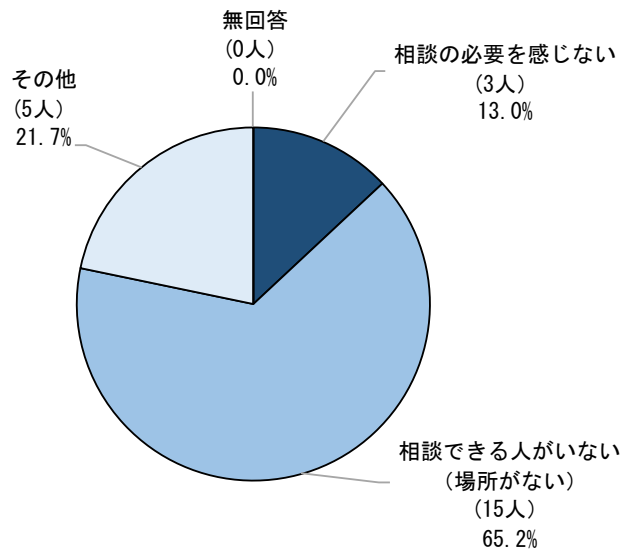
問9-2

問9で「2 いない／ない」を選ばれた方にその理由をおうかがいします。
あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

○は1つだけ

子どもの子育てや教育を気軽に相談できる人がいない人に、その理由についてたずねたところ、「相談できる人がいない（場所がない）」が65.2%で最も多く、次いで「その他」が21.7%、「相談の必要を感じない」が13.0%となっており、「その他」の内容として「意見が合わない、分かってもらえないのではない」「相談したい人が遠方で出来ない」などがありました。

(n=23)

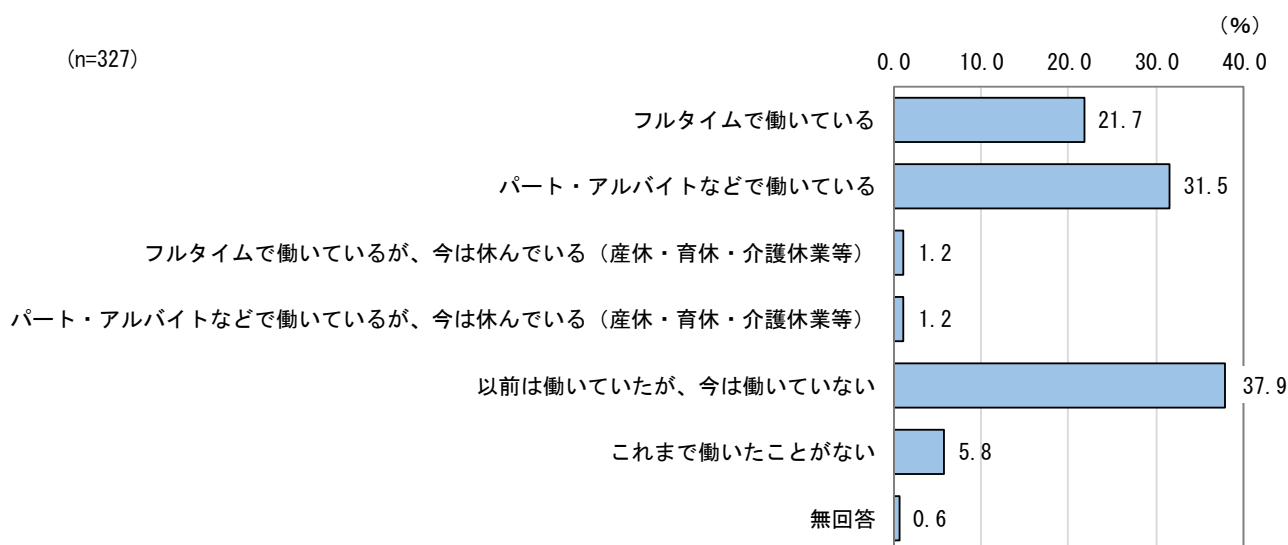


3 就労状況

(1) 母親の就労状況

問 10	対象のお子さんの「母親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。父子家庭の場合は記入不要です。	○は1つだけ
-------------	---	--------

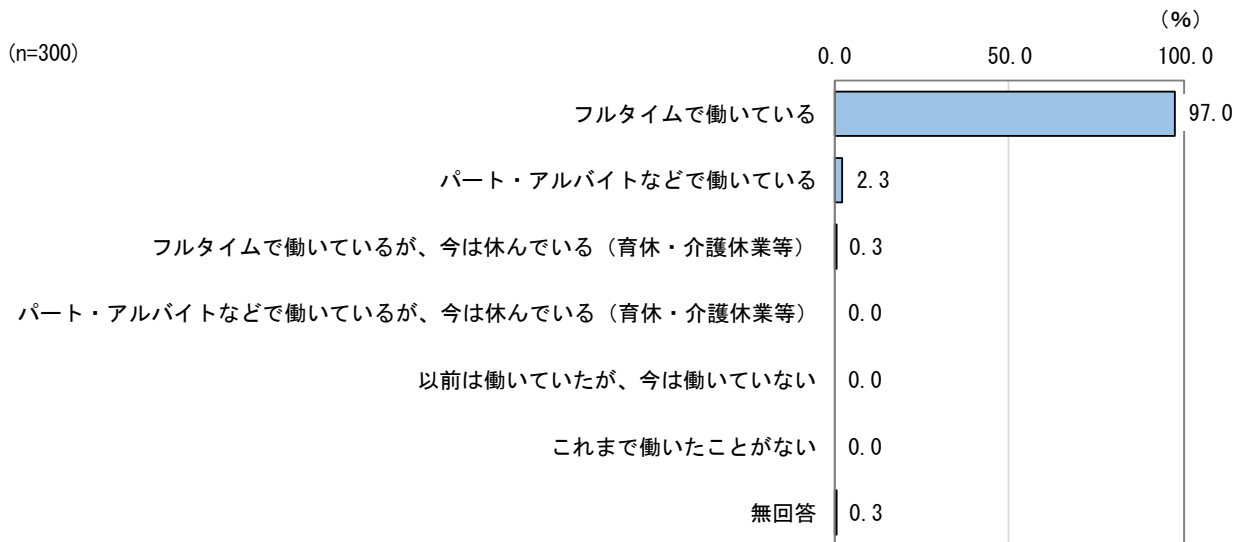
母親の働いている状況について、「以前は働いていたが、今は働いていない」が37.9%で最も多く、次いで「パート・アルバイトなどで働いている」が31.5%、「フルタイムで働いている」が21.7%となっています。



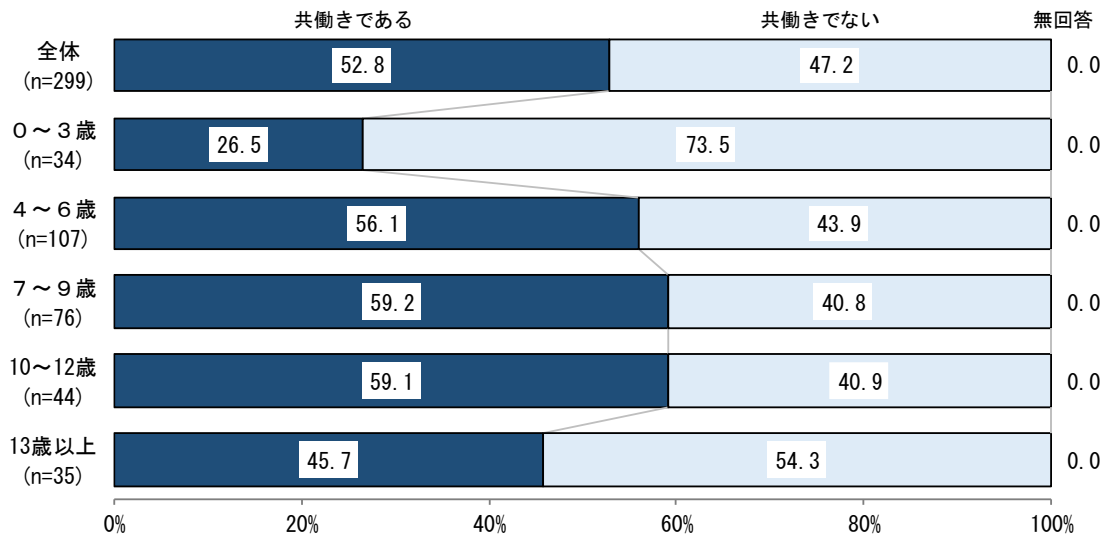
(2) 父親の就労状況

問 11	対象のお子さんの「父親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。母子家庭の場合は記入不要です。	○は1つだけ
-------------	---	--------

父親の働いている状況について、「フルタイムで働いている」が97.0%で最も多く、次いで「パート・アルバイトなどで働いている」が2.3%、「フルタイムで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業等）」が0.3%となっています。



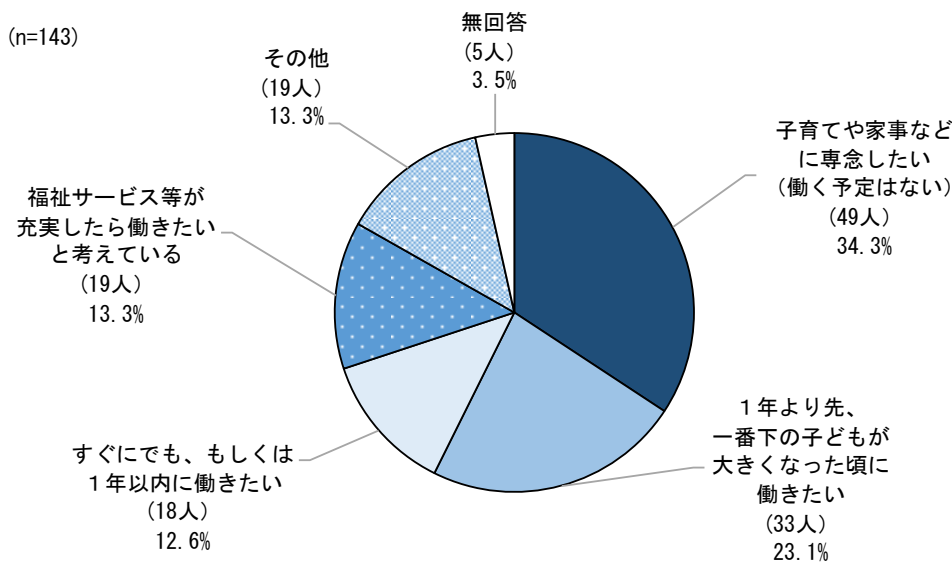
共働き状況について、「共働きである」が52.8%、「共働きでない」が47.2%となっています。



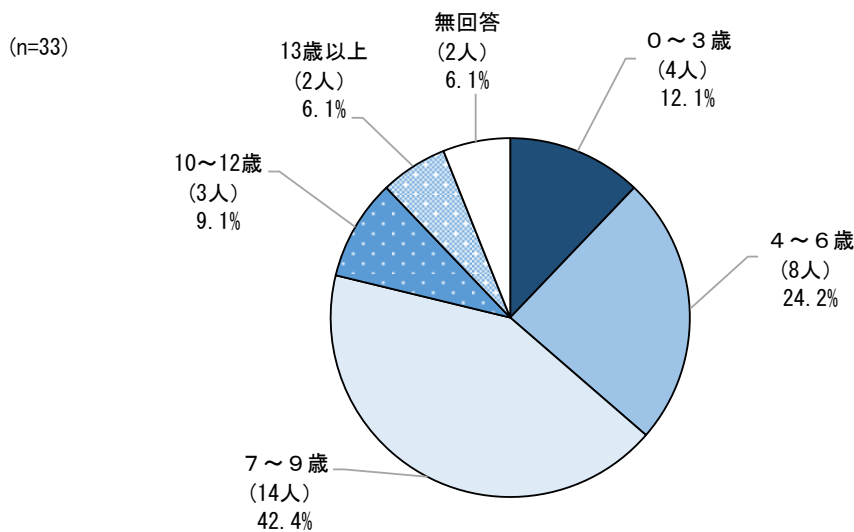
(3) 現在働いていない母親・父親の就労意向

問 12	問 10 または 問 11 で「以前は働いていたが、今は働いていない」または「これまで働いたことがない」を選ばれた、現在働いておられない方におうかがいします。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、() 内に具体的な数字を入れてください。	○は1つだけ
-------------	---	--------

現在働いていない母親に、今後の就労意向についてたずねたところ、「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」が 34.3% で最も多く、次いで「1年より先、一番下の子どもが大きくなった頃に働きたい」が 23.1%、「福祉サービス等が充実したら働きたいと考えている」「その他」が 13.3% となっており、「その他」の内容として「子どもの成長、または病気が落ち着き次第」「自身の体調不良、または病気のため」「他の介護があるため」などがありました。



1年より先、一番下の子どもが大きくなった頃に働きたいと考えている母親に、働きたい時期となる一番下の年齢についてたずねたところ、「7～9歳」が 42.4% で最も多く、次いで「4～6歳」が 24.2%、「0～3歳」が 12.1% となっています。



なお、現在働いていない父親はいませんでした。

4 通所サービス等の利用

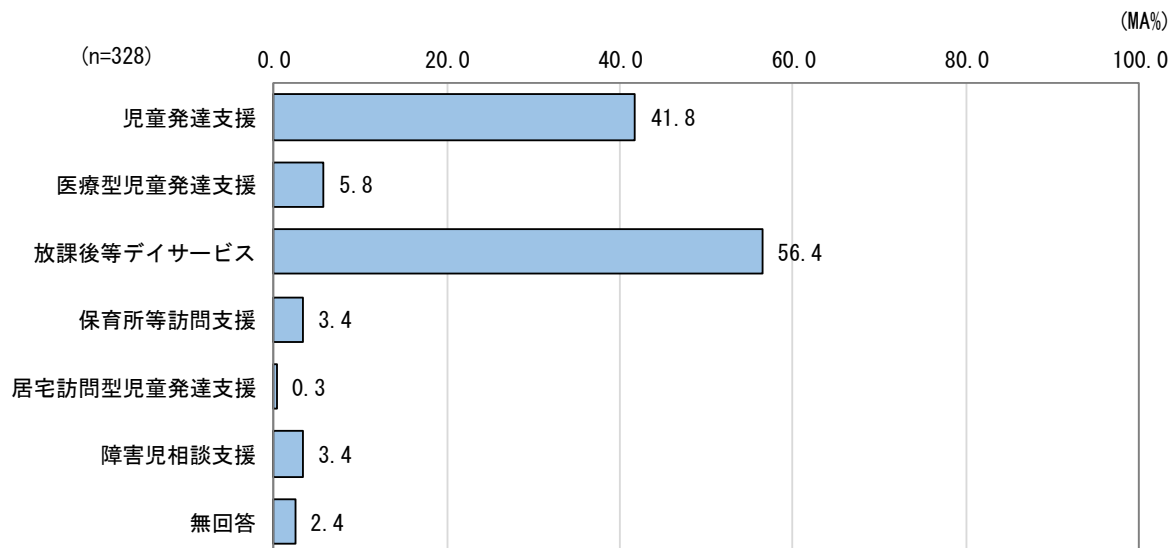
(1) 現在利用しているサービス

問 13

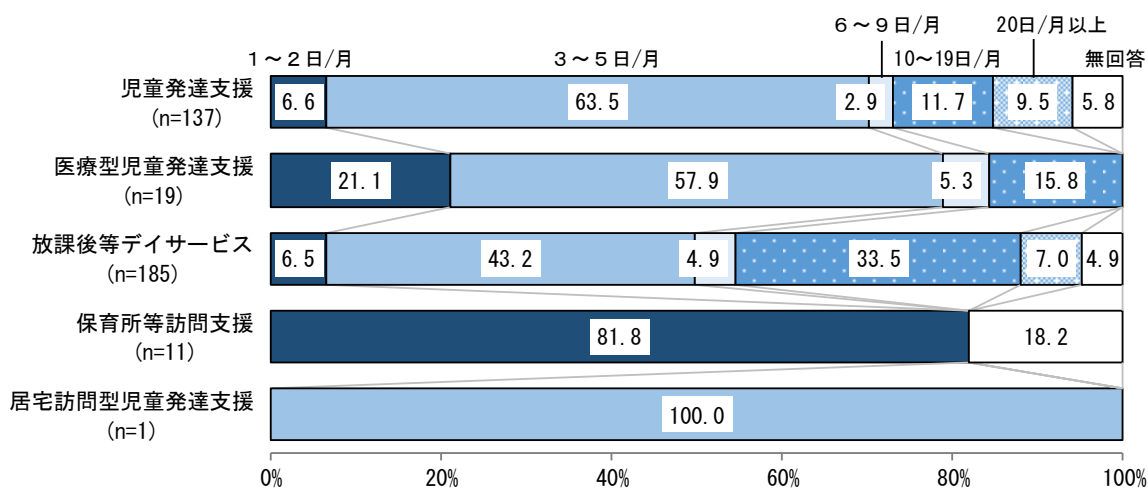
現在利用しているサービスの番号すべてに○をつけてください。また、利用しているサービスの利用日数をご記入ください。

○はいくつでも

現在利用しているサービスについて、「放課後等デイサービス」が56.4%で最も多く、次いで「児童発達支援」が41.8%、「医療型児童発達支援」が5.8%となっています。



サービスを利用している人に、1か月あたりの利用日数についてたずねたところ、「児童発達支援」では「3～5日/月」が63.5%で最も多く、「医療型児童発達支援」では「3～5日/月」が57.9%で最も多く、「放課後等デイサービス」では「3～5日/月」が43.2%で最も多く、「保育所等訪問支援」では「1～2日/月」が81.8%で最も多くなっています。

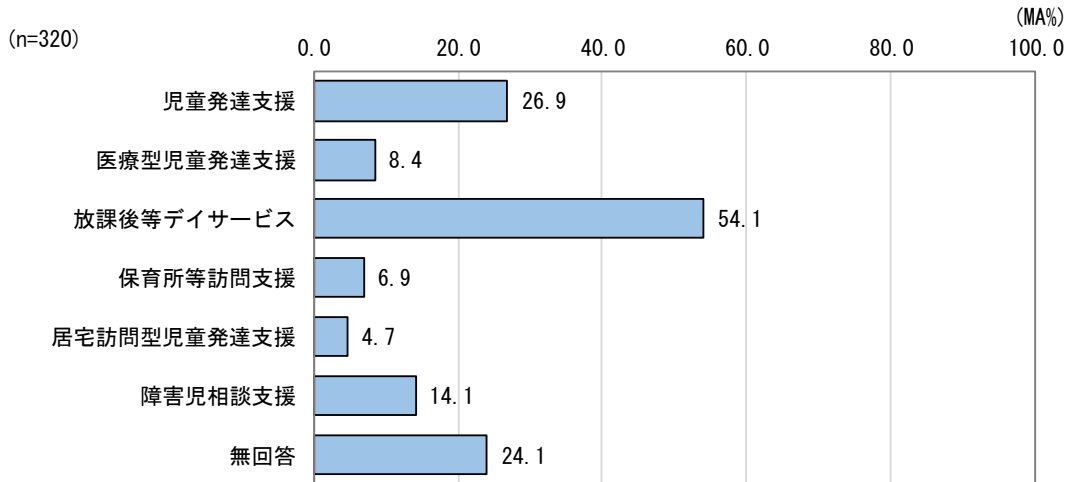


※「0.0」は省略しています。

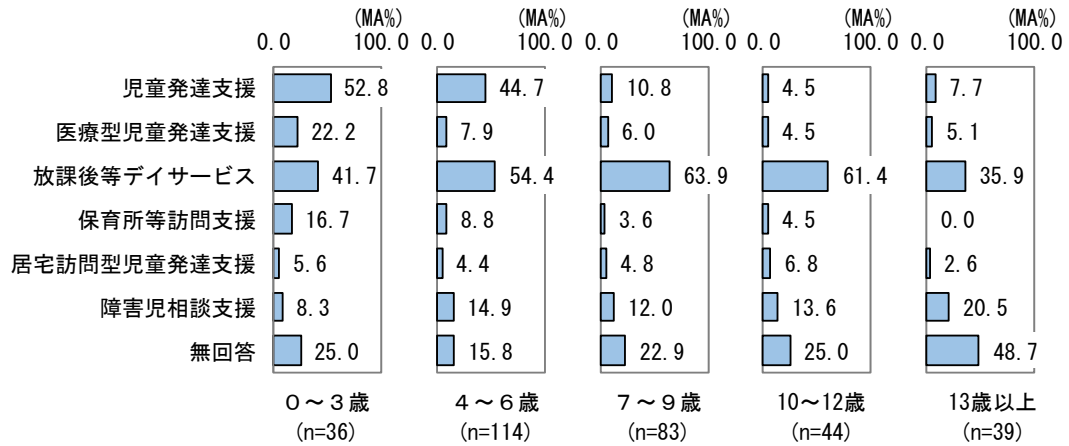
(2) 今後利用したいサービス

問 13-1 下記のサービスで今後、利用したいと思うものがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。 ○はいくつでも

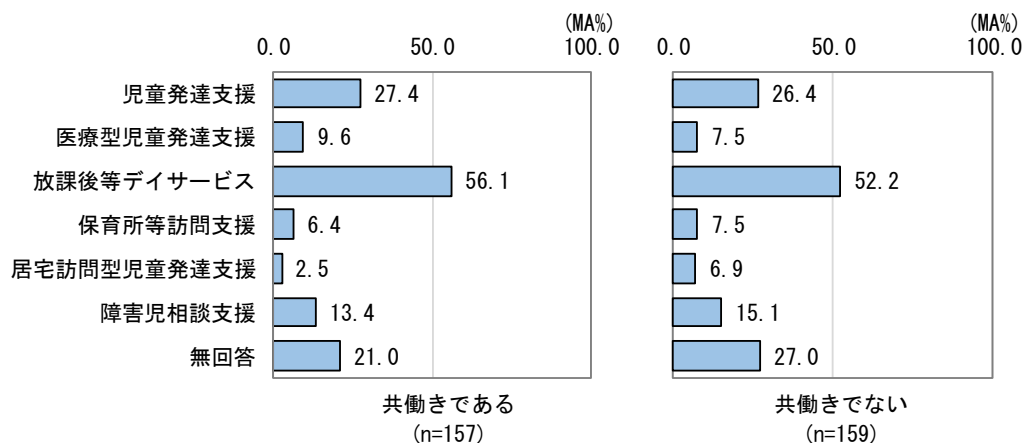
今後利用したいと思うサービスについて、「放課後等デイサービス」が54.1%で最も多く、次いで「児童発達支援」が26.9%、「障害児相談支援」が14.1%となっています。



子どもの年齢別でみると、「0～3歳」では「児童発達支援」が52.8%で最も多く、「4～6歳」では「放課後等デイサービス」が54.4%で最も多く、「7～9歳」では「放課後等デイサービス」が63.9%で最も多く、「10～12歳」では「放課後等デイサービス」が61.4%で最も多く、「13歳以上」では「放課後等デイサービス」が35.9%で最も多くなっています。



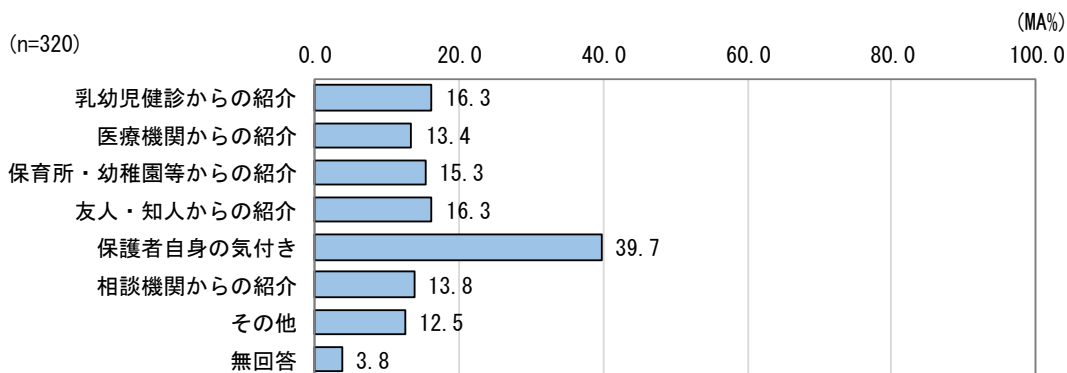
共働き状況別で見ると、いずれも「放課後等デイサービス」が最も多く、「共働きである」が56.1%、「共働きでない」が52.2%となっています。



(3) 利用している通所サービス等の利用のきっかけ

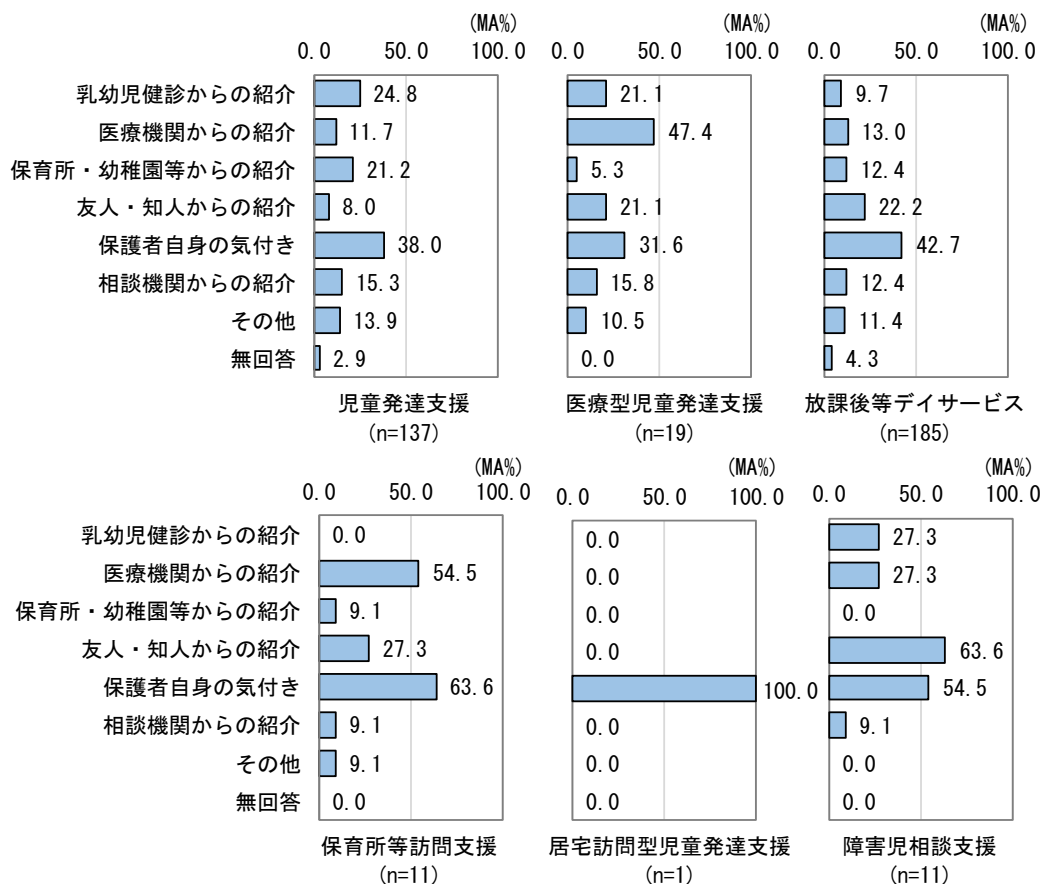
問 14 問 13 で○をつけられた通所サービス等は、どのようなきっかけで利用することになりましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。 ○はいくつでも

通所サービス等を利用するきっかけについて、「保護者自身の気付き」が39.7%で最も多く、次いで「乳幼児健診からの紹介」「友人・知人からの紹介」が16.3%、「保育所・幼稚園等からの紹介」が15.3%となっており、「相談機関からの紹介」の内容として「すくすく親子教室」「市役所」「子育て支援総合センター」など、「その他」の内容として「市役所・学校・巡回相談」「インターネット、SNS等」「自分で探した」などがありました。



第5章 障害児通所支援等利用者調査の結果

利用サービス別でみると、「児童発達支援」では「保護者自身の気付き」が38.0%で最も多く、「医療型児童発達支援」では「医療機関からの紹介」が47.4%で最も多く、「放課後等デイサービス」では「保護者自身の気付き」が42.7%で最も多く、「保育所等訪問支援」では「保護者自身の気付き」が63.6%で最も多く、「障害児相談支援」では「友人・知人からの紹介」が63.6%で最も多くなっています。

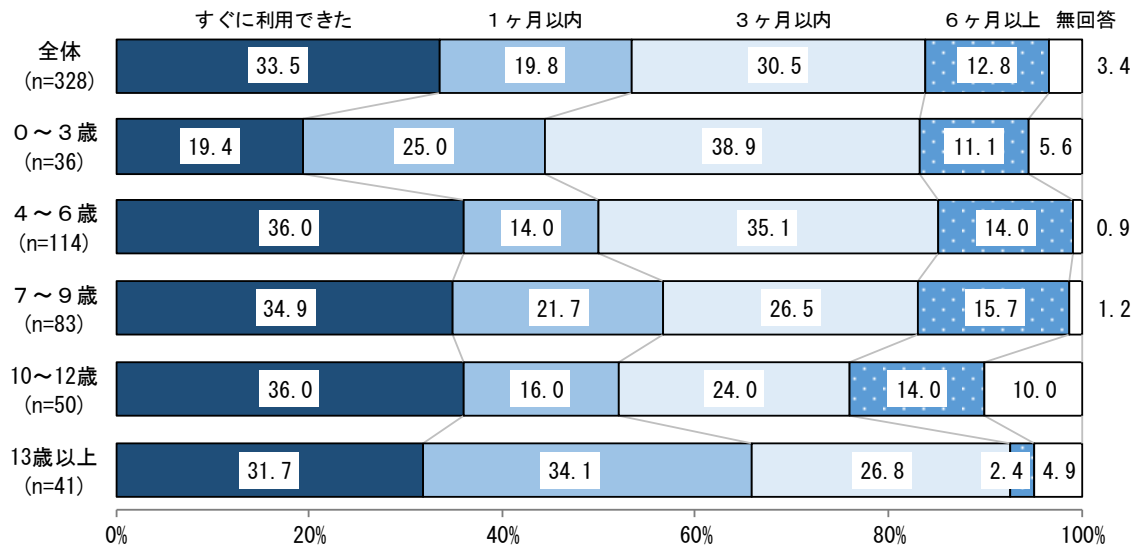


(4) 通所サービス等の利用開始までの期間

問 15 現在利用中の通所サービス等を利用したいと思ってから利用開始までの期間についておうかがいします。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。 ○は1つだけ

現在利用中の通所サービス等を利用したいと思ってから利用開始までの期間について、「すぐに利用できた」が33.5%で最も多く、次いで「3ヶ月以内」が30.5%、「1ヶ月以内」が19.8%となっています。

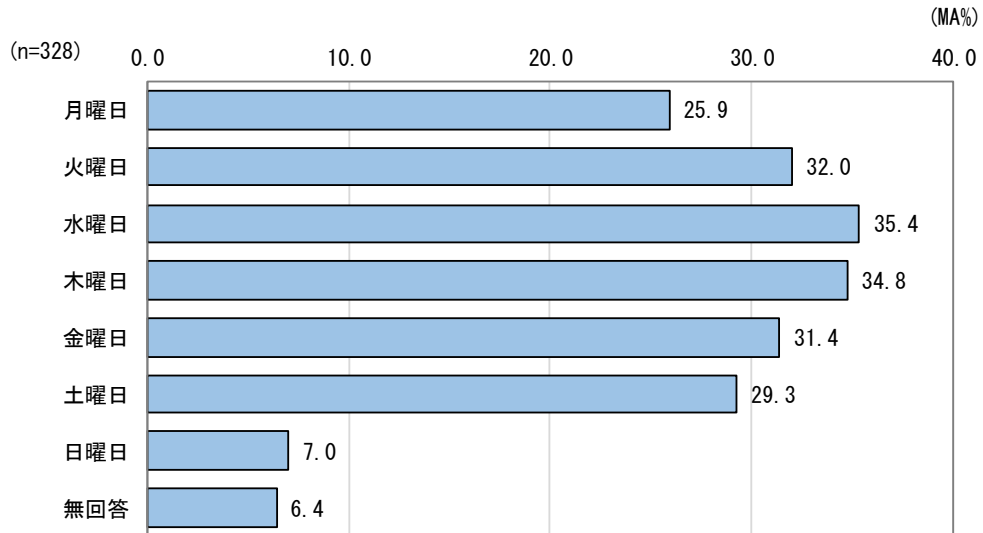
子どもの年齢別で見ると、「すぐに利用できた」では「0～3歳」が19.4%、「4～6歳」が36.0%、「7～9歳」が34.9%、「10～12歳」が36.0%、「13歳以上」が31.7%となっています。



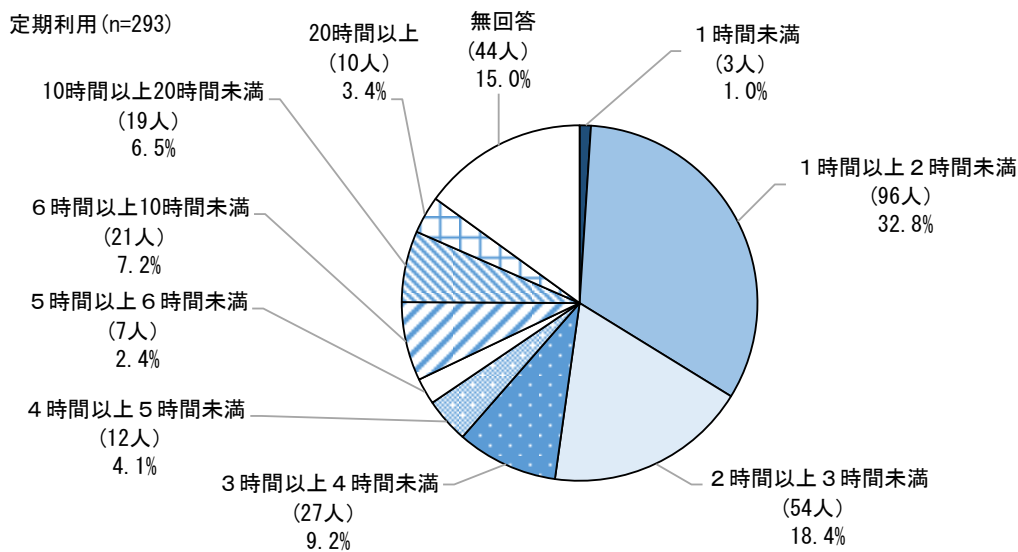
(5) 通所サービス等の利用日・利用時間

問 16 現在利用中の通所サービス等の利用日、利用時間についておうかがいします。 ○はいくつでも数値記入

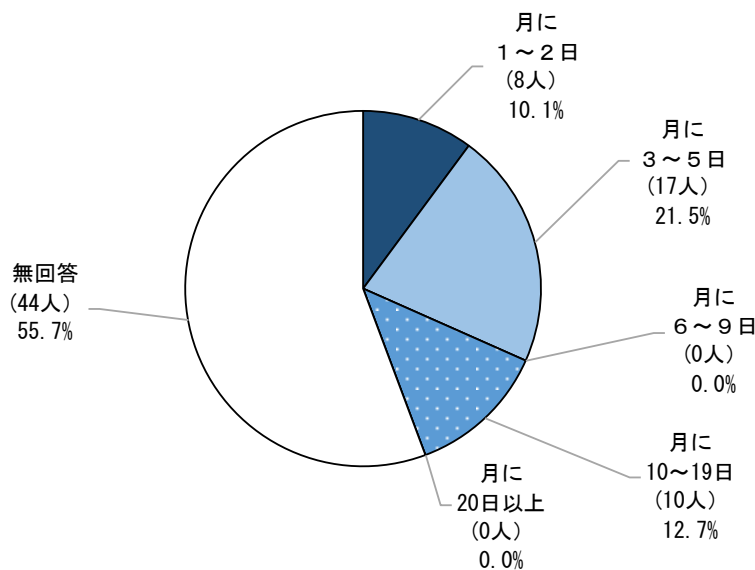
現在利用中の通所サービス等を利用している曜日について、「水曜日」が 35.4%で最も多く、次いで「木曜日」が 34.8%、「火曜日」が 32.0%となっています。



現在利用中の通所サービス等を利用している時間・日について、定期に利用している場合は、「1時間以上2時間未満」が 32.8%で最も多く、次いで「2時間以上3時間未満」が 18.4%、「3時間以上4時間未満」が 9.2%となっており、不定期に利用している場合は、「月に3～5日」が 21.5%で最も多く、次いで「月に10～19日」が 12.7%、「月に1～2日」が 10.1%となっています。



不定期利用 (n=79)

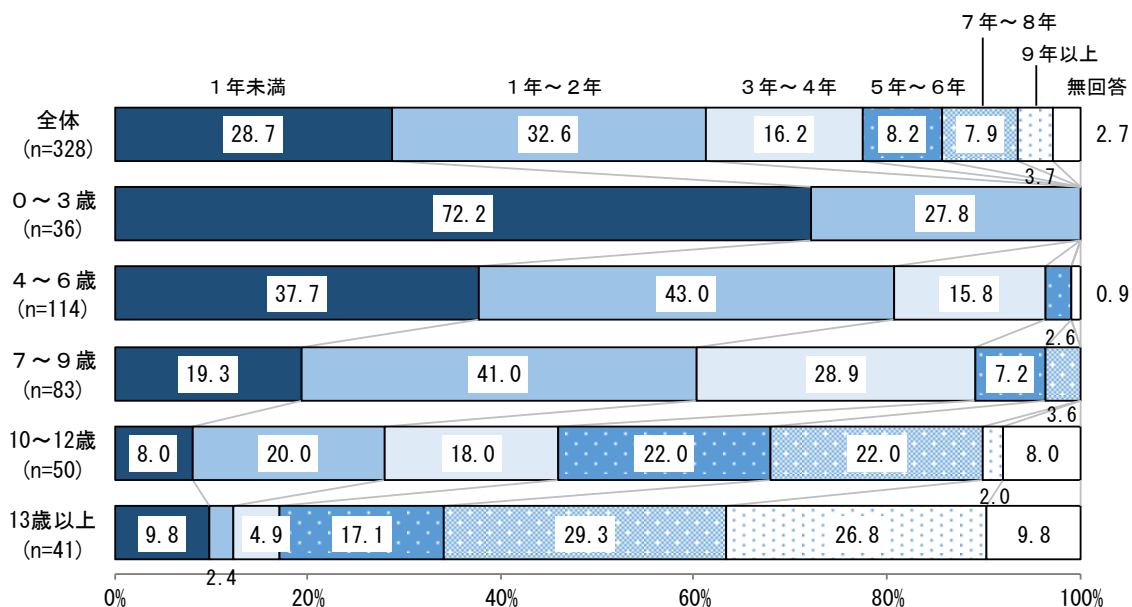


(6) 通所サービス等の利用期間

問 17 現在までの通所サービス等の利用期間についておうかがいします。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。 ○は1つだけ

現在までの通所サービス等の利用期間について、「1年～2年」が32.6%で最も多く、次いで「1年未満」が28.7%、「3年～4年」が16.2%となっています。

子どもの年齢別でみると、「0～3歳」では「1年未満」が72.7%で最も多く、「4～6歳」では「1年～2年」が43.0%で最も多く、「7～9歳」では「1年～2年」が41.0%で最も多く、「10～12歳」では「5年～6年」「7年～8年」が22.0%で最も多く、「13歳以上」では「7年～8年」が29.3%で最も多くなっています。



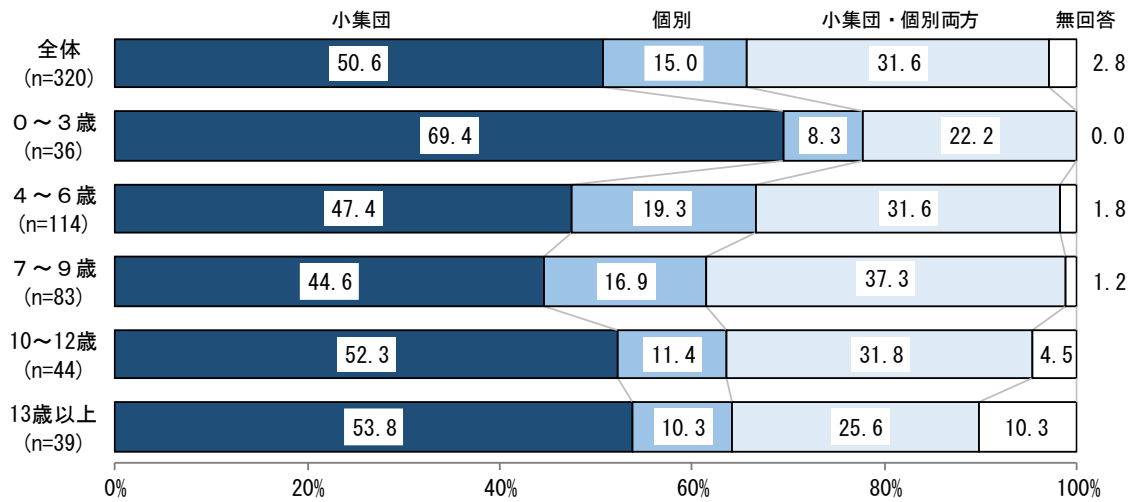
※「0.0」は省略しています。

(7) 療育の種類

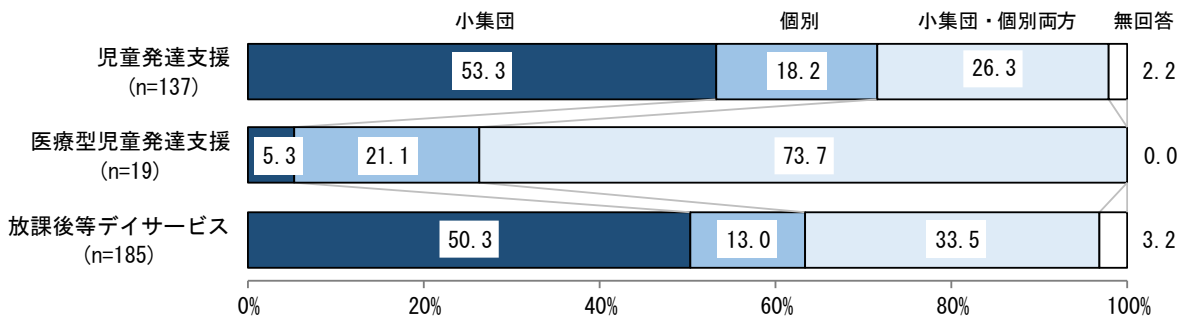
問 18	問 13 で「児童発達支援」「医療型児童発達支援」「放課後等デイサービス」を選ばれた方におうかがいします。どのような療育を受けていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください	○は1つだけ
-------------	--	--------

「児童発達支援」「医療型児童発達支援」「放課後等デイサービス」を利用している人に、どのような療育を受けているのかについてたずねたところ、「小集団」が50.6%で最も多く、次いで「小集団・個別両方」が31.6%、「個別」が15.0%となっています。

子どもの年齢別でみると、いずれも「小集団」が最も多く、「0～3歳」が69.4%、「4～6歳」が47.4%、「7～9歳」が44.6%、「10～12歳」が52.3%、「13歳以上」が53.8%となっています。



利用サービス別でみると、「児童発達支援」では「小集団」が53.3%で最も多く、「医療型児童発達支援」では「小集団・個別両方」が73.7%で最も多く、「放課後等デイサービス」では「小集団」が50.3%で最も多くなっています。

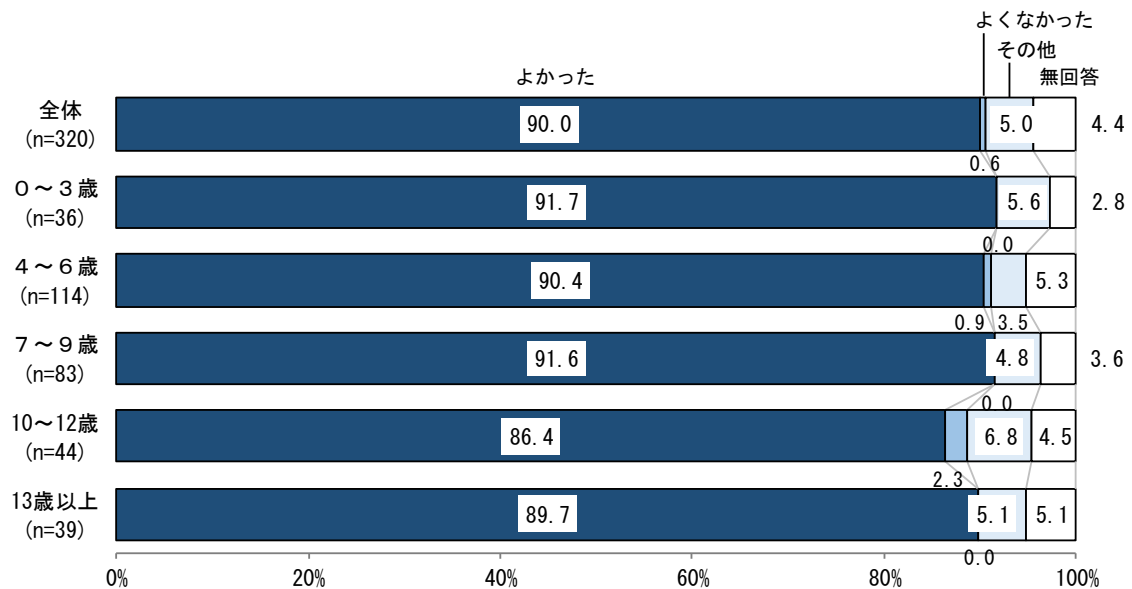


(8) 児童発達支援・医療型児童発達支援・放課後等デイサービスの満足度

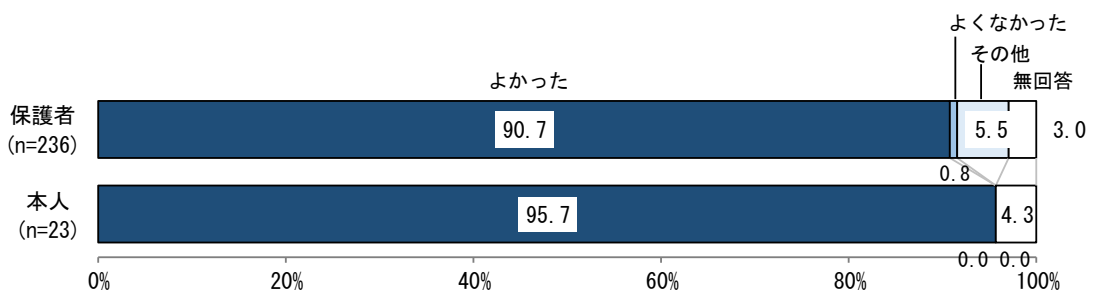
問 19	問 13 で「児童発達支援」「医療型児童発達支援」「放課後等デイサービス」を選ばれた方におうかがいします。通所サービス等を利用して、どのように思われましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけて理由もお書きください。	○は1つだけ
-------------	---	--------

「児童発達支援」「医療型児童発達支援」「放課後等デイサービス」を利用している人に、利用してどう思ったかについてたずねたところ、「よかった」が90.0%で最も多く、次いで「その他」が5.0%、「よくなかった」が0.6%となっており、「よかった」の理由として「子どもに合った指導をしていて成長していると感じるから」「本人が楽しんでいるから」「いろいろと相談ができる、アドバイスをもらえるから」など、「その他」の内容として「効果がよくわからない」「自分の子に合っているかわからない」「あまり効果がなかった」などがありました。

子どもの年齢別で見ると、いずれも「よかった」が最も多く、「0～3歳」が91.7%、「4～6歳」が90.4%、「7～9歳」が91.6%、「10～12歳」が86.4%、「13歳以上」が89.7%となっています。



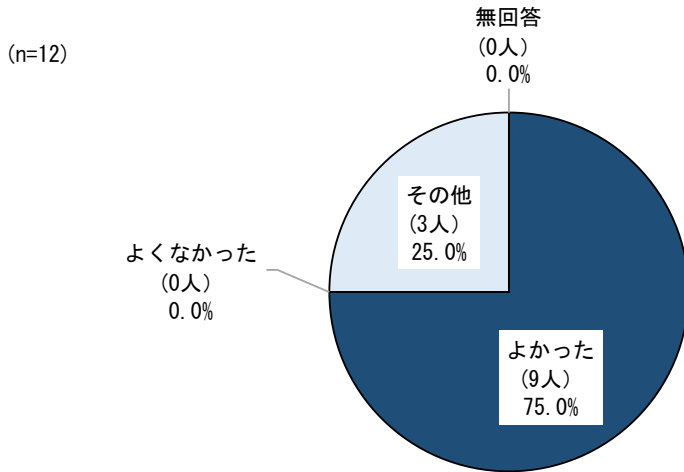
回答者別で見ると、どちらの回答者も「よかった」が多く、保護者が90.7%、本人が95.7%となっています。



(9) 保育所等訪問支援・居宅訪問型児童発達支援の満足度

問 20	問 13 で「保育所等訪問支援」「居宅訪問型児童発達支援」を選ばれた方におうかがいします。通所サービス等を利用して、どのように思われましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけて理由もお書きください。	○は1つだけ
-------------	---	--------

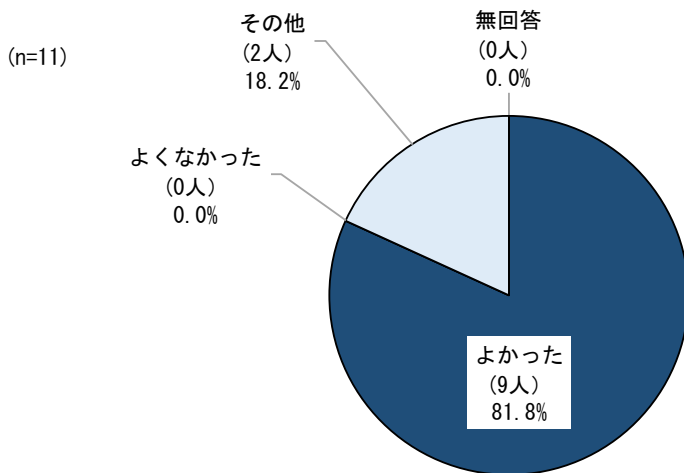
「保育所等訪問支援」「居宅訪問型児童発達支援」を利用している人に、利用してどう思ったかについてたずねたところ、「よかった」が75.0%で最も多く、次いで「その他」が25.0%、「よくなかった」が0.0%となっています。



(10) 障害児相談支援の満足度

問 21	問 13 で「障害児相談支援」を選ばれた方におうかがいします。サービス等を利用して、どのように思われましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけて理由もお書きください。	○は1つだけ
-------------	---	--------

「障害児相談支援」を利用している人に、利用してどう思ったかについてたずねたところ、「よかった」が81.8%で最も多く、次いで「その他」が18.2%、「よくなかった」が0.0%となっています。

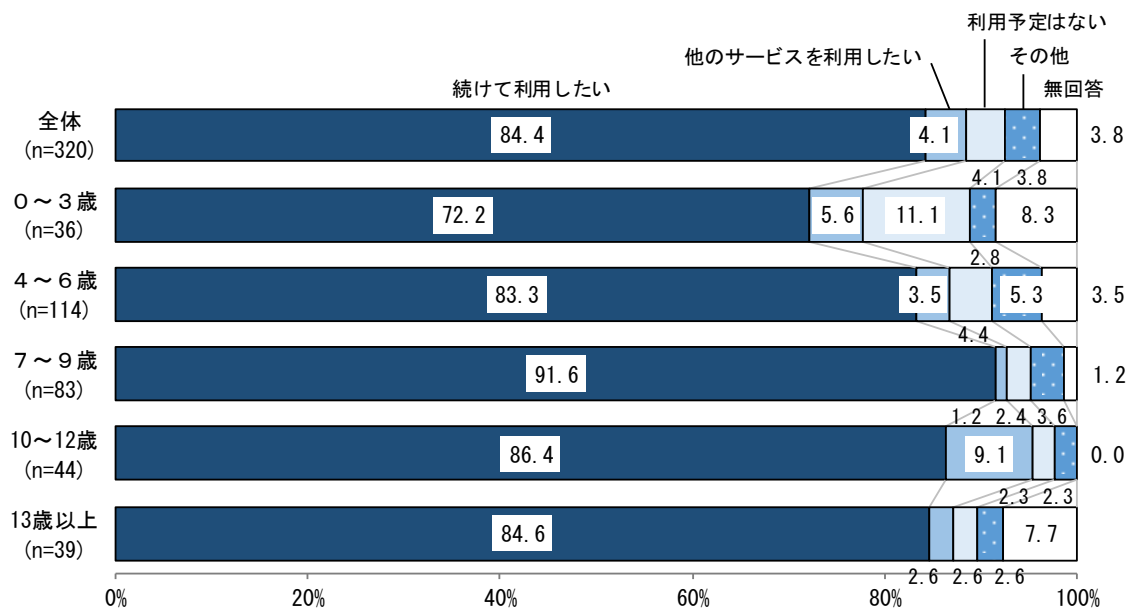


(11) 通所サービス等の今後の利用意向

問 22 問 13 で○をつけられた通所サービス等の今後の利用についておうかがいします。あてはまる番号に1つだけ○をつけて理由もお書きください。 ○は1つだけ

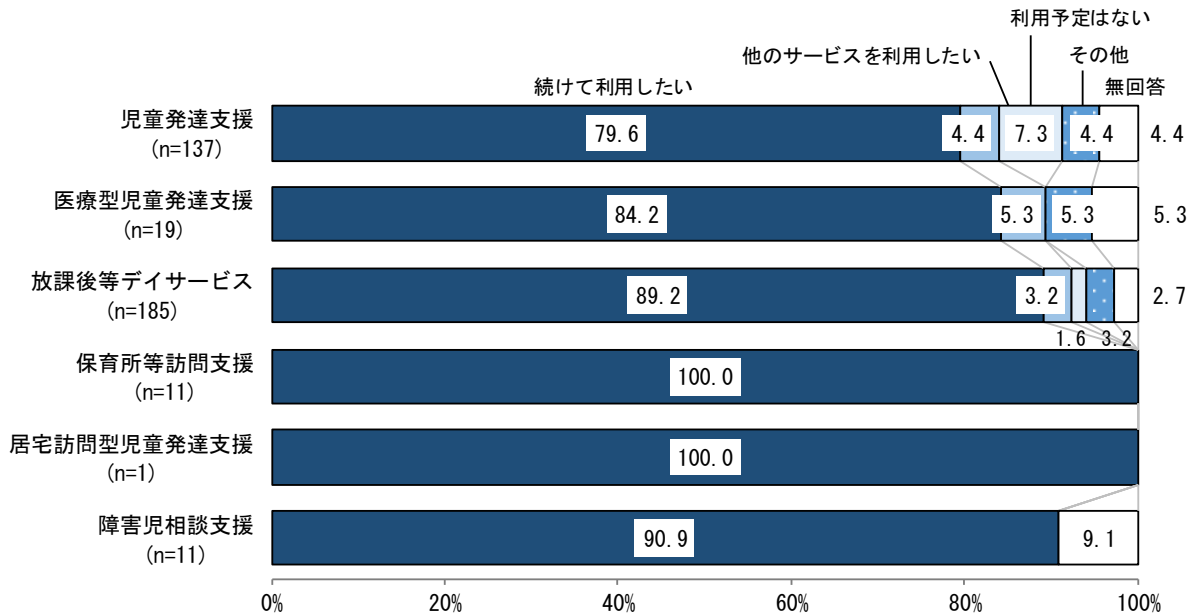
通所サービス等の今後の利用について、「続けて利用したい」が84.4%で最も多く、次いで「他のサービスを利用したい」「利用予定はない」が4.1%、「その他」が3.8%となっており、「続けて利用した」の理由として「本人が喜んでいる、子どもに合っているから」「子どもの成長のために必要だから」「いろいろと相談ができる、アドバイスをもらえるから」など、「他のサービスを利用したい」の理由として「子どもに合わないと思うから」「デイサービスへ移行するため」「利用できる日数が少ないから」など、「利用予定はない」の理由として「幼稚園に入園するため」「進学するため」「利用条件に合わなくなったため」など、「その他」の内容として「検討中」「利用条件に合わなくなったため」「子どもに合う所を探している」などがありました。

子どもの年齢別でみると、いずれも「続けて利用したい」が最も多く、「0～3歳」が72.2%、「4～6歳」が83.3%、「7～9歳」が91.6%、「10～12歳」が86.4%、「13歳以上」が84.6%となっています。



第5章 障害児通所支援等利用者調査の結果

利用サービス別でみると、いずれも「続けて利用したい」が最も多く、「児童発達支援」が79.6%、「医療型児童発達支援」が84.2%、「放課後等デイサービス」が89.2%、「保育所等訪問支援」が100.0%、「居宅訪問型児童発達支援」が100.0%、「障害児相談支援」が90.9%となっています。

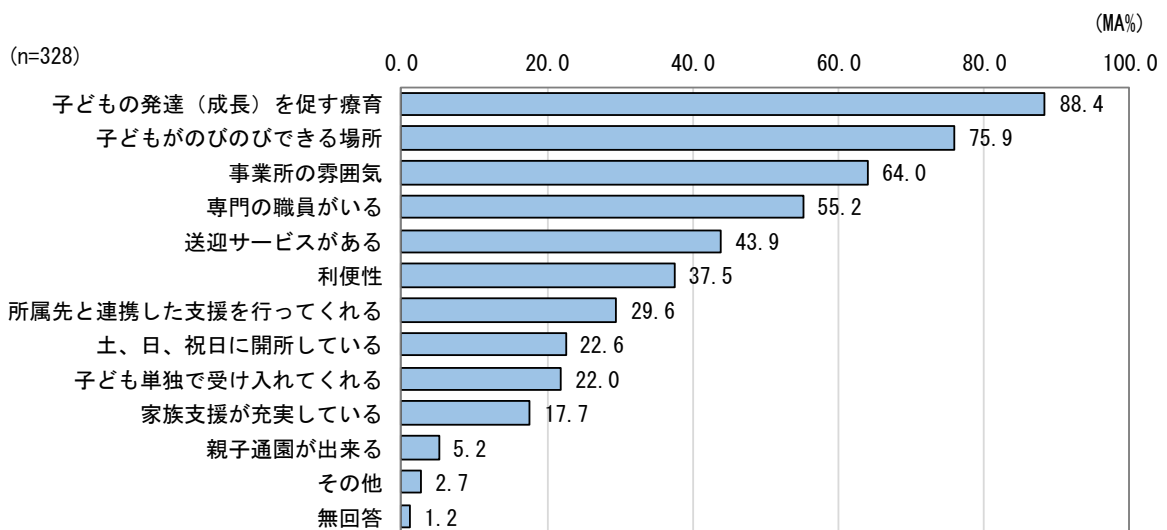


※「0.0」は省略しています。

(12) 通所サービス等を利用する際に重視すること

問 23 通所サービス等を利用する際に重視することは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。 ○はいくつでも

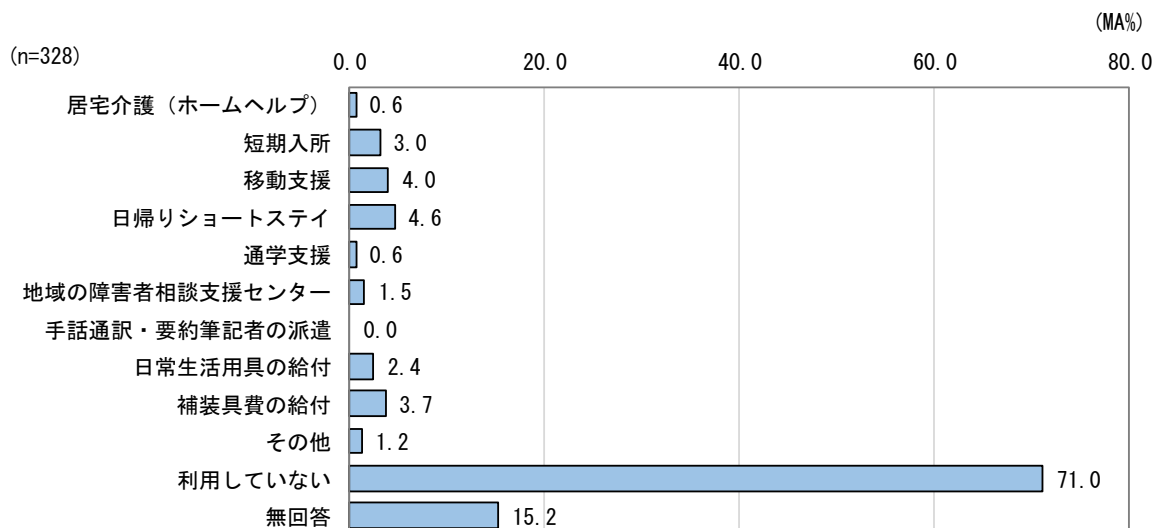
通所サービス等を利用する際に重視することについて、「子どもの発達（成長）を促す療育」が88.4%で最も多く、次いで「子どもがのびのびできる場所」が75.9%、「事業所の雰囲気」が64.0%となっています。



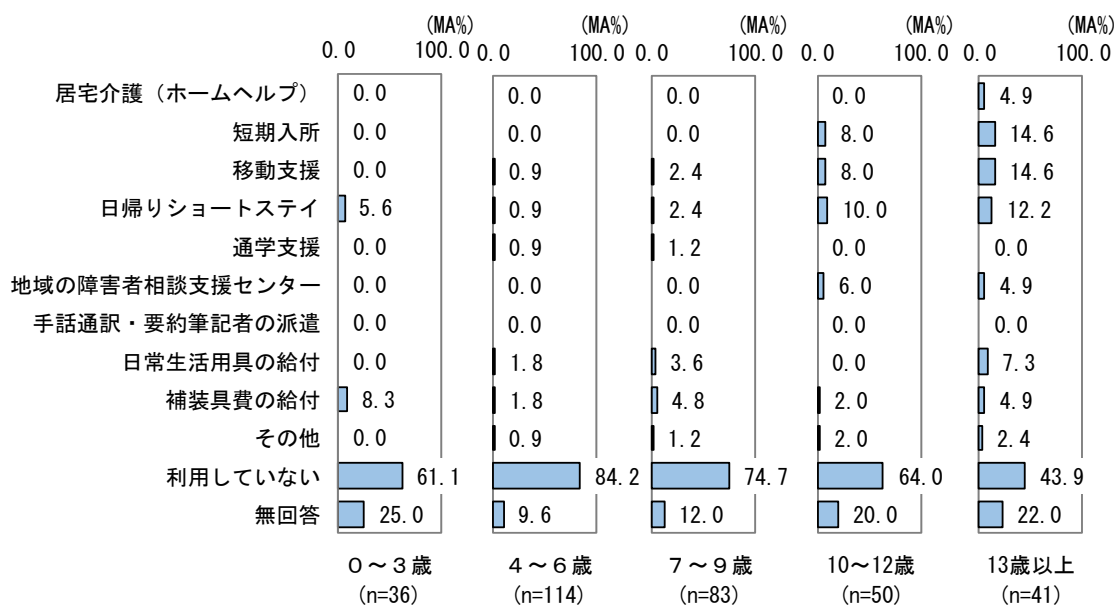
(13) 通所サービス等以外で現在利用しているサービス

問 24	通所サービス等（通所受給者証（オレンジ色の受給者証）に掲載）以外の障害福祉サービス等のうち、お子さんが現在利用しているものは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください	○はいくつでも
-------------	---	---------

通所サービス等以外の障害福祉サービス等のうち、現在利用しているものについて、「利用していない」が71.0%で最も多く、次いで「日帰りショートステイ」が4.6%、「移動支援」が4.0%となっています。



子どもの年齢別でみると、いずれも「利用していない」が最も多いですが、『利用している』（「利用していない」「無回答」以外）では「13歳以上」が34.1%で最も多く、次いで「10～12歳」が16.0%、「0～3歳」が13.9%となっており、「移動支援」「日帰りショートステイ」では4歳以降において年齢が上がるにつれて割合が高くなっています。

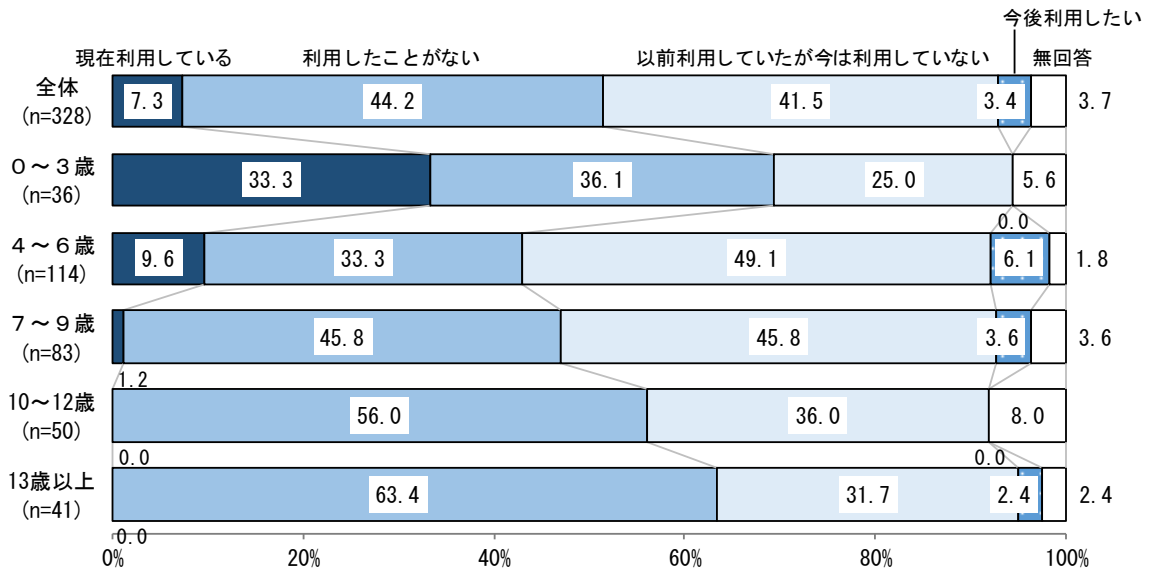


(14) 地域子育て支援センター・つどいの広場・子育てサークル等の利用状況

問 25 地域子育て支援センター・つどいの広場・子育てサークル等の利用について
 おうかがいします。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。 ○は1つだけ

地域子育て支援センター・つどいの広場・子育てサークル等の利用について、「利用したことがない」が44.2%で最も多く、次いで「以前利用していたが今は利用していない」が41.5%、「現在利用している」が7.3%となっています。

子どもの年齢別でみると、「0～3歳」では「利用したことがない」が36.1%で最も多く、「4～6歳」では「以前利用していたが今は利用していない」が49.1%で最も多く、「7～9歳」では「利用したことがない」「以前利用していたが今は利用していない」が45.8%で最も多く、「10～12歳」では「利用したことがない」が56.0%で最も多く、「13歳以上」では「利用したことがない」が63.4%で最も多くなっています。

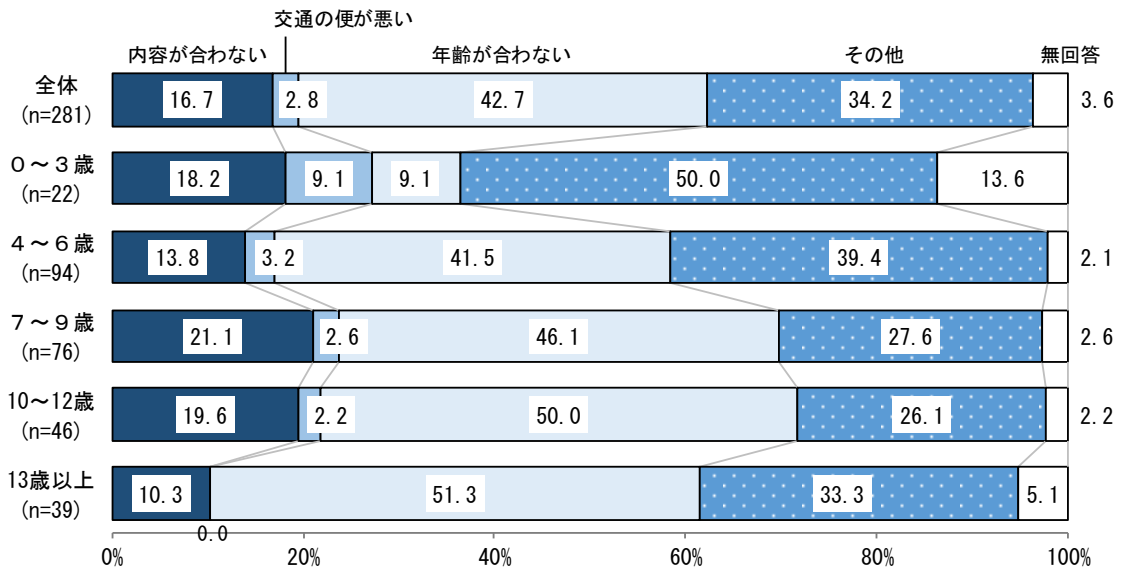


(15) 地域子育て支援センター・つどいの広場・子育てサークル等を現在利用していない理由

問 25-1	問 25 で「利用したことがない」または「以前利用していたが今は利用していない」を選ばれた方におうかがいします。利用されない理由について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください	○は1つだけ
---------------	--	--------

地域子育て支援センター・つどいの広場・子育てサークル等を現在利用していない人に、その理由についてたずねたところ、「年齢が合わない」が42.7%で最も多く、次いで「その他」が34.2%、「内容が合わない」が16.7%となっており、「その他」の内容として「必要性を感じない、知らない、わからない」「他のことで忙しく時間が取れない（仕事をしている等）」「タイミング（日時）が合わないため」などがありました。

子どもの年齢別でみると、「0～3歳」では「その他」が50.0%で最も多く、「4～6歳」では「年齢が合わない」が41.5%で最も多く、「7～9歳」では「年齢が合わない」が46.1%で最も多く、「10～12歳」では「年齢が合わない」が50.0%で最も多く、「13歳以上」では「年齢が合わない」が51.3%で最も多くなっています。



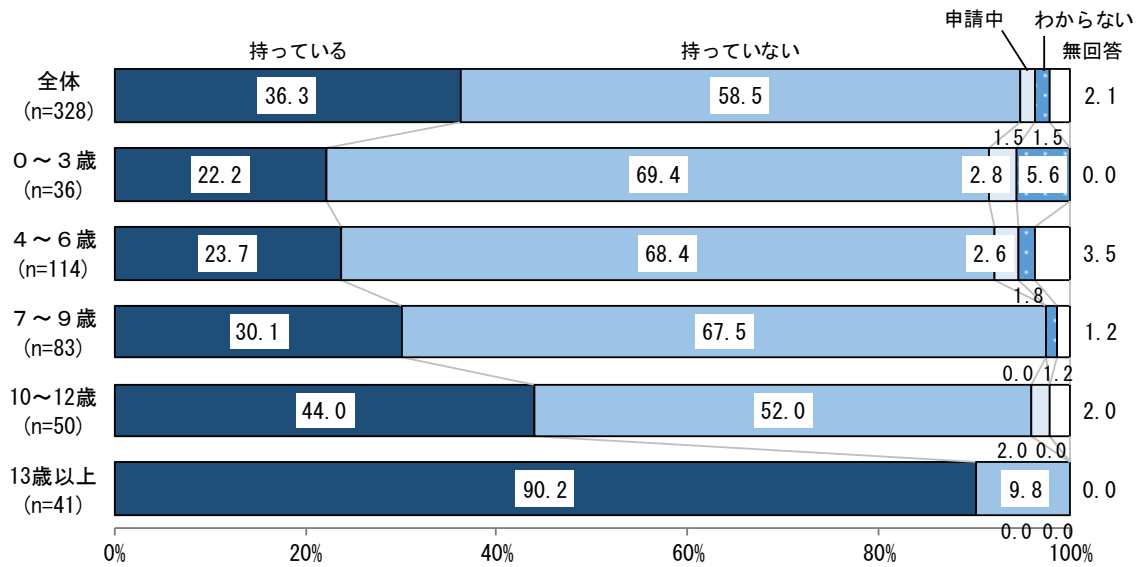
5 障害者手帳

(1) 障害者手帳の所有状況

問 26 各種手帳を持っていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。 ○は1つだけ

各種手帳を持っているかについて、「持っていない」が58.5%で最も多く、次いで「持っている」が36.3%、「申請中」「わからない」が1.5%となっています。

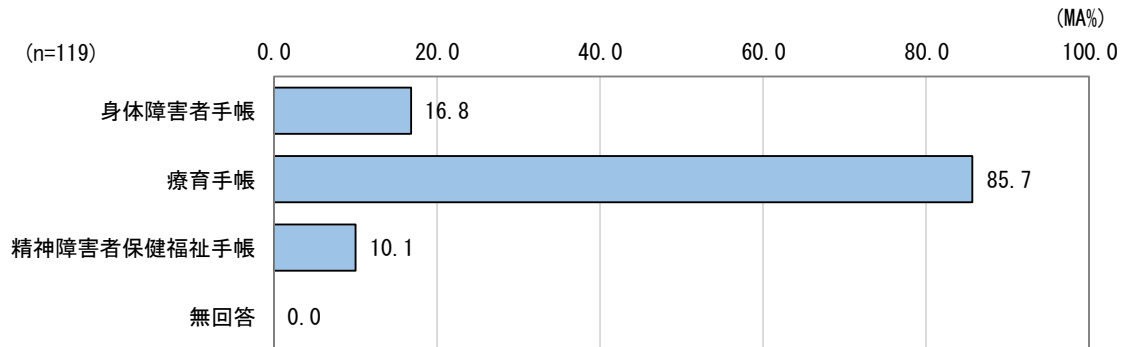
子どもの年齢別で見ると、「持っている」では「0～3歳」が22.2%、「4～6歳」が23.7%、「7～9歳」が30.1%、「10～12歳」が44.0%、「13歳以上」が90.2%となっています。



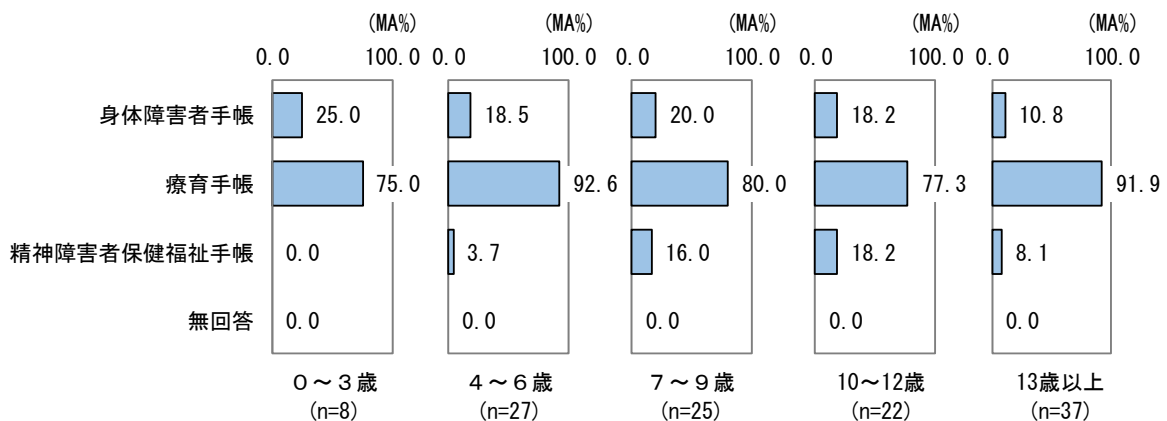
(2) 所有している障害者手帳の種類

問 26-1	問 26 で「持っている」を選ばれた方におうかがいします。お持ちの手帳の種類について、あてはまる番号すべてに○をつけるとともに、それぞれの等級等に○をつけてください。	○はいくつでも
---------------	---	---------

各種手帳を持っている人に、手帳の種類についてたずねたところ、「療育手帳」が85.7%で最も多く、次いで「身体障害者手帳」が16.8%、「精神障害者保健福祉手帳」が10.1%となっています。



子どもの年齢別でみると、いずれも「療育手帳」が最も多く、「0～3歳」が75.0%、「4～6歳」が92.6%、「7～9歳」が80.0%、「10～12歳」が77.3%、「13歳以上」が91.9%となっています。

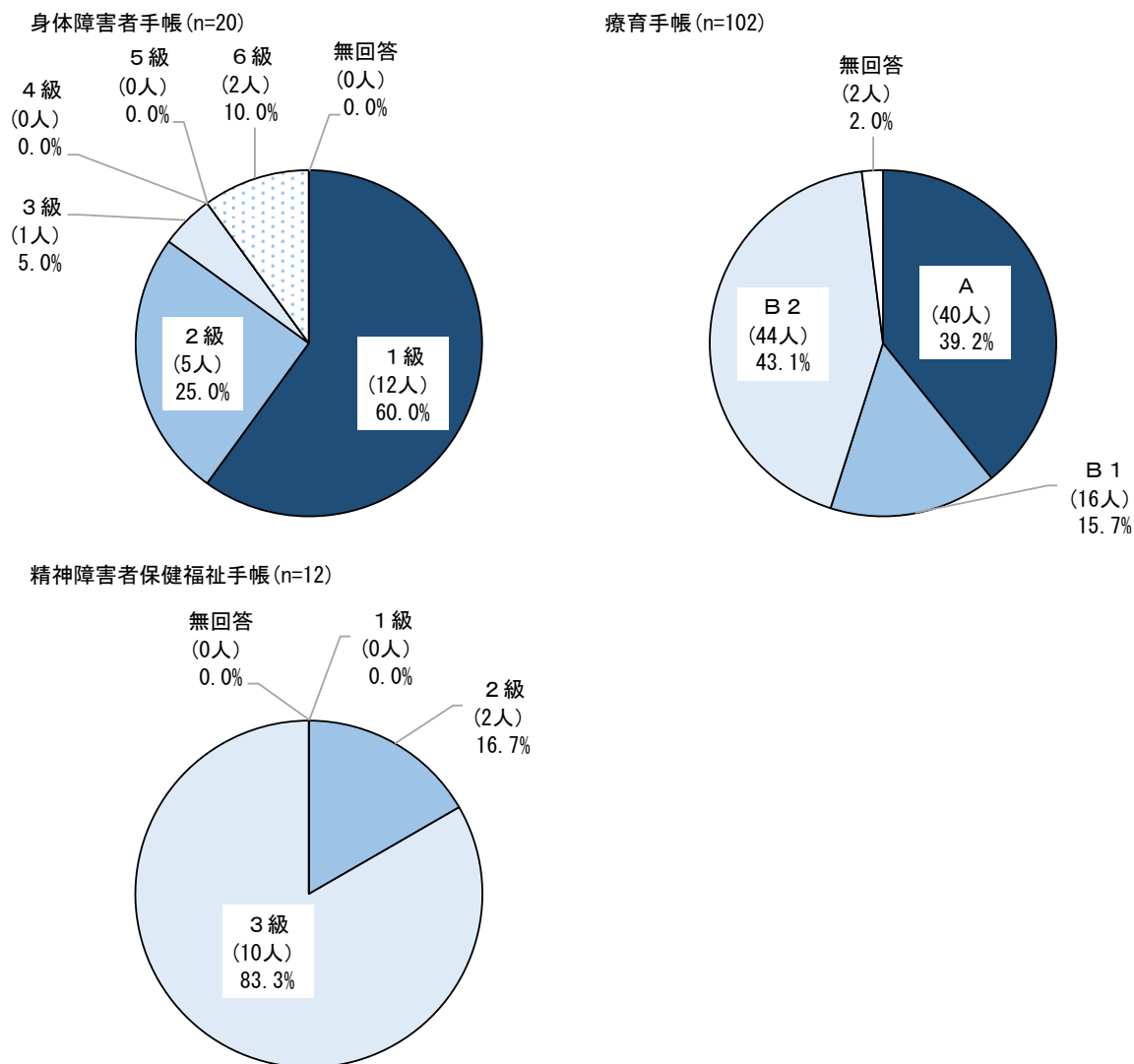


第5章 障害児通所支援等利用者調査の結果

身体障害者手帳を持っている人に、総合等級についてたずねたところ、「1級」が60.0%で最も多く、次いで「2級」が25.0%、「6級」が10.0%となっています。

療育手帳を持っている人に、判定についてたずねたところ、「B2」が43.1%で最も多く、次いで「A」が39.2%、「B1」が15.7%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持っている人に、等級についてたずねたところ、「3級」が83.3%で最も多く、次いで「2級」が16.7%、「1級」が0.0%となっています。

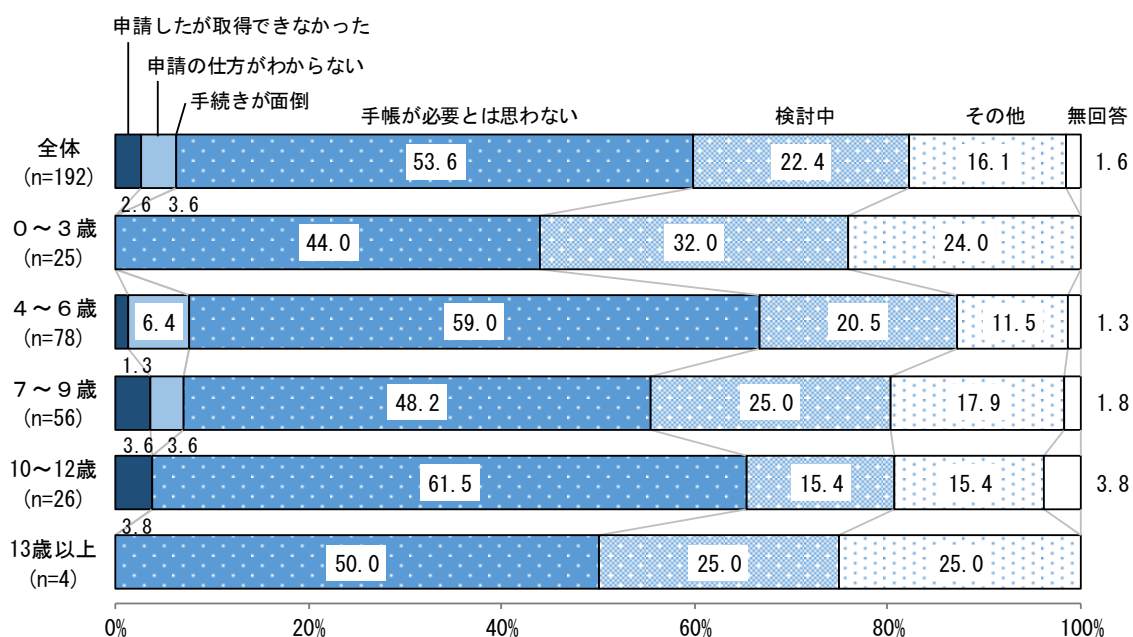


(3) 障害者手帳を持っていない理由

問 26-2	問 26 で「持っていない」を選ばれた方におうかがいします。手帳を持たれていない理由について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。	○は1つだけ
--------	---	--------

各種手帳を持っていない人に、その理由についてたずねたところ、「手帳が必要とは思わない」が53.6%で最も多く、次いで「検討中」が22.4%、「その他」が16.1%となっており、「その他」の内容として「対象になるか分からないから」「対象外と判断されたから」「必要ない」などがありました。

子どもの年齢別でみると、いずれも「手帳が必要とは思わない」が最も多く、「0～3歳」が44.0%、「4～6歳」が59.0%、「7～9歳」が48.2%、「10～12歳」が61.5%、「13歳以上」が50.0%となっています。



※「0.0」は省略しています。

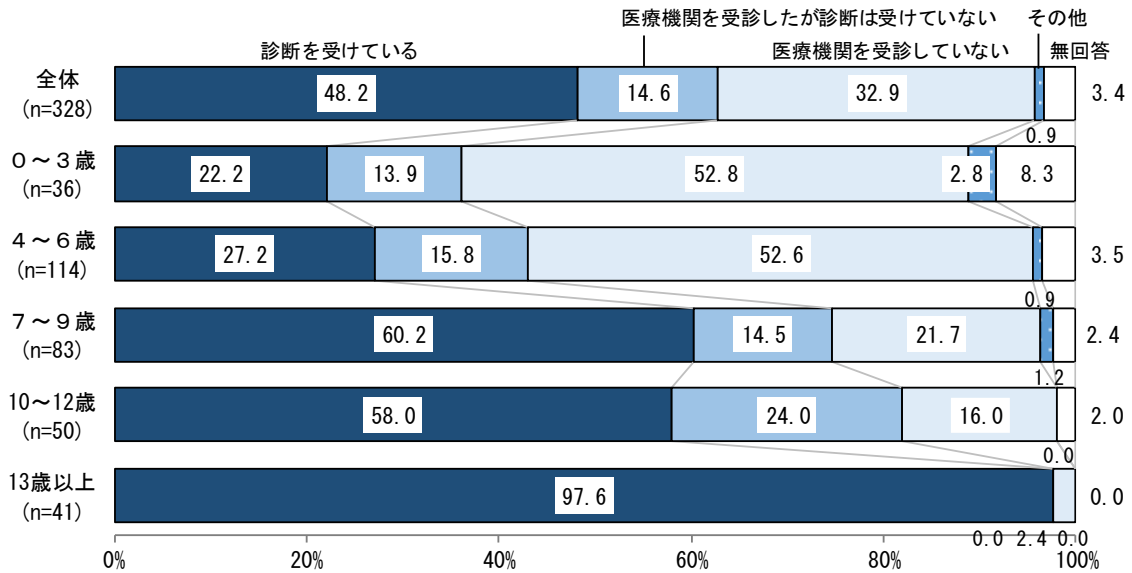
6 医療機関での診断

(1) 医療機関の診断状況

問 27	対象のお子さんは、今までに医療機関で障害についての診断を受けていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。	○は1つだけ
-------------	--	--------

今までに医療機関で障害についての診断を受けているかについて、「診断を受けている」が48.2%で最も多く、次いで「医療機関を受診していない」が32.9%、「医療機関を受診したが診断は受けていない」が14.6%となっています。

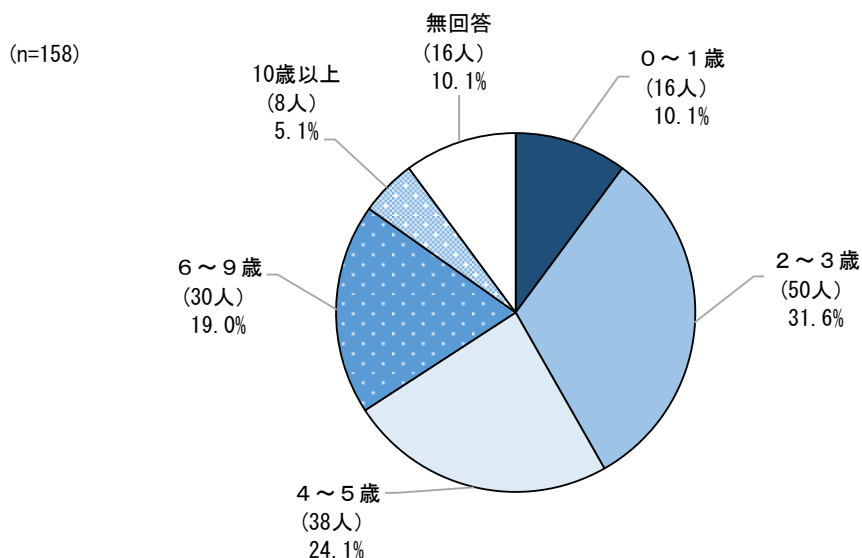
子どもの年齢別でみると、「0～3歳」では「医療機関を受診していない」が52.8%で最も多く、「4～6歳」では「医療機関を受診していない」が52.6%で最も多く、「7～9歳」では「診断を受けている」が60.2%で最も多く、「10～12歳」では「診断を受けている」が58.0%で最も多く、「13歳以上」では「診断を受けている」が97.6%で最も多くなっています。



(2) 診断を受けたときの年齢

問 27-1	問 27 で「診断を受けている」を選ばれた方におうかがいします。診断を受けたときの年齢と医療機関をお書きください。	数値記入 記述
---------------	---	------------

今までに医療機関で障害についての診断を受けた人に、診断を受けたときの年齢についてたずねたところ、「2～3歳」が31.6%で最も多く、次いで「4～5歳」が24.1%、「6～9歳」が19.0%となっています。

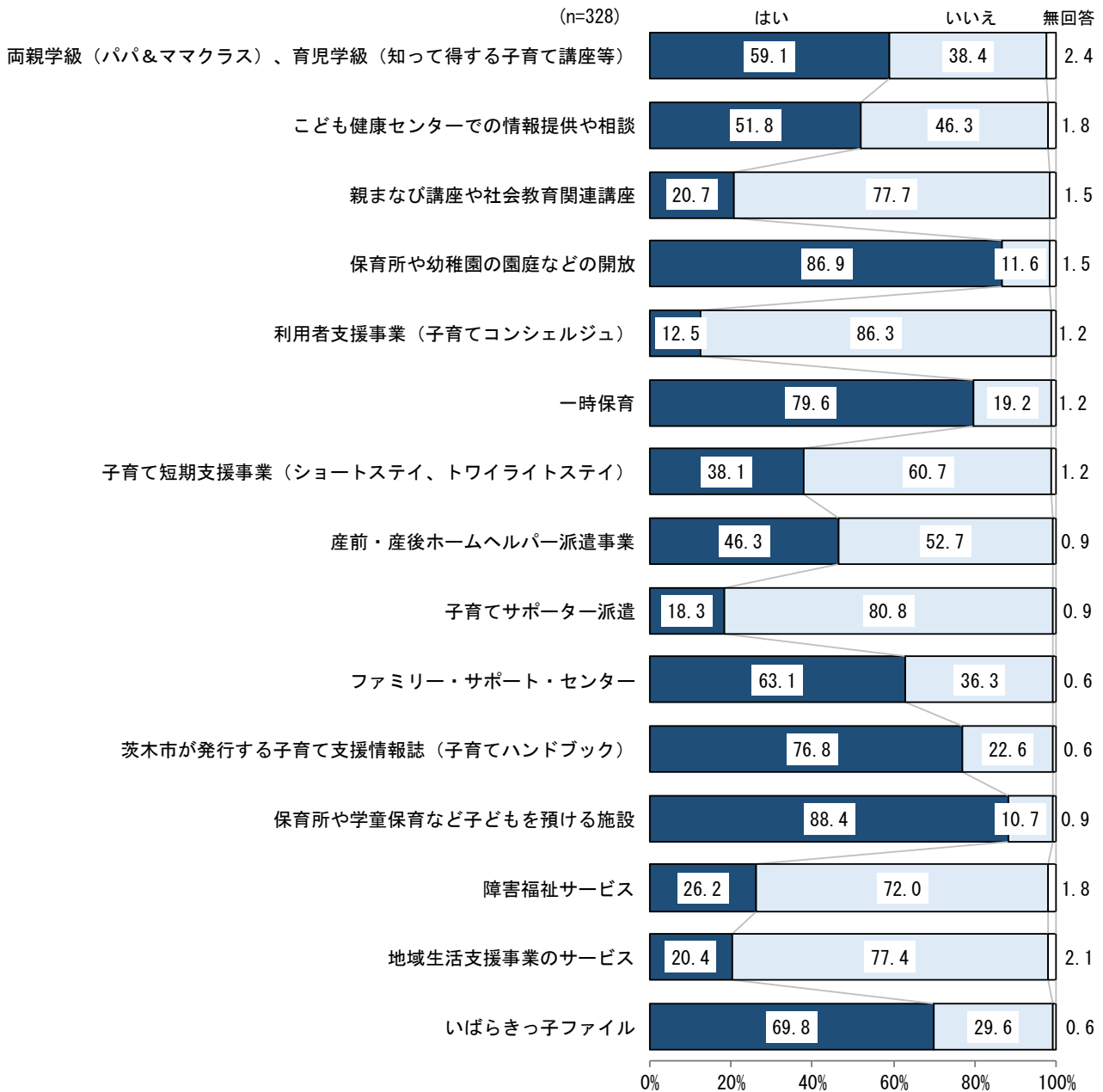


7 子育て支援や障害福祉サービス等

(1) 子育て支援や障害福祉サービス等の認知度・利用意向

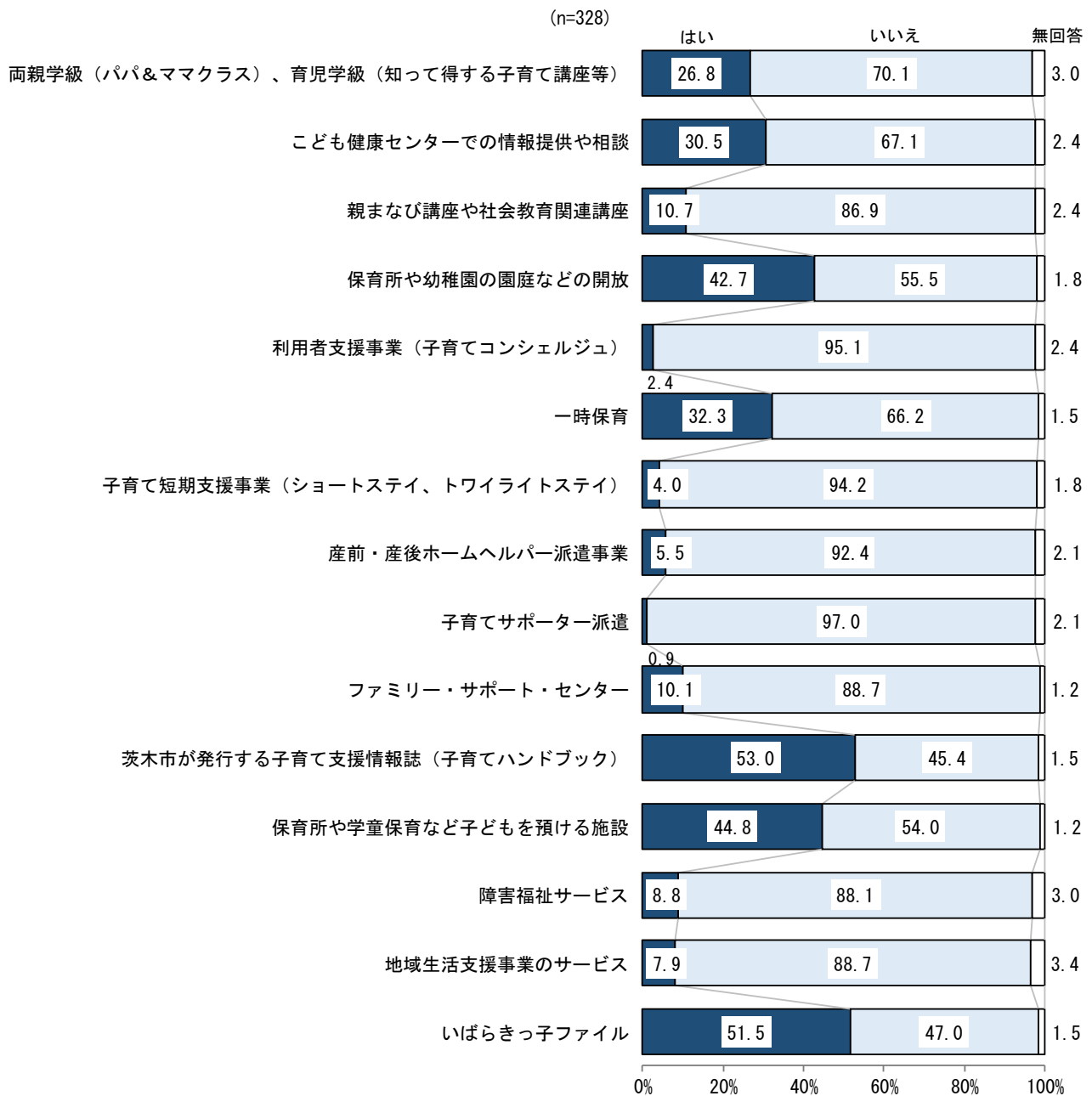
問 28 子育て支援や障害福祉サービス等の認知度や利用状況についておうかがいします。 ○は1つだけ

子育て支援や障害福祉サービス等を知っているかについて、「はい」では「保育所や学童保育など子どもを預ける施設」が88.4%で最も多く、次いで「保育所や幼稚園の園庭などの開放」が86.9%、「一時保育」が79.6%となっています。



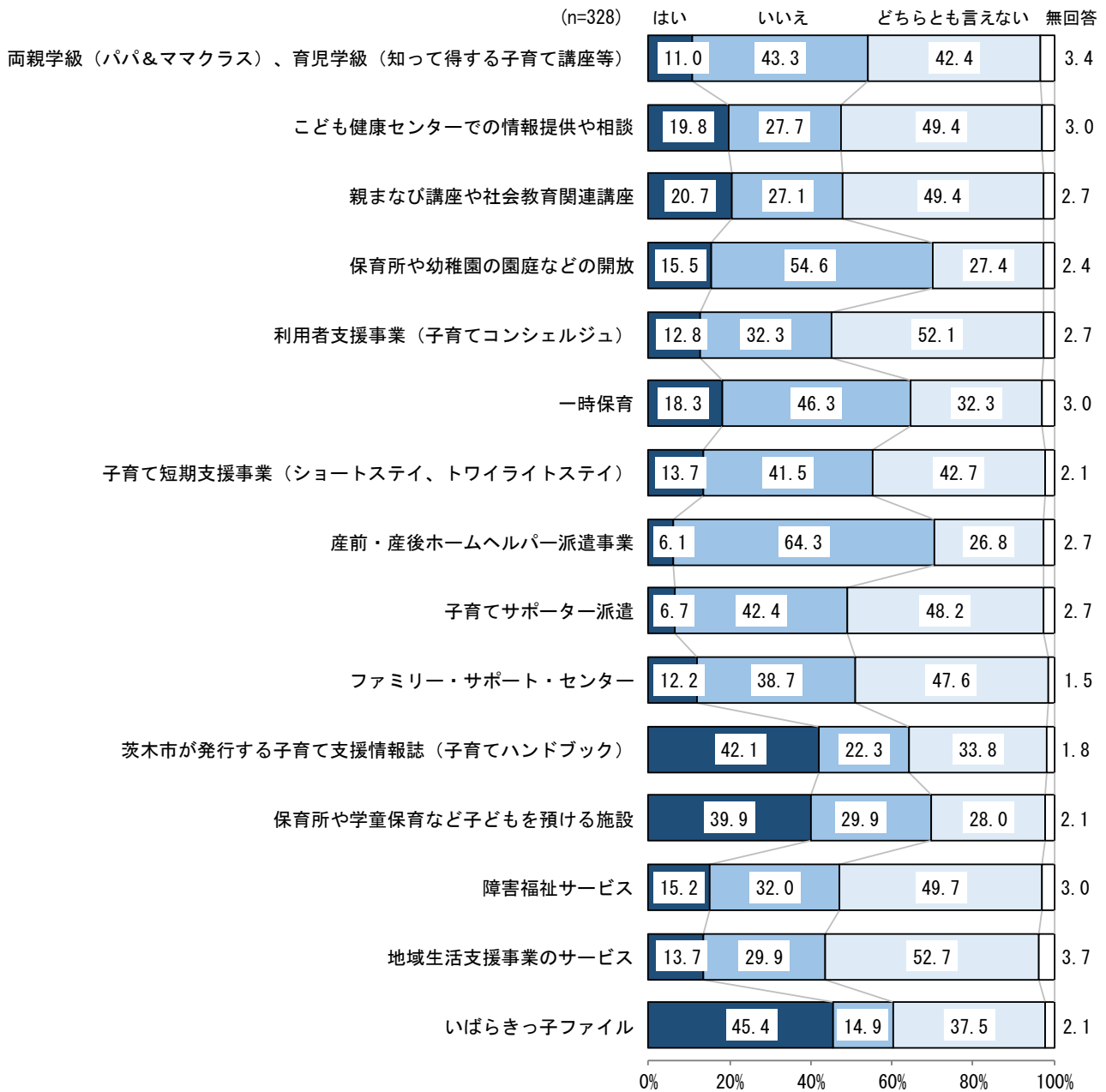
第5章 障害児通所支援等利用者調査の結果

子育て支援や障害福祉サービス等をこれまでに利用したことがあるかについて、「はい」では「茨木市が発行する子育て支援情報誌（子育てハンドブック）」が53.0%で最も多く、次いで「いばらきっ子ファイル」が51.5%、「保育所や学童保育など子どもを預ける施設」が44.8%となっています。



第5章 障害児通所支援等利用者調査の結果

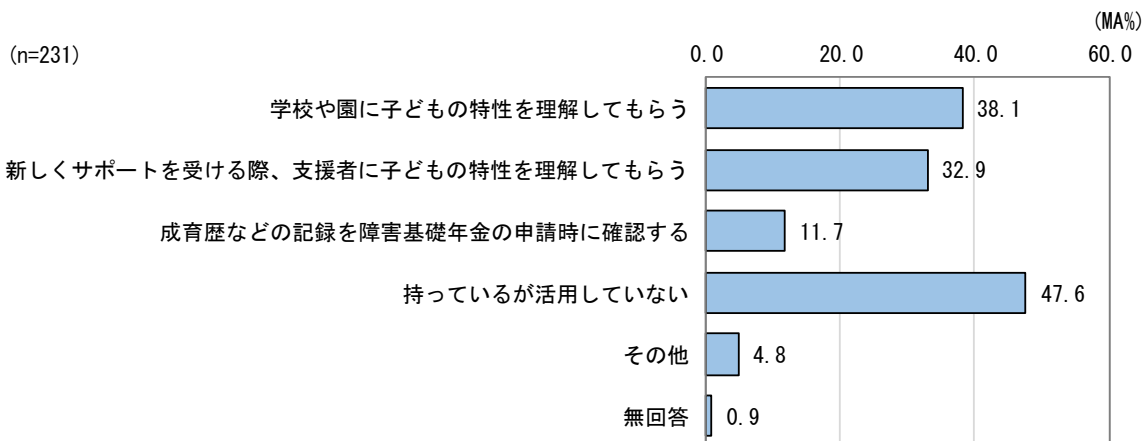
子育て支援や障害福祉サービス等を今後利用したいと思うかについて、「はい」では「いばらきっ子ファイル」が45.4%で最も多く、次いで「茨木市が発行する子育て支援情報誌（子育てハンドブック）」が42.1%、「保育所や学童保育など子どもを預ける施設」が39.9%となっています。



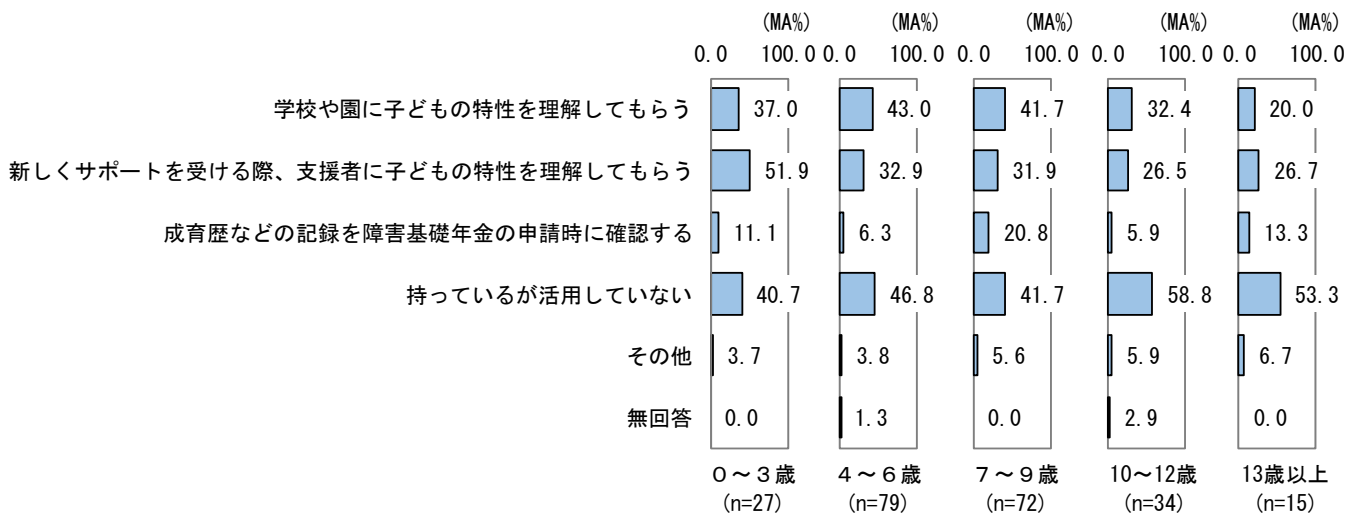
(2) いばらきっ子ファイルの活用状況

問 29	問 28 の「いばらきっ子ファイル」について、「知っていますか」又は「これまでに利用したことがありますか」で「はい」を選ばれた方におうかがいします。「いばらきっ子ファイル」をどのように活用しましたか（又は活用する予定ですか）。あてはまる番号すべてに○をつけてください。	○はいくつでも
-------------	--	---------

「いばらきっ子ファイル」を知っている（これまで利用したことがある）人に、どのように活用する予定（活用した）かについてたずねたところ、「持っているが活用していない」が47.6%で最も多く、次いで「学校や園に子どもの特性を理解してもらう」が38.1%、「新しくサポートを受ける際、支援者に子どもの特性を理解してもらう」が32.9%となっており、「その他」の内容として「メモ、記録として」「発達に関する資料」「他で記入する必要があったため」などがありました。



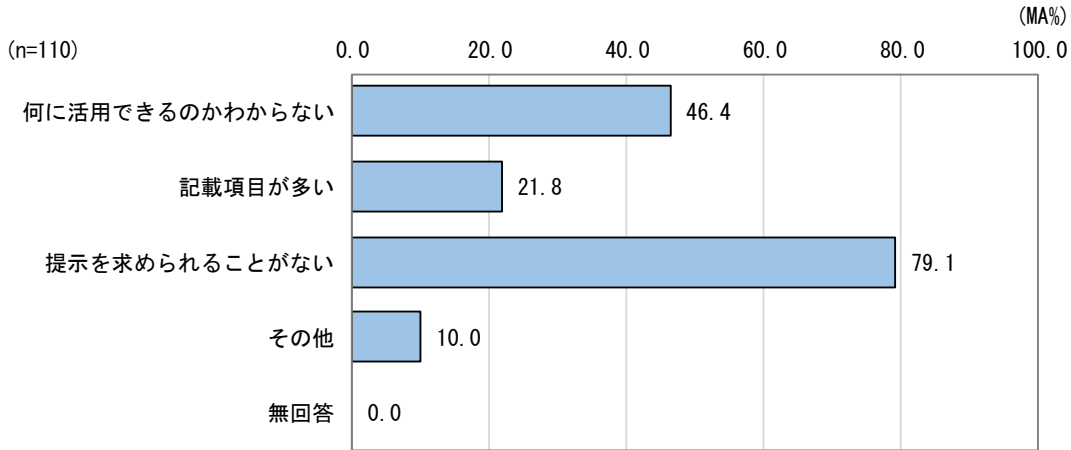
子どもの年齢別でみると、「0～3歳」では新しくサポートを受ける際、支援者に子どもの特性を理解してもらう」が51.9%で最も多く、「4～6歳」では「持っているが活用していない」が46.8%で最も多く、「7～9歳」では「学校や園に子どもの特性を理解してもらう」「持っているが活用していない」が41.7%で最も多く、「10～12歳」では「持っているが活用していない」が58.8%で最も多く、「13歳以上」では「持っているが活用していない」が53.3%で最も多くなっています。



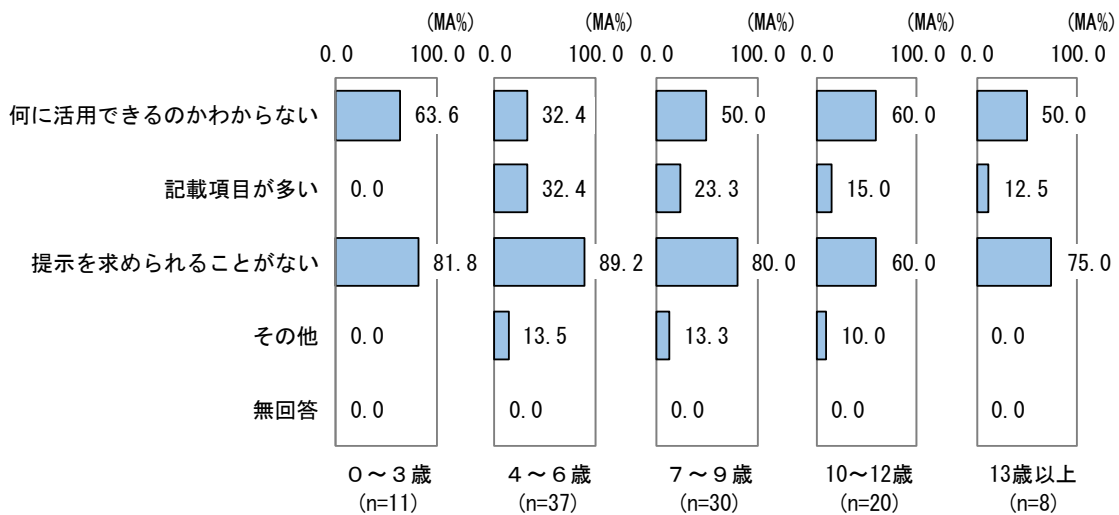
(3) いばらきっ子ファイルを活用していない理由

問 29-1	問 29で「持っているが活用していない」を選ばれた方におうかがいします。持っているが活用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。	○はいくつでも
--------	--	---------

「いばらきっ子ファイル」を持っているが活用していない人に、その理由についてたずねたところ、「提示を求められることがない」が79.1%で最も多く、次いで「何に活用できるのかわからない」が46.4%、「記載項目が多い」が21.8%となっており、「その他」の内容として「面倒くさい」「他で代用できる、または別で記録している」「使いづらい」などがありました。



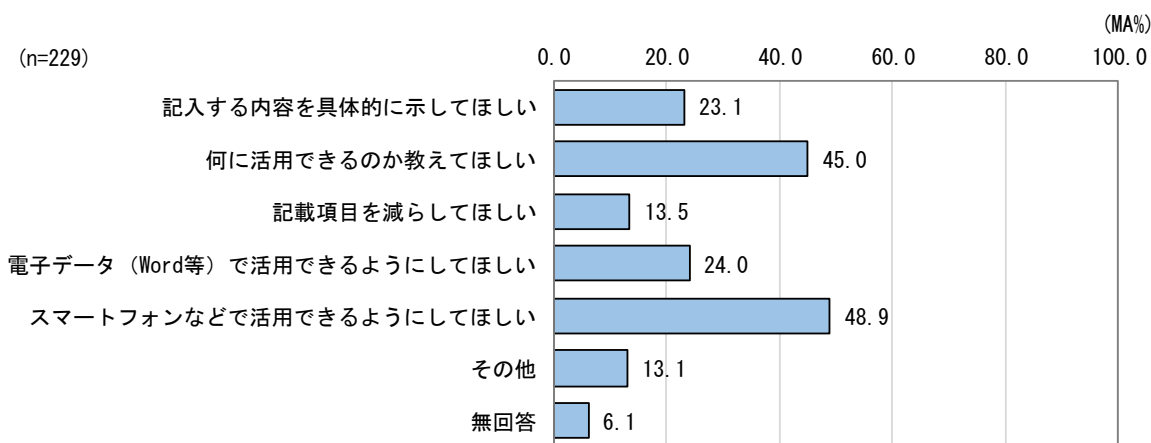
子どもの年齢別でみると、いずれも「提示を求められることがない」が最も多く、「0～3歳」が81.8%、「4～6歳」が89.2%、「7～9歳」が80.0%、「10～12歳」が60.0%、「13歳以上」が75.0%となっています。



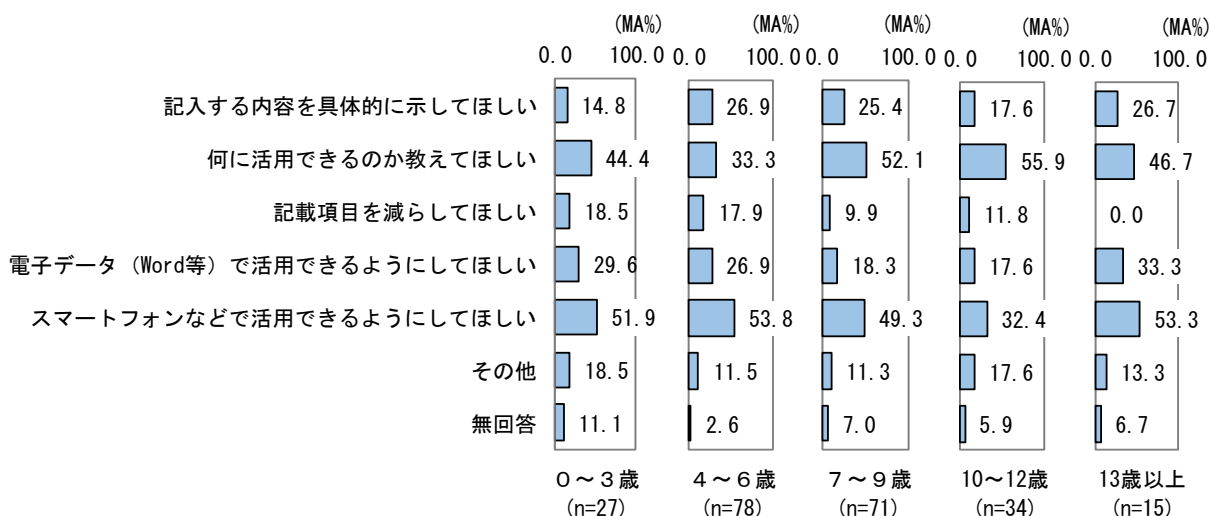
(4) いばらきっ子ファイルの改善点

問 30	問 28 の「いばらきっ子ファイル」について、「知っていますか」で「はい」を選ばれた方におうかがいします。「いばらきっ子ファイル」の改善点について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。	○はいくつでも
-------------	---	---------

「いばらきっ子ファイル」を知っている人に、「いばらきっ子ファイル」の改善点についてたずねたところ、「スマートフォンなどで活用できるようにしてほしい」が48.9%で最も多く、次いで「何に活用できるのか教えてほしい」が45.0%、「電子データ（Word等）で活用できるようにしてほしい」が24.0%となっており、「その他」の内容として「他の場所でも活用できるようにしてほしい」「書き換え・更新箇所の記入をわかりやすくしてほしい」「書きやすい記入用紙にしてほしい」などがありました。



子どもの年齢別でみると、「0～3歳」では「スマートフォンなどで活用できるようにしてほしい」が51.9%で最も多く、「4～6歳」では「スマートフォンなどで活用できるようにしてほしい」が53.8%で最も多く、「7～9歳」では「何に活用できるのか教えてほしい」が52.1%で最も多く、「10～12歳」では「何に活用できるのか教えてほしい」が55.9%で最も多く、「13歳以上」では「スマートフォンなどで活用できるようにしてほしい」が53.3%で最も多くなっています。



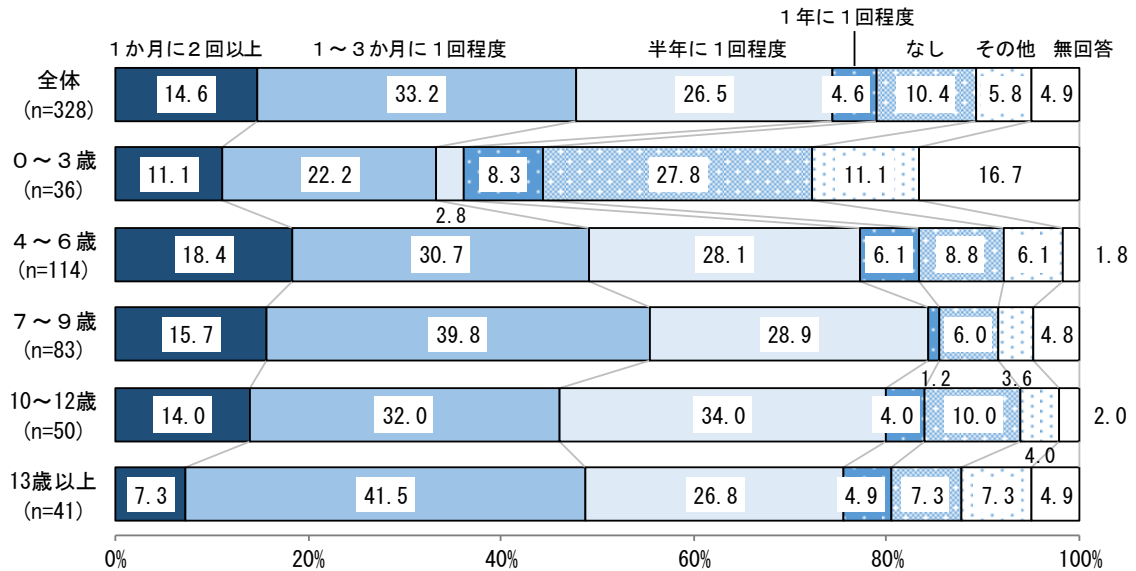
(5) 話し合いや情報の共有等の状況

問 31	所属先（園や学校等）と利用しているサービス事業所（児童発達支援や放課後等デイサービス等）とのお子さんの支援のための話し合いや情報の共有等についておうかがいします。それぞれの項目について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。	○は1つだけ
-------------	---	--------

①保護者と所属先

保護者と所属先との子どもの支援のための話し合いや情報の共有等について、「1～3か月に1回程度」が33.2%で最も多く、次いで「半年に1回程度」が26.5%、「1か月に2回以上」が14.6%となっており、「その他」の内容として「都度、必要な時」「学期末」などがありました。

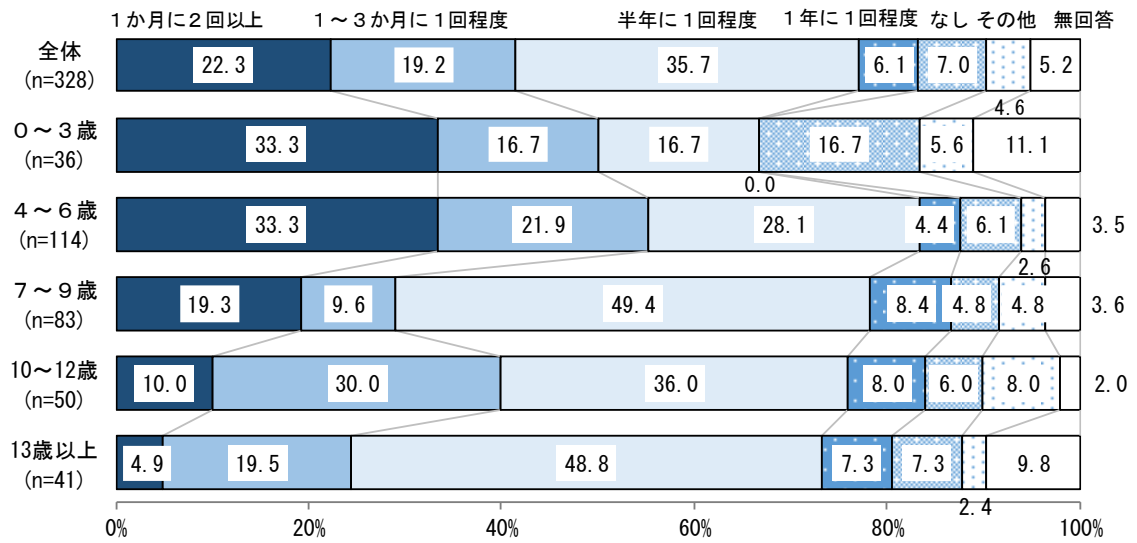
子どもの年齢別でみると、「0～3歳」では「なし」が27.8%で最も多く、「4～6歳」では「1～3か月に1回程度」が30.7%で最も多く、「7～9歳」では「1～3か月に1回程度」が39.8%で最も多く、「10～12歳」では「半年に1回程度」が34.0%で最も多く、「13歳以上」では「1～3か月に1回程度」が41.5%で最も多くなっています。



②保護者と事業所

保護者と利用しているサービス事業所との子どもの支援のための話し合いや情報の共有等について、「半年に1回程度」が35.7%で最も多く、次いで「1か月に2回以上」が22.3%、「1～3か月に1回程度」が19.2%となっており、「その他」の内容として「都度、必要な時」などがありました。

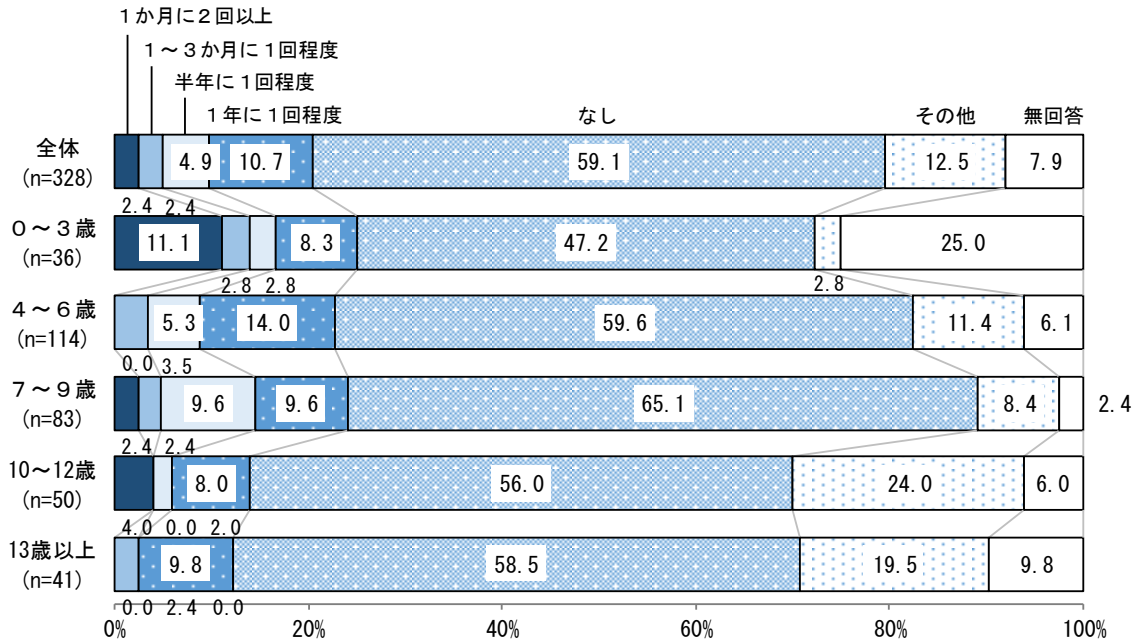
子どもの年齢別で見ると、「0～3歳」では「1か月に2回以上」が33.3%で最も多く、「4～6歳」では「1か月に2回以上」が33.3%で最も多く、「7～9歳」では「半年に1回程度」が49.4%で最も多く、「10～12歳」では「半年に1回程度」が36.0%で最も多く、「13歳以上」では「半年に1回程度」が48.8%で最も多くなっています。



③所属先と事業所

所属先と利用しているサービス事業所との子どもの支援のための話し合いや情報の共有等について、「なし」が59.1%で最も多く、次いで「その他」が12.5%、「1年に1回程度」が10.7%となっており、「その他」の内容として「分からない、知らない」「数年に1回」「都度、必要な時」などがありました。

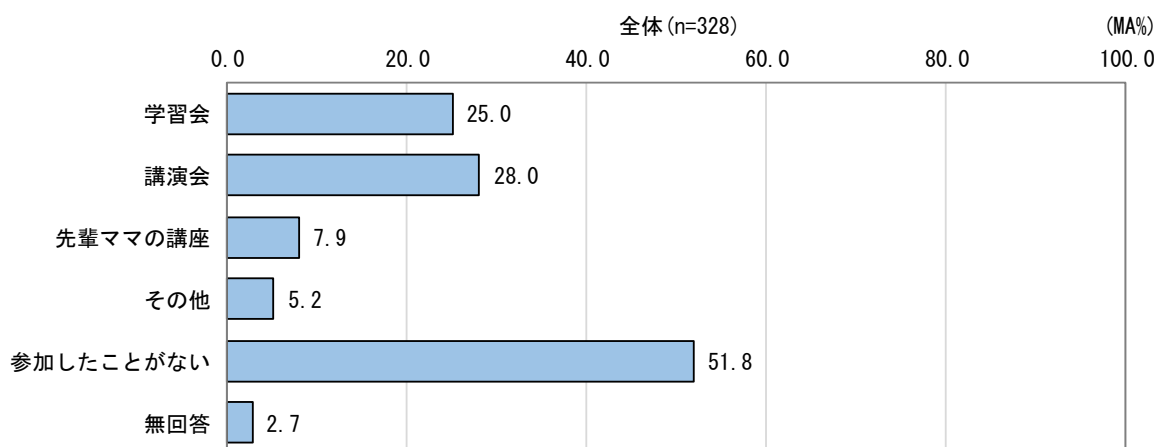
子どもの年齢別で見ると、いずれも「なし」が最も多く、「0～3歳」が47.2%、「4～6歳」が59.6%、「7～9歳」が65.1%、「10～12歳」が56.0%、「13歳以上」が58.5%となっています。



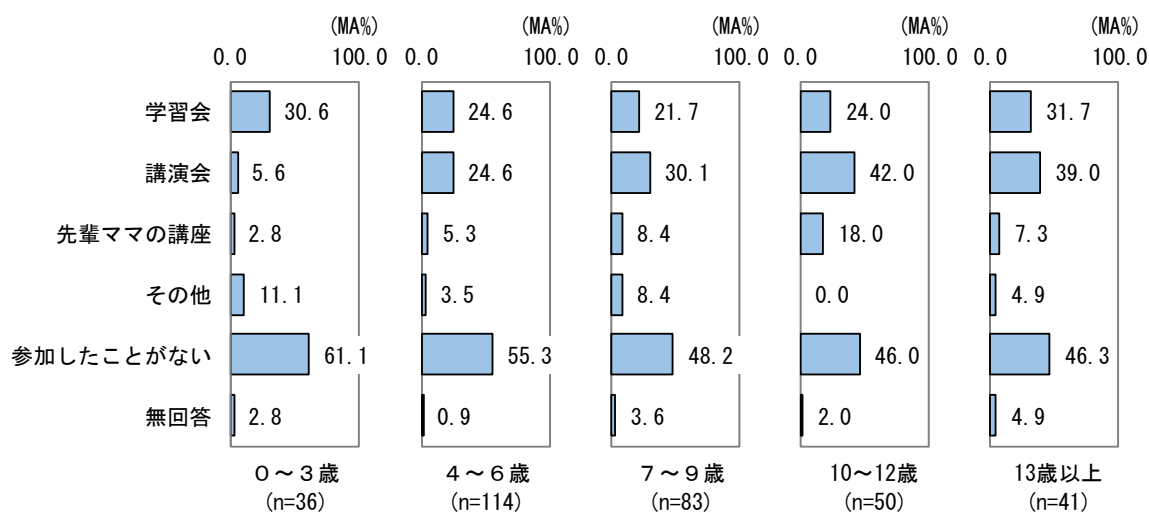
(6) 今までに参加した学習会や研修会等

問 32 今までにどのような学習会や研修会等に参加されたことがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけて、具体的な内容を記入してください。 ○はいくつでも

今までにどのような学習会や研修会等に参加されたことがあるかについて、「参加したことがない」が51.8%で最も多く、次いで「講演会」が28.0%、「学習会」が25.0%となっており、「学習会」の内容として「発達障害に関する勉強会」「ペアレントトレーニング」「すくすく親子教室の講座」など、「講演会」の内容として「発達障害に関する講演会」「すくすく親子教室」「あけぼの学園主催の講演会」など、「先輩ママの講座」として「あけぼの学園主催の講座」「就学について」「親の会等」などがありました。



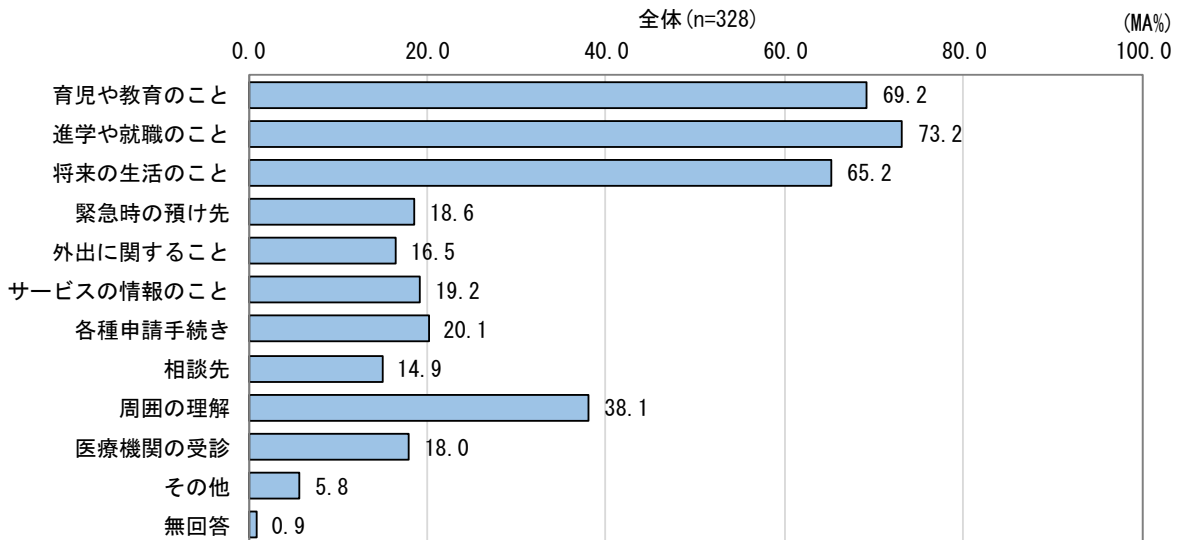
子どもの年齢別で見ると、いずれも「参加したことがない」が最も多く、「0～3歳」が61.1%、「4～6歳」が55.3%、「7～9歳」が48.2%、「10～12歳」が46.0%、「13歳以上」が46.3%となっています。



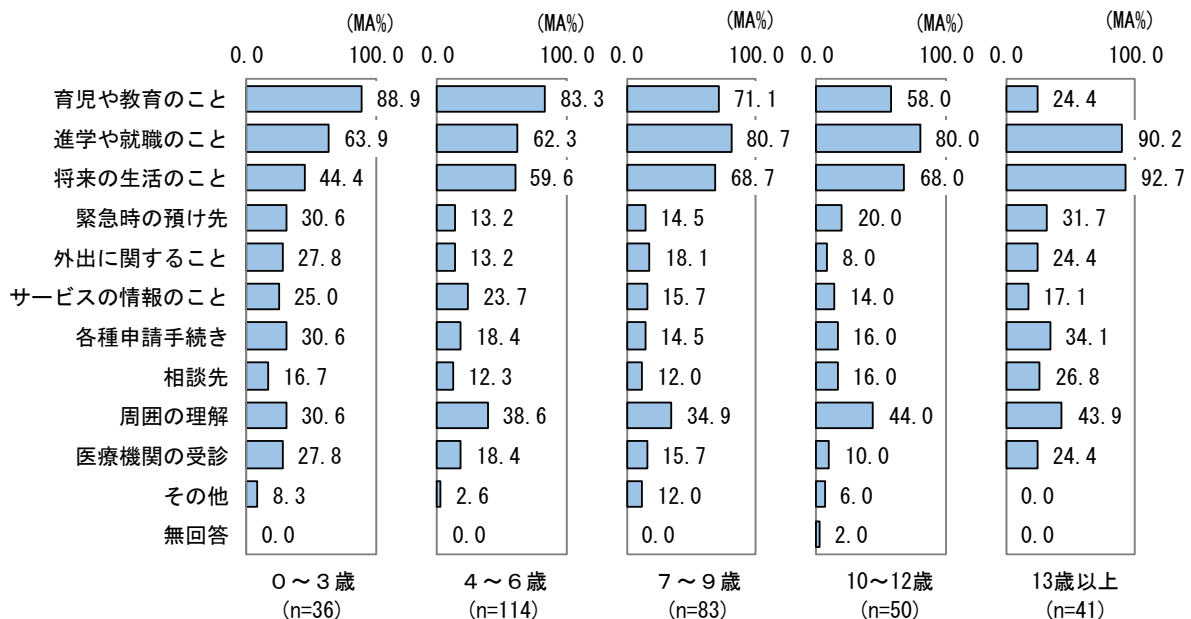
(7) 子どもに関する悩みごとの内容

問 33 お子さんについての悩みごとについておうかがいします。あてはまる番号すべてに○をつけてください。 ○はいくつでも

子どもに関する悩みごとについて、「進学や就職のこと」が73.2%で最も多く、次いで「育児や教育のこと」が69.2%、「将来の生活のこと」が65.2%となっており、「その他」の内容として「問題行動への対応」「苦手なことへの克服」「学校生活」などがありました。



子どもの年齢別でみると、「0～3歳」では「育児や教育のこと」が88.9%で最も多く、「4～6歳」では「育児や教育のこと」が83.3%で最も多く、「7～9歳」では「進学や就職のこと」が80.7%で最も多く、「10～12歳」では「進学や就職のこと」が80.0%で最も多く、「13歳以上」では「将来の生活のこと」が92.7%で最も多くなっています。



8 自由意見

問 34	最後に、教育・保育環境の充実や障害児通所支援・障害福祉サービス等に関してご意見がありましたら、ご自由に記入してください。	自由記述
------	--	------

意見	件数
障害児通所支援・障害福祉サービスの充実、改善についての要望	56
支援・サービス等に関する情報公開・情報提供・情報の詳しい説明	30
教育・保育環境の充実、改善についての要望	26
福祉施設の増設・サポートについての要望	24
学校（教職員）・幼稚園・保育園等の対応・制度等についての改善・要望	19
相談窓口の設置、相談事業の充実	18
サービス・支援に対する感謝・満足	15
市・学校（幼稚園・保育園等）・事業所の連携（情報共有）についての要望	11
市役所（職員）の対応・手続き等についての改善・要望	11
見守り・サポートできる環境づくり	7
手続きや書類が煩雑なので簡素化	5
保護者講習会、保護者のサポート等についての要望	5
一人一人にあう事業所の見つけ方	3
障害に対する理解や体制の充実・周知についての要望	2
交流の場、機会についての要望	2
その他	8
延べ件数	242

第5章 障害児通所支援等利用者調査の結果

